

# 北区民意識・意向調査報告書

令和3年10月

北 区



# 目次

1	実施概要	1
(1)	調査の目的	3
(2)	調査の内容と方法	3
(3)	前回調査の内容と方法	3
(4)	回収状況	3
(5)	調査結果の集計と分析について	4
2	調査結果の概要	7
(1)	定住意思	9
(2)	シビックプライド（北区への愛着や北区の魅力として誇れること）	9
(3)	北区のイメージと将来像	10
(4)	区の施策への評価・満足度	11
(5)	地域活動等への区民参画（地域との共生）	12
(6)	多様性を尊重しあう社会（地域との共生）	13
(7)	子育て・教育	14
(8)	健康・福祉	15
(9)	産業・文化・地域振興	16
(10)	生涯学習・スポーツ	16
(11)	観光振興	17
(12)	女性活躍	17
(13)	安全・安心	18
(14)	生活環境	19
(15)	区の経営改革	19
(16)	シティプロモーション	20
3	調査結果	21
(1)	回答者の基本属性	23
	年齢	23
	性別	23
	職業	24
	通勤・通学に要する時間	24
	世帯構成	25
	家族構成	26
	住居形態	27
	居住地区	28
	町会・自治会への加入	28
	国籍	31
(2)	定住意向について	32
	居住年数	32
	定住意向	34
	居住理由	41
(3)	シビックプライドについて	48
	北区への愛着	48
	北区の魅力	53

(4) 北区の現在のイメージや将来像について.....	57
北区のイメージ .....	57
北区の将来像 .....	62
(5) 区の施策について .....	66
施策満足度 .....	66
施策重要度 .....	71
施策満足度と施策重要度の相関 .....	76
(6) 地域との共生について .....	77
地域活動等への参加状況 .....	77
地域活動等へ参加しない理由 .....	83
北区の情報入手先 .....	85
区政参画・地域活動への参加促進のための取組み.....	88
差別や偏見 .....	91
外国人区民と日本人区民との共存.....	94
(7) 子育て・教育への取組みについて .....	97
子育て支援 .....	97
学校教育 .....	103
(8) 健康・福祉について .....	109
かかりつけ医等の有無 .....	109
健康づくりの推進 .....	112
障害者支援 .....	115
(9) 産業・文化・地域振興について .....	118
産業の活性化 .....	118
文化振興 .....	121
(10) 生涯学習・スポーツについて .....	124
生涯学習 .....	124
スポーツ振興 .....	127
(11) 観光振興について .....	129
(12) 女性の活躍促進について .....	132
(13) 安全・安心への取組みについて .....	136
地域の安全・安心 .....	136
安全・安心への取組み .....	139
自然災害に対する取組み .....	143
自然災害に対する備え .....	148
(14) 生活環境について .....	152
(15) 区の経営改革について .....	155
デジタル化への取組み .....	155
経費削減への取組み .....	157
(16) シティプロモーションについて .....	158
(17) 区政に対する自由意見 .....	161
付表.....	173
調査票 .....	175

# 1 实施概要



# 1. 実施概要

## (1) 調査の目的

新たな北区基本構想の策定に向けた基礎資料を得るため、北区民の意識・意向等を的確に把握するとともに、今後の区政運営のための行政課題の抽出及び区の行政需要等の把握を目的として実施した。

## (2) 調査の内容と方法

- ・調査地域：北区全域
- ・調査対象：令和3年1月1日現在の北区住民基本台帳に記載されている満18歳以上の男女標本数2,000人
- ・標本抽出法：住民基本台帳からの層化無作為抽出調査方法調査票を郵送にて配布後、郵送回収
- ・調査期間：令和3年6月4日～7月2日

## (3) 前回調査の内容と方法

- ・調査地域：北区全域
- ・調査対象：平成30年1月1日現在の北区住民基本台帳に記載されている満18歳以上の男女標本数2,000人
- ・標本抽出法：住民基本台帳からの層化無作為抽出調査方法調査票を郵送にて配布後、郵送回収及びインターネットによる回答
- ・調査期間：平成30年5月28日～6月22日

## (4) 回収状況

- ・有効回収数 953人
- ・回収率 47.7%
- ・有効回収率 47.8%

図表 1-1 回収状況

地区	標本数 A	宛先不明 B	有効発送数 C=(A-B)	回収無効票 D	有効回収数 E	回収率 F=E/A	有効回収率 G=E/C
浮間	132票	0票	132票	0票	64票	48.5%	48.5%
赤羽西	342票	1票	341票	0票	165票	48.2%	48.4%
赤羽東	318票	1票	317票	0票	152票	47.8%	47.9%
王子西	184票	0票	184票	0票	89票	48.4%	48.4%
王子東	464票	0票	464票	0票	220票	47.4%	47.4%
滝野川西	430票	3票	427票	0票	197票	45.8%	46.1%
滝野川東	130票	1票	129票	0票	56票	43.1%	43.4%
地区不明	—	—	—	—	10票	—	—
合計	2,000票	6票	1,994票	0票	953票	47.7%	47.8%

## (5) 調査結果の集計と分析について

### ①標本誤差について

- ・今回のように全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査に比べて調査結果に差が生じることがある。抽出による結果の誤差は、以下の計算式によって算出される。(信頼度 95%)

$$(\text{標本誤差}) = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \quad \left[ \begin{array}{l} N = \text{母集団 (北区の満 18 歳以上人口)} \\ n = \text{比率算出の基数 (回答者数)} \\ p = \text{回答の比率} \end{array} \right]$$

- ・Nはnより非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ とみなすことができるので、調査結果の標本誤差の範囲は、「標本誤差早見表」(図表 1-2) のとおり求められる。
- ・例えば、ある質問で、回答者数(n)が1,000、そのうち30%の人が回答した選択肢があった場合、標本誤差は±2.9%となり、標本誤差を補正すると、回答の比率は27.1%~32.9%の範囲にあることが95%の信頼度でいえることになる。

図表 1-2 標本誤差早見表 (信頼度 95%)

回答の比率(p) 回答者数(n)	10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
953	±1.9%	±2.6%	±3.0%	±3.2%	±3.2%
800	±2.1%	±2.8%	±3.2%	±3.5%	±3.5%
500	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
200	±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
100	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%

### ②集計上の数字の取扱いについて

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n (number of case の略)」は、各設問に対する回答者数を指す。
- ・調査結果の比率は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示している。したがって、すべての比率を合計しても100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答の設問では、比率の合計は、100.0%を超える。
- ・調査結果で記載されている「SA (Single Answer)」は「単一回答」、「MA (Multiple Answer)」は「複数回答」を示している。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。特にクロス集計グラフについては、選択肢の簡略表記を使用しているほか、無回答を除く上位5位までの記載としている場合がある。

### ③本報告書における分析の視点

- ・回収した調査表の結果については、必要に応じて基本属性等の項目ごとに（年齢、性別、居住地区、家族構成など）クロス集計を行った。
- ・また、前回調査（平成30年の北区民意識・意向調査）と比較可能な設問については、区民の意識変化を分析するために結果の経年比較をしている。
- ・なお、居住地区については区内を以下の7地区に区分して分析している。

図表 1-3 居住地域区分

地区名	該当する町丁目
1 浮間 (A)	浮間1～5丁目
2 赤羽西 (B)	赤羽北1～3丁目、桐ヶ丘1・2丁目、赤羽西1～6丁目、赤羽台1～4丁目、西が丘1～3丁目、上十条5丁目、十条仲原3・4丁目、中十条4丁目
3 赤羽東 (C)	赤羽1～3丁目、岩淵町、赤羽南1・2丁目、志茂1～5丁目、神谷2・3丁目、東十条5・6丁目
4 王子西 (D)	十条仲原1・2丁目、上十条1～4丁目、中十条1～3丁目、十条台1・2丁目、王子本町1～3丁目、岸町1・2丁目、滝野川4丁目
5 王子東 (E)	神谷1丁目、東十条1～4丁目、王子1～6丁目、豊島1～8丁目、堀船1～4丁目
6 滝野川西 (F)	滝野川1～3丁目、滝野川5～7丁目、西ヶ原1～4丁目、中里1～3丁目、上中里1丁目、田端1～6丁目
7 滝野川東 (G)	栄町、上中里2・3丁目、昭和町1～3丁目、東田端1・2丁目、田端新町1～3丁目





## 2 調査結果の概要



## 2. 調査結果の概要

### (1) 定住意思

- ◆ 北区への今後の『定住意向』は9割弱と高く、前回調査と比べても高くなっている。
- ◆ 居住理由としては、「生活・交通の利便性がよい」の割合が非常に高い。
- ◆ 一方で、若い世代の『転居意向』が他年代に比べてやや高くなっている。

#### <居住年数>

##### ◇居住年数31年以上が約4割

回答者の居住年数は、「31年以上」が38.4%と最も割合が高い。次いで、「1～5年（18.0%）」、「6～10年（12.6%）」である。

#### <定住意向>

##### ◇『定住意向』が9割弱

「ずっと住み続けたい（41.4%）」、「当分は住み続けたい（46.8%）」をあわせた『定住意向』の人は88.2%である。前回調査と比較すると、「ずっと住み続けたい」の割合は減少（前回43.4%）しているが、「当分は住み続けたい」の割合（前回37.6%）、及び『定住意向』の割合（前回81.0%）は増加している。

##### ◇居住理由として「生活・交通の利便性がよいこと」が約7割

居住理由として「生活・交通の利便性がよい」が69.8%と最も割合が高い。次いで割合の高い「仕事・家庭の都合（結婚、親の介護、借家の借り換え、学校上の都合等）」の33.4%と比較しても、「生活・交通の利便性がよい」という理由が非常に大きいことがわかる。

##### ◇18～29歳の『転居意向』が2割超

「いずれは区外へ転居したい（10.1%）」、「すぐにでも区外へ転居したい（0.5%）」をあわせた『転居意向』の割合は全体で10.6%であったのに対し、18～29歳では23.0%、30～39歳が14.9%と若い世代の転居意向が他の年齢に比べて高くなっている。

### (2) シビックプライド（北区への愛着や北区の魅力として誇れること）

- ◆ 『愛着を感じる』割合は7割を超えているが、前回調査に比べ1割低下した。
- ◆ 北区の魅力として、「便利で住みやすい」ことを挙げる人が約7割と最も割合が高い。
- ◆ 年齢別にみると、第1位はいずれの年齢も「便利で住みやすい」であるが、第2位は64歳以下で「商店街がある」、65歳以上で「公園・みどりなどの自然環境に恵まれている」である。

#### <北区への愛着>

##### ◇『愛着を感じる』割合は7割超だが、前回調査に比べ低下

北区への愛着について、「感じる」（33.5%）、「やや感じる」（40.2%）をあわせた『愛着を感じる』割合は73.7%であったが、前回調査における「愛着を感じる」「どちらかという愛着を感じる」割合をあわせた『愛着派』の82.5%に比べ低下している。また、今回の調査では「感じない」は3.1%、「あまり感じない」は5.4%となった。

## ＜北区の魅力＞

### ◇北区の魅力として「便利で住みやすい」が約7割

北区の魅力として「便利で住みやすい」が70.5%と最も割合が高い。次いで、「商店街がある(33.2%)」、「公園・みどりなどの自然環境に恵まれている(27.4%)」であった。「便利で住みやすい」とする回答は、年齢別にみても全年齢で最も割合が高い。

### ◇65歳以上は『自然環境に恵まれている』、64歳以下は「商店街がある」の割合が次ぐ

「便利で住みやすい」に次ぐ回答は、65歳～69歳、70歳以上では「公園・みどりなどの自然環境に恵まれている」、64歳以下は「商店街がある」となった。

## (3) 北区のイメージと将来像

- ◆ 北区のイメージも将来像も「便利で住みやすい」が上位となった。次いで、「自然環境に恵まれている」「治安がよい」など、良好な住宅地としてのイメージが挙げられている。
- ◆ 現在の魅力やイメージでは「にぎわい・活力がある」の回答割合はやや低いが、将来像としては「地域産業や商店などの活力にあふれている」の回答割合が高い。

## ＜北区のイメージ＞

### ◇北区のイメージは「便利で住みやすい」が7割弱

北区のイメージとして「便利で住みやすい」が67.3%で最も割合が高く、「北区の魅力」と同様の結果となった。次いで、「自然環境に恵まれている(24.4%)」「治安がよい(23.3%)」となった。

### ◇年齢や居住地区により北区のイメージが異なる

年齢別にみると、全年齢で「便利で住みやすい」の割合が最も高いが、次いで、39歳以下では「治安がよい」、40～49歳、60歳以上では「自然環境に恵まれている」、50～59歳では「歴史や伝統が感じられる」であった。

居住地区別にみると、すべての地区で「便利で住みやすい」と回答する割合が最も高かったが、次いで、浮間地区、赤羽西地区、王子西地区では「自然環境に恵まれている」、赤羽東地区では「にぎわい・活力がある」、王子東地区、滝野川西地区、滝野川東地区では「治安がよい」であった。

## ＜北区の将来像＞

### ◇北区の将来像は「便利で住みやすい」「治安がよい」「地域産業や商店などの活力にあふれている」

2040年頃の北区の将来像について、「便利で住みやすい」の割合が最も高く48.0%であった。次いで、「治安がよい(31.3%)」、「地域産業や商店などの活力にあふれている(29.7%)」となった。「便利で住みやすい」「治安がよい」は、現在の区のイメージの上位3項目に含まれている。現在の北区のイメージとして「にぎわい・活力がある」と回答した人の割合は6番目であったが、将来像としての北区には「地域産業や商店などの活力にあふれている」が3番目に挙げられた。

### ◇年齢、居住地区、定住意向にかかわらず「便利で住みやすい」が上位

年齢、居住地区、定住意向にかかわらず、2040年頃の北区について「便利で住みやすい」ことを望む回答割合が最も高かった。年齢別では60～64歳のみ「高齢者や障害者にやさしい」が最も高く、次いで「便利で住みやすい」であった。

#### (4) 区の施策への評価・満足度

- ◆ 重要度・満足度がともに高いのは「健康づくりの充実（保健・医療体制）」「子育て支援の充実」「高齢者施策の推進」「学校教育の充実」「防災・防犯対策の充実」など、教育、福祉、安全・安心に関する分野が多くあてはまる。
- ◆ 重要度は高いが満足度が低いのは「駅周辺の計画的なまちづくりの推進」「区内産業・商店街の振興」「バリアフリーの推進」「行財政改革」など、まちづくり・交通や産業、行財政に関する分野があてはまる。

##### < 施策満足度 >

###### ◇ 教育・福祉に関する施策に『満足』とする割合が高い

「満足」「やや満足」をあわせた『満足』の割合は「健康づくりの充実（保健・医療体制）」が48.3%で最も高く、次いで「公園や遊び場の整備（37.5%）」「子育て支援の充実（30.1%）」となった。

###### ◇ まちづくり・交通に関する施策に『不満』とする割合が高い

「不満」「やや不満」をあわせた『不満』の割合は「自転車駐車場の整備」が30.1%で最も高く、次いで「駅周辺の計画的なまちづくりの推進（28.0%）」「幹線道路、狭あい道路の整備（26.5%）」となった。

###### ◇ 前回調査と比較して『施策満足度』は全体として上昇傾向

各施策の評価を点数化した『施策満足度』をみると「電子自治体の推進」の評価点数が-0.18で最も低く、次いで「行財政改革（公共施設の更新、ICTを活用した業務効率化・区民サービスの向上）（-0.15）」となった。

『施策満足度』を前回調査と比較すると、全体として評価点数は上昇している。特に、「健康づくりの充実（保健・医療体制）」「学校教育の充実」「幹線道路、狭あい道路の整備」「自転車駐車場の整備」は大きく上昇している。

##### < 施策重要度 >

###### ◇ 安全・安心分野と福祉・教育分野の施策を『重要』とする割合が5割超

多くの施策において「重要」「やや重要」をあわせた『重要』の割合が50%を超えている。中でも「防災・防犯対策の充実（84.4%）」「健康づくりの充実（保健・医療体制）（84.3%）」「子育て支援の充実（76.2%）」は、『重要』の割合が高い。

###### ◇ 「電子自治体の推進」の『施策重要度』が大きく上昇

各施策の評価を点数化した『施策重要度』をみると「防災・防犯対策の充実」の評価点数が1.46で最も高く、次いで「健康づくりの充実（保健・医療体制）（1.41）」「子育て支援の充実（1.28）」となった。

『施策重要度』を前回調査と比較すると、全体として評価点数は上昇している。特に、「電子自治体の推進」の評価点数は前回調査の2倍となった。

##### < 『施策満足度』と『施策重要度』の相関 >

###### ◇ 「健康づくりの充実」「子育て支援の充実」などは『施策満足度』『施策重要度』ともに高い

現在の『施策満足度』、今後の『施策重要度』が共に高い施策は、「健康づくりの充実（保健・医療体制）」「子育て支援の充実」「高齢者施策の推進」「学校教育の充実」「防災・防犯対策の充実」などである。

◇「バリアフリーの推進」「駅周辺の計画的なまちづくりの推進」などは『施策満足度』が低い、『施策重要度』が高い

現在の『施策満足度』は低い、今後の『施策重要度』が高い施策は、「バリアフリーの推進」「駅周辺の計画的なまちづくりの推進」「区内産業・商店街の振興」「行財政改革」などである。

## (5) 地域活動等への区民参画（地域との共生）

- ◆ 地域活動等へ参加したことがある人、ない人はいずれも約5割となった。
- ◆ 地域活動等へ参加しない理由としては、「きっかけがない」「忙しく時間が合わない」「興味がない」とする回答の割合が高い。
- ◆ 北区の情報の入手媒体は、「北区ニュース」が約8割で最も高い。一方で、若い世代では「区政情報は特に入手していない」の割合がおよそ3割となった。
- ◆ 区政や地域活動への参加を促進するために必要なことは、『開かれた区政の推進』や『多様な手段による情報発信』の割合が高い。

### <参加したことの地域活動等について>

#### ◇地域活動等への参加経験は約半数

参加したことの人は48.6%、参加したことの無い人は49.9%で、参加したことの無い人とない人がほぼ同程度であるが、若干参加したことの無い人の割合が上回った。

#### ◇地域活動等に参加したことの無い理由の最上位は「きっかけがない」

参加したことの無い人のうち、参加しない理由は「きっかけがない」の回答割合が32.4%で最も高く、次いで「忙しく時間が合わない（24.6%）」「興味がない（16.4%）」となった。

#### ◇参加したことの人の地域活動は「町会・自治会活動」が最も多い

参加したことの人のうち、「町会・自治会活動」への参加割合が最も高く、次いで「生涯学習、文化・芸術・スポーツに関する活動」となった。

### <北区の情報の入手方法>

#### ◇北区の情報の入手方法は「北区ニュース（広報誌）」が8割超

区の情報の入手方法は、「北区ニュース（広報誌）」の回答割合が82.9%で最も高い。なお、「区政情報は特に入手していない」は8.6%であるものの、18～29歳では31.9%、30～39歳では17.5%となった。

### <区政や地域活動への参加を促進するために区が力を入れるべきこと>

#### ◇区民参加促進のために必要なこととして『開かれた区政の推進』が4割超

区政への参画や地域活動への参加を促進するために区が取り組むべきこととして「情報公開など開かれた区政の推進」の回答割合が最も高く42.1%、次いで「多様な手段を活用した区政の情報発信（36.1%）」「区民と一緒に計画を策定し事業を実施する（25.9%）」となった。

## (6) 多様性を尊重しあう社会（地域との共生）

- ◆ 差別や偏見を「感じたことがない」人は約半数。
- ◆ 感じたことのある差別や偏見は、「国籍に関すること」の割合が高い。
- ◆ 性別にみると男性より女性において、年代別にみると若い世代ほど、差別や偏見を「感じたことがある」と回答する割合が高い。
- ◆ 外国人区民と日本人区民との共存に向けては、『コミュニケーション機会の充実』や『外国人区民が日本語等を学ぶ機会の充実』が求められている。

### <差別や偏見の有無>

#### ◇およそ半数の人が差別や偏見を感じている

差別や偏見が身近にあると「感じたことがない」人は51.2%であり、46.5%の人がいずれかの差別や偏見を『感じたことがある』と回答した。

#### ◇感じたことのある差別や偏見は「国籍に関すること」が3割弱

身近に感じたことのある差別や偏見としては、「国籍に関すること」の回答割合が27.4%で最も高く、次いで「障害の有無に関すること（22.5%）」「性別に関すること（19.0%）」「年齢に関すること（17.5%）」となった。

#### ◇性別や年齢によって差別や偏見を感じたことのある割合に差がある

性別にみると、『感じたことのある』割合は、男性で39.7%であったのに対し、女性では51.3%であり、10%以上の差がある。年齢別にみると、18～29歳では54.8%が『感じたことがある』としており、65～69歳の40.9%、70歳以上の30.2%を大きく上回った。

### <外国人との共存>

#### ◇外国人との共存に向けて必要なこととして『コミュニケーション機会の拡大』が3割強

外国人区民と日本人区民が相互尊重し、共存するために必要なこととして、「日本人区民と外国人区民のコミュニケーション機会の拡大」が31.6%で最も割合が高く、次いで、「外国人区民が日本語や日本文化を学ぶ機会の充実（26.2%）」「日本人区民が異文化や生活習慣の違いを理解する機会の充実（23.4%）」となった。

## (7) 子育て・教育

- ◆ 子育て支援としては、子どもたちが『自然にふれあえる場の提供』『保育所や学童クラブの整備』『困難を抱える子どもの支援』が求められている。
- ◆ 年齢別にみると、18～29歳は『子育て家庭への経済支援』を、30～40代では『自然にふれあえる場の提供』を重視する傾向がある。
- ◆ 学校教育としては、『生きる力向上への取組み』『人権・道徳教育の推進』『個性に応じた教育』が期待されている。
- ◆ 小・中学生の子どもがいる家庭では、『生きる力向上への取組み』に次いで『学力向上への取組み』も重視される傾向がある。

### <子育て支援について力をいれるべきこと>

#### ◇子育て支援で必要なこととして『自然にふれあえる場の提供』が約3割

子育て支援で力をいれるべきこととして、「子どもたち向けの外遊びや自然にふれあえる場の提供」が30.1%で最も割合が高く、次いで「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備（26.2%）」「困難を抱える（貧困世帯など）子どもへの支援（25.2%）」となった。

#### ◇年齢によって重視する施策が異なる

年齢別にみると、18～29歳では「子育て家庭への経済的な支援」が32.7%で最も高い割合となった。また、「子どもたち向けの外遊びや自然にふれあえる場の提供」は30～39歳で34.4%、40～49歳で33.1%、60～64歳で34.1%と最も高い結果となった。

### <学校教育について力をいれるべきこと>

#### ◇学校教育で必要なこととして『生きる力向上への取組み』が約5割

学校教育で力をいれるべきこととして、「生きる力（主体性・協調性・社会性等の資質・能力）向上への取組み」が49.3%で最も割合が高く、次いで「人権・道徳教育の推進（31.0%）」「児童生徒一人ひとりの個性に応じた教育（26.5%）」となった。なお、年齢を問わず「生きる力（主体性・協調性・社会性等の資質・能力）向上への取組み」への回答割合が最も高かった。

#### ◇小・中学生の子どもがいる家庭では「学力向上への取組み」も上位

家族構成別にみると、小・中学生の子どもがいる家庭では、「生きる力（主体性・協調性・社会性等の資質・能力）向上への取組み」が46.7%で最も割合が高く、次いで「学力向上への取組み（40.0%）」「児童生徒一人ひとりの個性に応じた教育（39.2%）」となった。

## (8) 健康・福祉

- ◆ かかりつけ医等がいる割合はおよそ6割で、高齢者ほど割合が高い。
- ◆ 区民の健康づくりに向けて、『施設の開放、散歩道・公園整備』が必要と回答した割合は約6割。
- ◆ 40代以下では『ICTを活用した健康づくり』も回答の上位にあげられている。
- ◆ 障害者支援としては、『障害者の就労機会拡大』『バリアフリー等の環境整備』『障害者の福祉サービス等充実』が求められている。

### <かかりつけ医の存在>

#### ◇かかりつけ医・歯科医がいる割合は約6割

かかりつけ医のいる割合は 59.7%、かかりつけ歯科医がいる割合は 62.0%、かかりつけ薬局のある割合は 48.0%であった。年齢別にみると、高齢であるほどかかりつけ医、かかりつけ薬局のいる割合は高い。一方で、かかりつけ歯科医については年齢別に顕著な差はみられない。

### <区民の健康づくりに向けて力をいれるべきこと>

#### ◇健康づくりの推進のために必要なこととして『施設開放や散歩道等の整備』が約6割

健康づくりの推進のために力をいれるべきこととして、「運動できる施設の開放や散歩道・公園の整備」の回答割合は 60.8%であり、それに次ぐ「利用しやすい健康相談窓口の設置 (18.3%)」と比較しても割合が非常に高い結果となった。

#### ◇40代以下では『ICTを活用した健康づくり』も上位に

年齢別にみると、全年齢で「運動できる施設の開放や散歩道・公園の整備」の回答割合が最も高い。なお、その他の上位5項目について顕著な差はないが、40代以下の若い世代では「ICT（ウォーキングアプリ等）を活用した健康づくりに関する施策の推進」の回答割合が高い傾向にある。

### <障害者支援について力をいれるべきこと>

#### ◇障害者支援のために必要なこととして『障害者の就労機会拡大』が約5割

障害者支援のため力をいれるべきこととして、「障害者の就労の場及び機会の拡大」が 49.8%で最も割合が高い。次いで「バリアフリーなどの生活環境の整備 (37.9%)」「障害者の福祉・保健・医療サービスの充実 (24.7%)」となった。

## (9) 産業・文化・地域振興

- ◆ 産業の活性化に向けて、「空き店舗活用への支援」「商店街の新たな魅力づくりの推進への支援」「消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援」が求められている。
- ◆ 49歳以下では『空き店舗活用支援』、50～60代では『商店街の新たな魅力づくり』、70歳以上では『安全・安心な商品が販売されるための支援』が重視される傾向がある。
- ◆ 文化振興に向けて、『鑑賞する機会と場の提供』が求められており、若い世代では、『子ども向け文化芸術事業充実』も上位となった。

### <産業の活性化に向けて力を入れるべきこと>

#### ◇産業の活性化のために必要なこととして「空き店舗活用への支援」が5割弱

産業の活性化のために力を入れるべきこととして、「空き店舗活用への支援」が46.8%で最も割合が高い。次いで、「商店街の新たな魅力づくりの推進への支援（43.7%）」「消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援（29.8%）」となった。

#### ◇年齢によって重視する項目が異なる

年齢別にみると、18～29歳、30～39歳、40～49歳では「空き店舗活用への支援」、50～59歳、60～64歳、65～69歳では「商店街の新たな魅力づくりの推進への支援」、70歳以上では「消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援」の割合が最も高くなっている。

### <文化の振興のために力をいれるべきこと>

#### ◇文化振興のために必要なこととして『鑑賞する機会と場の提供』が約3割

文化振興のために力をいれるべきこととして、「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」が30.5%で最も割合が高い。次いで「歴史的文化の保存・継承と活用（28.5%）」「子どもたちを対象とした文化芸術事業の充実（24.9%）」となった。

#### ◇若い世代では『子ども向けの文化芸術事業』も上位

年齢別にみると、50～59歳、65～69歳では「歴史的文化の保存・継承と活用」の回答割合が最も高いが、その他の年齢では「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」の回答割合が最も高い。また、年齢が若い世代ほど「子どもたちを対象とした文化芸術事業の充実」の回答割合が高い傾向にある。

## (10) 生涯学習・スポーツ

- ◆ 生涯学習推進に向けて、『学習の場の充実』『生涯学習に関する情報の提供』『学習意欲に応える講座充実』が求められている。
- ◆ スポーツ振興に向けて、「区内スポーツ施設の整備』『スポーツ参加機会の提供』『スポーツクラブの設立支援』が求められている。

### <生涯学習推進のために力を入れるべきこと>

#### ◇生涯学習推進のために必要なこととして『学習の場の充実』は約4割

生涯学習推進のために力を入れるべきこととして、「学習の場の充実（図書館や文化・スポーツ施設等）」が41.9%で最も割合が高い。次いで、「生涯学習に関する情報の提供（38.1%）」「多様な学習意欲に応える講座等の充実（34.1%）」となった。

## ＜スポーツ振興のために力をいれるべきこと＞

### ◇スポーツ振興のために必要なこととして「区内スポーツ施設の整備」が4割超

スポーツ振興のために力をいれるべきこととして、「区内スポーツ施設の整備」が44.6%で最も割合が高い。次いで、「スポーツ活動に参加する機会の提供（31.9%）」「総合型地域スポーツクラブの設立支援（25.3%）」となった。

## (11) 観光振興

- ◆ 観光振興に向けて、「公園や河川敷等自然の活用」「伝統芸能や史跡・歴史的な建造物などの活用」「名物となる食べ物や土産品などの開発・販売」が求められている。
- ◆ 若い世代では、『名物の開発・販売』が重視される傾向がある。

## ＜観光振興のために力をいれるべきこと＞

### ◇観光振興のために必要なこととして「公園や河川敷等自然の活用」が4割超

観光振興のため力をいれるべきこととして、「公園や河川敷等自然の活用」が45.0%で最も割合が高い。次いで、「伝統芸能や史跡・歴史的な建造物などの活用（37.8%）」「名物となる食べ物や土産品などの開発・販売（30.5%）」となった。

### ◇年齢別にみると、若い世代では『名物の開発・販売』が上位

年齢別にみると、若い世代ほど「名物となる食べ物や土産品などの開発・販売」の回答割合が高い傾向がある。

## (12) 女性活躍

- ◆ 女性活躍に向けて、『子育て等と仕事の両立支援』を求める割合が約5割となった。
- ◆ 若い世代では『キャリア形成と働き方の支援』を、年齢が高いほど『意識改革等のための情報発信』を重視する傾向がある。
- ◆ 当人である女性では『キャリア形成と働き方の支援』が、男性では『意識改革等のための情報発信』が『子育て等と仕事の両立支援』に次ぐ。

## ＜女性活躍のために力をいれるべきこと＞

### ◇女性活躍に必要なこととして『子育て等と仕事の両立支援』が約5割

女性活躍のため力をいれるべきこととして、「子育てや介護・看護と仕事の両立に向けた支援の充実」が49.6%で最も割合が高く、次いで多かった「女性のキャリア形成と多様な働き方の支援（23.0%）」と大きく差をつけ、性別・年齢問わず同様の回答となった。

### ◇年齢や性別によって重視する項目が異なる

年齢別にみると、若い世代ほど「女性のキャリア形成と多様な働き方の支援」の回答割合が高く、年齢が高いほど「男女双方の意識改革・理解促進のための情報発信」の回答割合が高い。

性別にみると、男性では「男女双方の意識改革・理解促進のための情報発信」が22.9%で第2位、女性では「女性のキャリア形成と多様な働き方の支援」が25.4%で第2位となった。

## (13) 安全・安心

- ◆ 地域が『安全・安心だと感じる』割合は7割強だが、赤羽東地区ではやや低い。
- ◆ 地域の安全・安心のために『防犯灯、防犯カメラの設置』『安全な通行空間の確保』『地域防犯活動の充実』が求められている。
- ◆ 自然災害への家庭での備えとしては、「飲料水の備蓄」「食料の備蓄」「マスク・消毒液等感染症対策用品の準備」が上位。
- ◆ 自然災害対策では、「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」「防災・避難に関わる情報の収集・伝達体制の整備」「荒川氾濫時の高台の避難場所の確保」が求められている。

### <地域の安全・安心にかかる評価>

#### ◇地域が『安全・安心だと感じる』割合は7割強

地域が安全・安心なまちだと感じる割合について、「やや感じる」(49.2%)と「感じる」(26.8%)をあわせた『安全・安心だと感じる』割合は76.0%である。

なお、居住地区別にみると、赤羽東地区では、『安全・安心だと感じる』割合が65.8%であり、最も高い滝野川東地区(85.7%)と比べ約20%低い。

### <地域の安全・安心のために力を入れるべきこと>

#### ◇地域の安全・安心のために必要なこととして『防犯灯、防犯カメラの設置』が約5割

安全・安心のために力を入れるべきこととして、「防犯灯、防犯カメラなどの設置」が51.1%であり最も割合が高い。次いで、「歩道の改良や自転車専用通行帯の整備など、安全な歩行・自転車通行空間の確保(39.5%)」「防犯パトロールや安全マップづくりなど地域防犯活動の充実(29.0%)」となった。

### <自然災害に対する家庭での備え>

#### ◇自然災害への備えは「飲料水の備蓄」「食料の備蓄」が5割超

自然災害の備えについて、「飲料水の備蓄」が57.2%であり最も割合が高く、次いで「食料の備蓄(52.5%)」「マスク・消毒液等感染症対策用品の準備(46.8%)」となった。

### <自然災害対策として力を入れるべきこと>

#### ◇自然災害対策のために必要なこととして『備蓄物資の確保』が約4割

自然災害対策で力を入れるべきこととして、「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」が40.3%で最も割合が高い。次いで「防災・避難に関わる情報の収集・伝達体制の整備(35.7%)」「荒川氾濫時の高台の避難場所の確保(27.4%)」となった。

#### ◇居住地区によって重視する項目が異なる

居住地区別にみると、浮間地区、赤羽西地区、王子西地区、滝野川西地区、滝野川東地区では「備蓄物資の確保」の割合が最も高いが、赤羽東地区では「荒川氾濫時の高台の避難場所の確保」、王子東地区では「防災・避難に関わる情報の収集・伝達体制の整備」の割合がそれぞれ最も高い。

## (14) 生活環境

- ◆ 快適な生活環境に向けて、「ごみのポイ捨てや不法投棄等への指導」「公園や遊び場の整備」「道路など公共の場所の美化の推進」が求められている。
- ◆ 多くの地区で『ごみのポイ捨て等への指導』の割合が最も高いが、滝野川西地区では「公園や遊び場の整備」の割合が最も高い。

### <快適な生活環境の整備のために力を入れるべきこと>

#### ◇快適な生活環境のため必要なこととして『ごみのポイ捨て等への指導』が4割弱

快適な生活環境のために力を入れるべきこととして、「ごみのポイ捨てや不法投棄等への指導」が36.9%であり最も割合が高い。次いで、「公園や遊び場の整備（26.5%）」「道路など公共の場所の美化の推進（23.8%）」となった。

#### ◇滝野川東地区では、「公園や遊び場の整備」が最も高い

居住地区別にみると、「ごみのポイ捨てや不法投棄等への指導」の割合が多くの地区で最も高いが、滝野川東地区では「公園や遊び場の整備」が42.9%で最も高く、他の地区と10%以上の差となった。

## (15) 区の経営改革

- ◆ 区政のデジタル化に向けて『オンライン手続き等の拡大』『マイナンバーカードの活用』『災害時の多様な情報提供』が求められている。
- ◆ 一方で、65歳以上では「特にない」と回答する割合も高い。
- ◆ 公共施設経費削減に向けて、『施設の統廃合』『民営化』『用途の見直し・廃止』が求められている。

### <デジタル化に向けて力をいれるべきこと>

#### ◇デジタル化のため必要なこととして『オンライン手続きの拡大』が4割強

デジタル化のために力をいれるべきこととして、「オンライン手続き・電子納付（電子マネー・QRコード等）の拡大」が44.5%であり最も割合が高い。次いで「マイナンバーカードを活用した行政サービスの向上（29.2%）」「災害時の多様な手段（メール配信サービス・SNS等）による情報の提供（23.3%）」となった。

なお、年齢別にみると、65歳以上では、「特にない」の割合が他の年齢に比べ高くなっている。

### <公共施設経費削減に向けて力を入れるべきこと>

#### ◇公共施設経費削減のため必要なこととして『施設の統廃合』が4割弱

公共施設経費削減のために力を入れるべきこととして、「同じような施設や代わりに利用できる施設が近隣にある施設の統廃合」が37.6%であり最も割合が高く、次いで「施設の管理や運営の民営化（32.7%）」「区民のニーズに合わなくなった施設の用途の見直し・廃止（20.4%）」となった。

## (16) シティプロモーション

---

- ◆ シティプロモーションに向けて、『北区ロケーション案内』『情報誌やマップの作成』『多様なメディア媒体での報道』が求められている。
- ◆ 若い世代では、『区公式SNSによる情報発信』の回答割合も高い。

### <北区の知名度・イメージ向上へ力を入れるべきこと>

#### ◇シティプロモーションのために必要なこととして『北区ロケーション案内』が4割超

シティプロモーションのため力を入れるべきこととして、「北区ロケーション案内（映画、テレビの撮影など）」が42.9%で最も回答割合が高い。次いで「北区の魅力を伝える情報誌やマップの作成（35.4%）」「多様なメディア媒体（新聞・雑誌・テレビ・インターネット）による北区に関する報道（32.7%）」となった。

#### ◇若い世代では『区公式SNSによる情報発信』も上位

年齢別にみると、若い世代ほど「北区ロケーション案内（映画、テレビの撮影など）」に加え、「区公式SNS（LINE・Facebook・Twitter）による情報発信」の回答割合が高い。

### **3 調査結果**



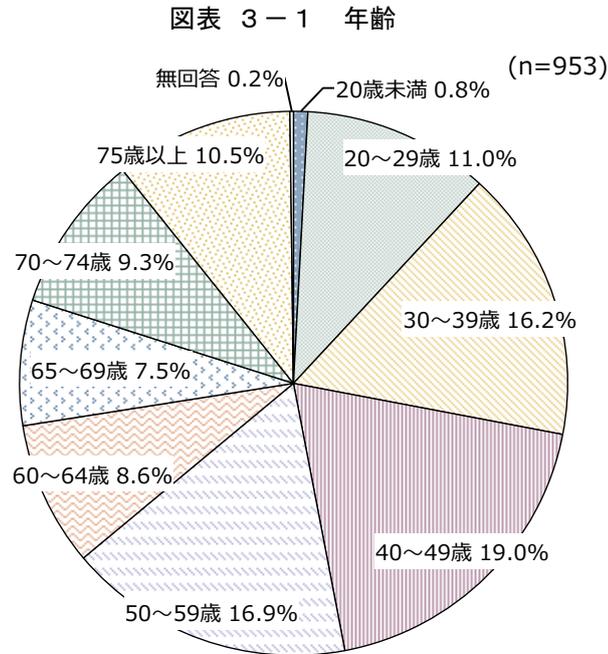
### 3. 調査結果

#### (1) 回答者の基本属性

##### ① 年齢

問1 あなたの年齢を教えてください。(SA)

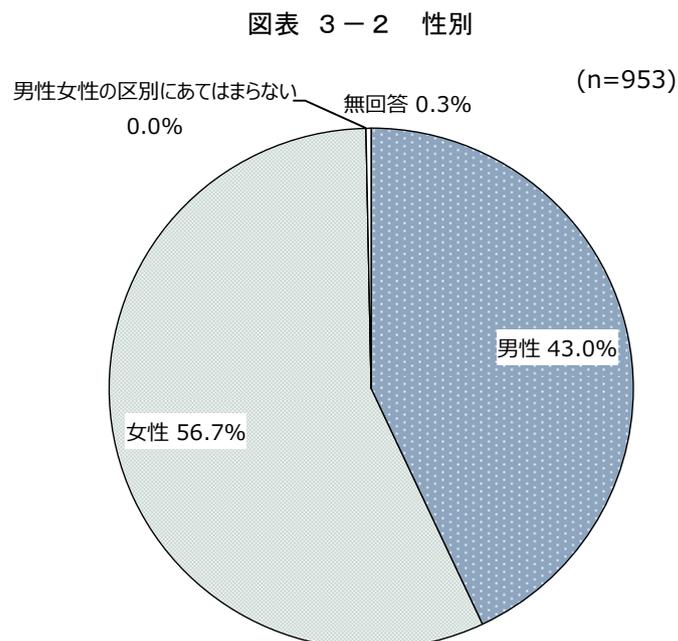
「40～49歳」の割合が最も高く19.0%である。次いで、「50～59歳(16.9%)」、「30～39歳(16.2%)」となった。



##### ② 性別

問2 あなたの性別を教えてください。(SA)

「女性」の割合が56.7%、「男性」の割合が43.0%となった。

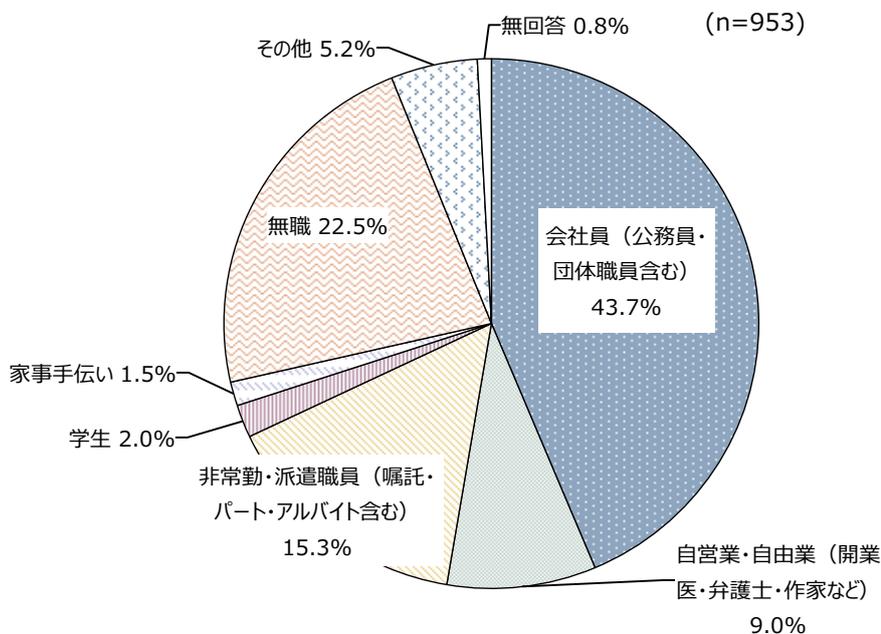


### ③職業

問3 あなたの職業を教えてください。(SA)

「会社員（公務員・団体職員含む）」の割合が最も高く43.7%である。次いで、「無職（22.5%）」、「非常勤・派遣職員（嘱託・パート・アルバイト含む）（15.3%）」となった。

図表 3-3 職業

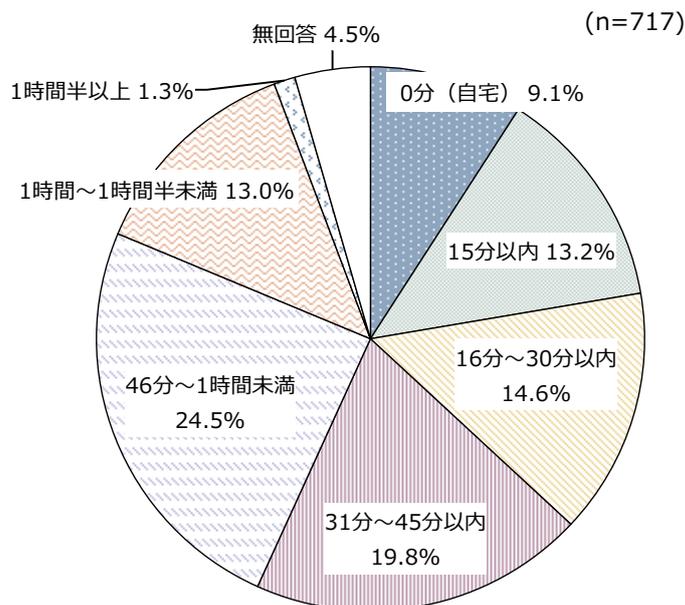


### ④通勤・通学に要する時間

問4 通勤先・通学先までの所要時間を教えてください。(SA)

「46分～1時間未満」の割合が最も高く24.5%である。次いで、「31分～45分以内（19.8%）」、「16分～30分以内（14.6%）」となった。

図表 3-4 通勤時間・通学時間

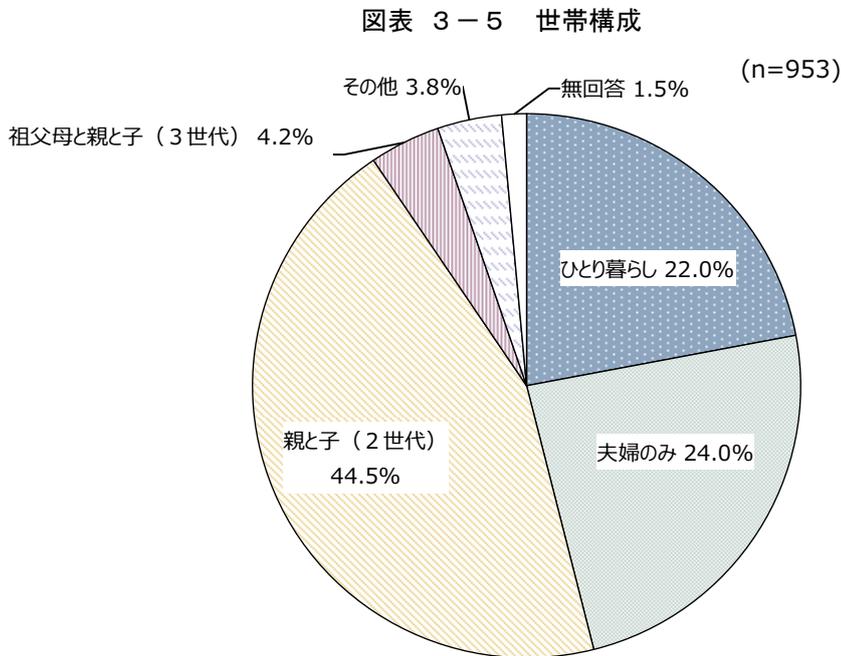


⑤世帯構成

問5 あなたと一緒に住んでいるご家族の構成（世帯構成）を教えてください。（SA）

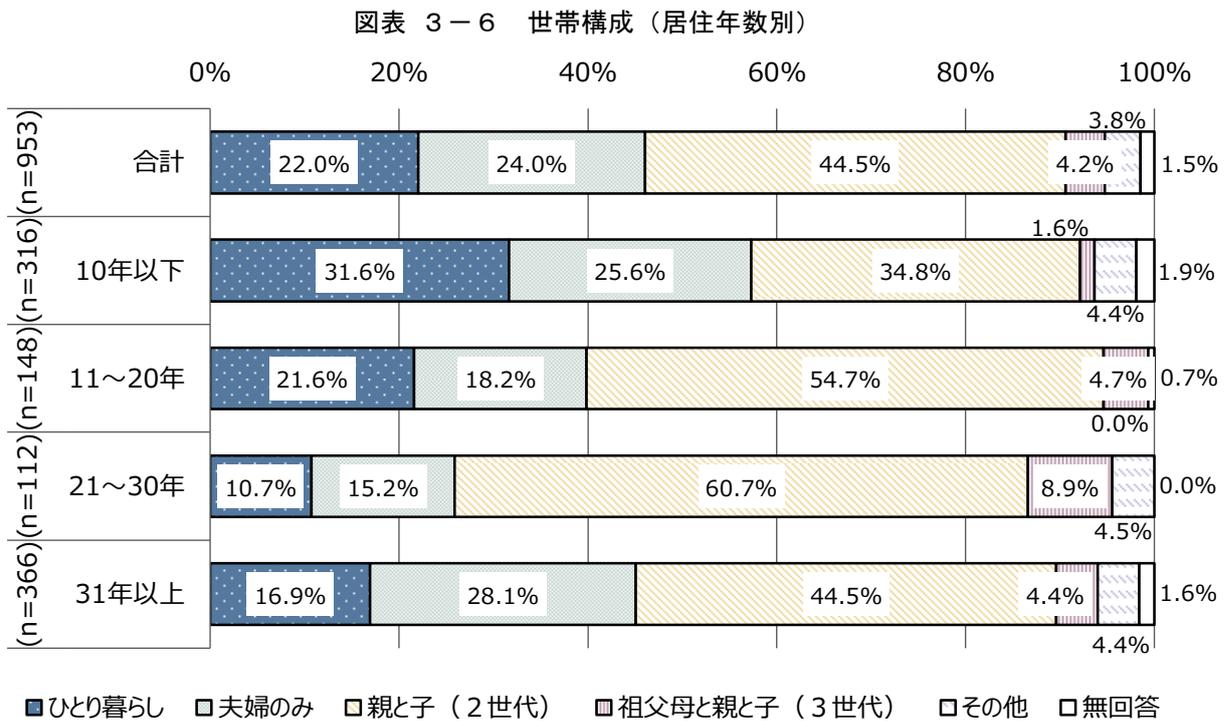
1) 全体

「親と子（2世代）」の割合が最も高く 44.5%である。次いで、「夫婦のみ（24.0%）」、「ひとり暮らし（22.0%）」となった。



2) 居住年数別

居住年数別にみると、「10年以下」で「ひとり暮らし」の割合が高く、「21～30年」で「祖父母と親と子（3世代）」の割合が高い。

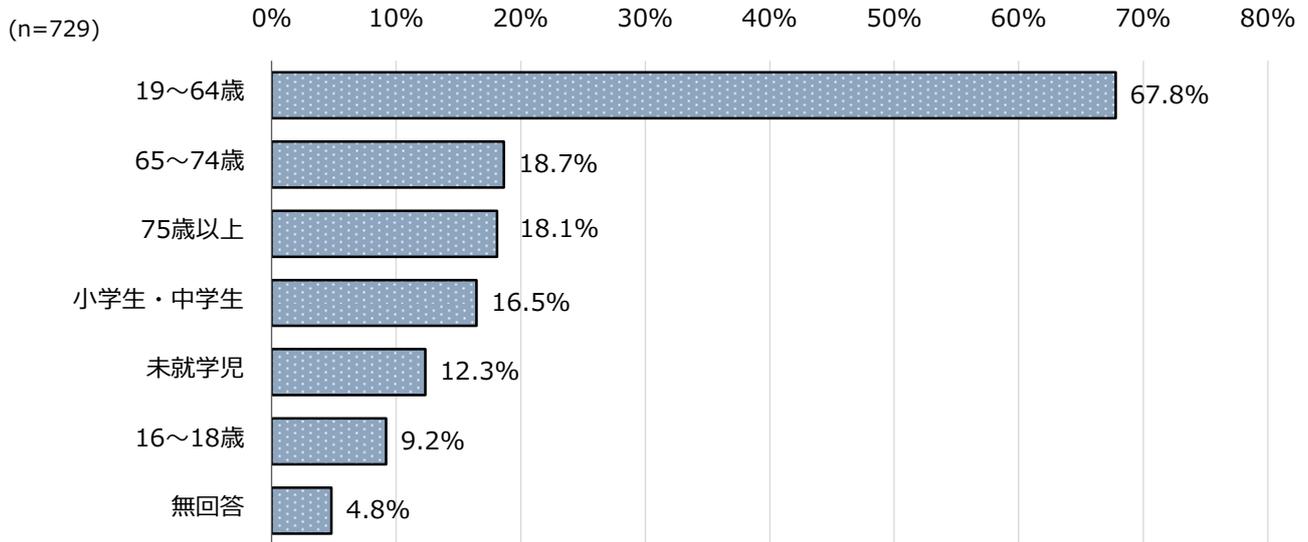


## ⑥家族構成

問6 一緒にお住まいのご家族について、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(MA)

一緒に住んでいる家族について、「19～64歳」の割合が最も高く67.8%である。次いで、「65～74歳(18.7%)」、「75歳以上(18.1%)」であり、「65歳以上」の家族がいる割合は36.8%となった。

図表 3-7 家族構成

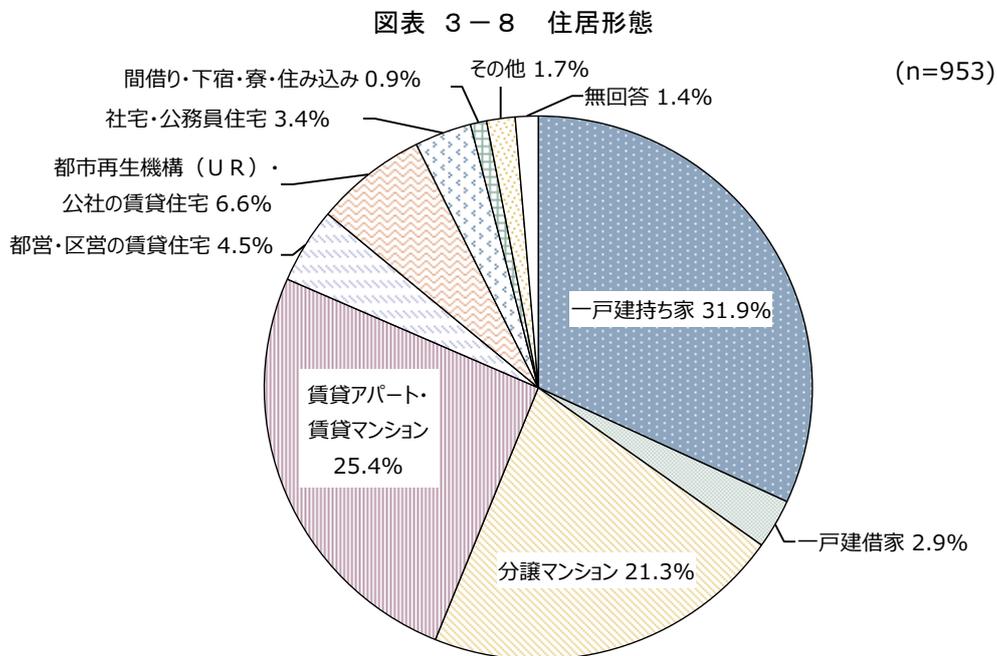


## ⑦住居形態

問7 あなたの現在のお住まいについて、次の中から1つだけ選んで○をつけてください。(SA)

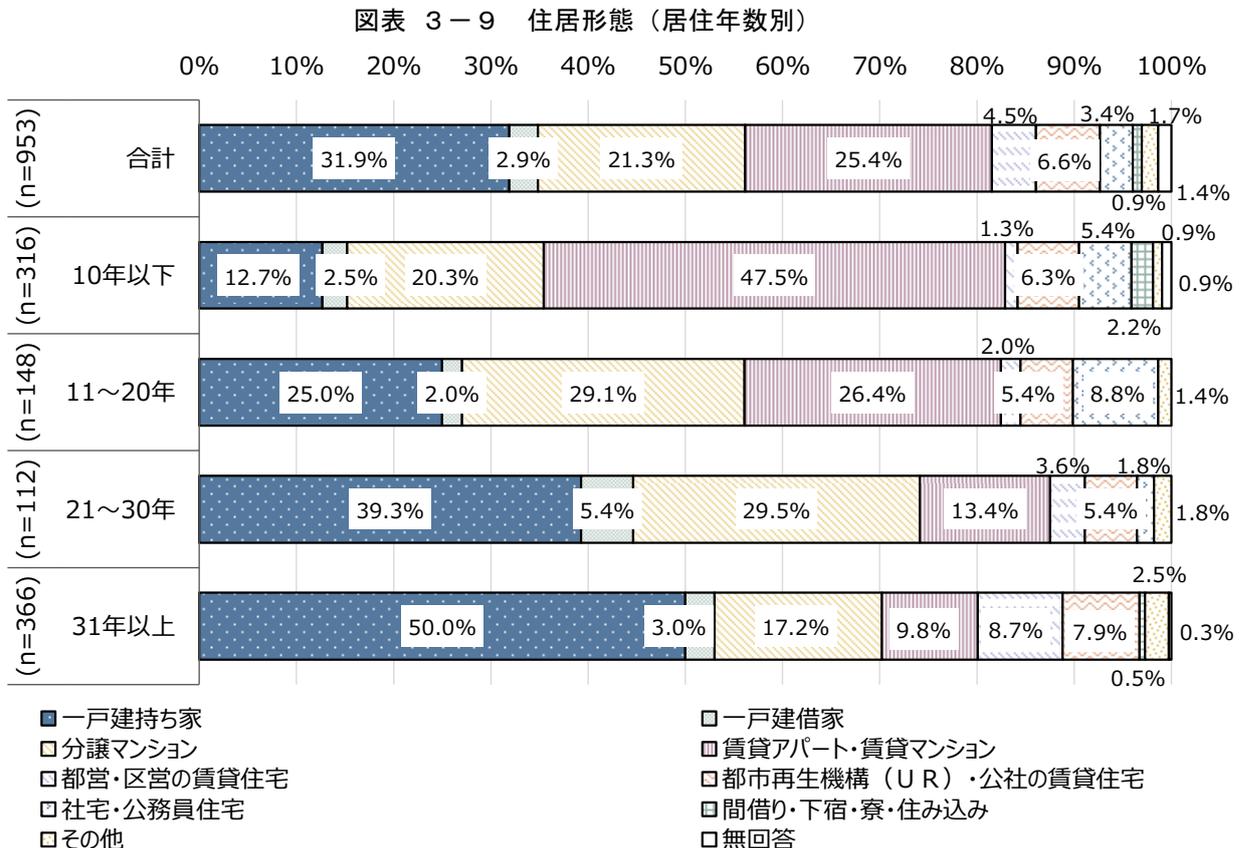
### 1) 全体

「一戸建持ち家」の割合が最も高く 31.9%である。次いで、「賃貸アパート・賃貸マンション (25.4%)」、「分譲マンション (21.3%)」となった。



### 2) 居住年数別

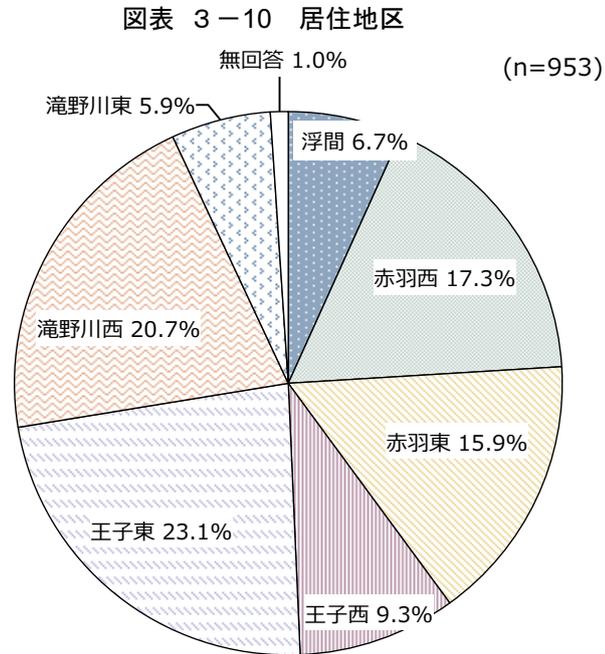
居住年数別にみると、「10年以下」で「賃貸アパート・賃貸マンション」の割合が高く、「31年以上」で「一戸建持ち家」の割合が高い。



## ⑧居住地区

問8 あなたの現在のお住まいの地区を、次の中から1つだけ選んで○をつけてください。(SA)

「王子東」の割合が最も高く23.1%である。次いで、「滝野川西(20.7%)」、「赤羽西(17.3%)」となった。

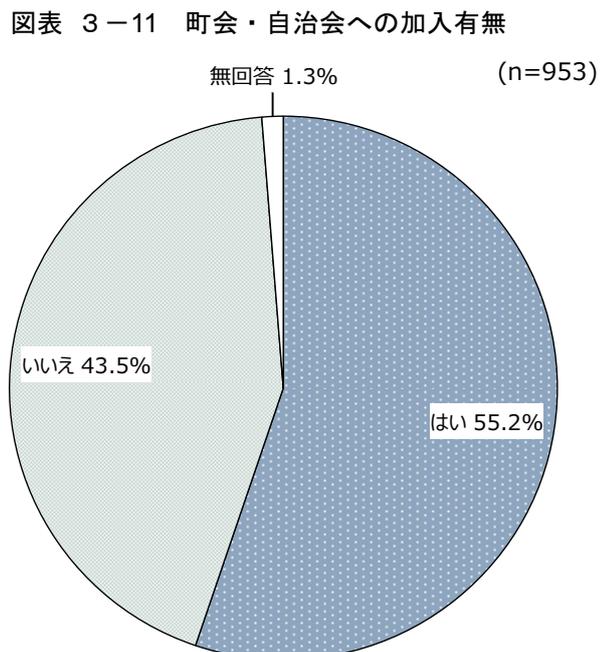


## ⑨町会・自治会への加入

問9 あなたは、町会・自治会に加入していますか。(SA)

### 1) 全体

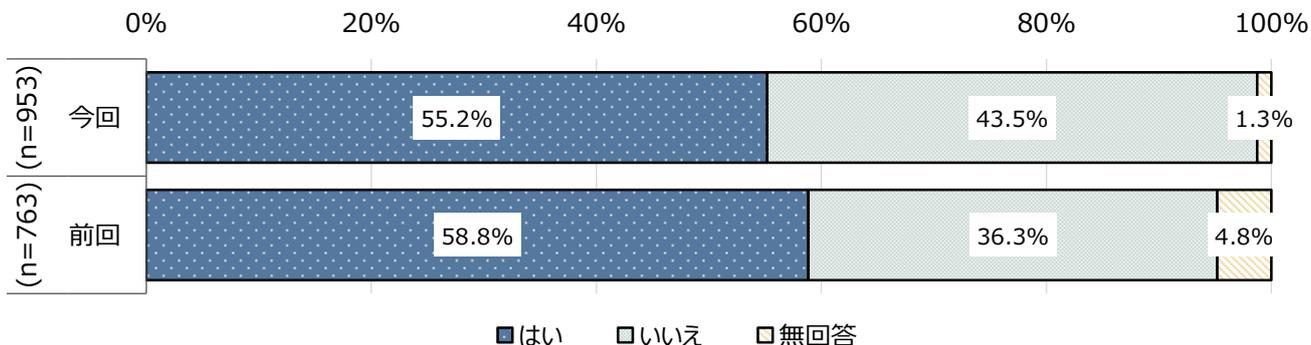
「はい」の割合が55.2%、「いいえ」の割合が43.5%となった。



## 2) 経年比較

前回調査と比較すると、「はい」の割合がやや低下し、「いいえ」の割合が上昇している。

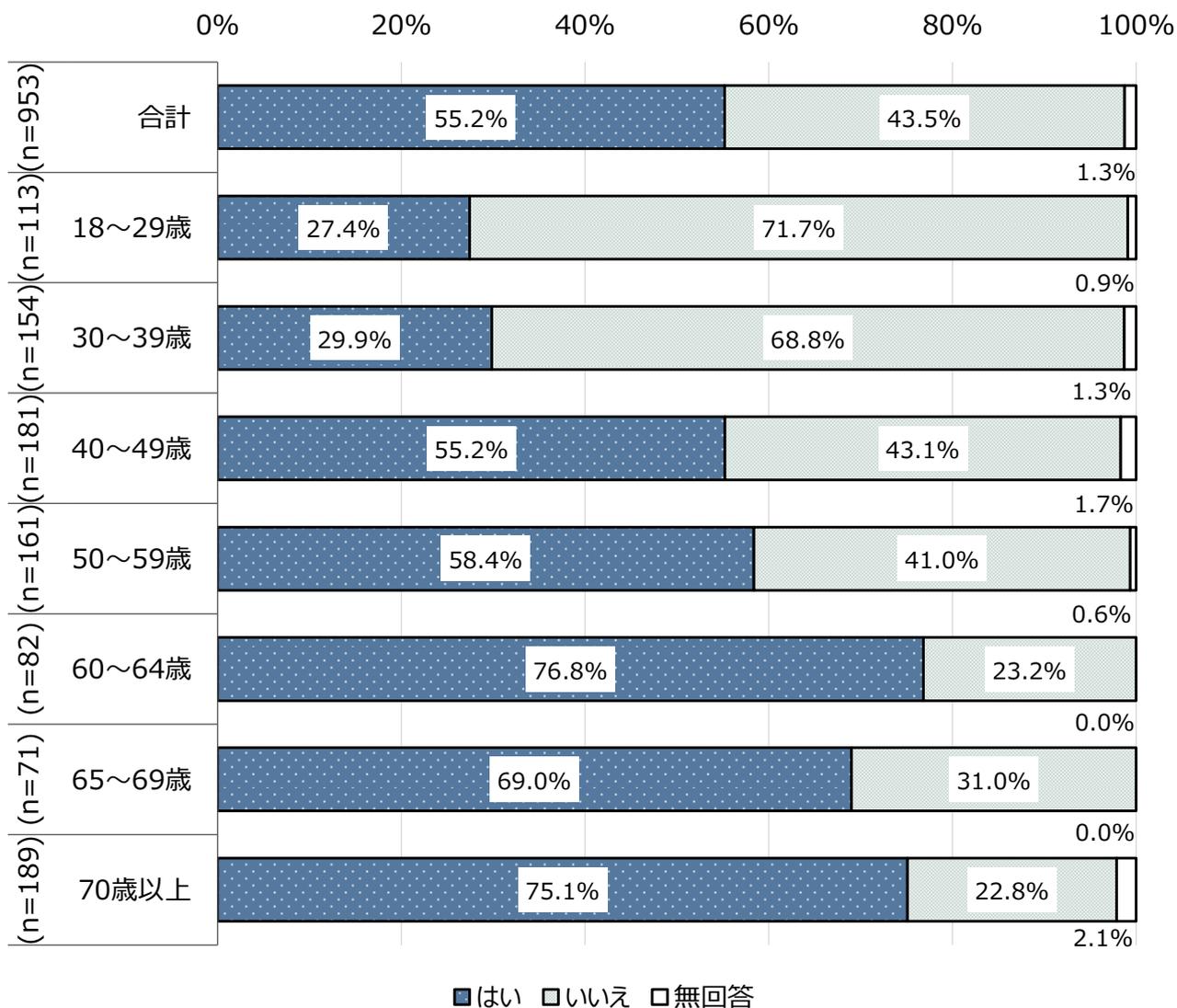
図表 3-12 町会・自治会への加入有無（経年比較）



## 3) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」「30～39歳」で「いいえ」の割合が高く、特に「60～64歳」「65～69歳」「70歳以上」において「はい」の割合が高い。

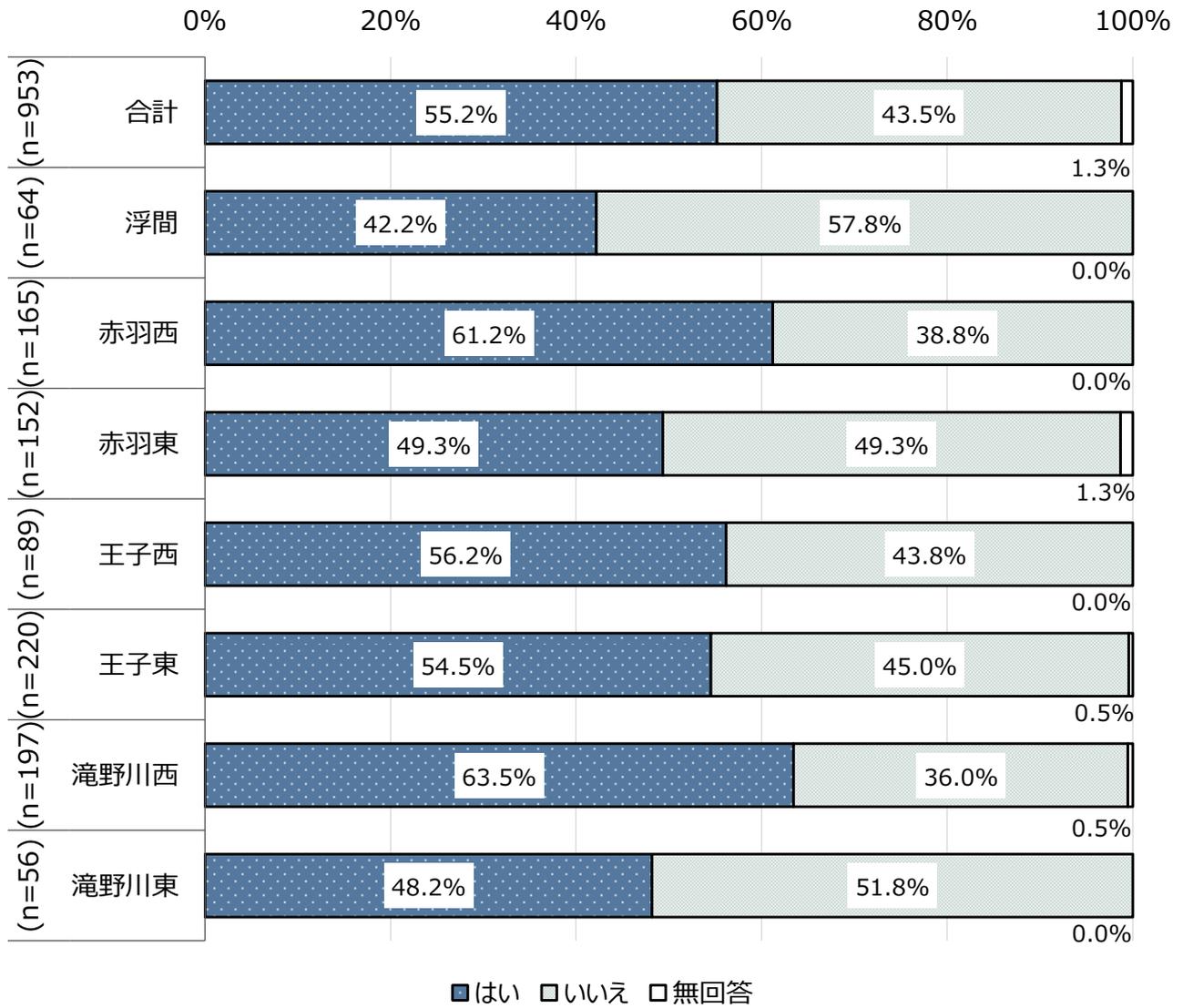
図表 3-13 町会・自治会への加入有無（年齢別）



#### 4) 居住地区別

居住地区別にみると、「浮間」「滝野川東」で「いいえ」の割合が高く、「赤羽西」「王子西」「王子東」「滝野川西」では「はい」の割合が高い。

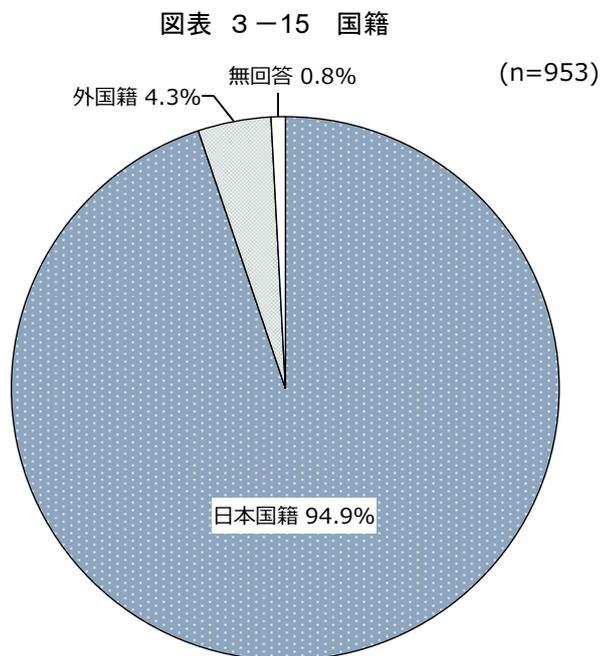
図表 3-14 町会・自治会への加入有無（居住地区別）



⑩国籍

問10 あなたの国籍はどちらですか。(SA)

「日本国籍」の割合が94.9%、「外国籍」の割合が4.3%となった。



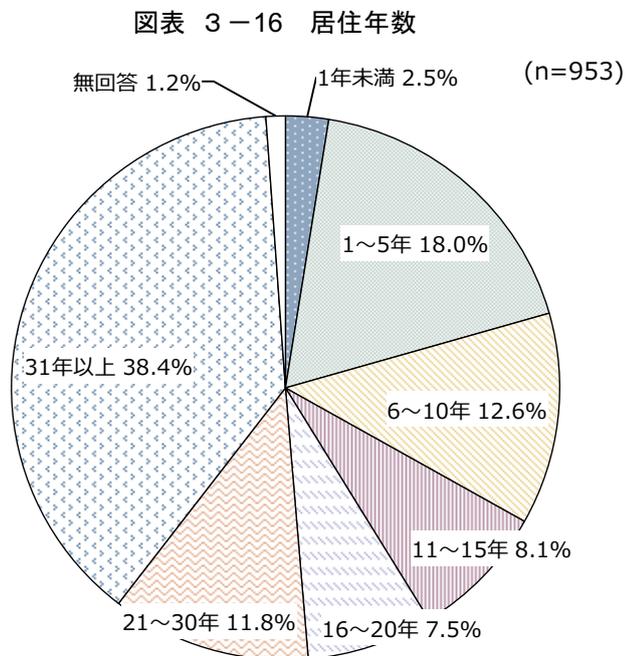
## (2) 定住意向について

### ①居住年数

問11 北区に住んでいる年数を次の中から1つだけ選んで○をつけてください。(SA)

#### 1) 全体

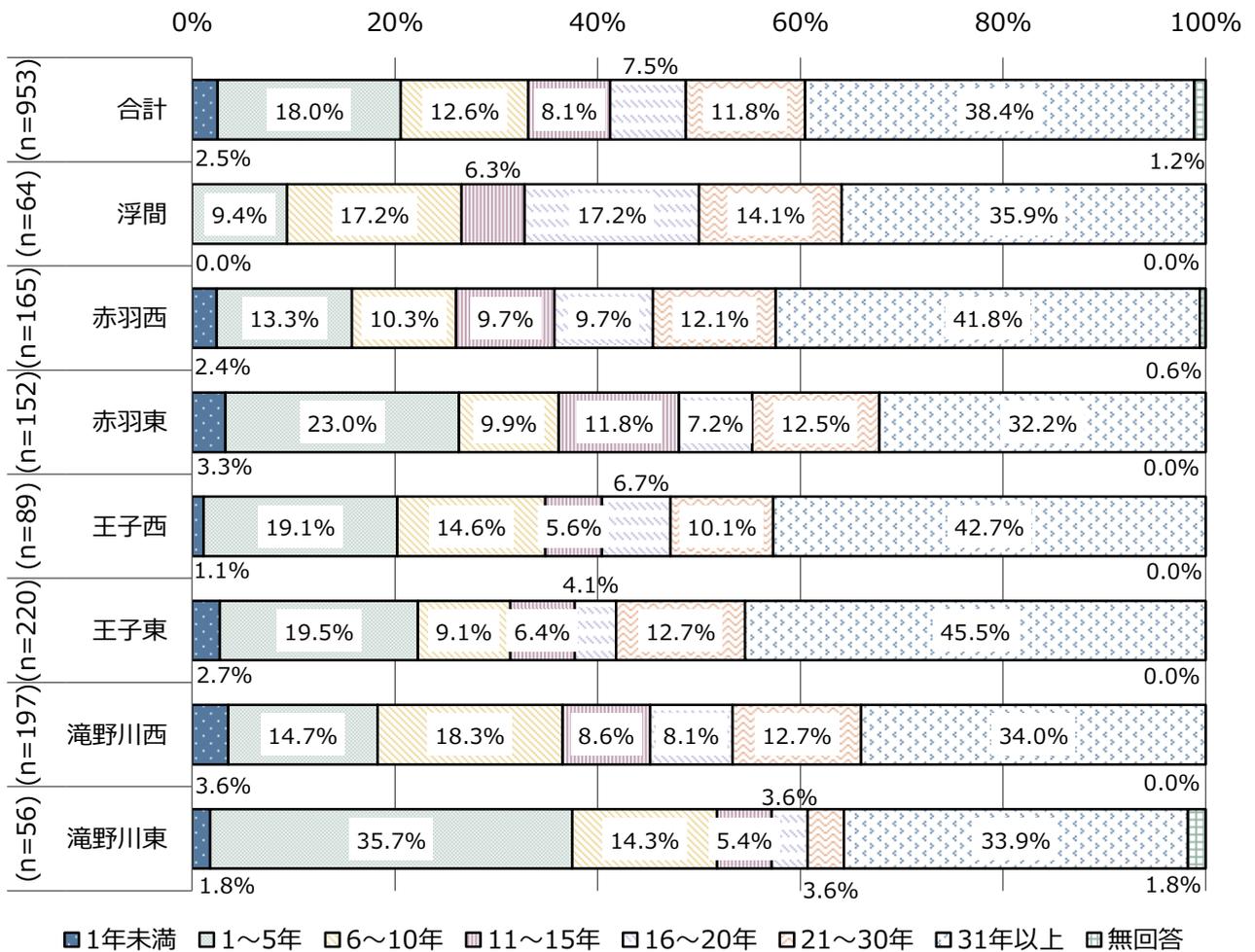
「31年以上」の割合が最も高く38.4%である。次いで、「1～5年(18.0%)」、「6～10年(12.6%)」となった。



## 2) 地区別

地区別にみると、「滝野川東」で「1～5年」の割合が、「王子西」「王子東」などで「31年以上」の割合が相対的に高い。

図表 3-17 居住年数（地区別）

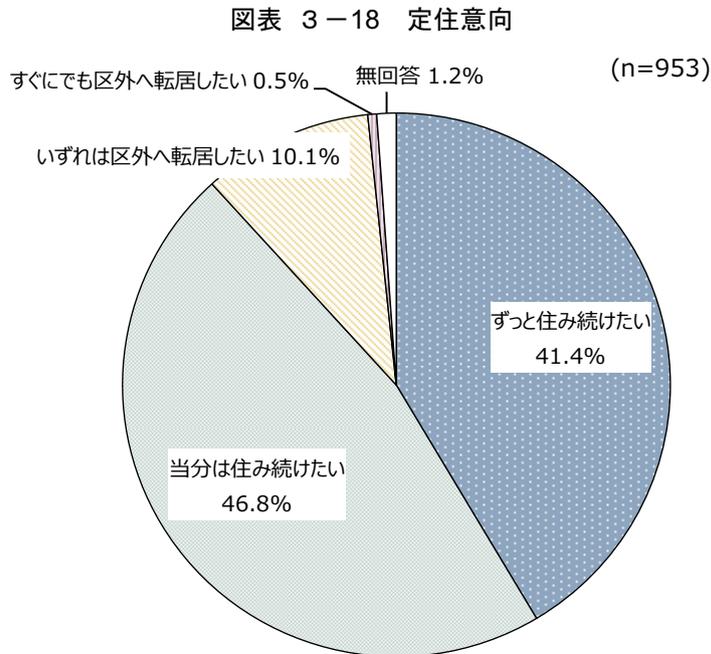


## ②定住意向

問12 あなたは、北区にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。(SA)

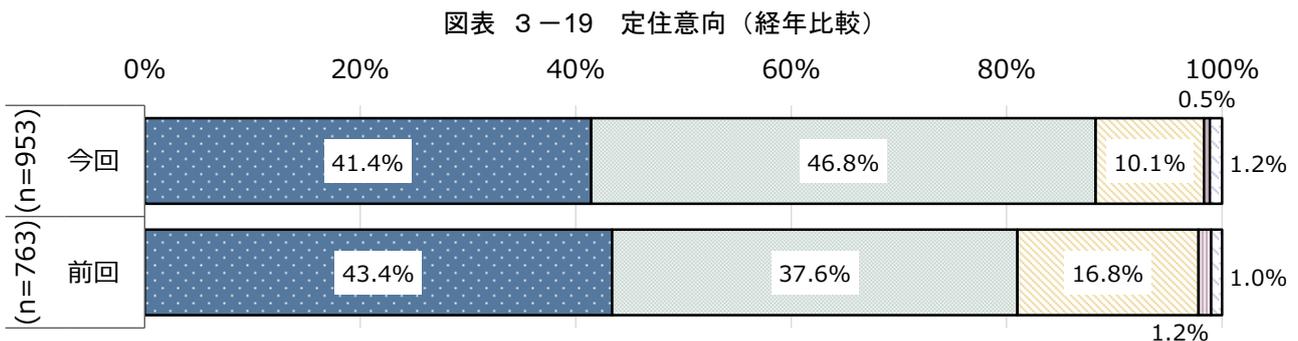
### 1) 全体

「当分は住み続けたい」の割合が最も高く 46.8%である。次いで、「ずっと住み続けたい (41.4%)」、「いずれは区外へ転居したい (10.1%)」となった。



### 2) 経年比較

前回調査と比較すると、「当分は住み続けたい」の割合が上昇し、「いずれは区外へ転居したい」の割合が低下している。

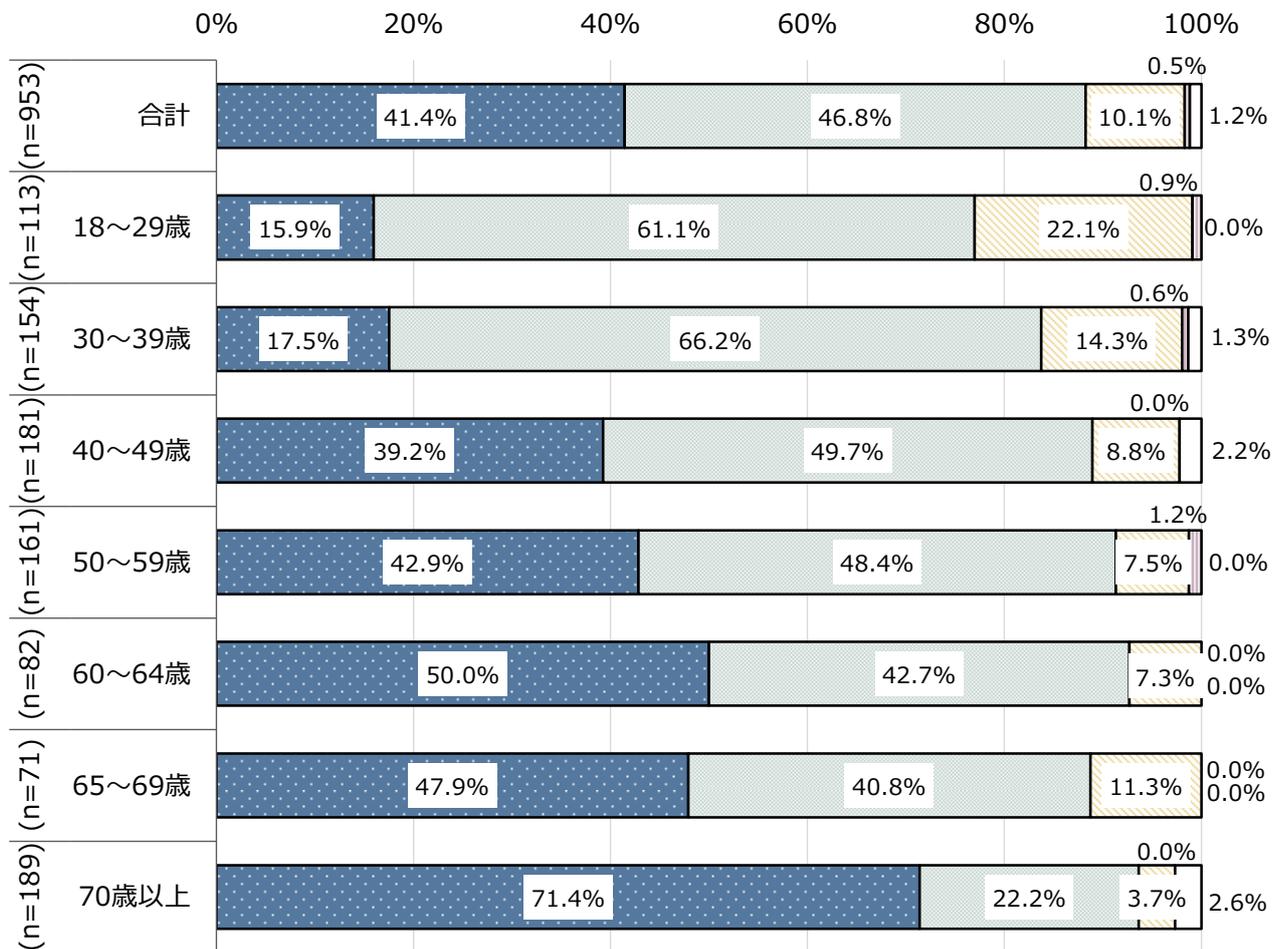


■ ずっと住み続けたい □ 当分は住み続けたい □ いずれは区外へ転居したい □ すぐにも区外へ転居したい □ 無回答

### 3) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」「30歳～39歳」で「当分は住み続けたい」の割合が高く、年齢が高くなるほど「ずっと住み続けたい」の割合が高い。

図表 3-20 定住意向（年齢別）

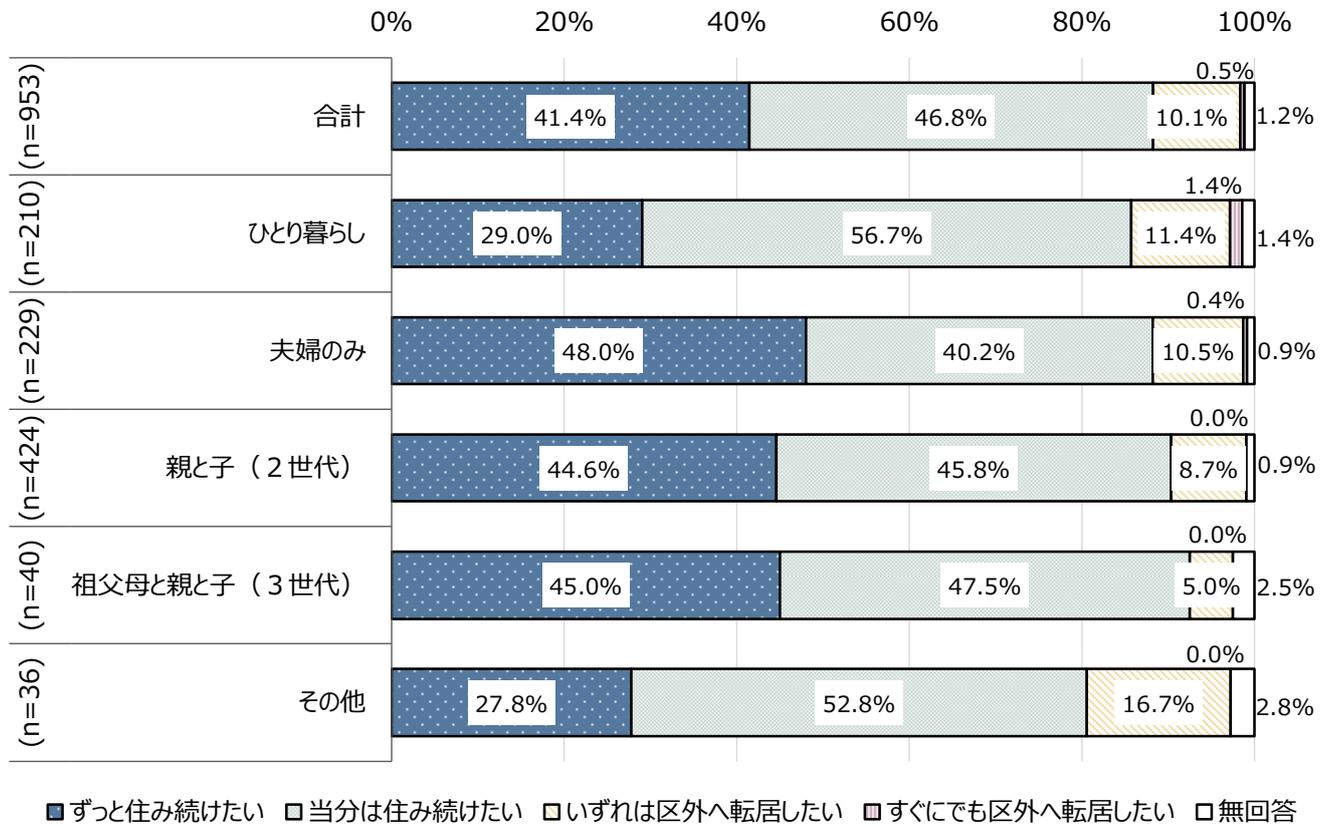


■ ずっと住み続けたい □ 当分は住み続けたい □ いずれは区外へ転居したい □ すぐにも区外へ転居したい □ 無回答

#### 4) 世帯構成別

世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」「その他」で「当分は住み続けたい」の割合が高く、「夫婦のみ」では「ずっと住み続けたい」の割合が高い。

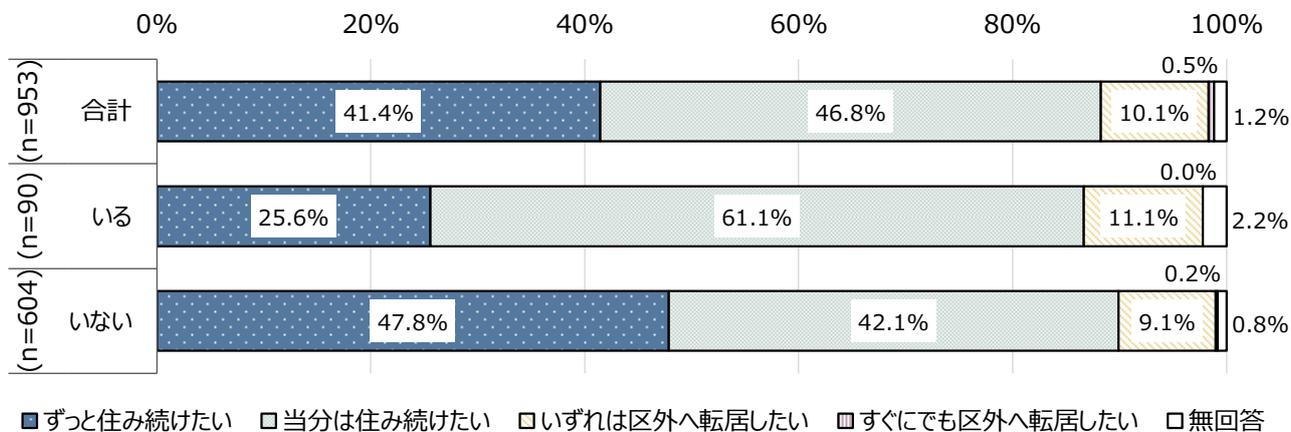
図表 3-21 定住意向（世帯構成別）



## 5) 家族構成別

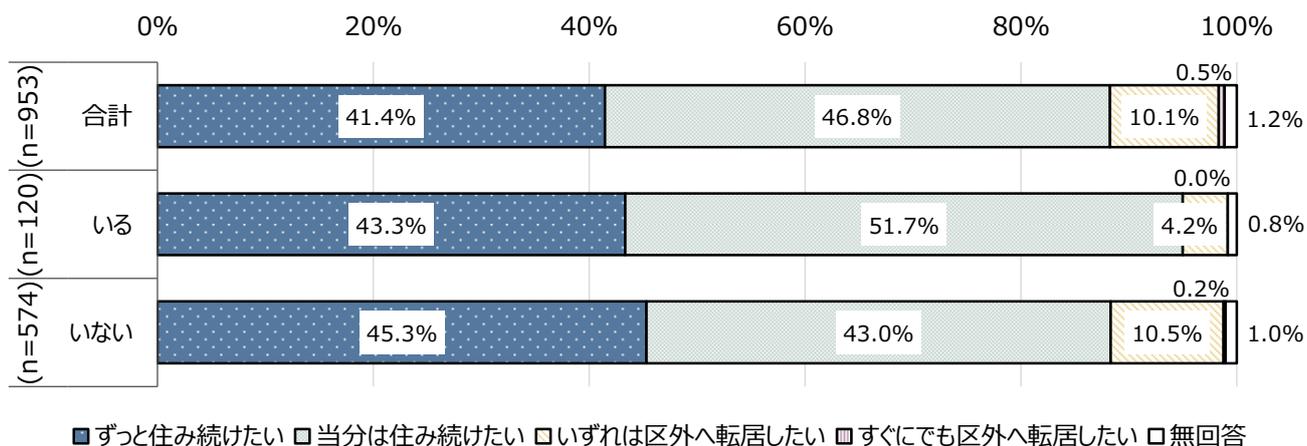
家族構成（未就学児の子どもの有無）別にみると、「いる」で「当分は住み続けたい」の割合が高く、「いない」では「ずっと住み続けたい」の割合が高い。

図表 3-22 定住意向（家族構成別：未就学児の子どもの有無）



家族構成（小・中学生の子どもの有無）別にみると、顕著な差はみられなかった。

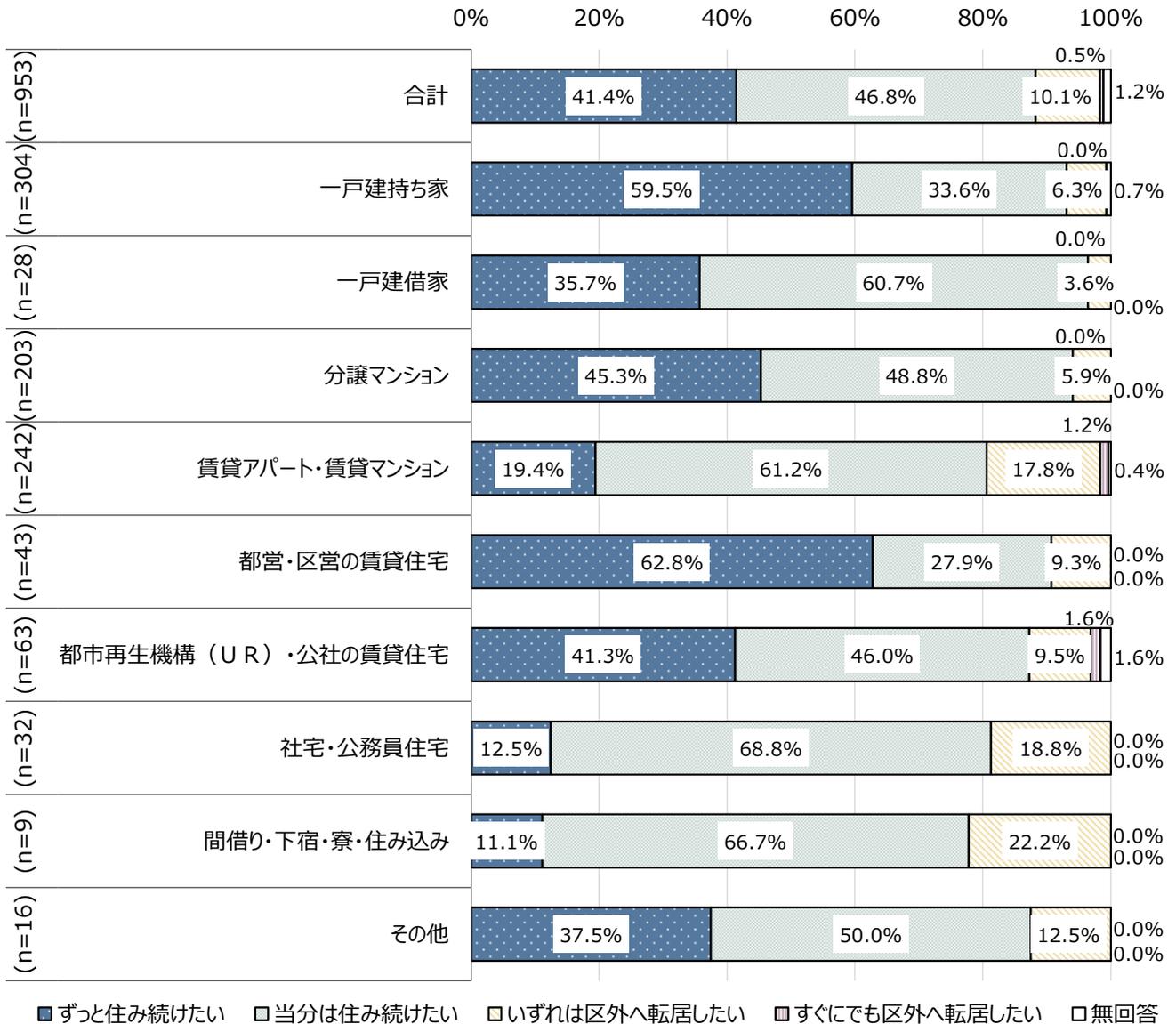
図表 3-23 定住意向（家族構成別：小・中学生の子どもの有無）



## 6) 住居形態別

住居形態別にみると、「一戸建持ち家」「都営・区営の賃貸住宅」で「ずっと住みたい」の割合が高く、「一戸建借家」「分譲マンション」「賃貸アパート・賃貸マンション」「都市再生機構（UR）・公社の賃貸住宅」「社宅・公務員住宅」「間借り・下宿・寮・住み込み」では「当分は住みたい」の割合が高い。

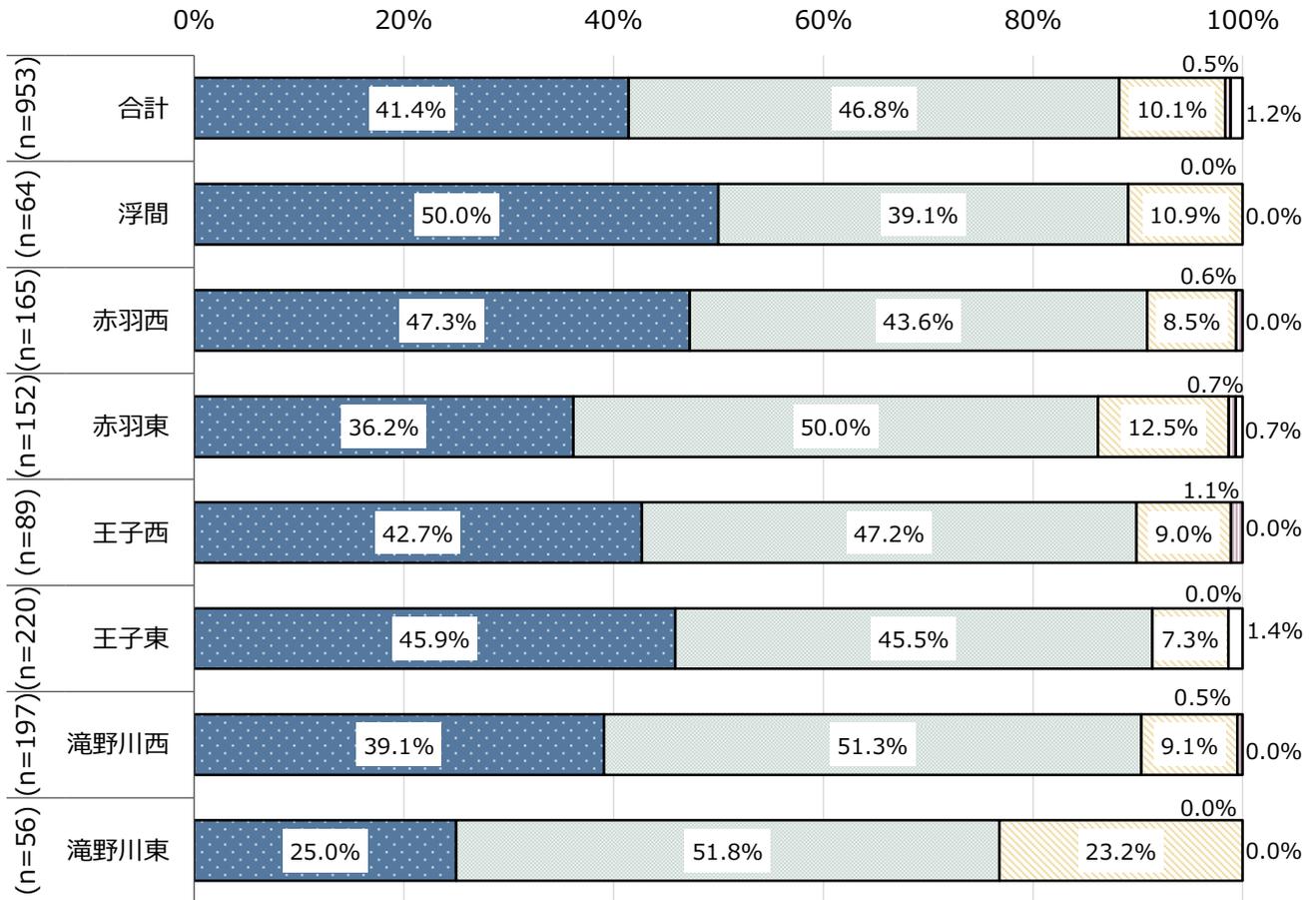
図表 3-24 定住意向（住居形態別）



## 7) 居住地区別

居住地区別にみると、「浮間」で「ずっと住み続けたい」の割合が高く、「赤羽東」「滝野川西」「滝野川東」では「当分は住み続けたい」の割合が高い。なお、「滝野川東」では「いずれは区外へ転居したい」の割合が他地区と比べて高い。

図表 3-25 定住意向（居住地区別）

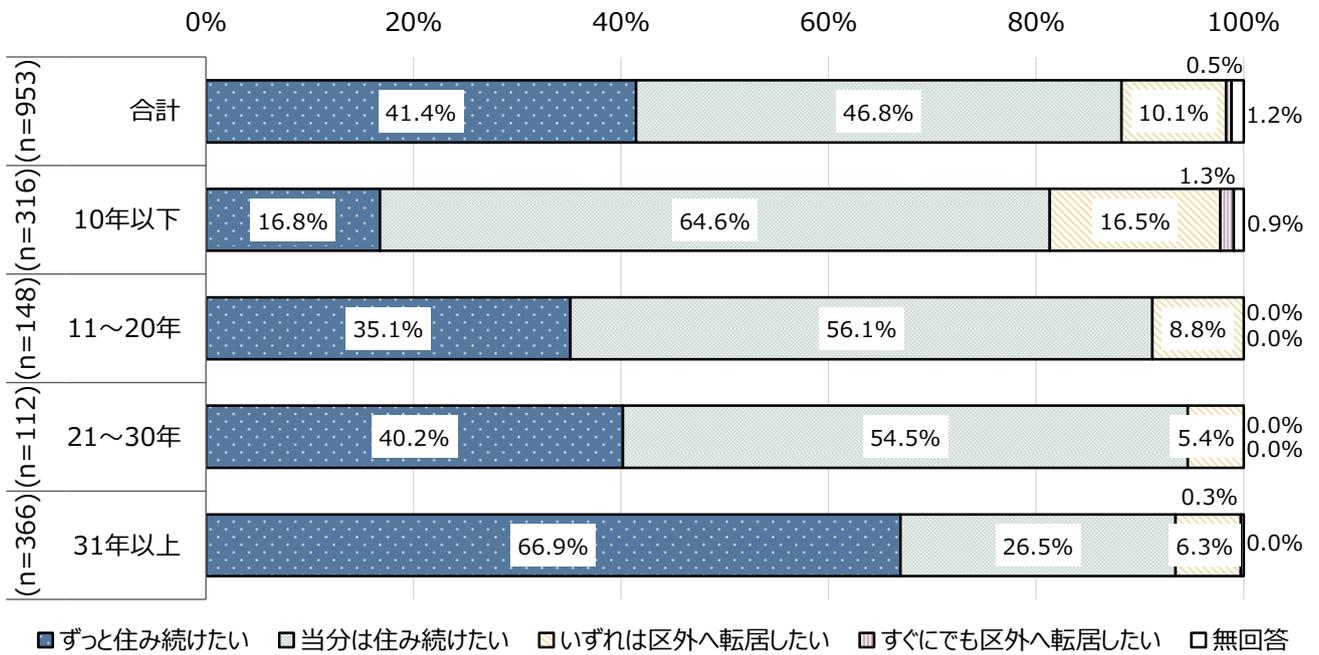


■ ずっと住み続けたい □ 当分は住み続けたい □ いずれは区外へ転居したい □ すぐにでも区外へ転居したい □ 無回答

### 8) 居住年数別

居住年数別にみると、「10年以下」で「当分は住み続けたい」の割合が高く、居住年数が長くなるほど、「ずっと住み続けたい」の割合が高い。

図表 3-26 定住意向（居住年数別）



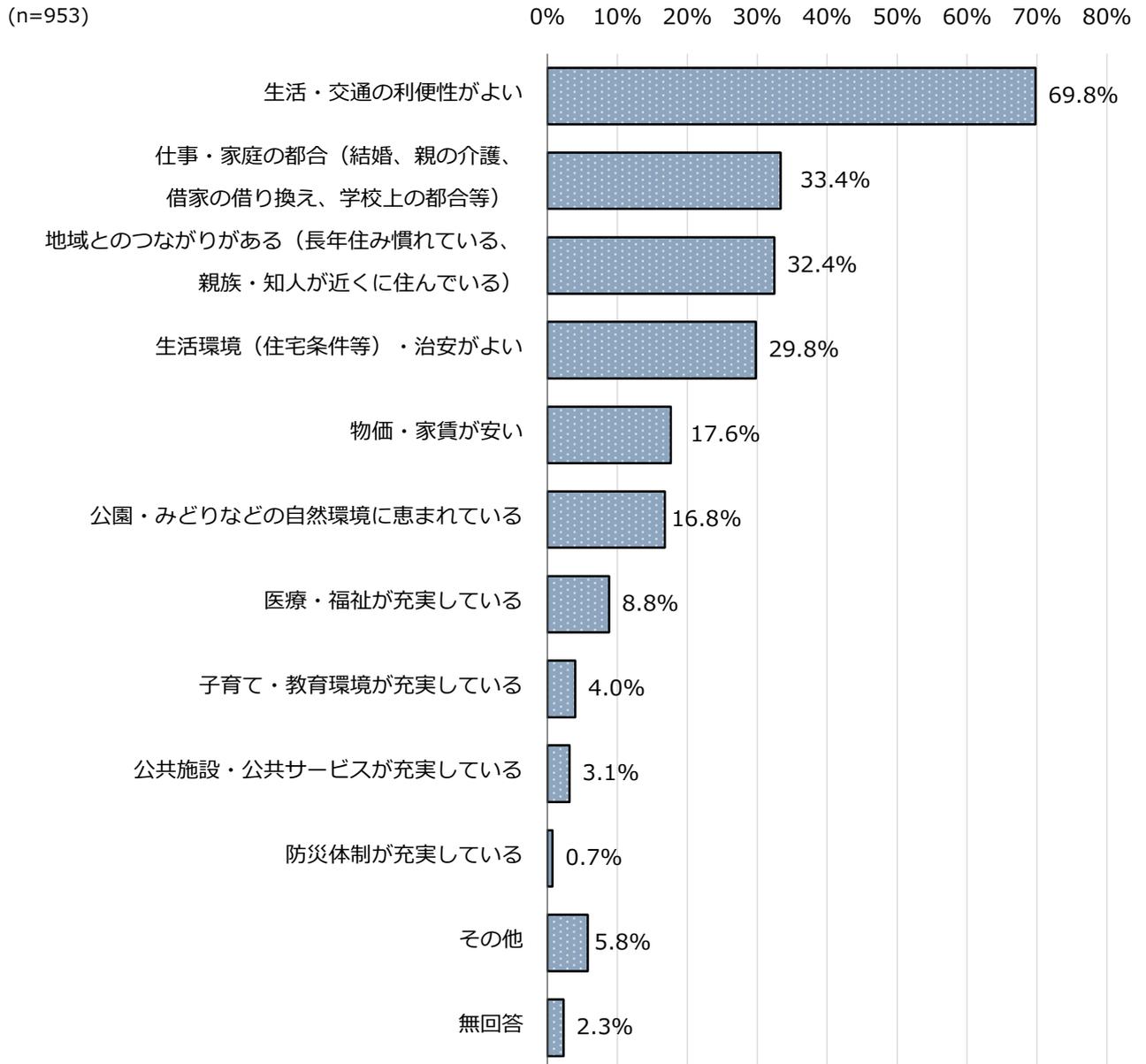
### ③居住理由

問13 あなたが北区に住んでいる理由は何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。(MA (3))

#### 1) 全体

「生活・交通の利便性がよい」の割合が最も高く69.8%である。次いで、「仕事・家庭の都合（結婚、親の介護、借家の借り換え、学校上の都合等）（33.4%）」、「地域とのつながりがある（長年住み慣れている、親族・知人が近くに住んでいる）（32.4%）」となった。

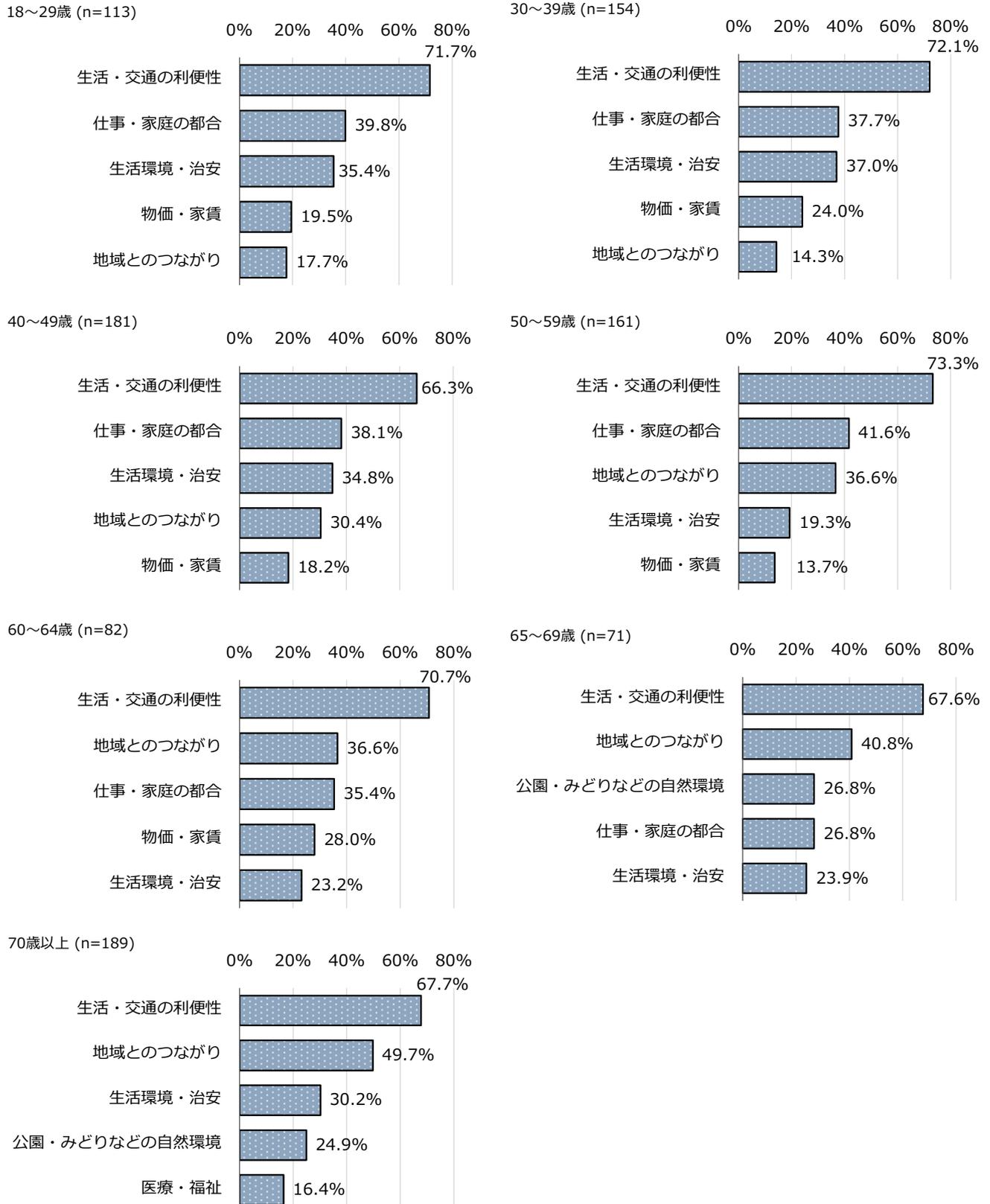
図表 3-27 居住理由



## 2) 年齢別

年齢別にみると、いずれも「生活・交通の利便性」の割合が最も高い。第2位は、「18～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」で「仕事・家庭の都合」、「60～64歳」「65～69歳」「70歳以上」で「地域とのつながり」となった。

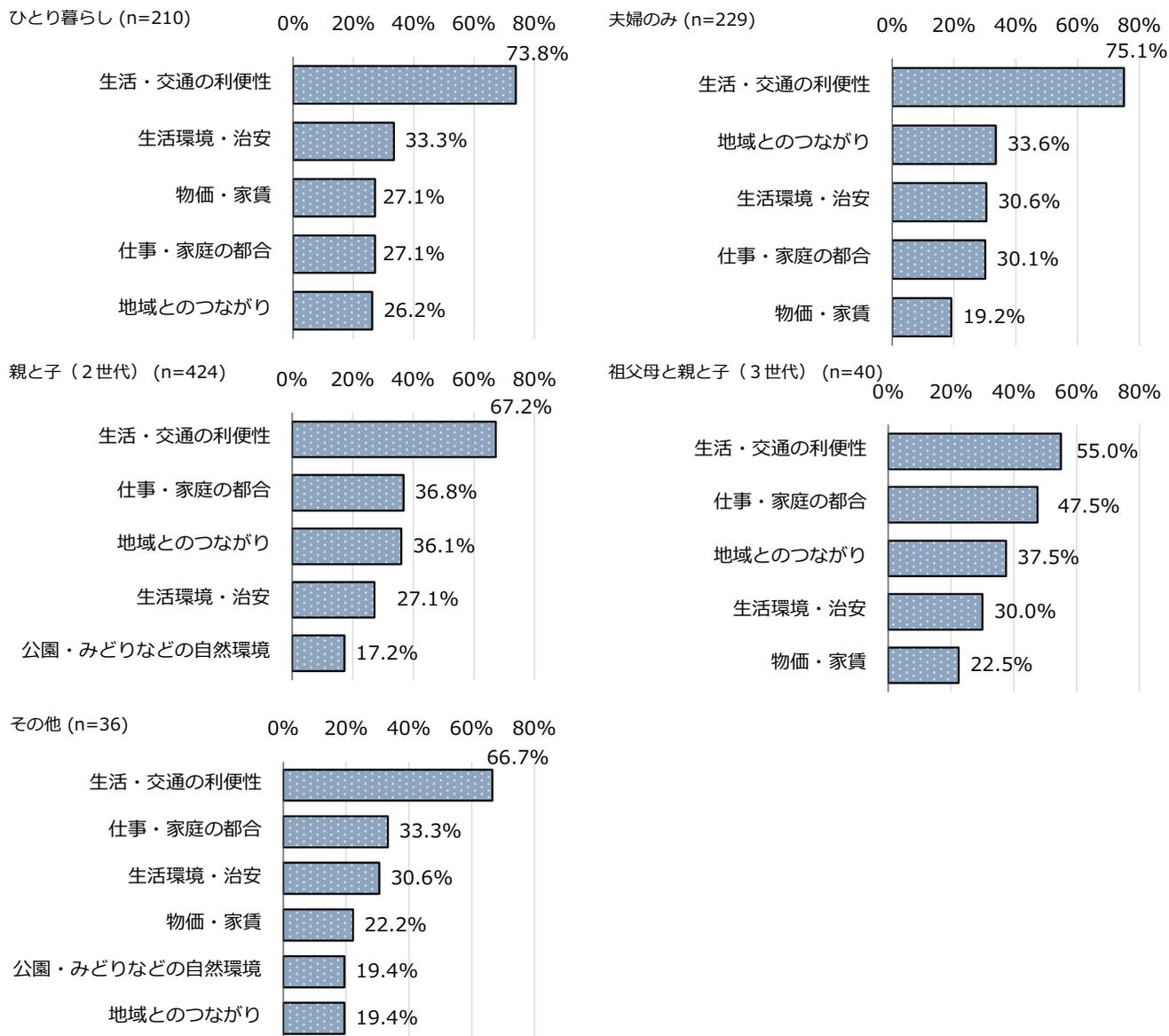
図表 3-28 居住理由（年齢別：上位5位）



### 3) 世帯構成別

世帯構成別にみると、いずれも「生活・交通の利便性」の割合が最も高い。第2位は、「ひとり暮らし」で「生活環境・治安」、「夫婦のみ」で「地域とのつながり」、「親と子（2世代）」「祖父母と親と子（3世代）」で「仕事・家庭の都合」となった。

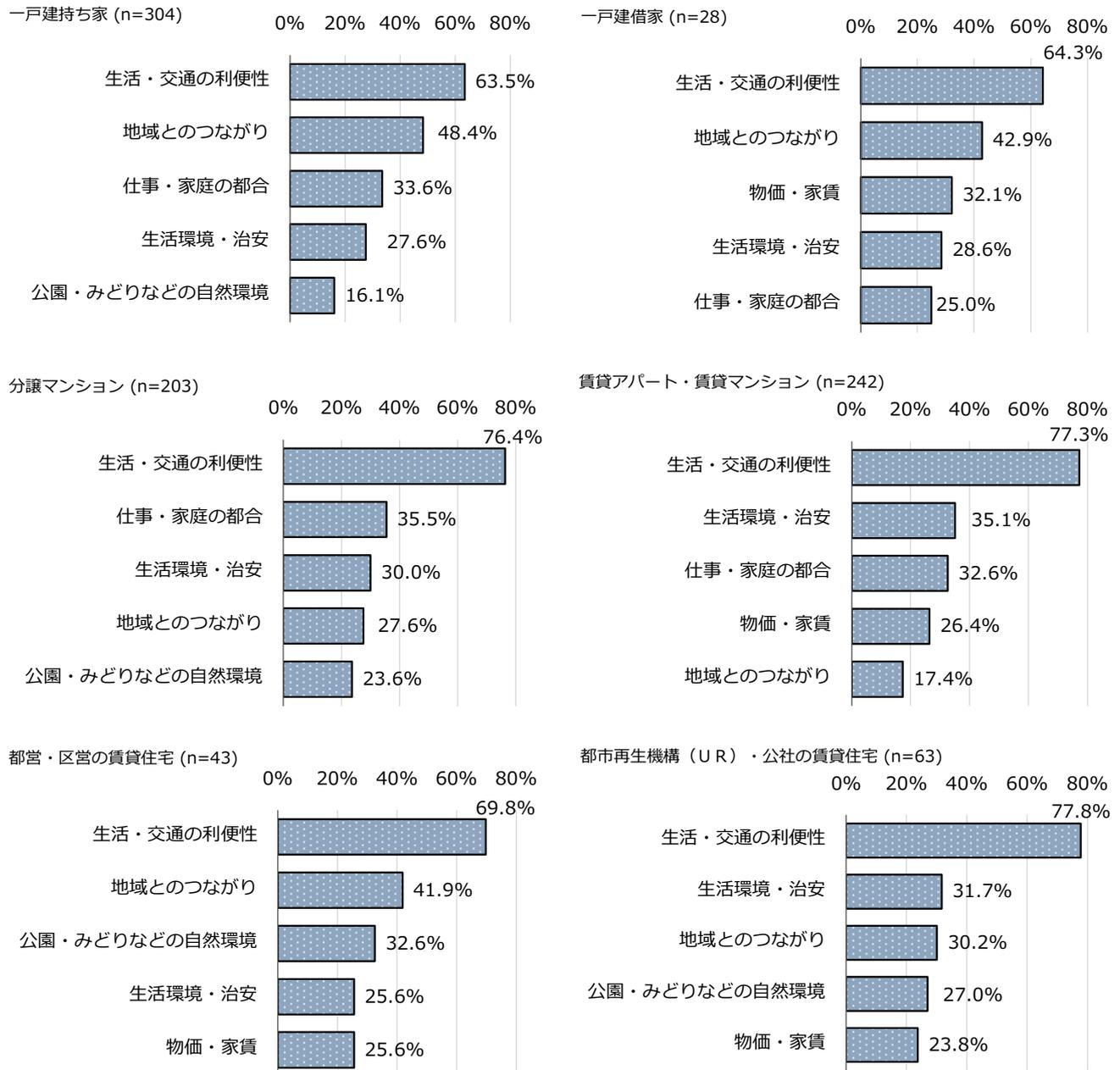
図表 3-29 居住理由（世帯構成別：上位5位）

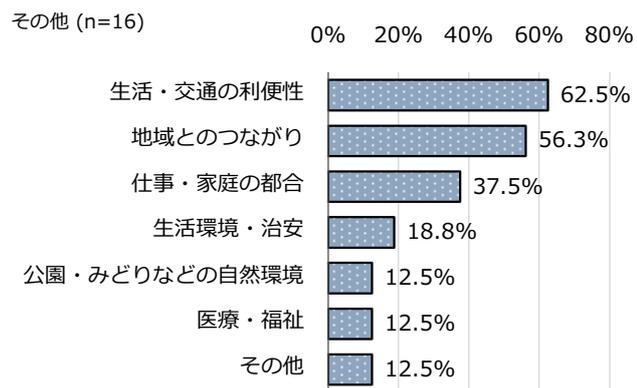
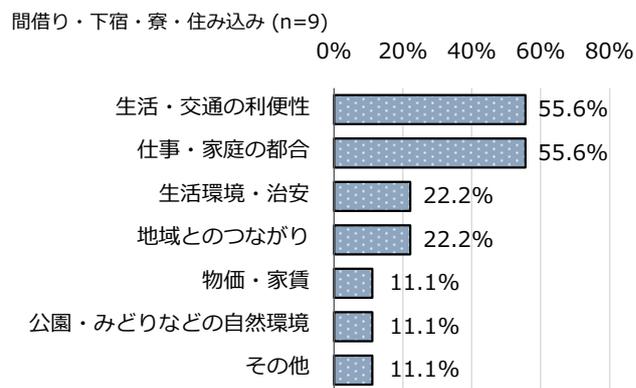
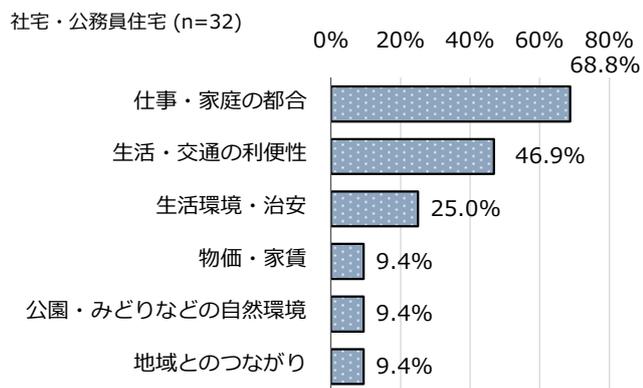


#### 4) 住居形態別

住居形態別にみると、「一戸建持ち家」「一戸建借家」「分譲マンション」「賃貸アパート・賃貸マンション」「都営・区営の賃貸住宅」「都市再生機構（UR）・公社の賃貸住宅」「その他」で「生活・交通の利便性」の割合が最も高く、「社宅・公務員住宅」では「仕事・家庭の都合」が最も高い。なお、「間借り・下宿・寮・住み込み」では「仕事・家庭の都合」「生活・交通の利便性」の割合が同率で最も高い。

図表 3-30 居住理由（住居形態別：上位5位）

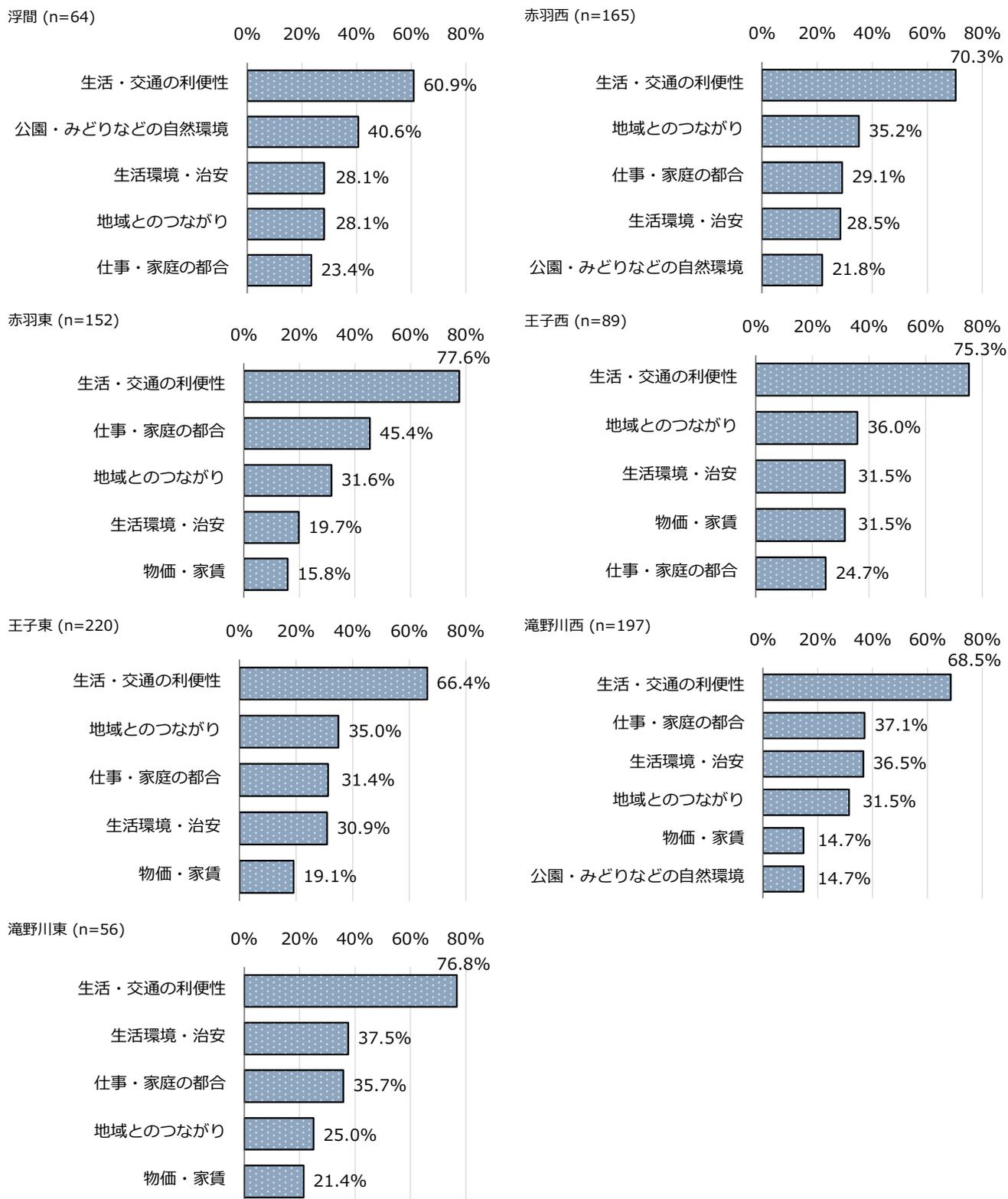




## 5) 居住地区別

居住地区別にみると、いずれも「生活・交通の利便性」の割合が最も高い。第2位は、「浮間」が「公園・みどりなどの自然環境」、「赤羽西」「王子西」「王子東」で「地域とのつながり」、「赤羽東」「滝野川西」で「仕事・家庭の都合」、「滝野川東」で「生活環境・治安」となった。

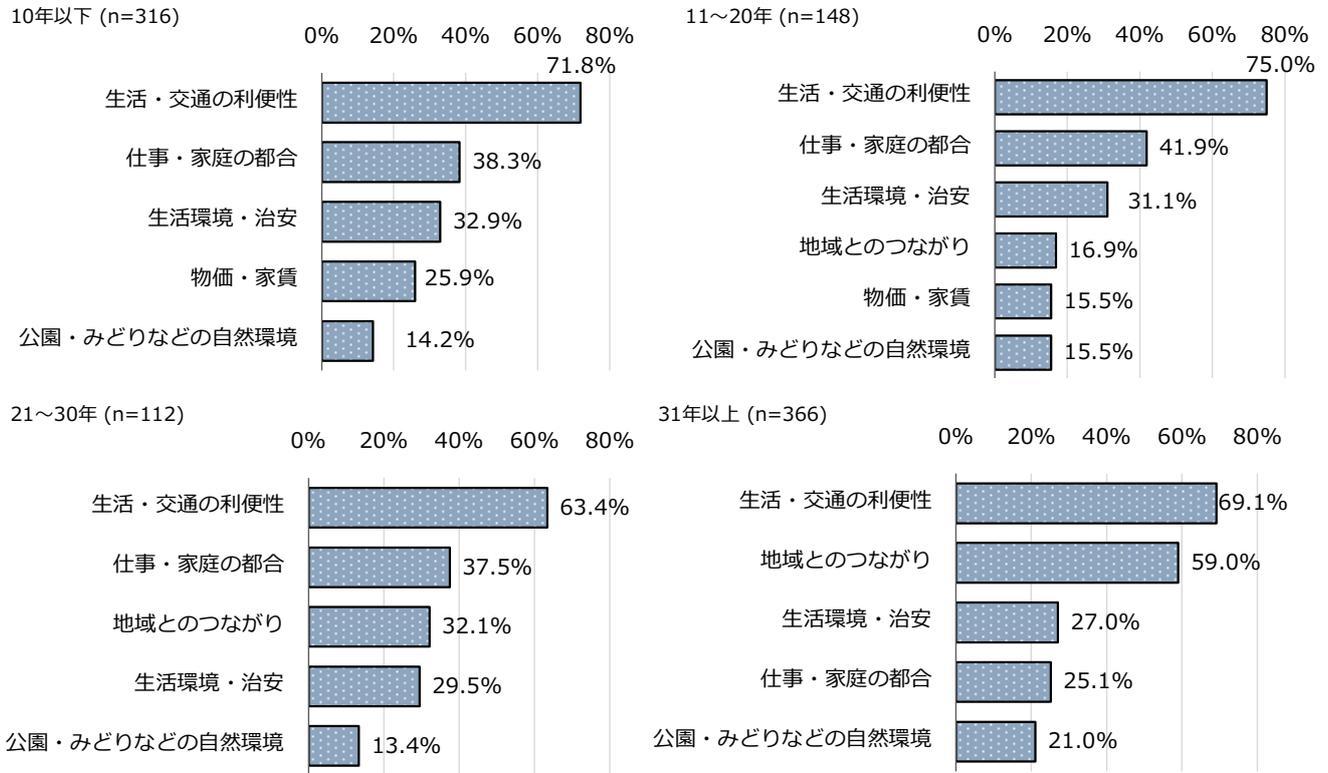
図表 3-31 居住理由（居住地区別：上位5位）



## 6) 居住年数別

居住年数別にみると、いずれも「生活・交通の利便性」の割合が最も高い。第2位は、「10年以下」「11～20年」「21～30年」で「仕事・家庭の都合」、「31年以上」で「地域とのつながり」となった。

図表 3-32 居住理由（居住年数別：上位5位）



### (3) シビックプライドについて

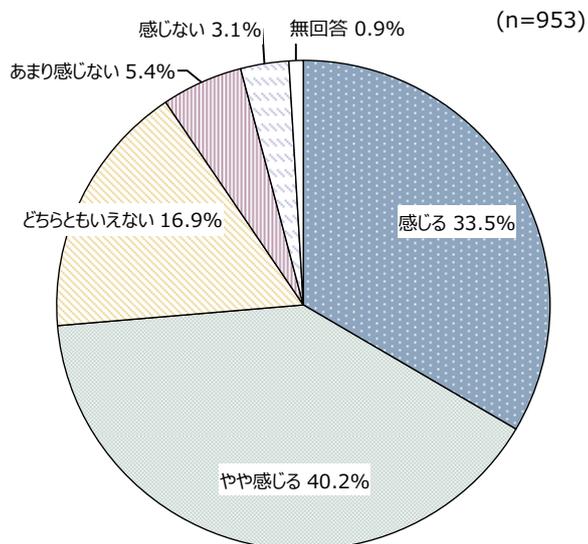
#### ①北区への愛着

問14 あなたは、北区に愛着を感じますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。(SA)

##### 1) 全体

「やや感じる」の割合が最も高く 40.2%である。次いで、「感じる (33.5%)」、「どちらともいえない (16.9%)」となった。

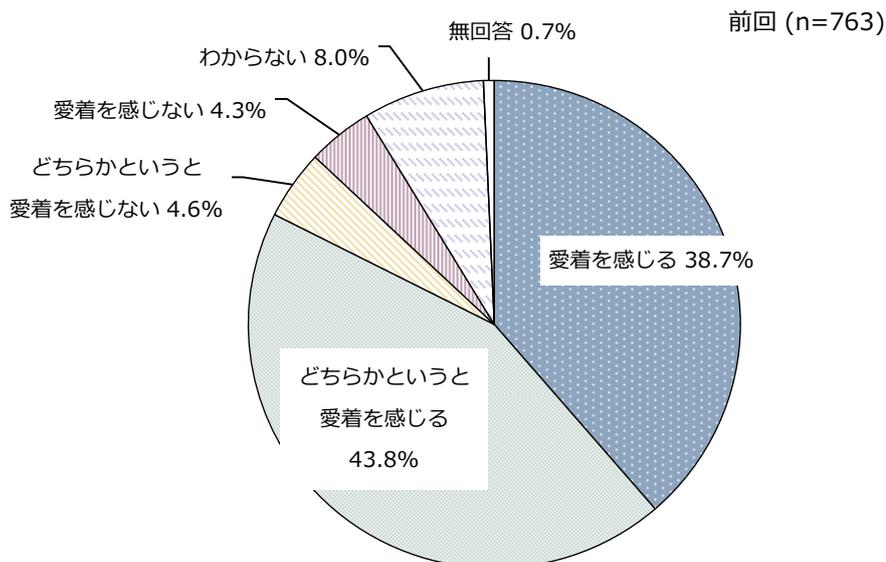
図表 3-33 北区への愛着



##### 2) 経年比較 (参考)

前回調査では北区への「愛着を感じる」「どちらかというと愛着を感じる」の合計割合が 82.5%であり、今回調査の愛着を「感じる」「やや感じる」の合計割合である 73.7%を上回っている。ただし、今回調査では「どちらともいえない」の割合が 16.9%となっている点に留意が必要である。

図表 3-34 北区への愛着 (参考：前回調査)

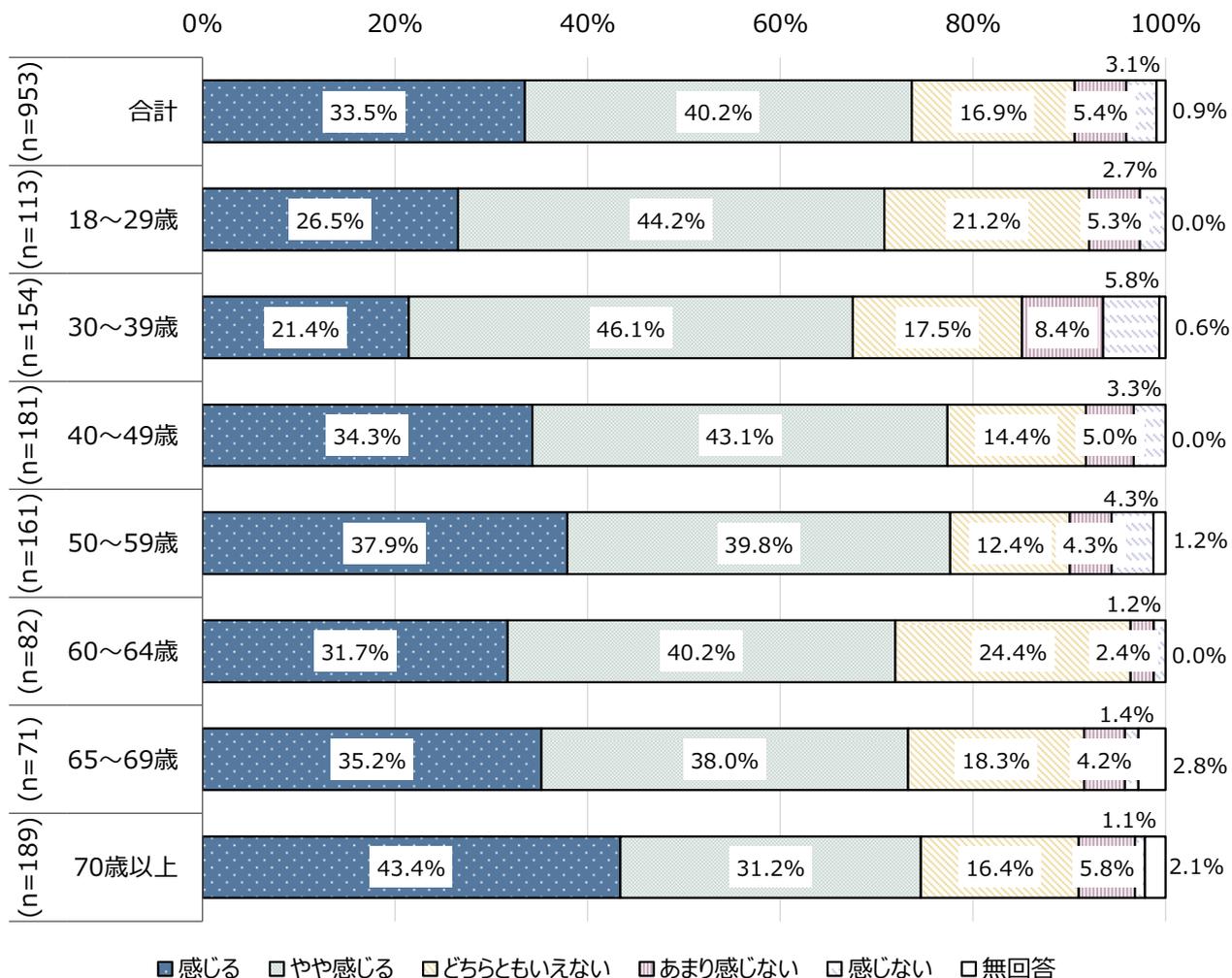


注) 今回調査では北区への愛着を「感じる」「やや感じる」「どちらともいえない」「あまり感じない」「感じない」の5段階尺度であるが、前回調査では「愛着を感じる」「どちらかというと愛着を感じる」「どちらかというと愛着を感じない」「愛着を感じない」の4段階尺度であり、単純に比較はできないため、あくまで参考であることに留意。

### 3) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」「30～39歳」で「やや感じる」の割合が高く、「50～59歳」「70歳以上」で「感じる」の割合が高い。

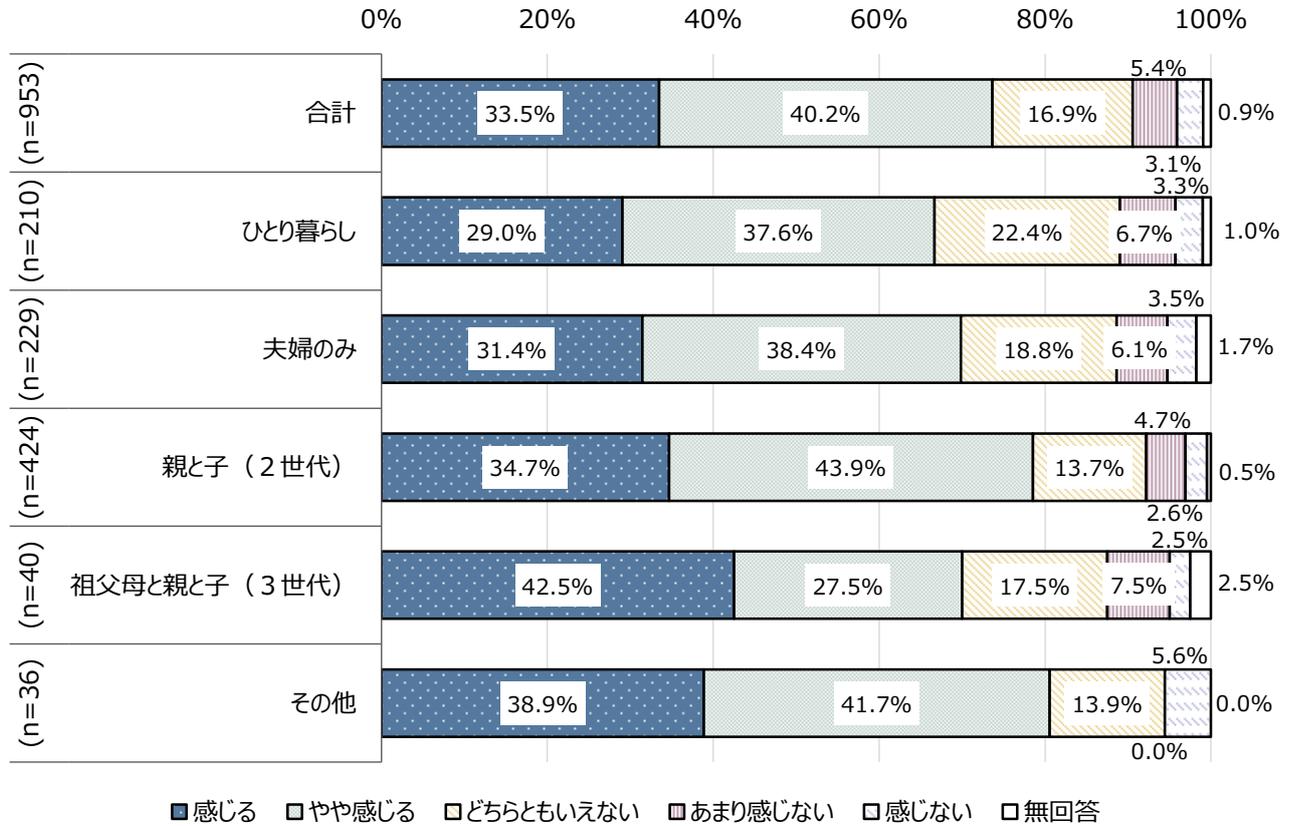
図表 3-35 北区への愛着（年齢別）



#### 4) 世帯構成別

世帯構成別にみると、「親と子（2世代）」で「やや感じる」の割合が高く、「祖父母と親と子（3世代）」で「感じる」の割合が高い。

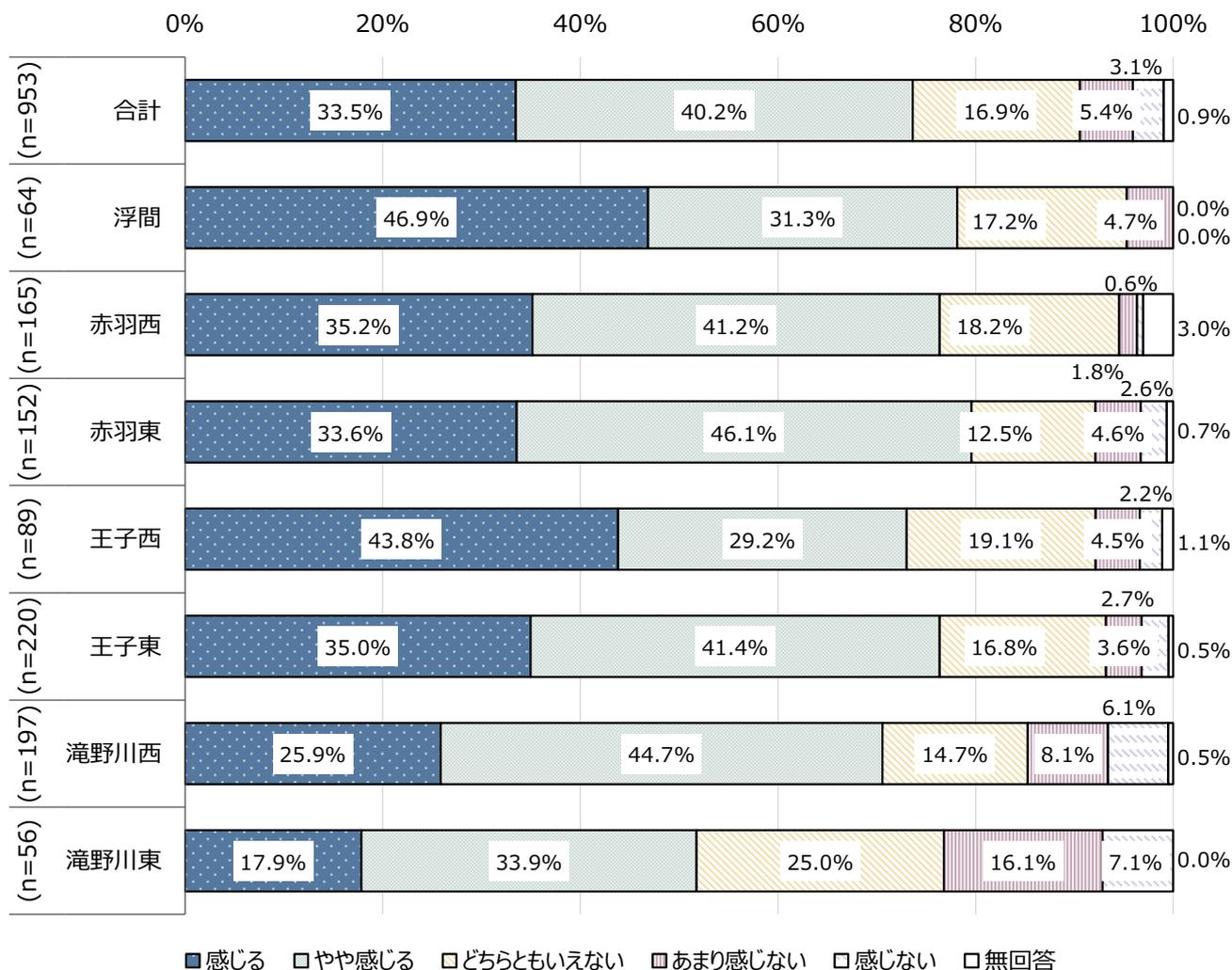
図表 3-36 北区への愛着（世帯構成別）



### 5) 居住地区別

居住地区別にみると、「浮間」「王子西」で「感じる」の割合が高く、「赤羽東」「滝野川西」で「やや感じる」の割合が高い。

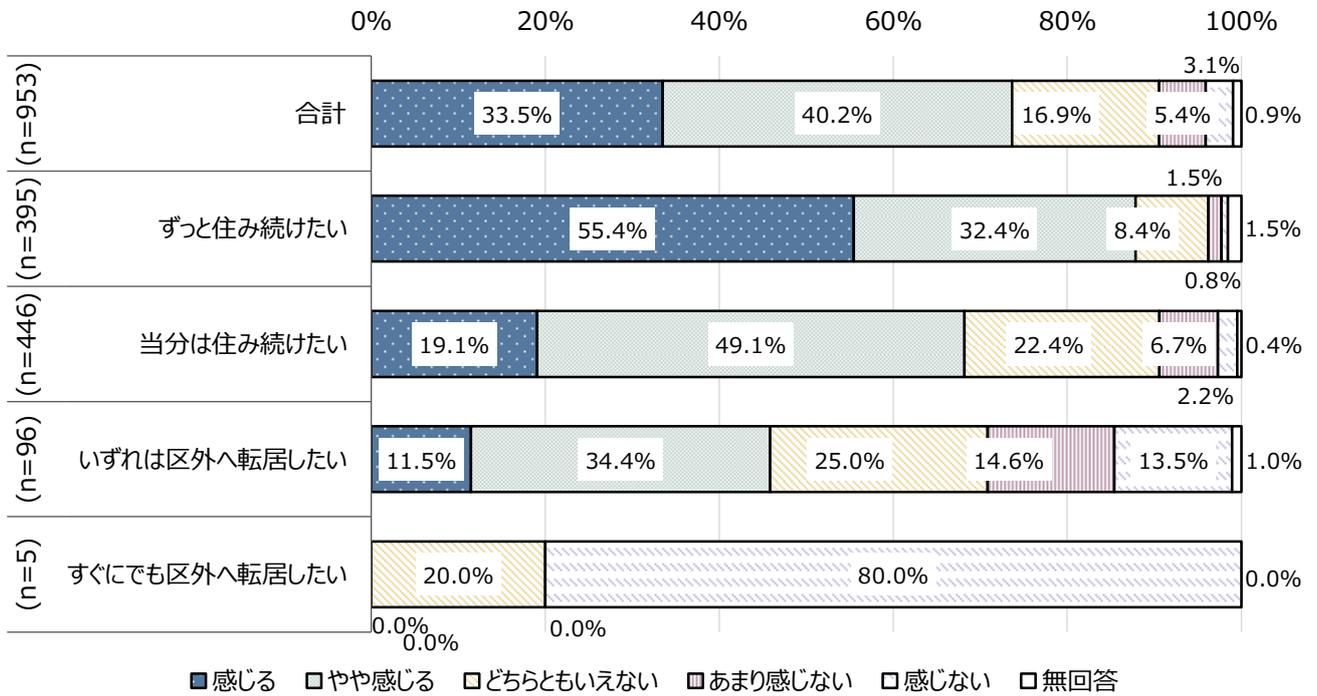
図表 3-37 北区への愛着（居住地区別）



## 6) 居住意向別

居住意向別にみると、「ずっと住み続けたい」で「感じる」の割合が高く、「すぐにでも区外へ転居したい」で「感じない」の割合が高い。

図表 3-38 北区への愛着（居住意向別）



## ②北区の魅力

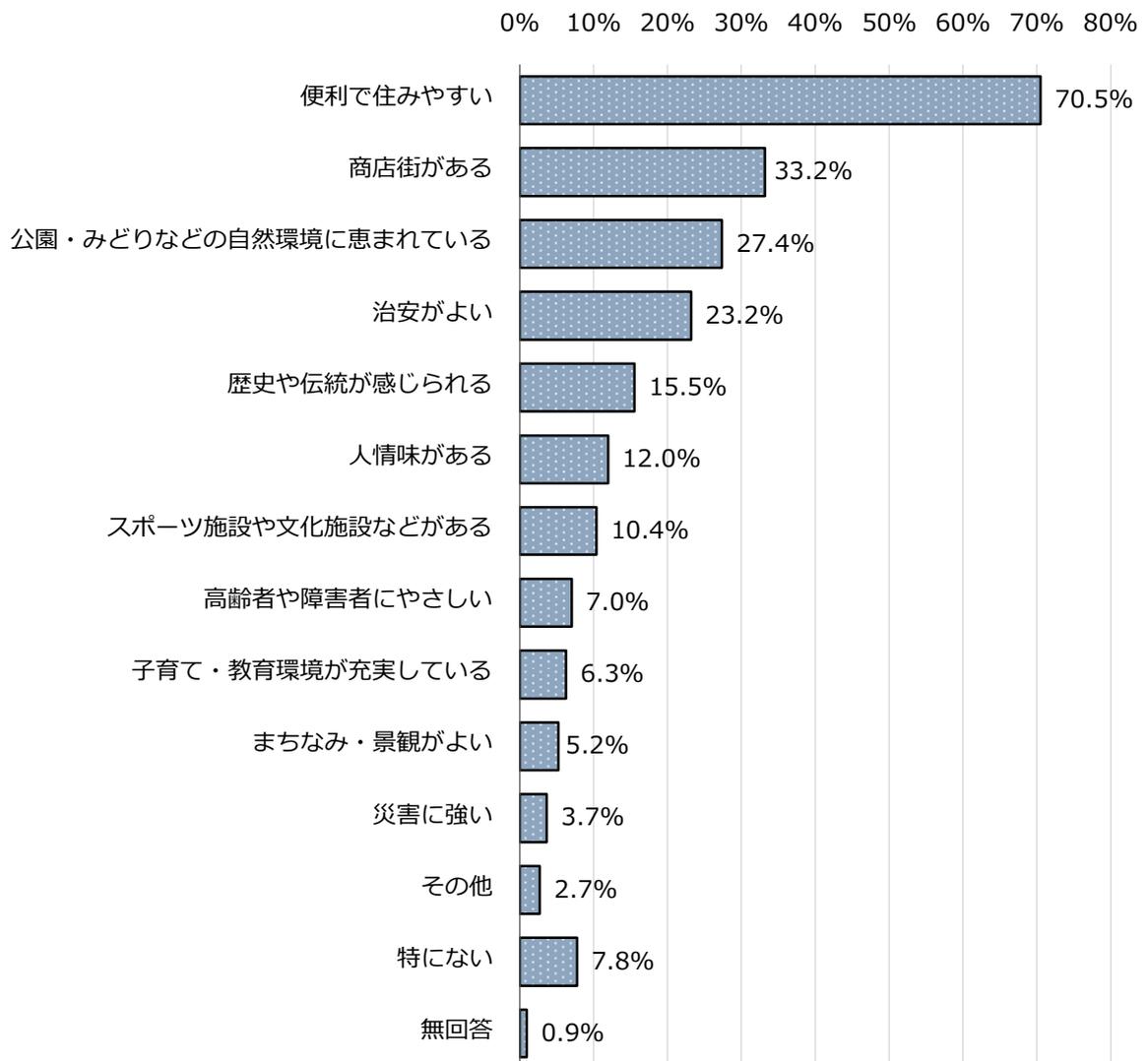
問15 あなたが北区の魅力として誇りに感じることは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。(MA(3))

### 1) 全体

「便利で住みやすい」の割合が最も高く70.5%である。次いで、「商店街がある(33.2%)」、「公園・みどりなどの自然環境に恵まれている(27.4%)」となった。

図表 3-39 北区の魅力

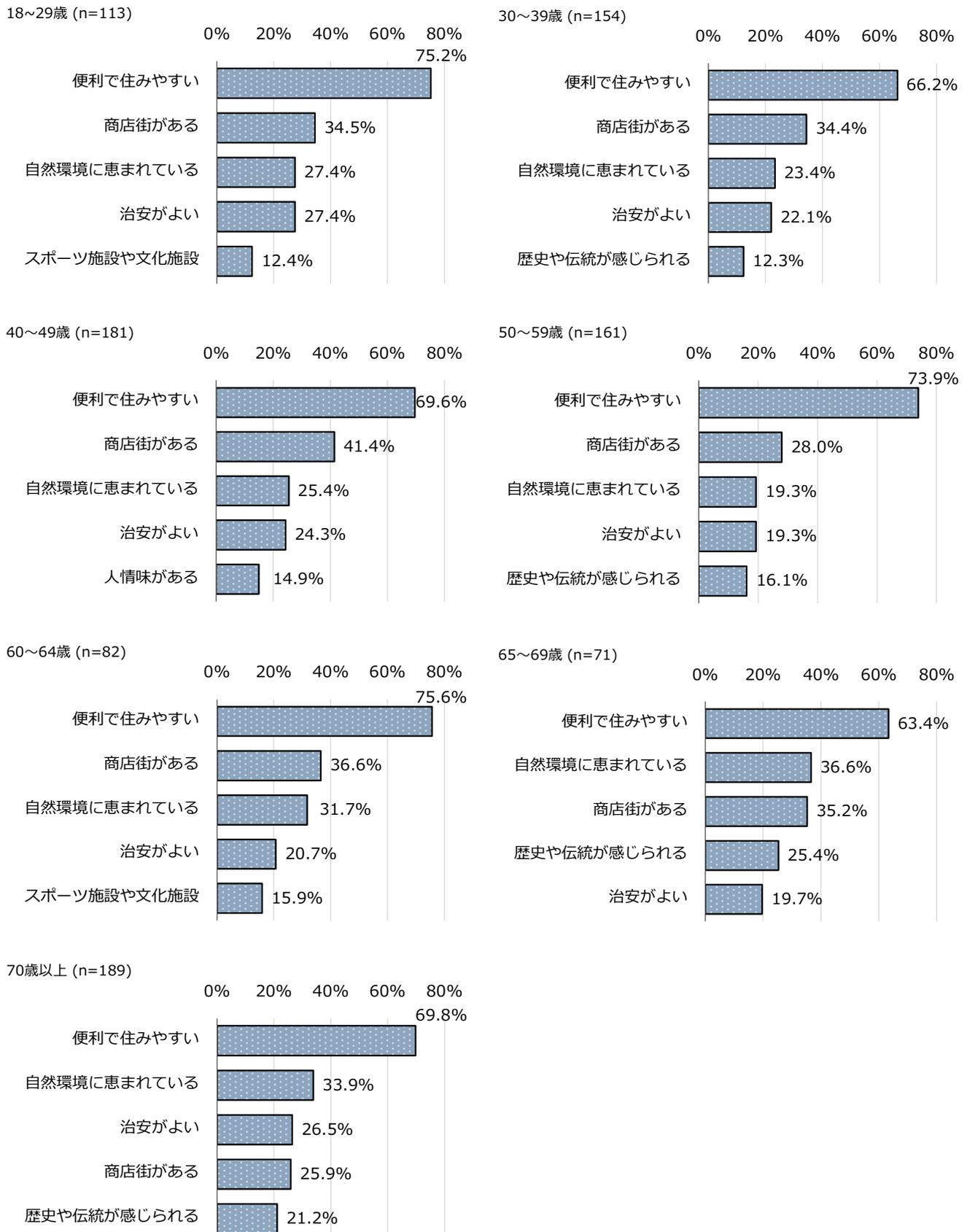
(n=953)



## 2) 年齢別

年齢別にみると、いずれも「便利で住みやすい」の割合が最も高い。第2位は、「18～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～64歳」では「商店街がある」、「65～69歳」「70歳以上」では「自然環境に恵まれている」となった。

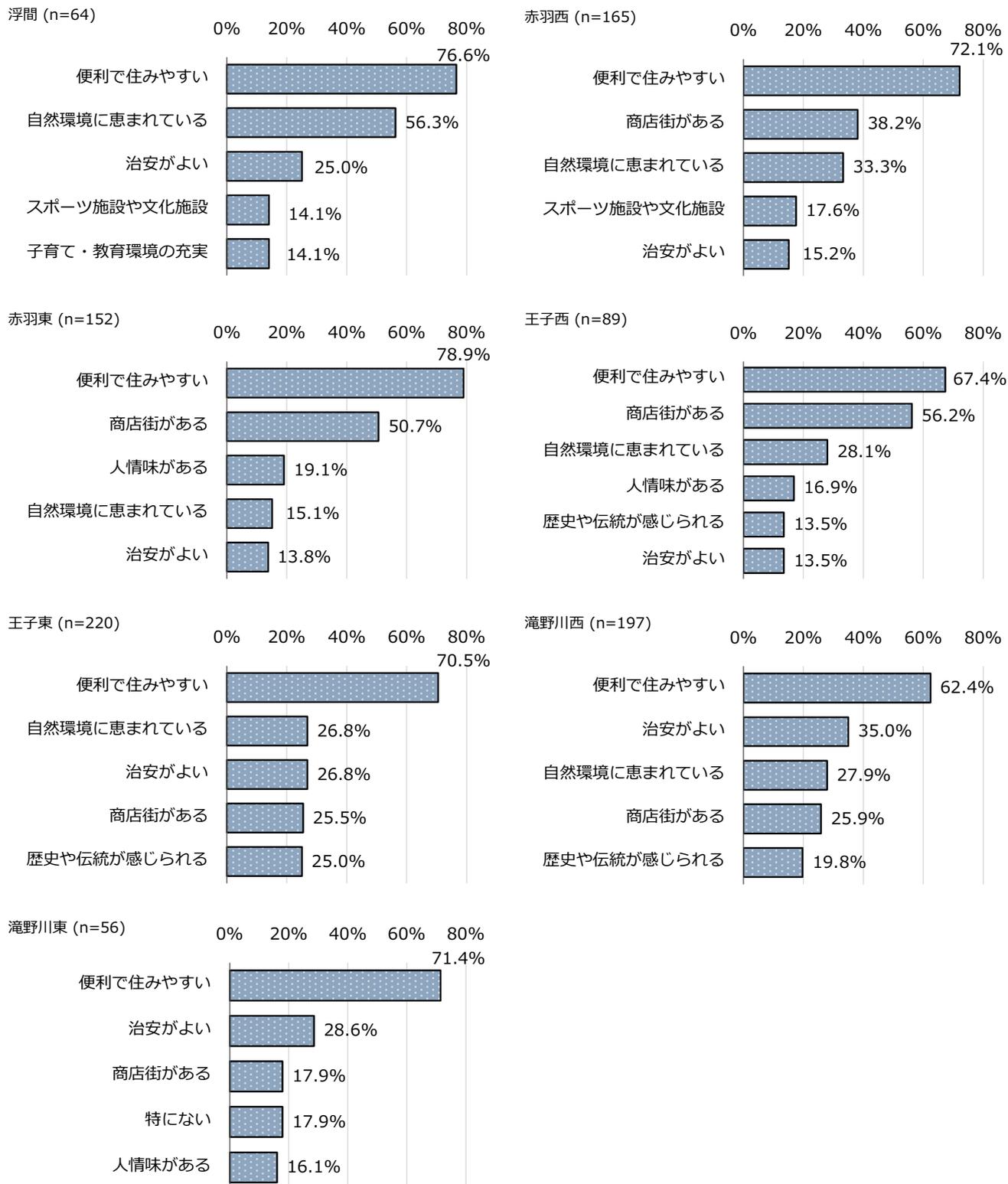
図表 3-40 北区の魅力（年齢別：上位5位）



### 3) 居住地区別

居住地区別にみると、いずれも「便利で住みやすい」の割合が最も高い。第2位は、「浮間」「王子東」で「自然環境に恵まれている」、「赤羽西」「赤羽東」「王子西」で「商店街がある」、「滝野川西」「滝野川東」で「治安がよい」となった。

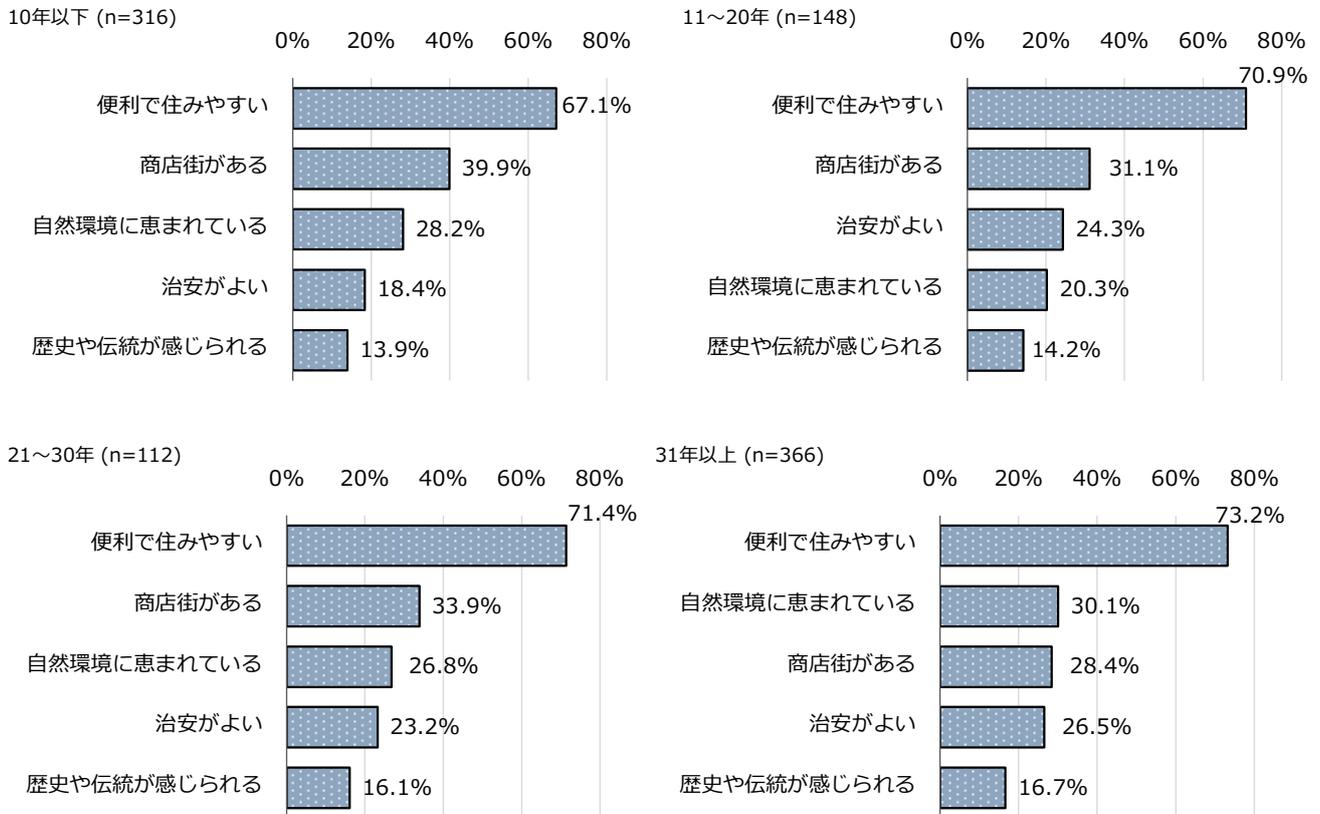
図表 3-41 北区の魅力（居住地区別：上位5位）



#### 4) 居住年数別

居住年数別にみると、いずれも「便利で住みやすい」の割合が最も高い。第2位は、「10年以下」「11～20年」「21～30年」で「商店街がある」、「31年以上」で「自然環境に恵まれている」となった。

図表 3-42 北区の魅力（居住年数別：上位5位）



#### (4) 北区の現在のイメージや将来像について

##### ①北区のイメージ

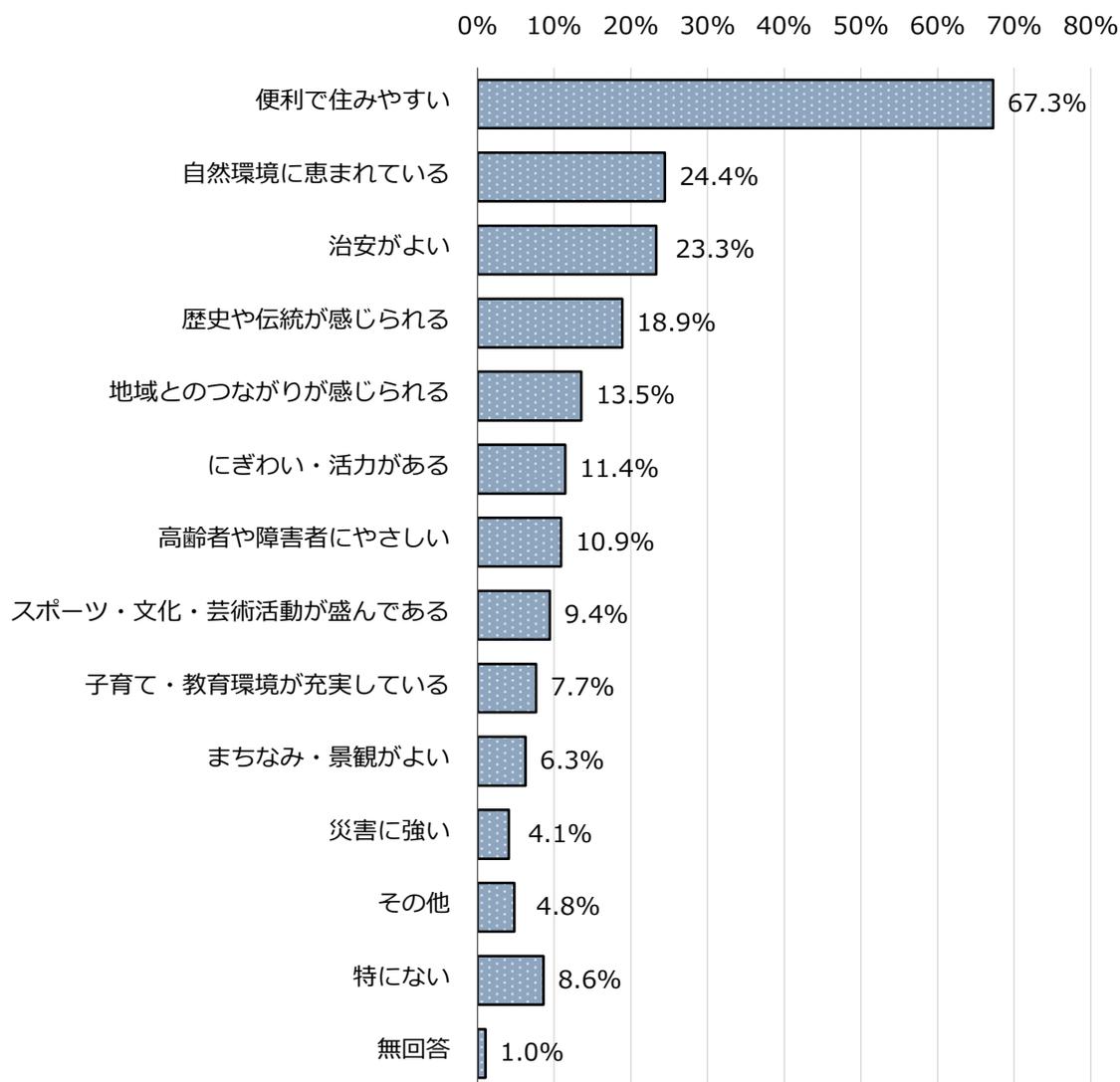
問16 あなたは、現在の北区にどのようなイメージを持っていますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。(MA(3))

##### 1) 全体

「便利で住みやすい」の割合が最も高く67.3%である。次いで、「自然環境に恵まれている(24.4%)」、「治安がよい(23.3%)」となった。

図表 3-43 北区のイメージ

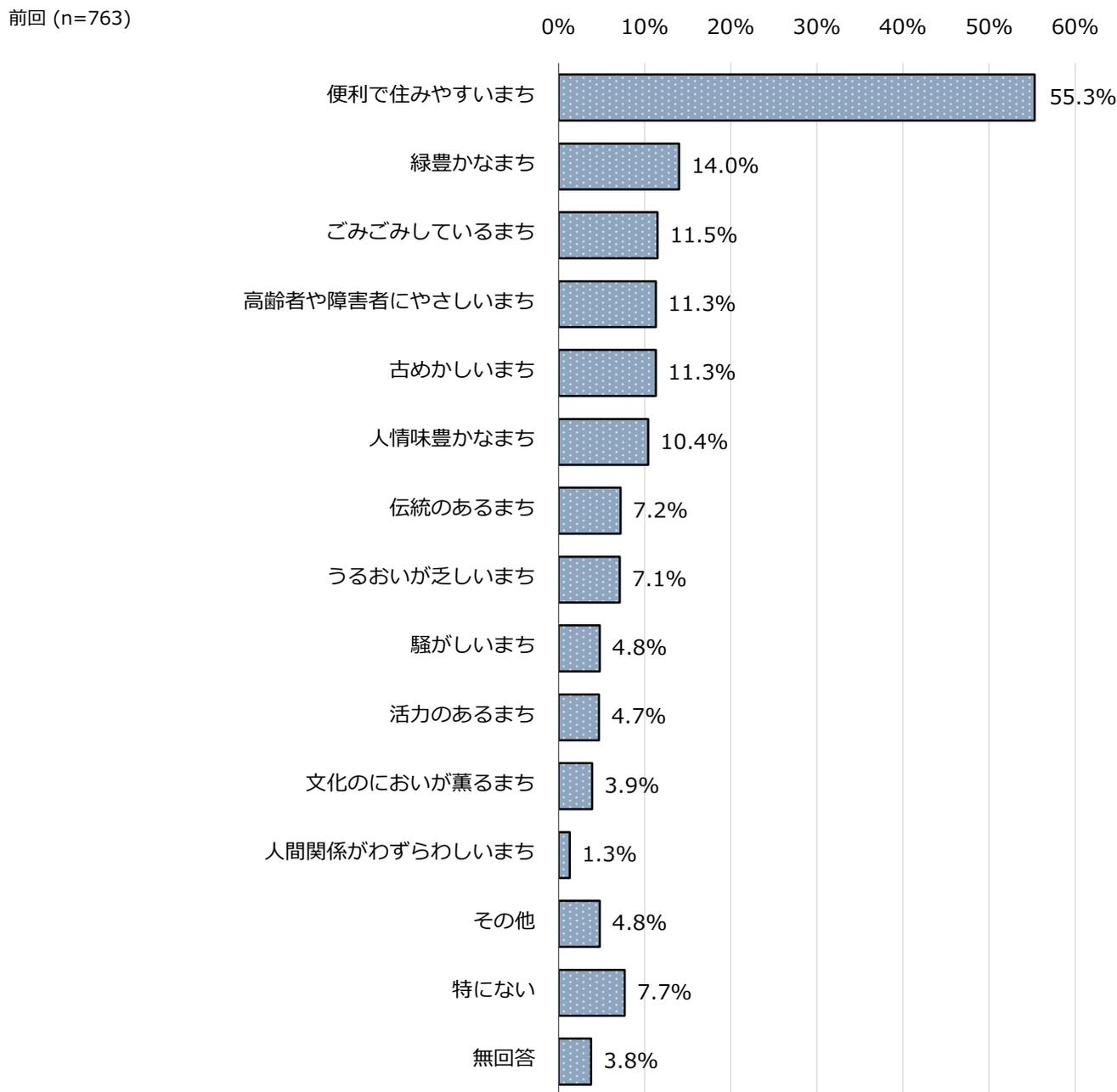
(n=953)



## 2) 経年比較 (参考)

前回調査においても「便利で住みやすいまち」の割合が55.3%と最も高くなっている。

図表 3-44 北区のイメージ (参考: 前回調査)

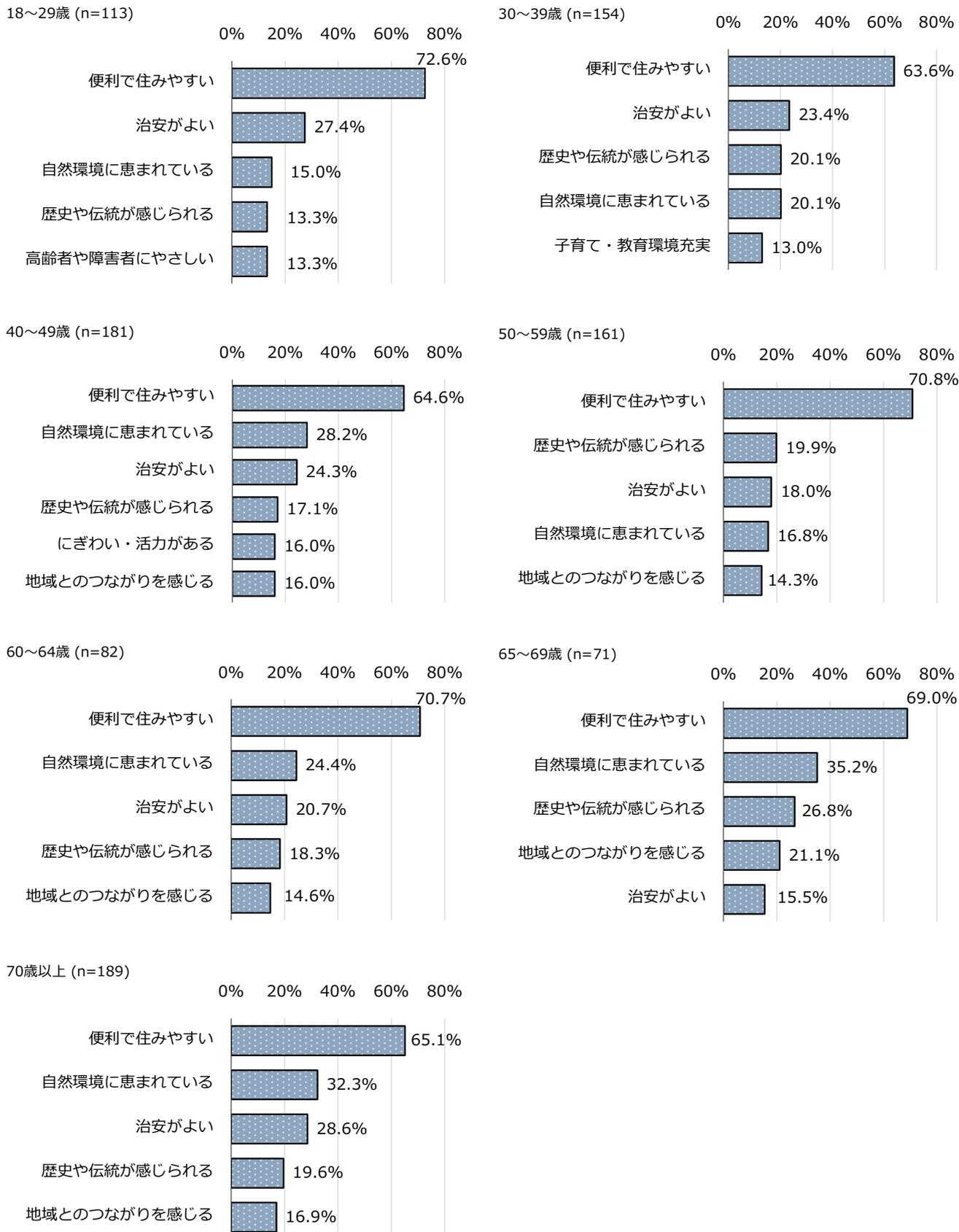


注) 今回調査と前回調査の選択肢は完全には一致せず、また、あてはまるものを2つまで選択する形式であることから、単純に比較はできないため、あくまで参考であることに留意。

### 3) 年齢別

年齢別にみると、いずれも「便利で住みやすい」の割合が最も高い。第2位は、「18～29歳」「30～39歳」で「治安がよい」、「40～49歳」「60～64歳」「65歳～69歳」「70歳以上」で「自然環境に恵まれている」、「50～59歳」で「歴史や伝統が感じられる」となった。

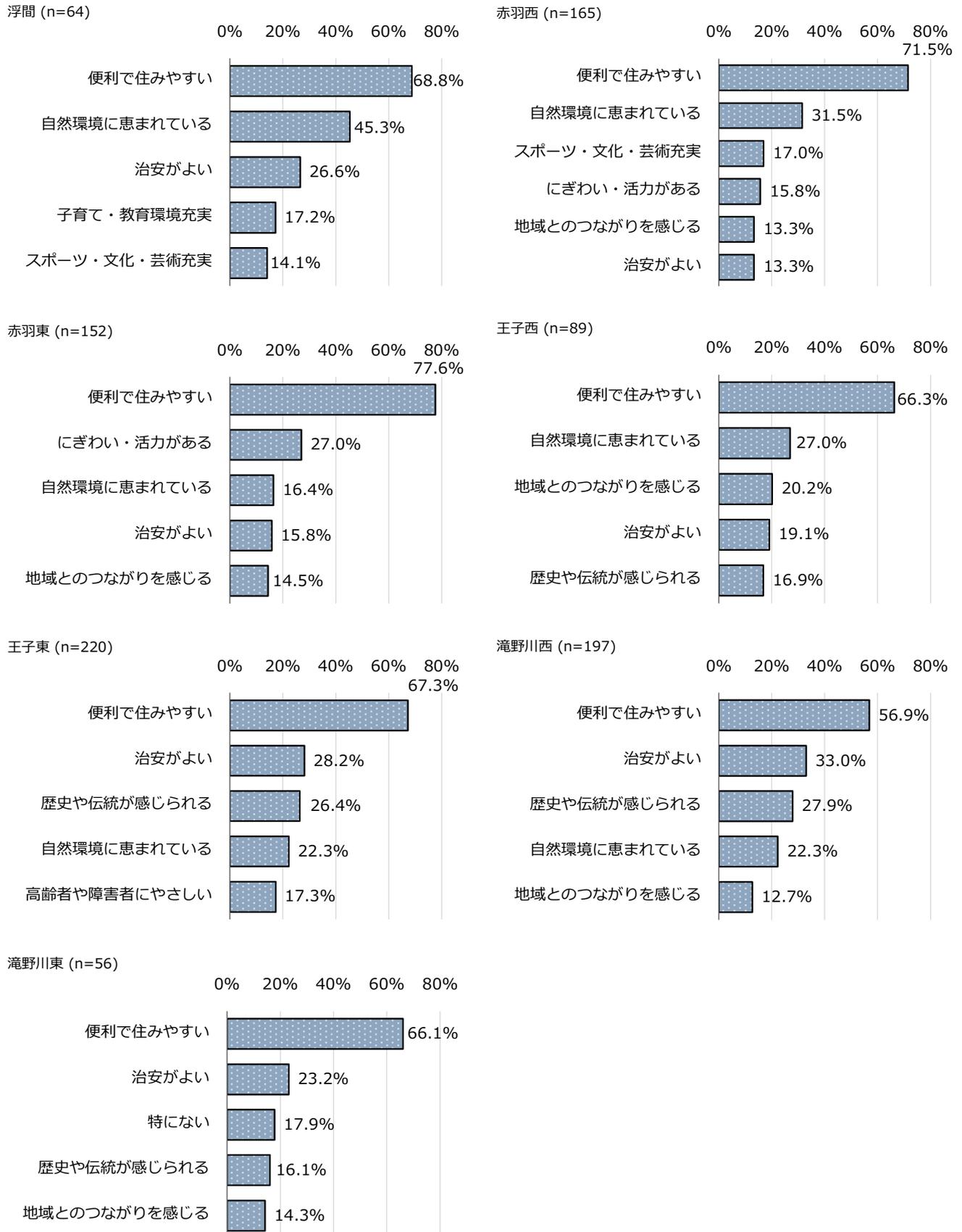
図表 3-45 北区のイメージ（年齢別：上位5位）



#### 4) 居住地区別

居住地区別にみると、いずれも「便利で住みやすい」の割合が最も高い。第2位は、「浮間」「赤羽西」「王子西」で「自然環境に恵まれている」、「赤羽東」で「にぎわい・活力がある」、「王子東」「滝野川西」「滝野川東」で「治安がよい」となった。

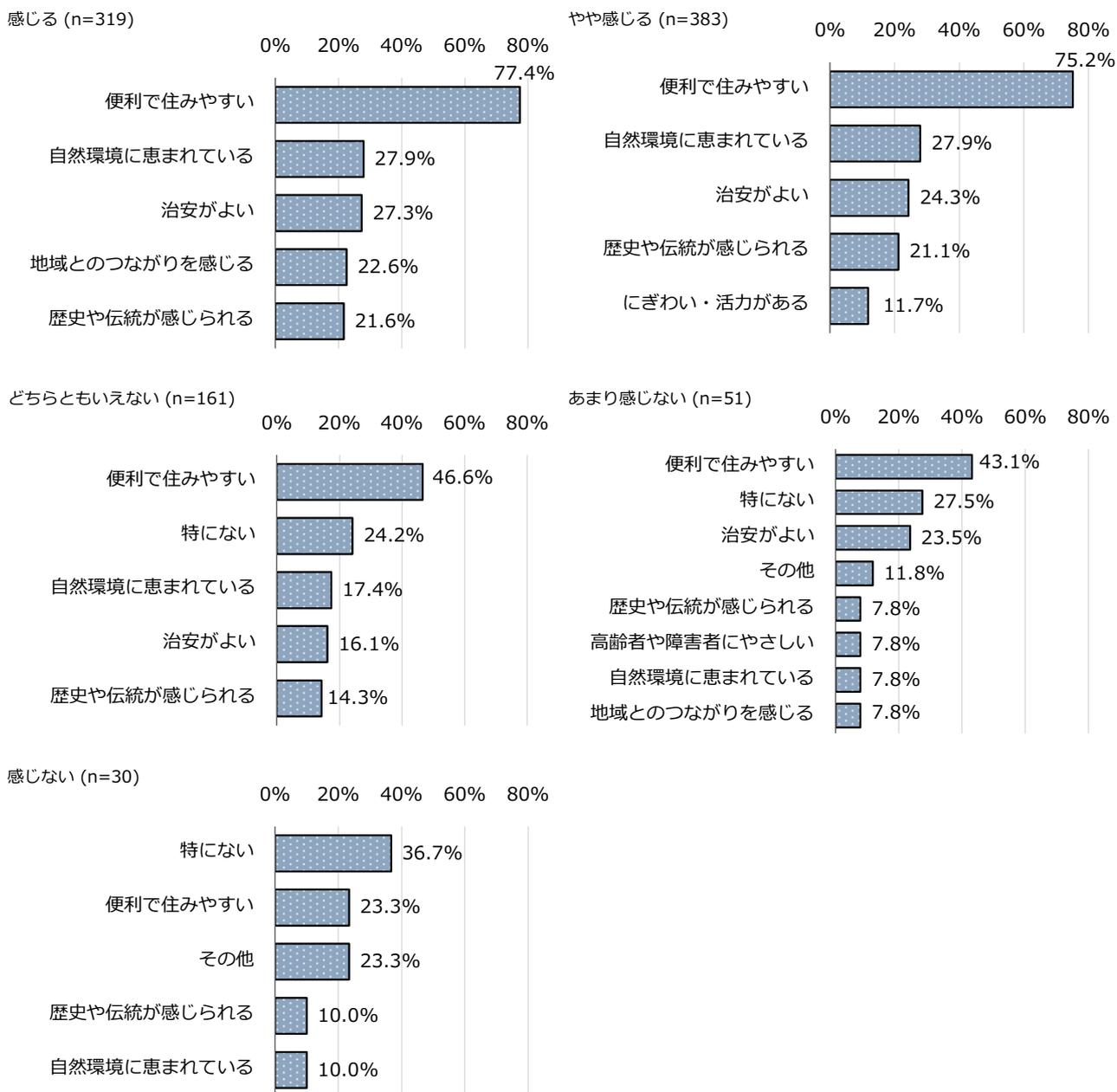
図表 3-46 北区のイメージ（居住地区別：上位5位）



### 5) 区への愛着別

区への愛着別にみると、「感じる」「やや感じる」「どちらともいえない」「あまり感じない」で「便利で住みやすい」の割合が最も高く、「感じない」では「特にない」の割合が最も高い。

図表 3-47 北区のイメージ（区への愛着別：上位5位）



## ②北区の将来像

問17 あなたは、2040年頃の将来の北区はどのようなまちになればよいと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。(MA(3))

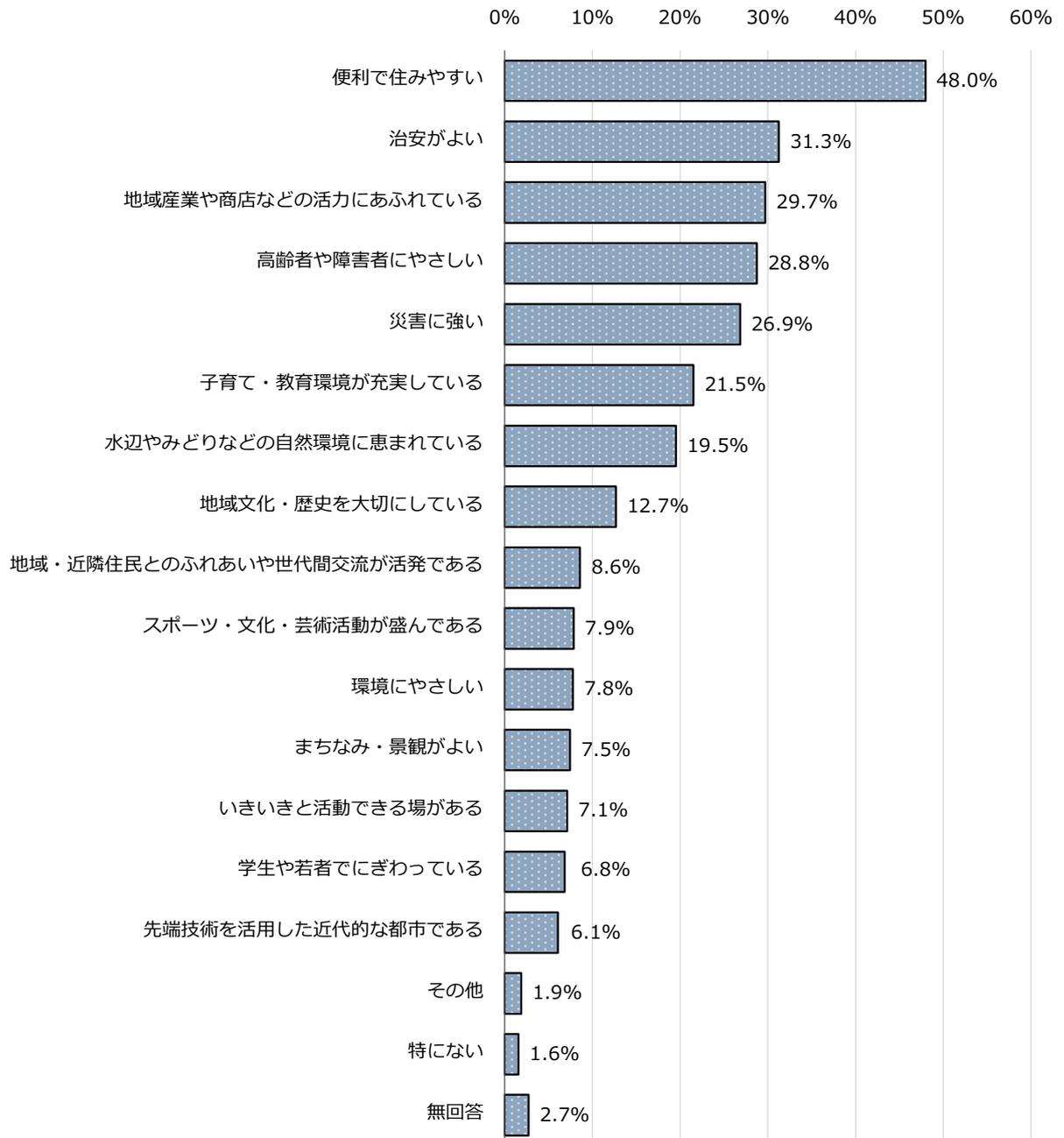
### 1) 全体

「便利で住みやすい」の割合が最も高く48.0%である。次いで、「治安がよい(31.3%)」、「地域産業や商店などの活力にあふれている(29.7%)」となった。

なお、(4)①「北区のイメージ」(P57)の上位3位は「便利で住みやすい(67.3%)」、「自然環境に恵まれている(24.4%)」、「治安がよい(23.3%)」である。

図表 3-48 北区の将来像

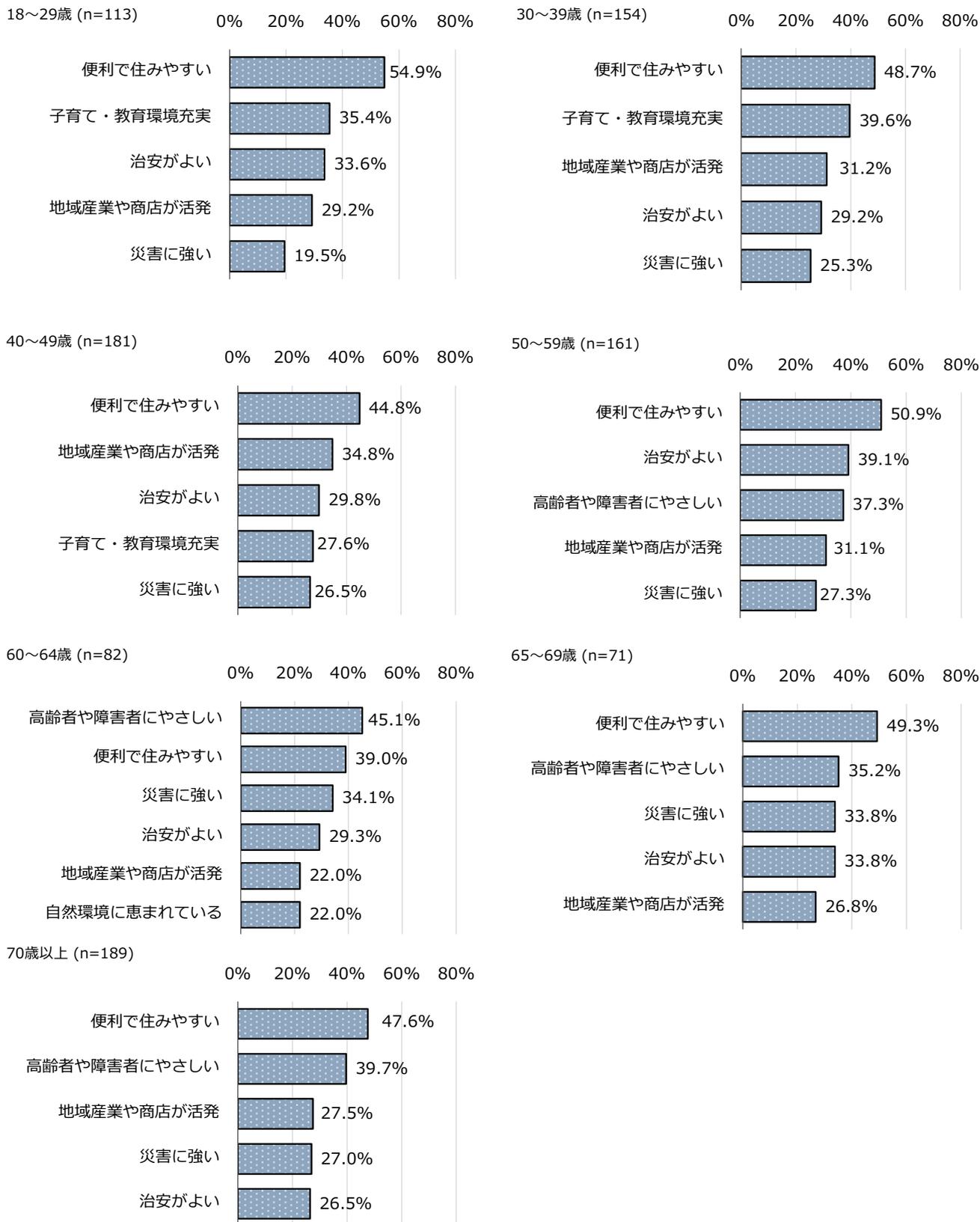
(n=953)



## 2) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「65～69歳」「70歳以上」で「便利で住みやすい」の割合が最も高く、「60～64歳」では、「高齢者や障害者にやさしい」の割合が最も高い。

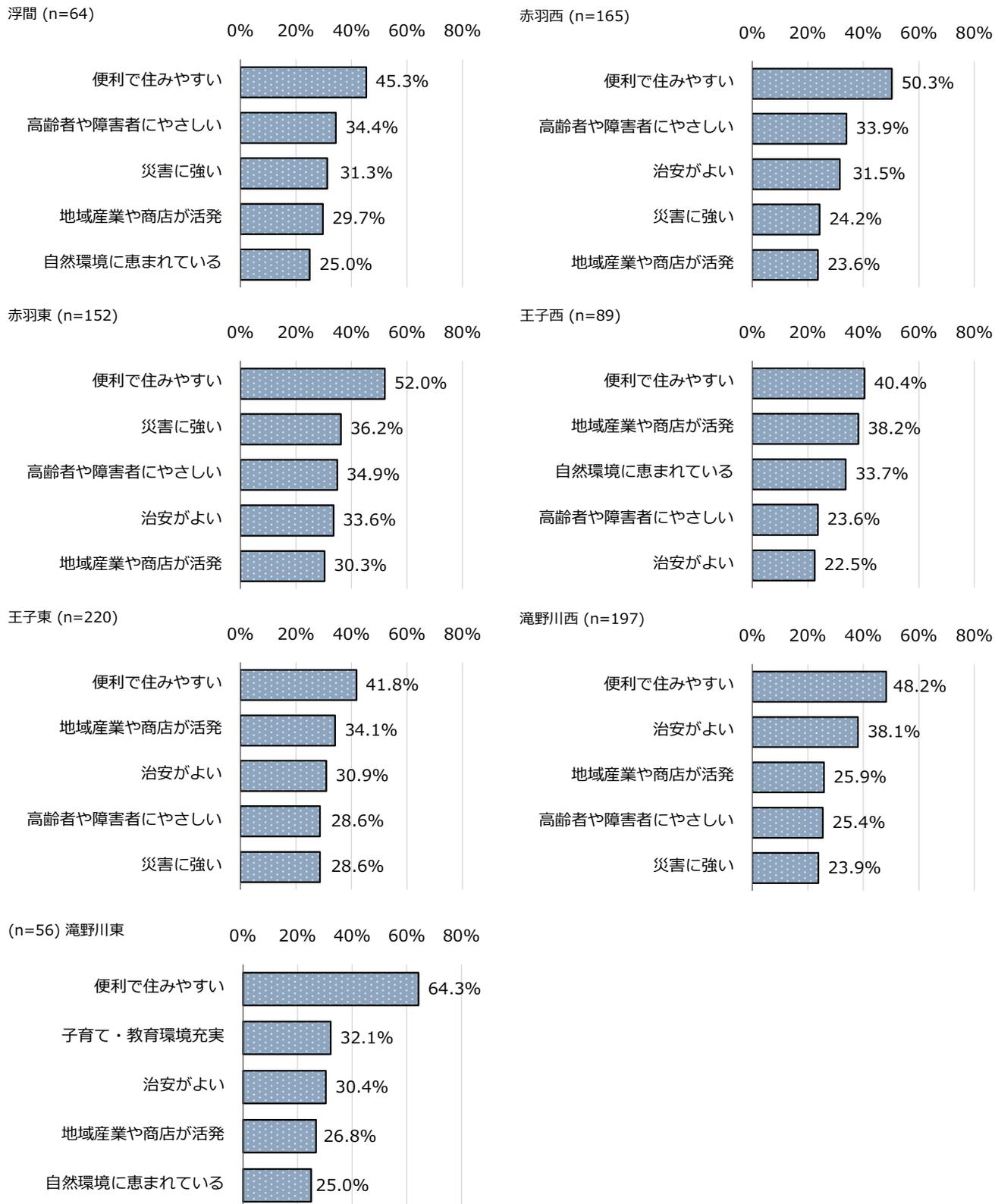
図表 3-49 北区の将来像（年齢別：上位5位）



### 3) 居住地区別

居住地区別にみると、いずれも「便利で住みやすい」の割合が最も高い。第2位は、「浮間」「赤羽西」で「高齢者や障害者にやさしい」、「赤羽東」で「災害に強い」、「王子西」「王子東」で「地域産業や商店が活発」、「滝野川西」で「治安がよい」、「滝野川東」で「子育て・教育環境が充実」となった。

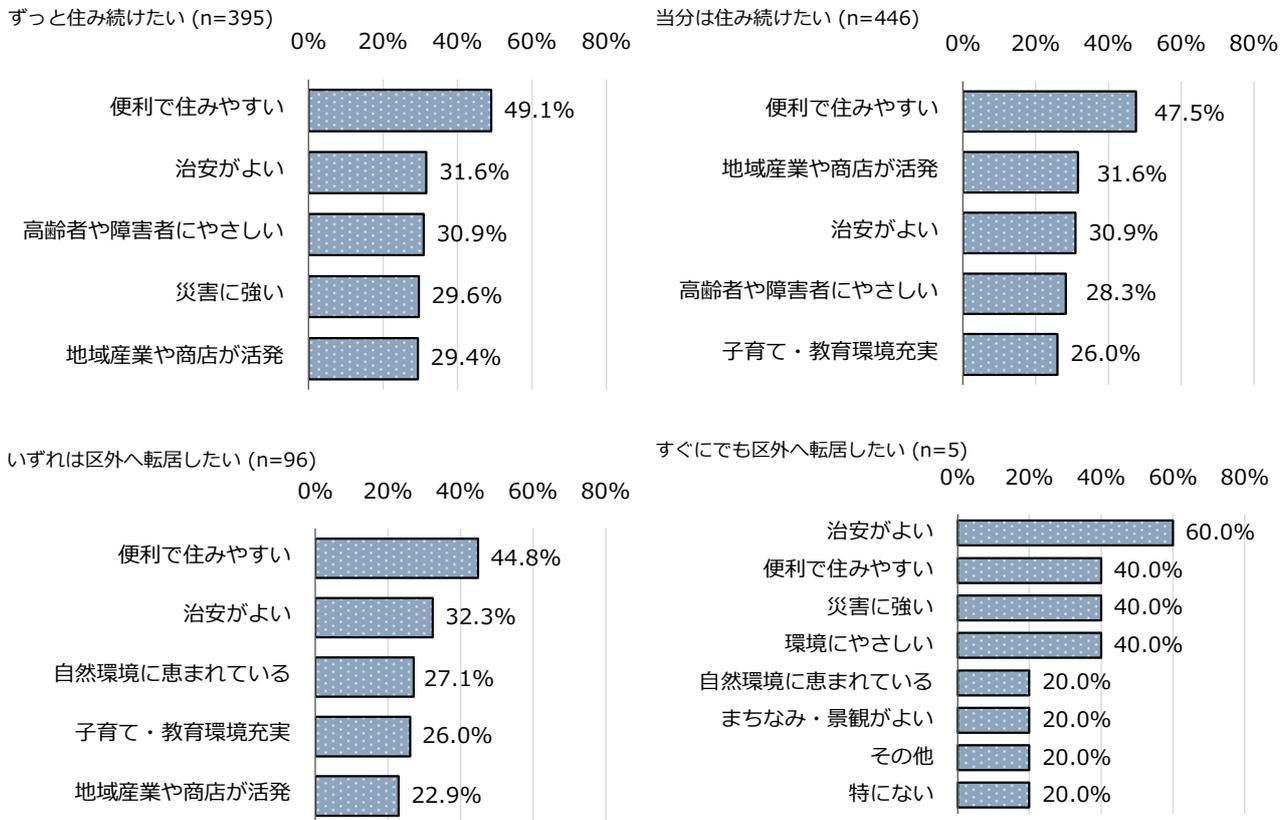
図表 3-50 北区の将来像（居住地域別：上位5位）



#### 4) 定住意向別

定住意向別にみると、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」「いずれは区外に転居したい」で「便利で住みやすい」の割合が最も高く、「すぐにでも区外へ転居したい」では「治安がよい」の割合が最も高い。

図表 3-51 北区の将来像（定住意向別：上位5位）



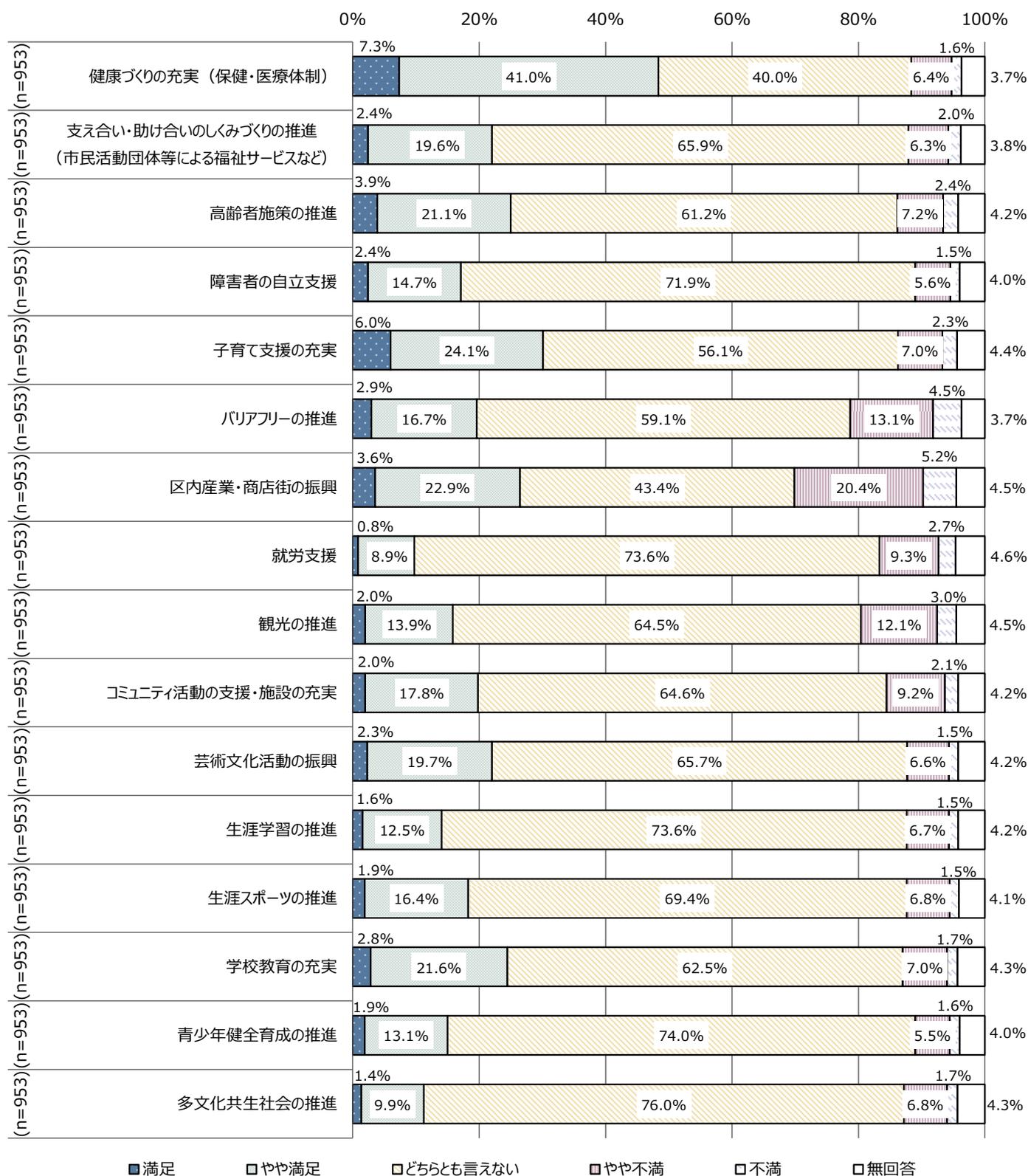
## (5) 区の施策について

### ① 施策満足度

#### 1) 全体

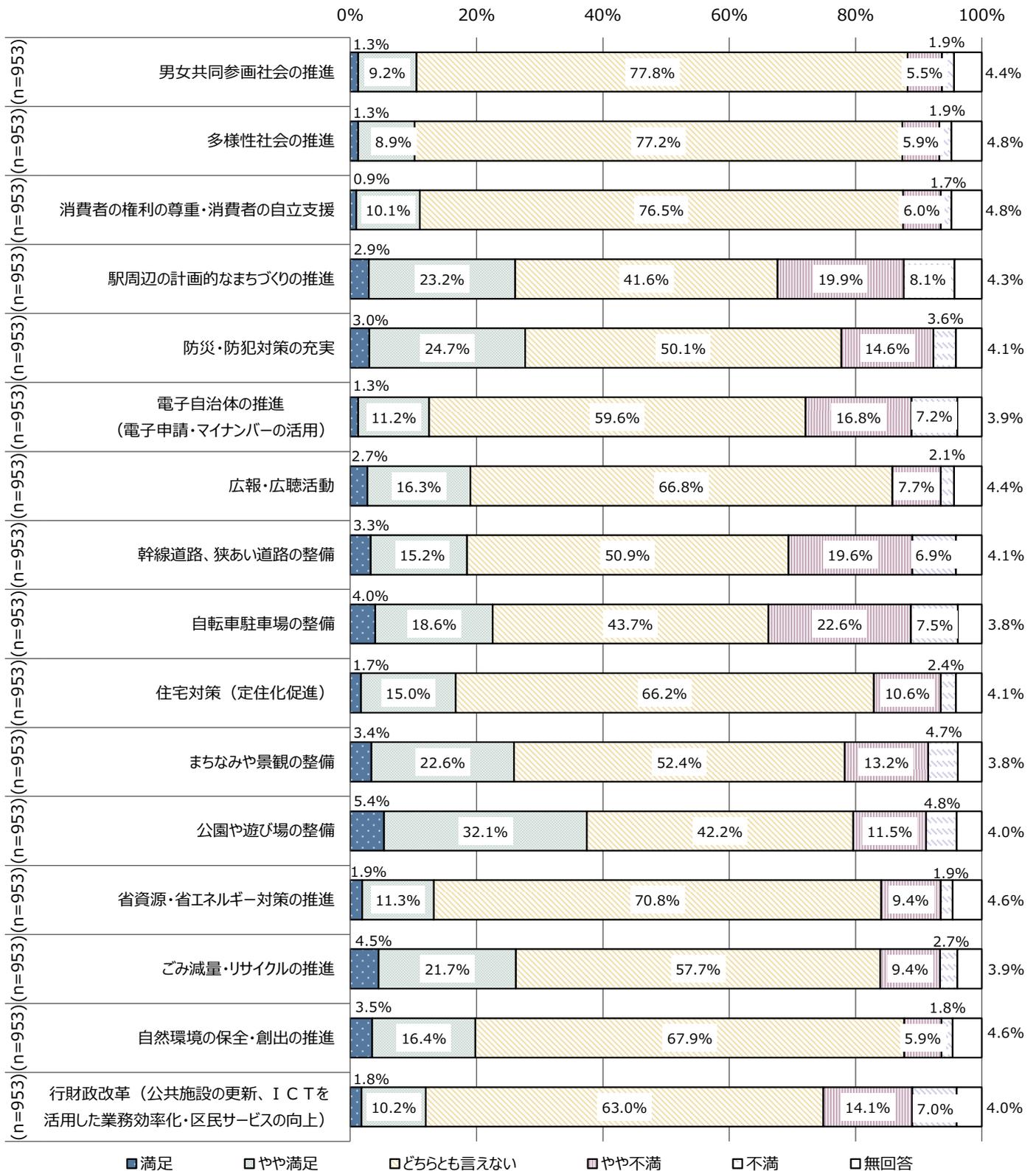
全体として「どちらとも言えない」の割合が高いものの、「健康づくりの充実（保健・医療体制）」「子育て支援の充実」などで、「満足」「やや満足」の合計割合が相対的に高い。

図表 3-52 施策満足度（前半）



「防災・防犯対策の充実」「公園や遊び場の整備」などで「満足」「やや満足」の合計割合が相対的に高く、「駅周辺の計画的なまちづくりの推進」「幹線道路、狭あい道路の整備」「自転車駐車場の整備」などで「不満」「やや不満」の合計割合が相対的に高い。

図表 3-53 施策満足度（後半）



2) 全体（点数化：経年比較）

各回答者の施策満足度を図表 3-54 に示す方法で点数化したうえで、各施策において回答者全体の平均点を算出し、過年度の平均点と比較を行った。なお、昨年度施策分野と今年度施策分野は、名称や分類方法に一部変更があるため、図表 3-55 の通り整理している。

図表 3-54 施策満足度：点数化の方法

◆ 満足度の評価点
「満足」2点、「やや満足」1点、「どちらとも言えない」0点、「やや不満」-1点、「不満」-2点
◆ 満足度の平均評価点
= (「満足」と答えた人数×2点+「やや満足」と答えた人数×1点+「どちらとも言えない」と答えた人数×0点+「やや不満」と答えた人数×-1点+「不満」と答えた人数×-2点) ÷無回答を除く全回答者数

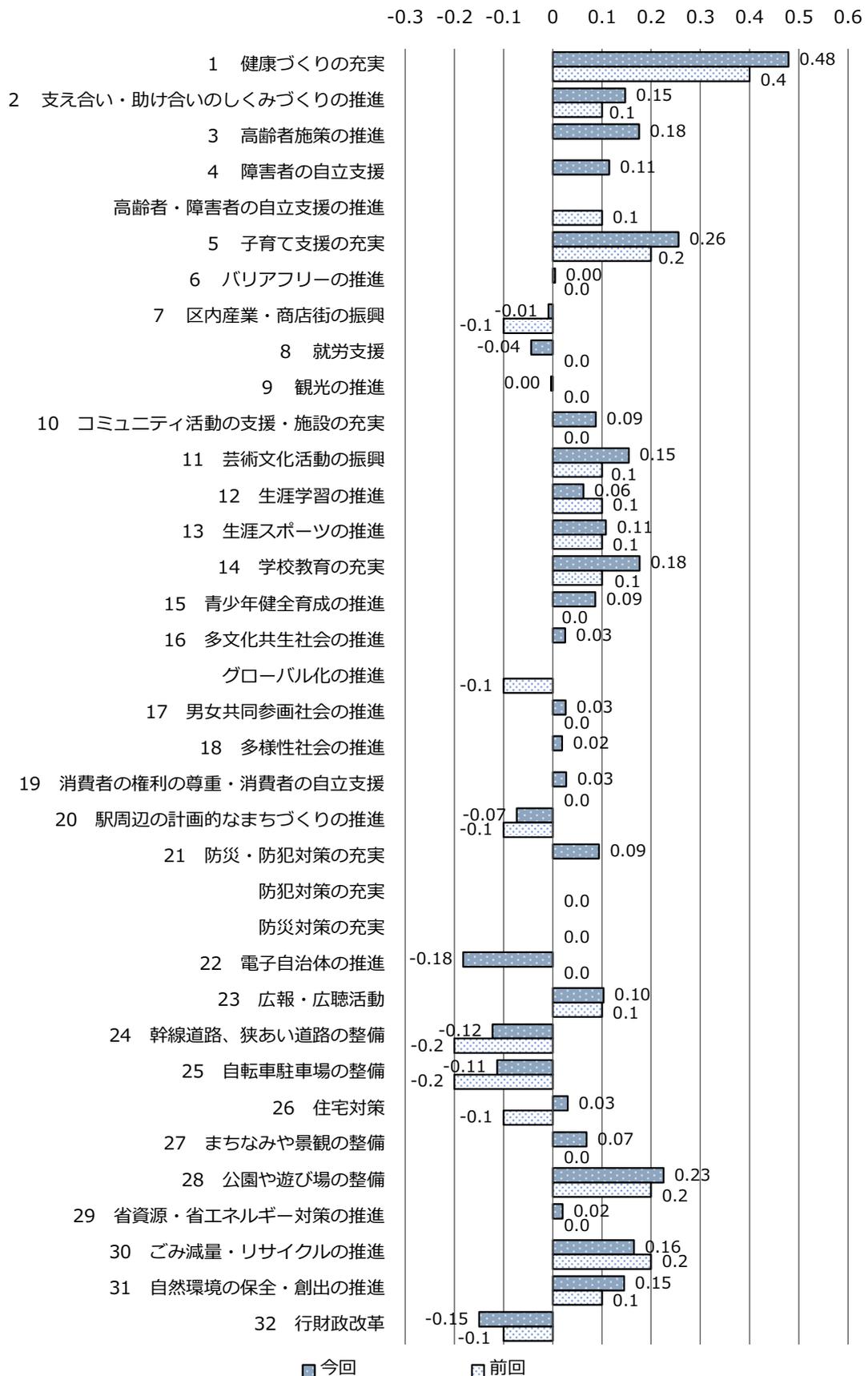
図表 3-55 昨年度・今年度の施策分野

	n数 (今回調査)	今回調査	前回調査
1	(n=918)	健康づくりの充実（保健・医療体制）	健康づくり（保健・医療体制）の充実
2	(n=917)	支え合い・助け合いのしくみづくりの推進（市民活動団体等による福祉サービスなど）	ともに支えあい助け合うしくみづくりの推進
3	(n=913)	高齢者施策の推進	—
4	(n=915)	障害者の自立支援	—
		—	高齢者・障害者の自立支援の推進
5	(n=911)	子育て支援の充実	子育て支援の充実
6	(n=918)	バリアフリーの推進	子ども・高齢者・障害者などに配慮したバリアフリーのまちづくりの推進
7	(n=910)	区内産業・商店街の振興	区内産業・商店街の振興
8	(n=909)	就労支援	就労支援
9	(n=910)	観光の推進	観光の推進
10	(n=913)	コミュニティ活動の支援・施設の充実	コミュニティ活動の支援・施設の充実
11	(n=913)	芸術文化活動の振興	芸術文化活動の振興
12	(n=913)	生涯学習の推進	生涯学習の推進
13	(n=914)	生涯スポーツの推進	生涯スポーツの推進
14	(n=912)	学校教育の充実	学校教育の充実
15	(n=915)	青少年健全育成の推進	青少年健全育成の推進
16	(n=912)	多文化共生社会の推進	—
		—	グローバル化（国際化）の推進
17	(n=911)	男女共同参画社会の推進	男女共同参画社会づくりの推進
18	(n=907)	多様性社会の推進	—
19	(n=907)	消費者の権利の尊重・消費者の自立支援	消費者の保護・自立支援の推進
20	(n=912)	駅周辺の計画的なまちづくりの推進	再開発などの計画的なまちづくりの推進
21	(n=914)	防災・防犯対策の充実	—
		—	防犯対策の充実
		—	防災対策の充実
22	(n=916)	電子自治体の推進（電子申請・マイナンバーの活用）	インターネット等による電子自治体の推進
23	(n=911)	広報・広聴活動	広報・広聴活動
24	(n=914)	幹線道路、狭あい道路の整備	幹線道路、狭小道路の整備
25	(n=917)	自転車駐車場の整備	自転車駐車場の整備
26	(n=914)	住宅対策（定住化促進）	住宅対策（定住化促進）
27	(n=917)	まちなみや景観の整備	まちなみや景観の整備
28	(n=915)	公園や遊び場の整備	公園や遊び場の整備
29	(n=909)	省資源・省エネルギー対策の推進	省資源・省エネルギー対策の推進
30	(n=916)	ごみ減量・リサイクルの推進	ごみ減量・リサイクルの推進
31	(n=909)	自然環境の保全・創出の推進	自然環境の保全・創出の推進
32	(n=915)	行財政改革（公共施設の更新、ICTを活用した業務効率化・区民サービスの向上）	行財政改革

注) n数は無回答を除く回答者数であり、図表 3-52 及び図表 3-53 のn数とは一致しない。

施策満足度を点数化すると、「1 健康づくりの充実」「5 子育て支援の充実」「28 公園や遊び場の整備」で相対的に評価点が高い。また、前回調査と比較しても、これらの施策は満足度の評価点が上昇している。評価点は低いものの、「24 幹線道路、狭あい道路の整備」「25 自転車駐車場の整備」も、前回調査よりも評価点が上昇している。

図表 3-56 施策満足度（点数化：経年比較）



注) 1～32の番号は、今回調査の施策番号を示している。番号のついていない施策は前回調査のみ。

### 3) 年齢別

施策満足度（点数化）を年齢別にみると、「1 健康づくりの充実」は「18～29歳」「70歳以上」で、「5 子育て支援の充実」は「18～29歳」「50～59歳」で、「28 公園や遊び場の整備」は「18～29歳」で、特に点数が高い。

また、「24 幹線道路、狭あい道路の整備」は「50～59歳」「60～64歳」で、「25 自転車駐車場の整備」は「60～64歳」で特に点数が低い。

図表 3-57 施策満足度（点数化：年齢別）

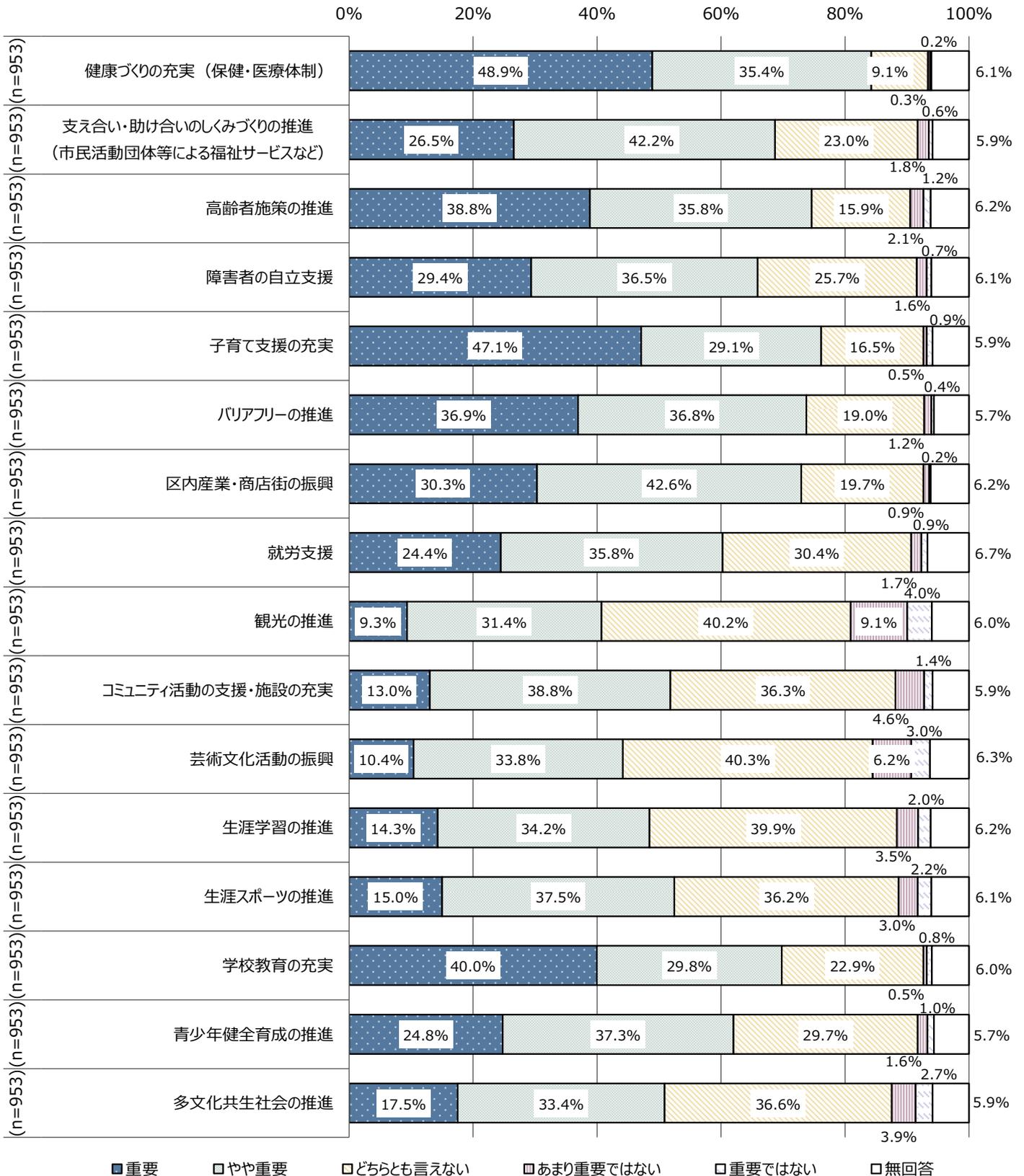
合計n値 (無回答含まず)	年齢	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答
(n=918)	1 健康づくりの充実（保健・医療体制）	0.64	0.44	0.44	0.41	0.31	0.47	0.61	-1.00
(n=917)	2 支え合い・助け合いのしくみづくりの推進 （市民活動団体等による福祉サービスなど）	0.27	0.14	0.11	0.17	0.00	0.09	0.20	-0.50
(n=913)	3 高齢者施策の推進	0.35	0.19	0.16	0.22	0.07	0.01	0.13	0.00
(n=915)	4 障害者の自立支援	0.23	0.15	0.05	0.16	0.07	0.09	0.08	-0.50
(n=911)	5 子育て支援の充実	0.32	0.28	0.26	0.38	0.10	0.14	0.20	-0.50
(n=918)	6 バリアフリーの推進	0.18	0.09	0.05	-0.07	-0.15	-0.06	-0.06	-0.50
(n=910)	7 区内産業・商店街の振興	0.26	0.15	0.03	-0.12	-0.14	-0.06	-0.19	0.00
(n=909)	8 就労支援	0.02	0.02	0.00	-0.07	-0.23	-0.07	-0.07	0.00
(n=910)	9 観光の推進	0.04	0.02	0.03	0.02	-0.12	-0.02	-0.05	0.00
(n=913)	10 コミュニティ活動の支援・施設の充実	0.16	0.19	0.18	0.06	0.09	-0.08	-0.05	-0.50
(n=913)	11 芸術文化活動の振興	0.25	0.15	0.20	0.11	0.11	0.22	0.09	0.00
(n=913)	12 生涯学習の推進	0.17	0.09	0.11	0.00	0.00	-0.05	0.05	-0.50
(n=914)	13 生涯スポーツの推進	0.21	0.08	0.21	0.08	0.02	0.10	0.03	-0.50
(n=912)	14 学校教育の充実	0.30	0.20	0.20	0.12	0.14	0.14	0.15	-0.50
(n=915)	15 青少年健全育成の推進	0.16	0.17	0.06	0.03	-0.01	0.12	0.08	0.00
(n=912)	16 多文化共生社会の推進	0.18	0.07	0.01	-0.05	-0.11	0.06	0.02	-0.50
(n=911)	17 男女共同参画社会の推進	0.09	-0.02	0.04	0.07	-0.05	0.10	-0.02	0.00
(n=907)	18 多様性社会の推進	0.12	0.01	0.00	0.04	-0.09	0.09	-0.01	0.00
(n=907)	19 消費者の権利の尊重・消費者の自立支援	0.15	0.05	0.00	0.01	-0.08	0.03	0.02	-0.50
(n=912)	20 駅周辺の計画的なまちづくりの推進	0.12	-0.08	-0.18	-0.03	-0.17	-0.06	-0.07	-1.50
(n=914)	21 防災・防犯対策の充実	0.23	0.09	0.04	0.01	0.10	0.04	0.16	0.00
(n=916)	22 電子自治体の推進 （電子申請・マイナンバーの活用）	-0.05	-0.11	-0.31	-0.22	-0.36	-0.09	-0.12	0.00
(n=911)	23 広報・広聴活動	0.09	0.14	0.09	0.09	-0.04	0.16	0.15	0.00
(n=914)	24 幹線道路、狭あい道路の整備	0.03	-0.11	-0.11	-0.23	-0.31	-0.10	-0.05	-1.00
(n=917)	25 自転車駐車場の整備	-0.10	0.07	-0.11	-0.18	-0.30	-0.21	-0.09	-0.50
(n=914)	26 住宅対策（定住化促進）	0.10	0.13	-0.03	0.03	-0.11	-0.15	0.11	-0.50
(n=917)	27 まちなみや景観の整備	0.29	0.14	0.11	0.01	-0.16	-0.03	0.04	-1.00
(n=915)	28 公園や遊び場の整備	0.36	0.29	0.21	0.18	0.04	0.26	0.21	0.00
(n=909)	29 省資源・省エネルギー対策の推進	0.25	0.07	-0.01	0.01	-0.19	0.03	-0.02	-1.00
(n=916)	30 ごみ減量・リサイクルの推進	0.27	0.09	0.19	0.10	-0.01	0.28	0.24	-1.00
(n=909)	31 自然環境の保全・創出の推進	0.34	0.17	0.19	0.06	-0.01	0.18	0.11	-1.00
(n=915)	32 行財政改革（公共施設の更新、ICTを活用した業務効率化・区民サービスの向上）	-0.07	-0.13	-0.20	-0.18	-0.32	-0.15	-0.05	-0.50

## ②施策重要度

### 1) 全体

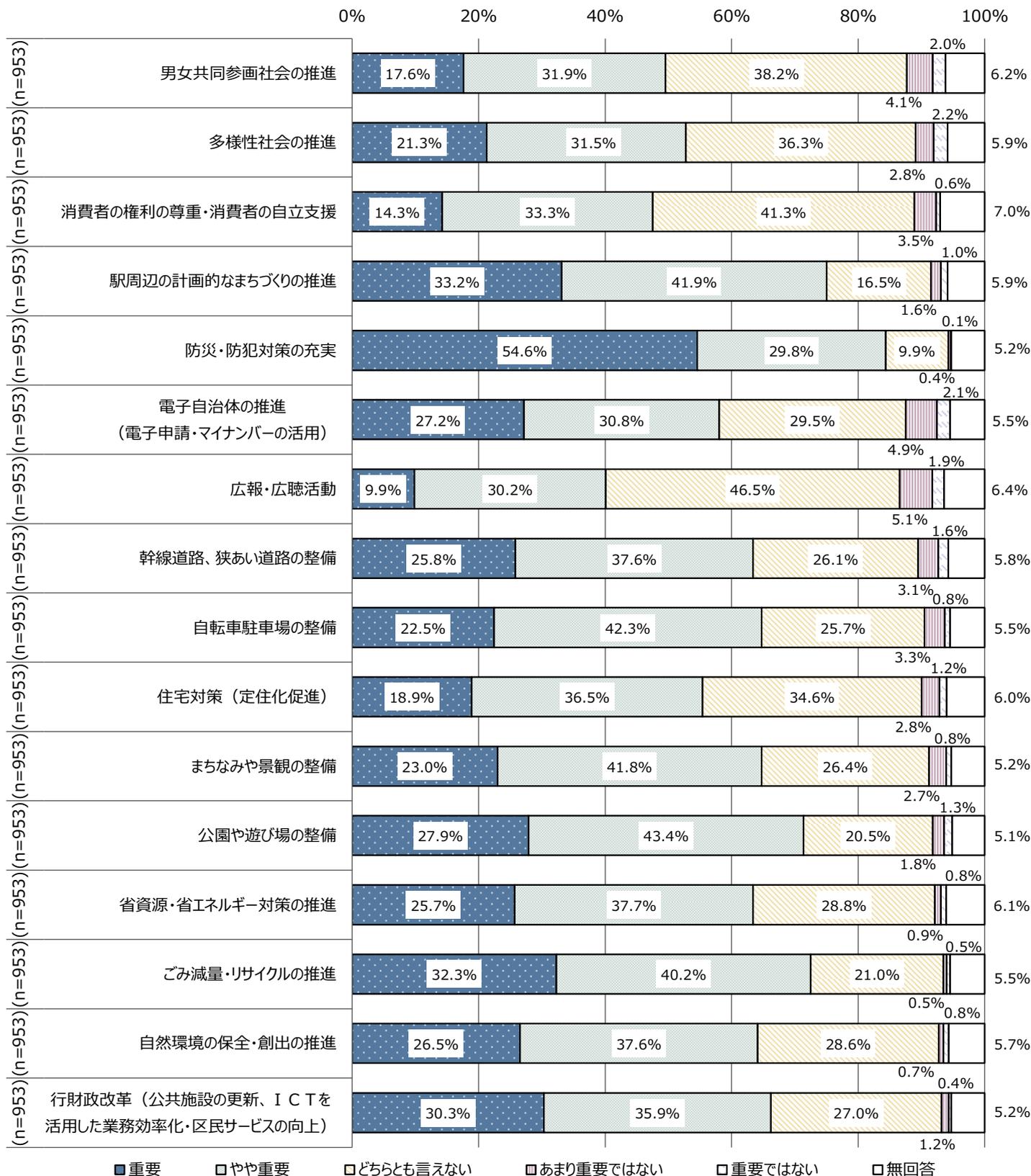
「健康づくりの充実（保健・医療体制）」「高齢者施策の推進」「子育て支援の充実」「バリアフリーの推進」「区内産業・商店街の振興」「学校教育の充実」などで、「重要」「やや重要」の合計割合が相対的に高い。

図表 3-58 施策重要度（前半）



「駅周辺の計画的なまちづくりの推進」「防災・防犯対策の充実」「公園や遊び場の整備」「ごみ減量・リサイクルの推進」などで、「重要」「やや重要」の合計割合が相対的に高い。

図表 3-59 施策重要度（後半）



2) 全体（点数化：経年比較）

各回答者の施策重要度を図表 3-60 に示す方法で点数化したうえで、各施策において回答者全体の平均点を算出し、過年度の平均点と比較を行った。なお、昨年度施策分野と今年度施策分野は、名称や分類方法に一部変更があるため、図表 3-61 のとおり整理している。

図表 3-60 施策満足度：点数化の方法

◆ 重要度の評価点
「重要」2点、「やや重要」1点、「どちらとも言えない」0点、「あまり重要ではない」-1点、「重要ではない」-2点
◆ 重要度の平均評価点
= (「重要」と答えた人数×2点+「やや重要」と答えた人数×1点+「どちらとも言えない」と答えた人数×0点+「あまり重要ではない」と答えた人数×-1点+「重要ではない」と答えた人数×-2点) ÷無回答を除く全回答者数

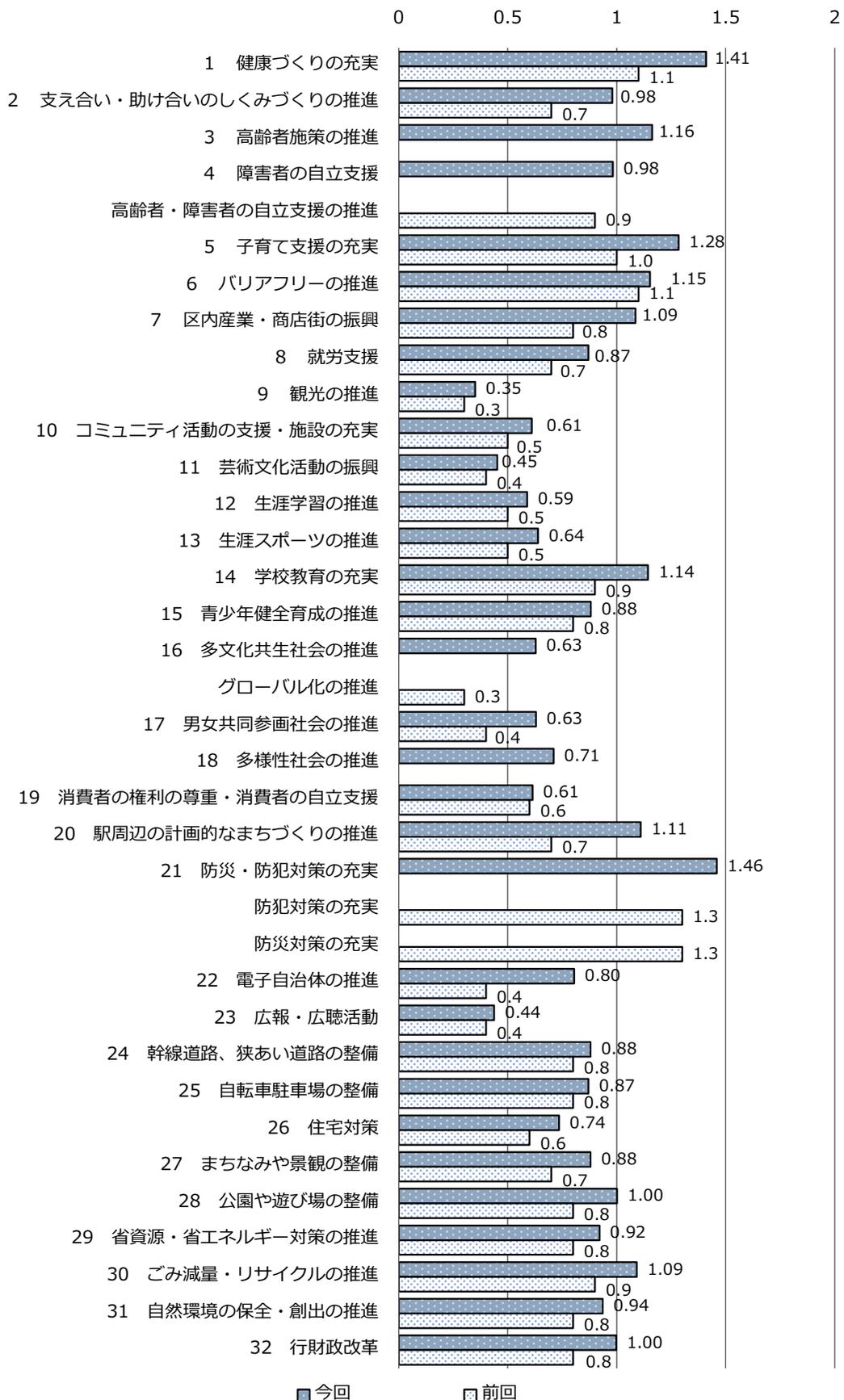
図表 3-61 昨年度・今年度の施策分野

	n数 (今回調査)	今回調査	前回調査
1	(n=895)	健康づくりの充実（保健・医療体制）	健康づくり（保健・医療体制）の充実
2	(n=897)	支え合い・助け合いのしくみづくりの推進（市民活動団体等による福祉サービスなど）	ともに支えあい助け合うしくみづくりの推進
3	(n=894)	高齢者施策の推進	—
4	(n=895)	障害者の自立支援	—
		—	高齢者・障害者の自立支援の推進
5	(n=897)	子育て支援の充実	子育て支援の充実
6	(n=899)	バリアフリーの推進	子ども・高齢者・障害者などに配慮したバリアフリーのまちづくりの推進
7	(n=894)	区内産業・商店街の振興	区内産業・商店街の振興
8	(n=889)	就労支援	就労支援
9	(n=896)	観光の推進	観光の推進
10	(n=897)	コミュニティ活動の支援・施設の充実	コミュニティ活動の支援・施設の充実
11	(n=893)	芸術文化活動の振興	芸術文化活動の振興
12	(n=894)	生涯学習の推進	生涯学習の推進
13	(n=895)	生涯スポーツの推進	生涯スポーツの推進
14	(n=896)	学校教育の充実	学校教育の充実
15	(n=899)	青少年健全育成の推進	青少年健全育成の推進
16	(n=897)	多文化共生社会の推進	—
		—	グローバル化（国際化）の推進
17	(n=894)	男女共同参画社会の推進	男女共同参画社会づくりの推進
18	(n=897)	多様性社会の推進	—
19	(n=886)	消費者の権利の尊重・消費者の自立支援	消費者の保護・自立支援の推進
20	(n=897)	駅周辺の計画的なまちづくりの推進	再開発などの計画的なまちづくりの推進
21	(n=903)	防災・防犯対策の充実	—
		—	防犯対策の充実
		—	防災対策の充実
22	(n=901)	電子自治体の推進（電子申請・マイナンバーの活用）	インターネット等による電子自治体の推進
23	(n=892)	広報・広聴活動	広報・広聴活動
24	(n=898)	幹線道路、狭あい道路の整備	幹線道路、狭小道路の整備
25	(n=901)	自転車駐車場の整備	自転車駐車場の整備
26	(n=896)	住宅対策（定住化促進）	住宅対策（定住化促進）
27	(n=903)	まちなみや景観の整備	まちなみや景観の整備
28	(n=904)	公園や遊び場の整備	公園や遊び場の整備
29	(n=895)	省資源・省エネルギー対策の推進	省資源・省エネルギー対策の推進
30	(n=901)	ごみ減量・リサイクルの推進	ごみ減量・リサイクルの推進
31	(n=899)	自然環境の保全・創出の推進	自然環境の保全・創出の推進
32	(n=903)	行財政改革（公共施設の更新、ICTを活用した業務効率化・区民サービスの向上）	行財政改革

注) n数は無回答を除く回答者数であり、図表 3-58 及び図表 3-59 のn数とは一致しない。

施策重要度を点数化すると、「1 健康づくりの充実」「5 子育て支援の充実」「21 防災・防犯対策の充実」で相対的に点数が高い。また、前回調査と比較すると、全体的に重要度が高まっているが、特に「1 健康づくりの充実」「20 駅周辺の計画的なまちづくりの推進」「22 電子自治体の推進」で点数が上昇している。

図表 3-62 施策重要度（点数化：経年比較）



注) 1～32の番号は、今回調査の施策番号を示している。番号のついていない施策は前回調査のみ。

### 3) 年齢別

施策重要度（点数化）を年齢別にみると、「1 健康づくりの充実」「21 防災・防犯対策の充実」はいずれの年齢でも点数が高く、「5 子育て支援の充実」は「18～29歳」「30～39歳」「40～49歳」で、特に点数が高い。

また、前回調査からの伸びが大きい「20 駅周辺の計画的なまちづくりの推進」は「70歳以上」を除くいずれの年齢でも点数が高く、「22 電子自治体の推進」は「18～29歳」「30～39歳」で、特に点数が高い。

図表 3-63 施策重要度（点数化：年齢別）

合計n値 (無回答含まず)	年齢	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答
		(n=895)	1 健康づくりの充実（保健・医療体制）	1.45	1.39	1.50	1.46	1.27	
(n=897)	2 支え合い・助け合いのしくみづくりの推進 （市民活動団体等による福祉サービスなど）	0.87	0.86	0.99	1.10	0.90	1.06	1.05	0.50
(n=894)	3 高齢者施策の推進	1.04	0.95	1.19	1.32	1.17	1.23	1.22	0.50
(n=895)	4 障害者の自立支援	0.89	0.94	0.93	1.05	0.97	1.13	1.02	0.50
(n=897)	5 子育て支援の充実	1.50	1.48	1.38	1.27	1.06	1.09	1.06	1.00
(n=899)	6 バリアフリーの推進	1.10	1.07	1.12	1.30	1.23	1.15	1.12	1.00
(n=894)	7 区内産業・商店街の振興	1.05	1.21	1.12	1.15	1.09	1.06	0.93	0.00
(n=889)	8 就労支援	0.85	0.77	0.94	0.86	1.01	0.95	0.80	0.00
(n=896)	9 観光の推進	0.39	0.41	0.19	0.33	0.39	0.44	0.41	0.00
(n=897)	10 コミュニティ活動の支援・施設の充実	0.59	0.58	0.51	0.69	0.53	0.64	0.72	0.50
(n=893)	11 芸術文化活動の振興	0.49	0.40	0.37	0.40	0.49	0.48	0.57	0.50
(n=894)	12 生涯学習の推進	0.70	0.64	0.55	0.55	0.68	0.52	0.54	0.50
(n=895)	13 生涯スポーツの推進	0.69	0.80	0.59	0.60	0.60	0.62	0.57	1.00
(n=896)	14 学校教育の充実	1.33	1.28	1.24	0.98	1.05	1.12	1.01	1.00
(n=899)	15 青少年健全育成の推進	0.90	0.92	0.90	0.78	0.87	0.88	0.92	0.50
(n=897)	16 多文化共生社会の推進	0.85	0.73	0.66	0.49	0.57	0.47	0.57	1.00
(n=894)	17 男女共同参画社会の推進	0.85	0.66	0.51	0.62	0.67	0.55	0.60	1.00
(n=897)	18 多様性社会の推進	0.97	0.86	0.68	0.62	0.72	0.58	0.57	1.00
(n=886)	19 消費者の権利の尊重・消費者の自立支援	0.76	0.54	0.53	0.59	0.46	0.68	0.74	0.50
(n=897)	20 駅周辺の計画的なまちづくりの推進	1.15	1.29	1.19	1.11	1.01	1.14	0.88	1.00
(n=903)	21 防災・防犯対策の充実	1.51	1.53	1.53	1.53	1.48	1.27	1.30	1.00
(n=901)	22 電子自治体の推進 （電子申請・マイナンバーの活用）	1.17	1.06	0.95	0.62	0.77	0.70	0.43	0.50
(n=892)	23 広報・広聴活動	0.37	0.36	0.34	0.39	0.57	0.61	0.57	0.50
(n=898)	24 幹線道路、狭あい道路の整備	0.94	0.90	0.86	0.82	0.81	1.09	0.86	1.00
(n=901)	25 自転車駐車場の整備	0.95	0.81	0.88	0.78	0.92	0.94	0.89	1.00
(n=896)	26 住宅対策（定住化促進）	0.80	0.61	0.70	0.67	0.81	0.77	0.85	0.50
(n=903)	27 まちなみや景観の整備	0.96	1.05	0.91	0.80	0.73	0.88	0.80	1.00
(n=904)	28 公園や遊び場の整備	1.20	1.26	1.07	0.75	0.84	0.97	0.89	1.50
(n=895)	29 省資源・省エネルギー対策の推進	0.94	0.80	0.92	0.94	0.85	1.00	0.99	2.00
(n=901)	30 ごみ減量・リサイクルの推進	1.09	1.01	1.01	1.09	1.09	1.15	1.22	2.00
(n=899)	31 自然環境の保全・創出の推進	0.96	0.92	0.89	0.85	0.93	1.02	1.03	1.50
(n=903)	32 行財政改革（公共施設の更新、ICTを活用した業務効率化・区民サービスの向上）	0.94	1.02	1.01	0.97	1.19	1.02	0.94	1.00

### ③施策満足度と施策重要度の相関

施策の満足度と重要度について、それぞれの平均値（満足度 0.07、重要度 0.88）を基準として、「A：満足度は低いが、重要度は高い」「B：満足度・重要度がともに高い」「C：満足度・重要度がともに低い」「D：満足度は高いが、重要度は低い」の4つの領域に分ける。

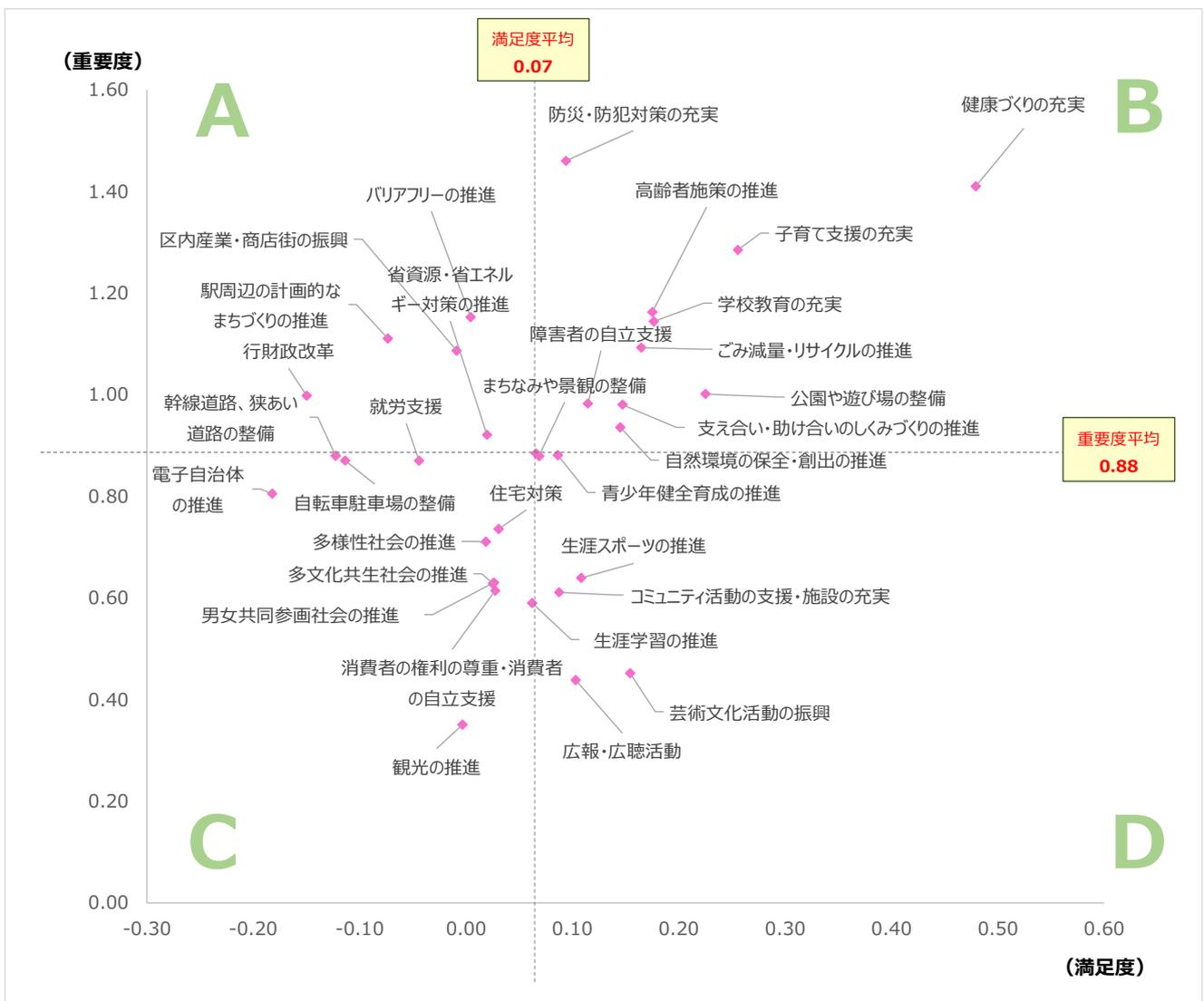
満足度は低いが、重要度は高いA領域には、「駅周辺の計画的なまちづくりの推進」「区内産業・商店街の振興」「バリアフリーの推進」「行財政改革」「省資源・省エネルギー対策の推進」が位置付けられる。

満足度・重要度がともに高いB領域には「健康づくりの充実」「子育て支援の充実」「高齢者施策の推進」「学校教育の充実」「防災・防犯対策の充実」「ごみ減量・リサイクルの推進」などが位置付けられる。

満足度・重要度がともに低いC領域には「観光の推進」「住宅対策」「男女共同参画社会の推進」「多文化共生社会の推進」「多様性社会の推進」「電子自治体の推進」などが位置付けられる。

満足度は高いが、重要度は低いD領域には「広報・広聴活動」「芸術文化活動の振興」「コミュニティ活動の支援・施設の充実」「生涯スポーツの推進」などが位置づけられる。

図表 3-64 施策満足度と施策重要度の相関



A：満足度は低いが、重要度は高い

B：満足度・重要度がともに高い

C：満足度・重要度がともに低い

D：満足度は高いが、重要度は低い

## (6) 地域との共生について

### ① 地域活動等への参加状況

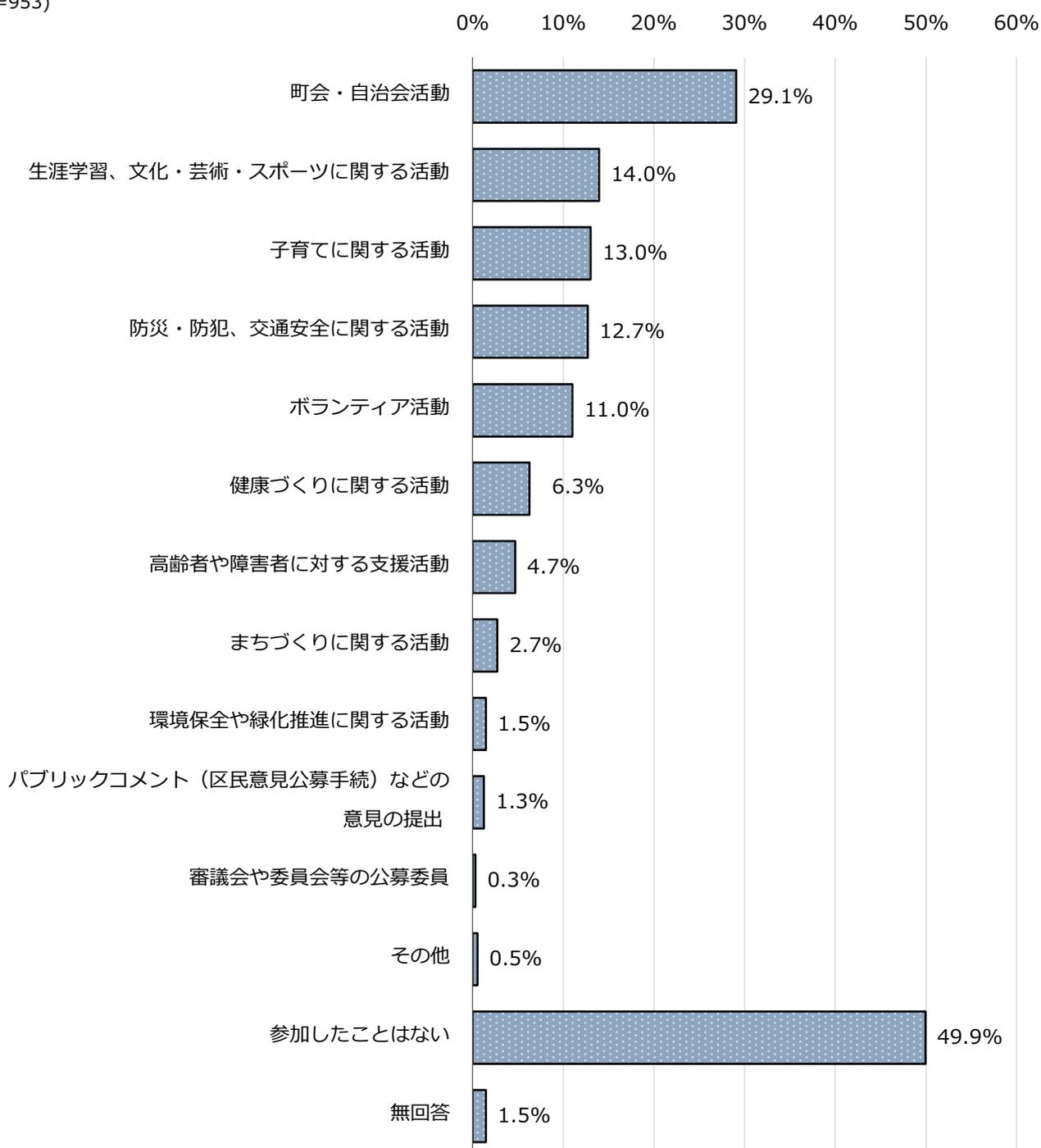
問19 これまで参加したことがある活動について、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(MA)

#### 1) 全体

「参加したことはない」の割合が最も高く 49.9%である。次いで、「町会・自治会活動 (29.1%)」、「生涯学習、文化・芸術・スポーツに関する活動 (14.0%)」となった。

図表 3-65 地域活動等への参加状況

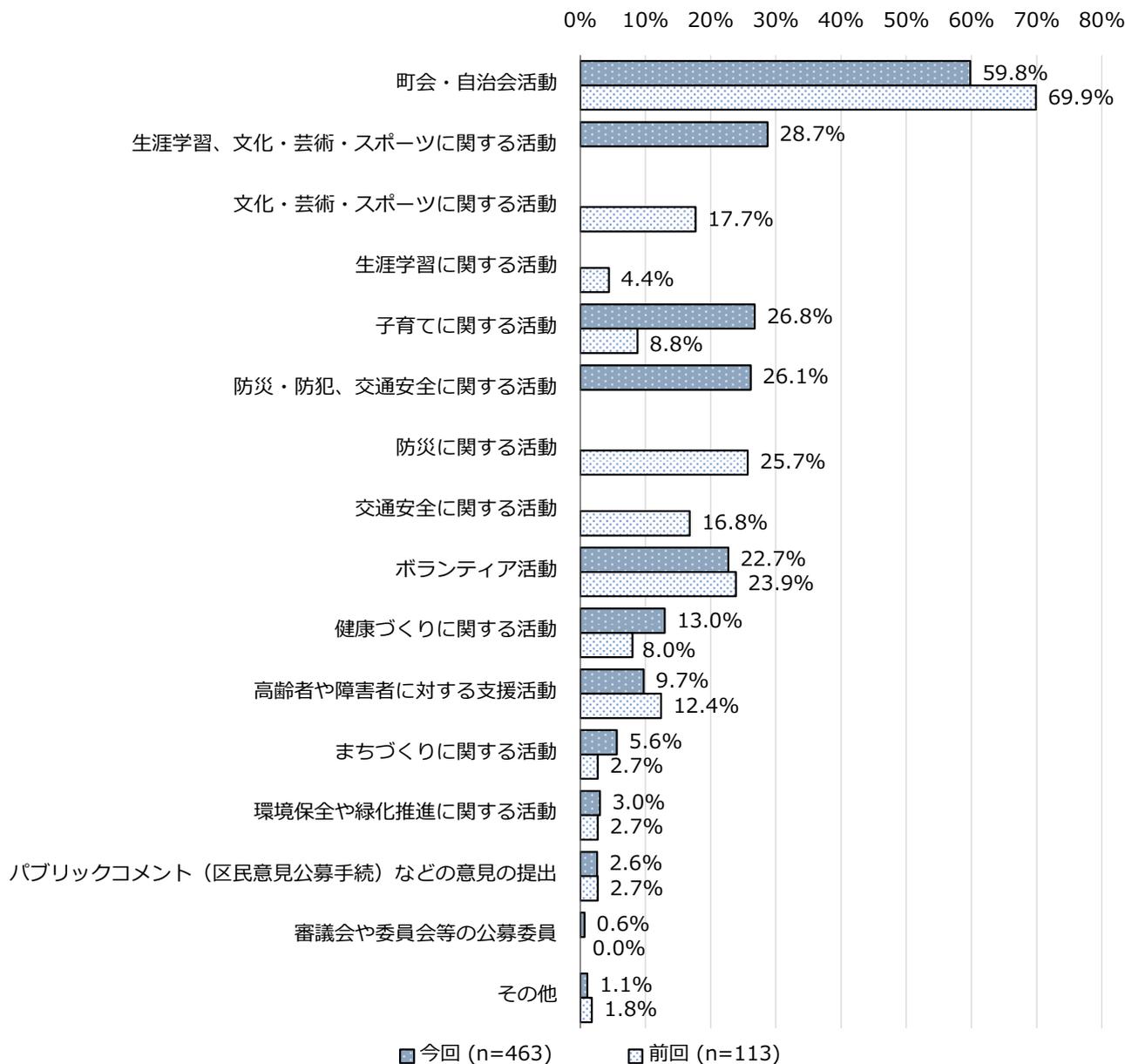
(n=953)



## 2) 経年比較

前回調査と比較すると、「町会・自治会活動」の割合が69.9%から59.8%に低下している。一方で、「子育てに関する活動」の割合は、8.8%から26.8%に上昇した。

図表 3-66 地域活動等への参加状況（経年比較）



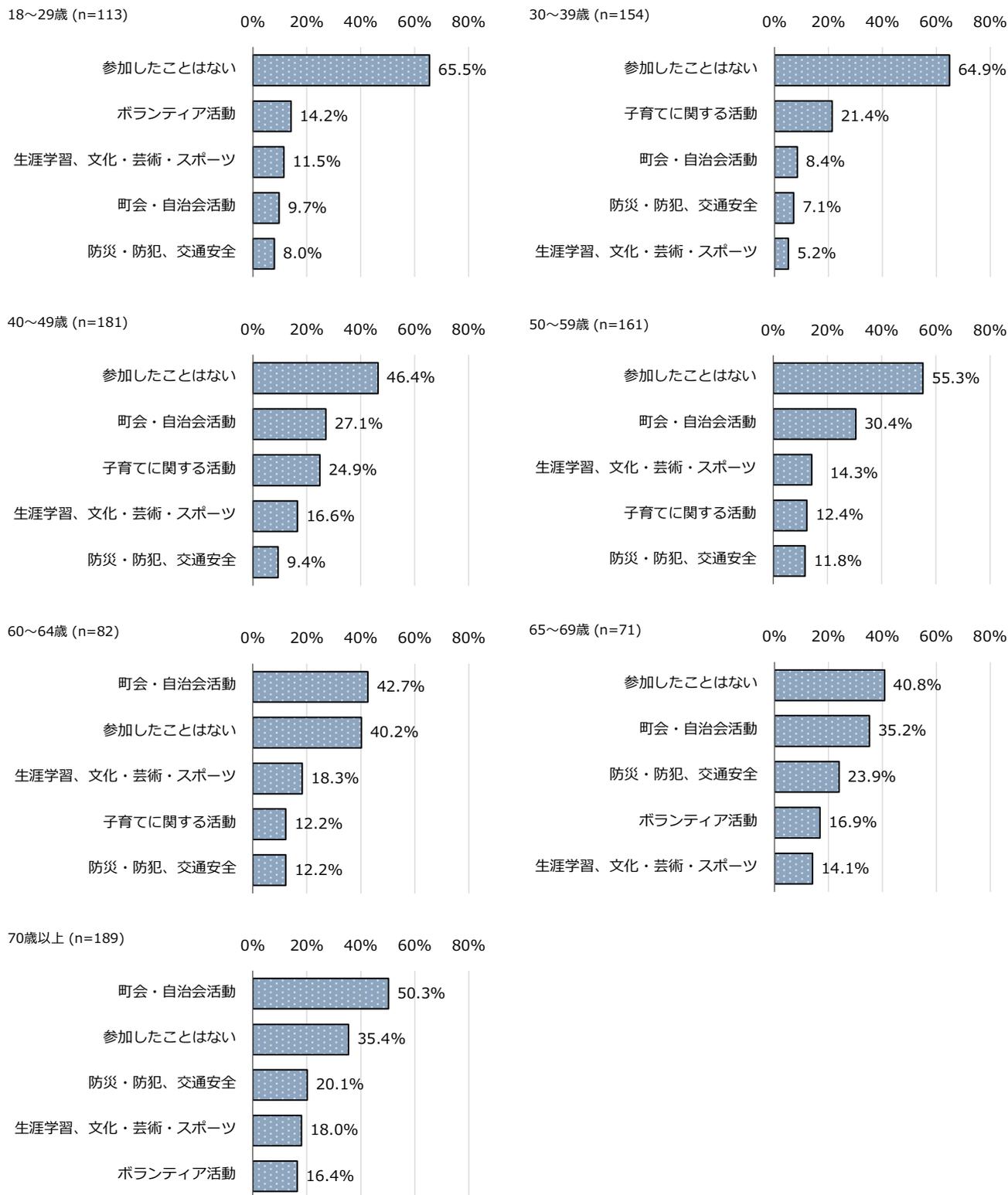
注) 今回調査は、「参加したことはない」と「無回答」を除外した値を母集団とし、各選択肢の回答率を算出した値であるため、図表 3-65 の値とは異なる。

前回調査では、「区政参画や地域活動にスタッフとして参加したことがある」人が、具体的な活動内容を回答する形式である。前回調査では、今回調査の選択肢「生涯学習、文化・芸術・スポーツに関する活動」は「文化・芸術・スポーツに関する活動」「生涯学習に関する活動」に、「防災・防犯、交通安全に関する活動」は「防災に関する活動」「交通安全に関する活動」に分かれている。また、今回調査の選択肢「高齢者や障害者に対する支援活動」は「高齢者や障害者に対するサービス活動」となっている。比較のため、前回調査無回答者の割合は除外した。

### 3) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「65～69歳」で「参加したことはない」の割合が最も高く、「60～64歳」「70歳以上」では「町会・自治会活動」の割合が最も高い。

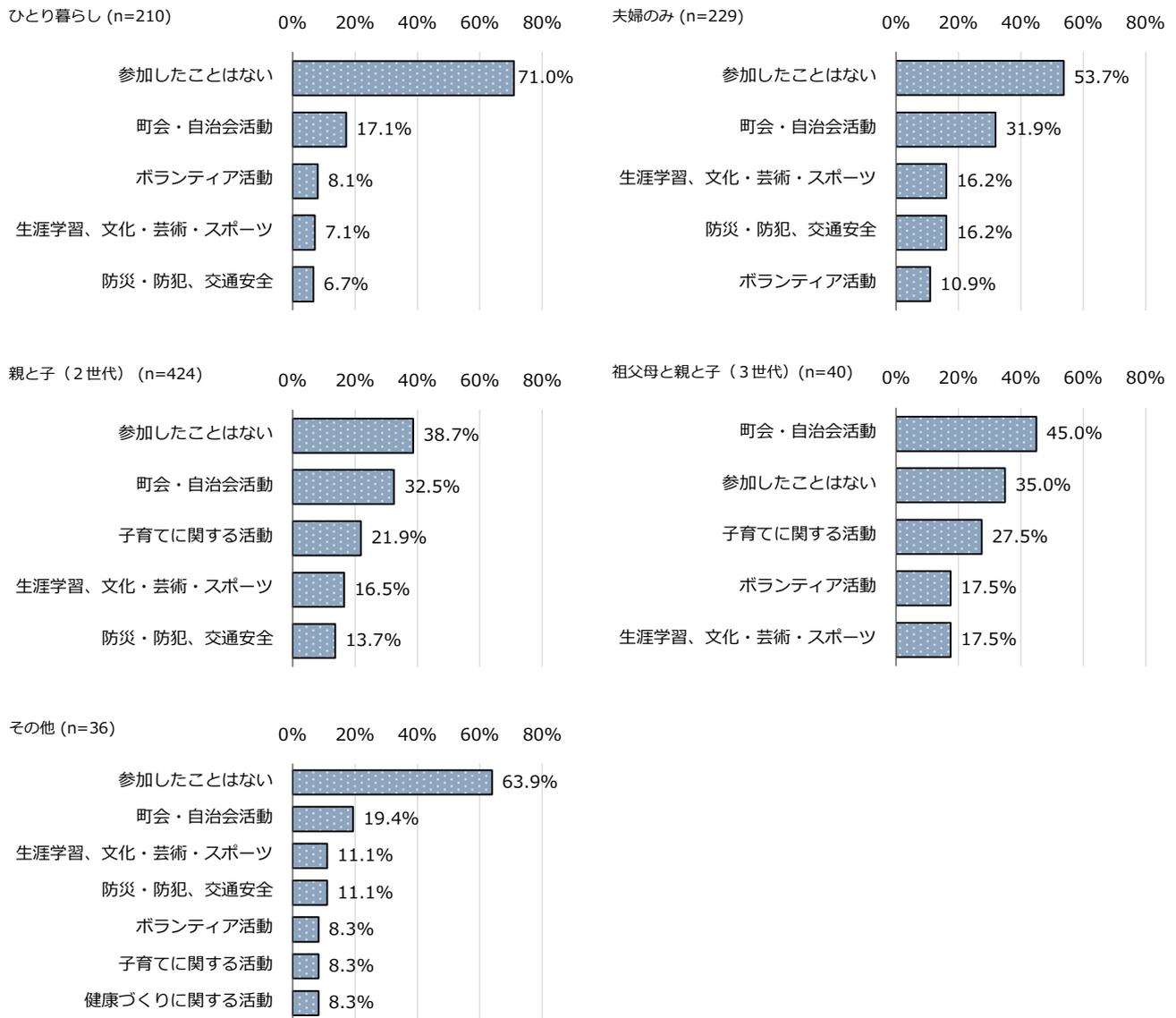
図表 3-67 地域活動等への参加状況（年齢別：上位5位）



#### 4) 世帯構成別

世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」「夫婦のみ」「親と子（2世代）」「その他」で「参加したことはない」の割合が最も高く、「祖父母と親と子（3世代）」では「町会・自治会活動」の割合が最も高い。

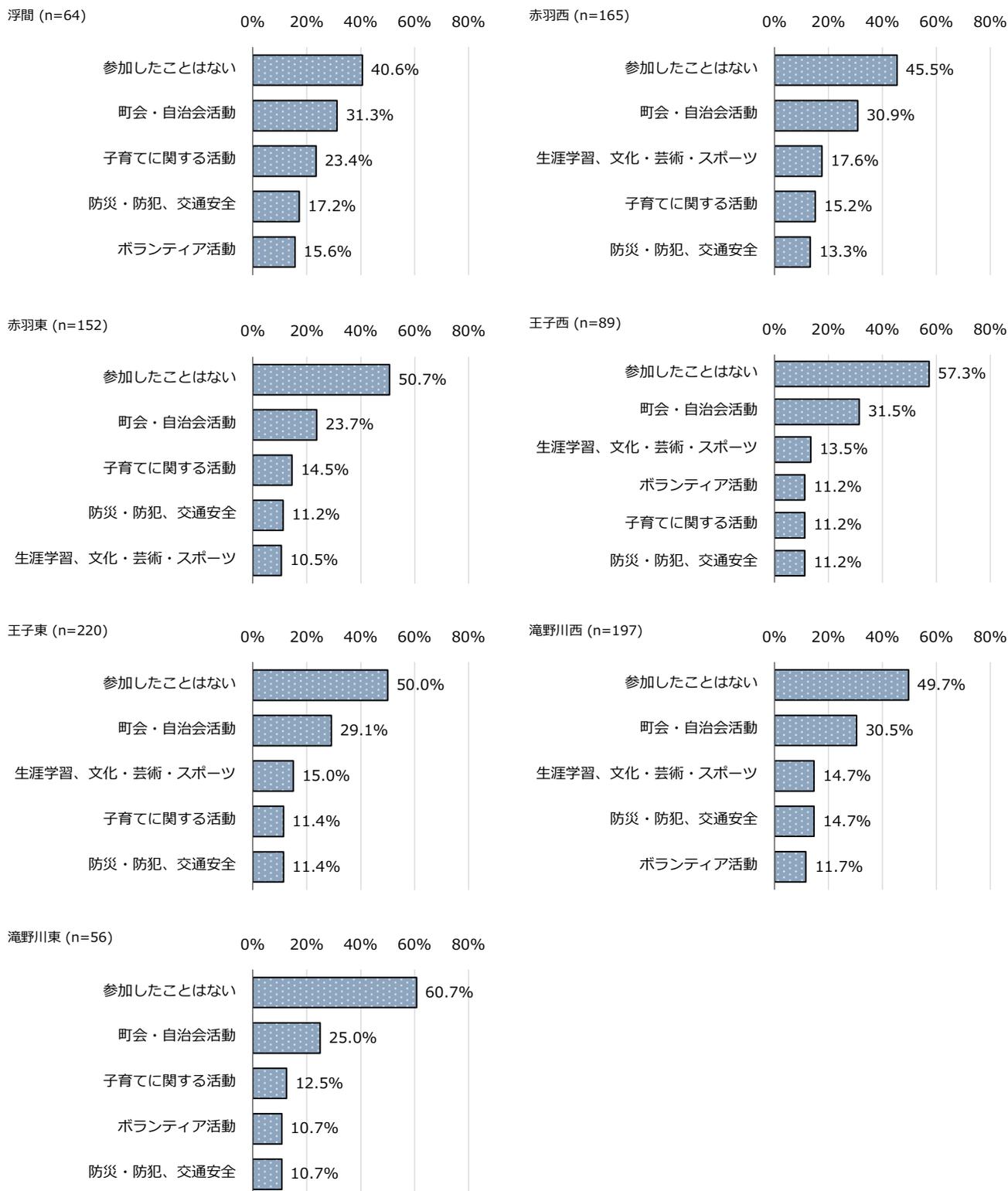
図表 3-68 地域活動等への参加状況（世帯構成別：上位5位）



## 5) 居住地区別

居住地区別にみると、いずれも第1位が「参加したことはない」、第2位が「町会・自治会活動」となった。第3位は、「浮間」「赤羽東」「滝野川東」で「子育てに関する活動」、「赤羽西」「王子西」「王子東」「滝野川西」で「生涯学習、文化・芸術・スポーツ」となった。

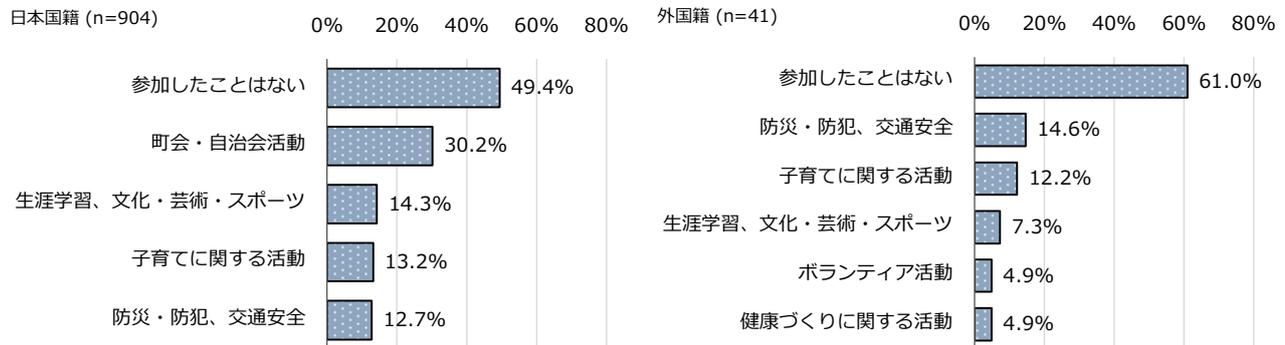
図表 3-69 地域活動等への参加状況（居住地区別：上位5位）



## 6) 国籍別

国籍別にみると、いずれも「参加したことはない」の割合が最も高い。第2位は、「日本国籍」で「町会・自治会活動」、「外国籍」で「防災・防犯、交通安全」となった。

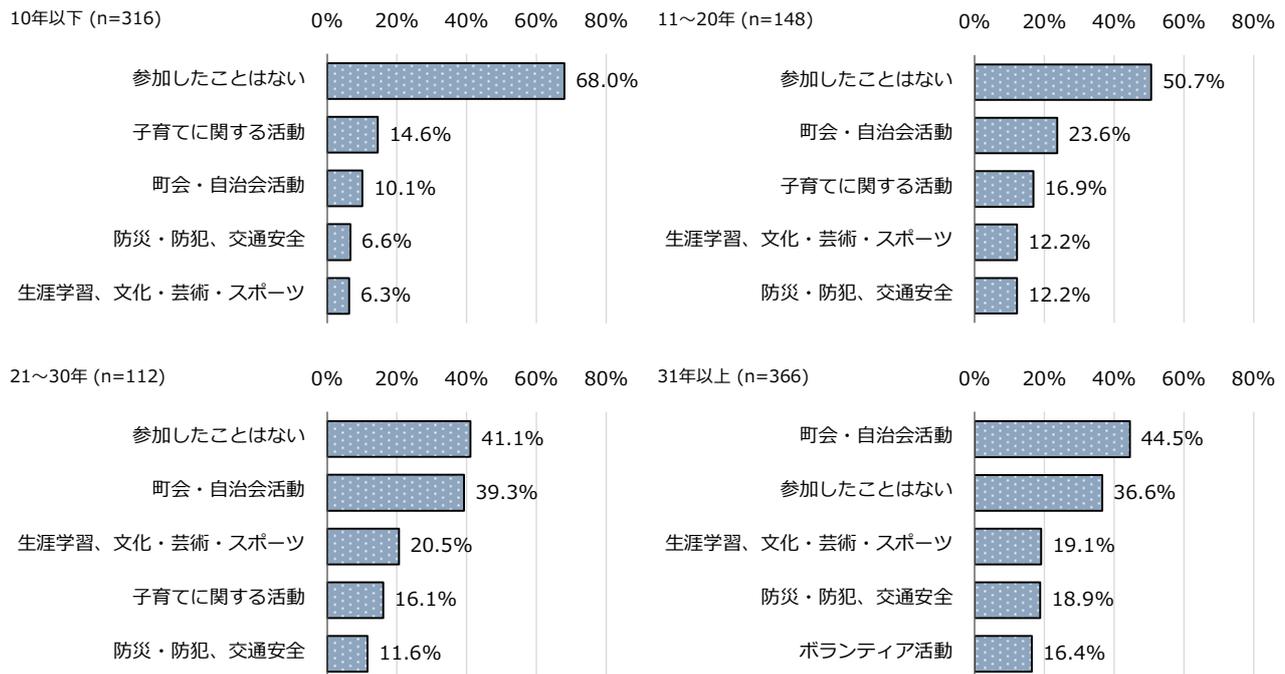
図表 3-70 地域活動等への参加状況（国籍別：上位5位）



## 7) 居住年数別

居住年数別にみると、「10年以下」「11～20年」「21年～30年」で「参加したことはない」の割合が最も高く、「31年以上」では「町会・自治会活動」の割合が最も高い。

図表 3-71 地域活動等への参加状況（居住年数別：上位5位）



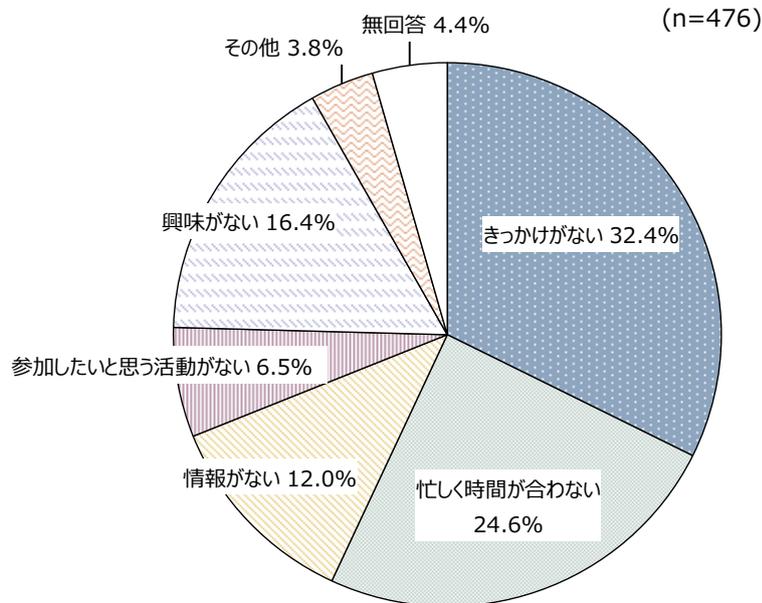
## ②地域活動等へ参加しない理由

問20 活動に参加しない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。(SA)

### 1) 全体

「きっかけがない」の割合が最も高く 32.4%であった。次いで、「忙しく時間が合わない (24.6%)」、「興味がない (16.4%)」となった。

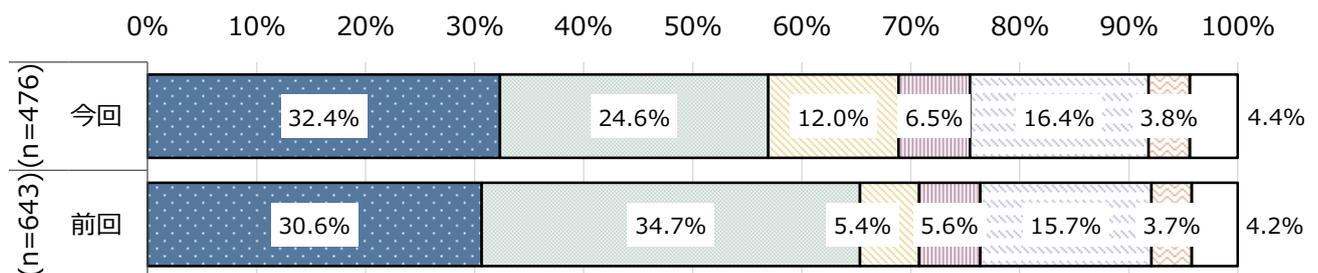
図表 3-72 地域活動等へ参加しない理由



### 2) 経年比較

前回調査結果と比較すると、「忙しく時間が合わない」の割合が 34.7%から 24.6%に低下している。一方で、「きっかけがない」「情報がない」の割合は上昇した。

図表 3-73 地域活動等へ参加しない理由 (経年比較)



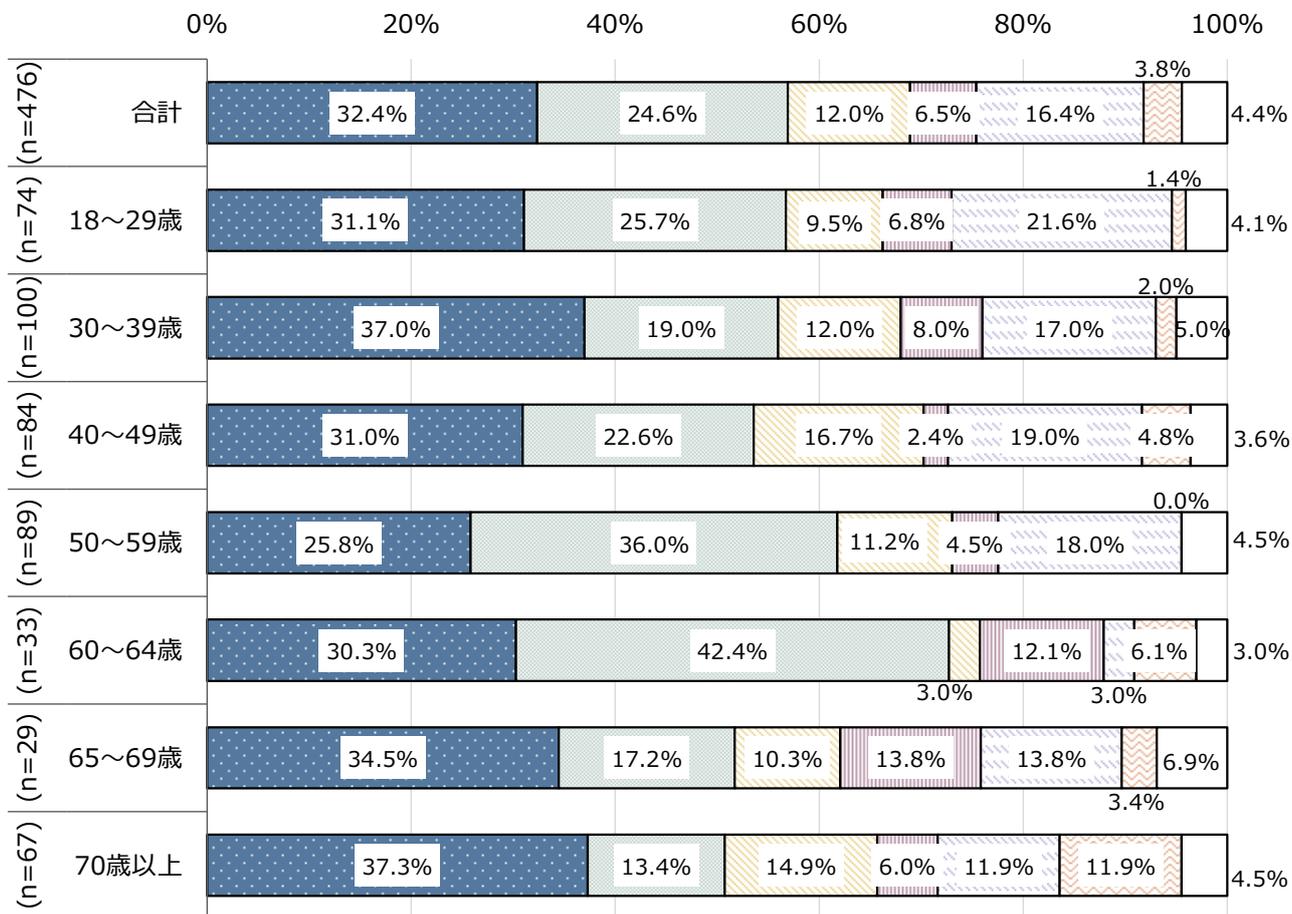
■きっかけがない □忙しく時間が合わない □情報がない □参加したいと思う活動がない □興味がない □その他 □無回答

注) 前回調査の選択肢は、「参加・活動するきっかけがない」「家事や仕事が忙しく時間が合わない」「参加・活動したいが情報がない」「参加したいと思う活動がない」「興味がない」「その他」となっている。

### 3) 年齢別

年齢別にみると、「30～39歳」「70歳以上」で「きっかけがない」の割合が高く、「50～59歳」「60～64歳」で「忙しく時間が合わない」の割合が高い。

図表 3-74 地域活動等へ参加しない理由（年齢別）



■きっかけがない □忙しく時間が合わない □情報がない □参加したいと思う活動がない □興味がない □その他 □無回答

### ③北区の情報入手先

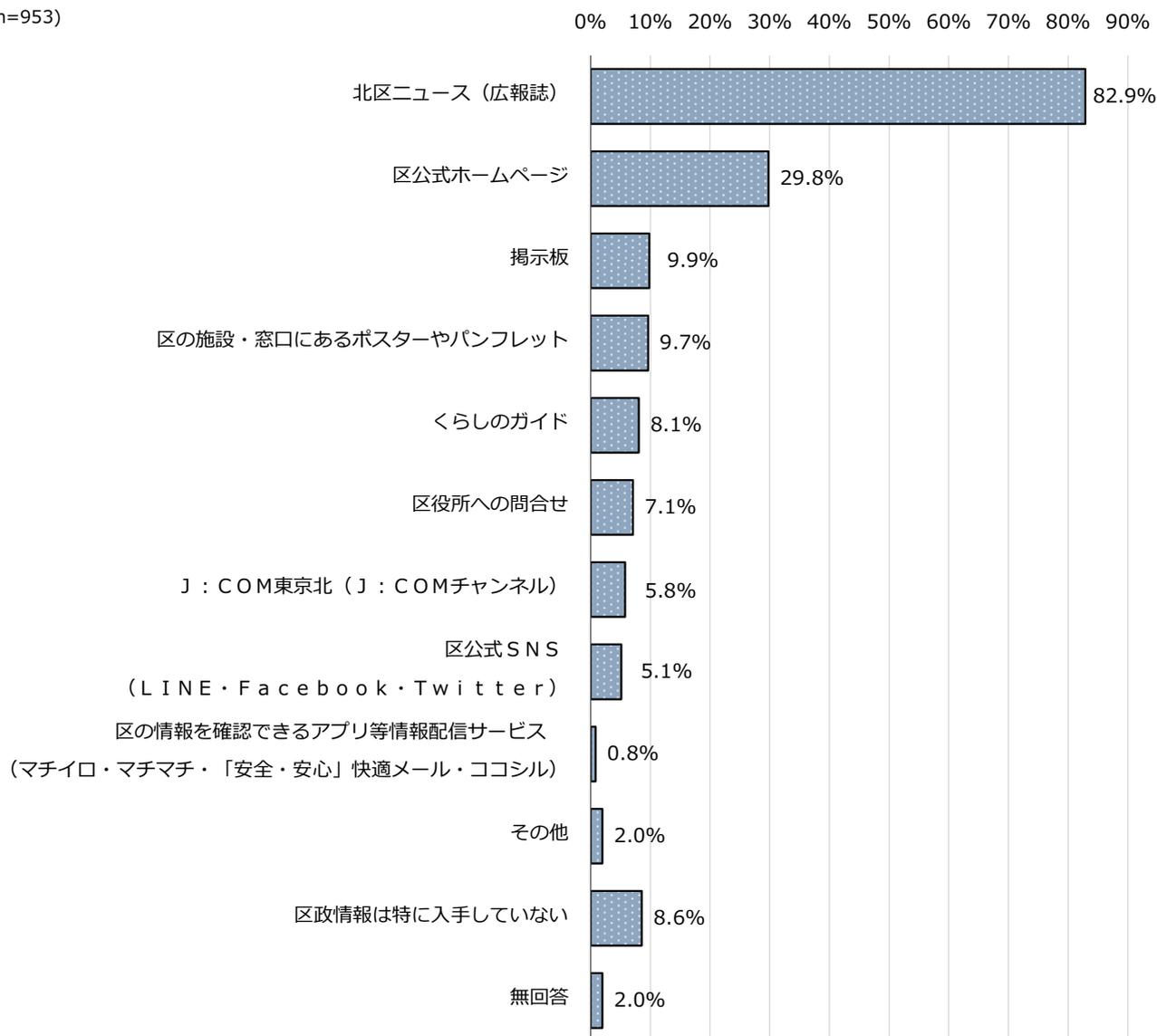
問21 あなたは、北区の情報（区政運営、生活に必要な情報等）を主に何から入手していますか。  
次の中から3つまで選んで○をつけてください。（MA（3））

#### 1) 全体

「北区ニュース（広報誌）」の割合が最も高く 82.9%である。次いで、「区公式ホームページ（29.8%）」、「掲示板（9.9%）」となった。

図表 3-75 北区の情報入手先

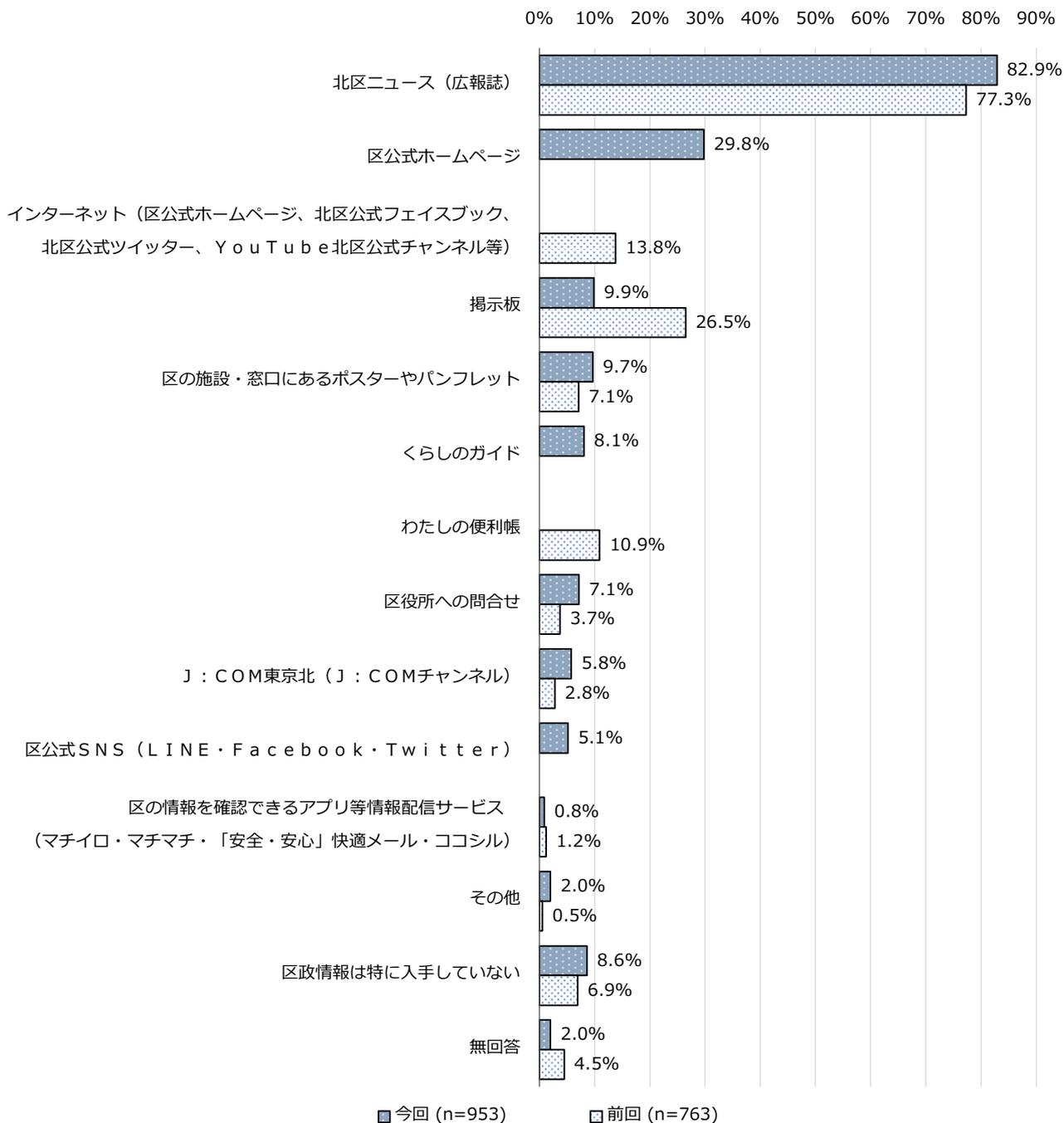
(n=953)



## 2) 経年比較

前回調査結果と比較すると、「北区ニュース」の割合が最も高く、今回調査では77.3%から82.9%に上昇している。

図表 3-76 北区の情報の入手先（経年比較）

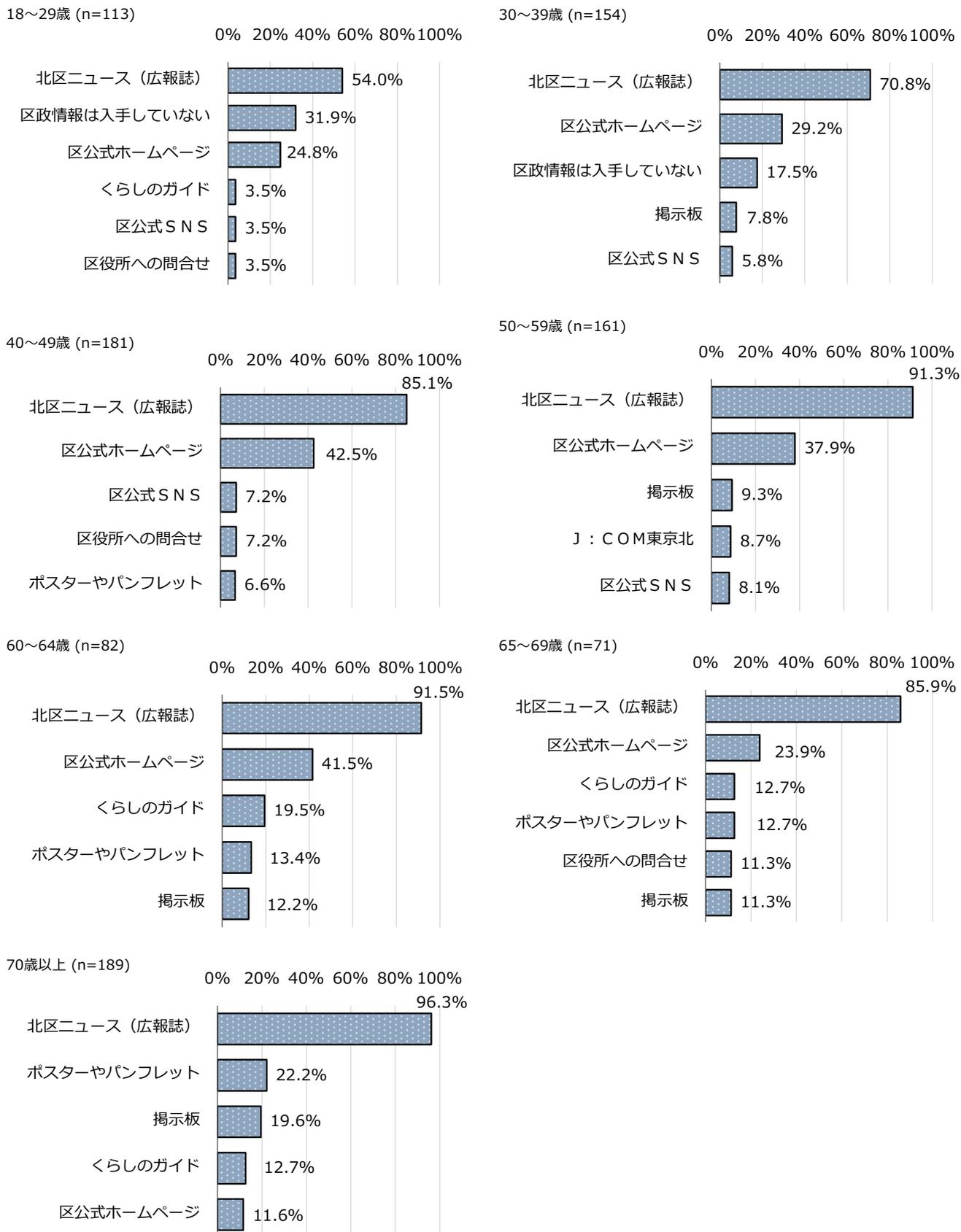


注) 前回調査は、あてはまるものを2つまで選択する形式。前回調査選択肢の「インターネット (区公式ホームページ、北区公式フェイスブック、北区公式ツイッター、YouTube北区公式チャンネル等)」は、今回調査では「区公式ホームページ」「区公式SNS (LINE・Facebook・Twitter)」に分かれている。また、前回調査では、今回調査選択肢「北区ニュース (広報誌)」は「北区ニュース」、「掲示板」は「掲示板・回覧板」、「区の情報を確認できるアプリ等情報配信サービス (マチイロ・マチマチ・「安全・安心」快適メール・ココシル)」は「『安全・安心』快適メール・防災気象情報メール等の配信」となっている。選択肢「くらしのガイド」は今回調査のみである。

### 3) 年齢別

年齢別にみると、いずれも「北区ニュース（広報誌）」の割合が最も高い。

図表 3-77 北区の情報の入手媒体（年齢別：上位5位）



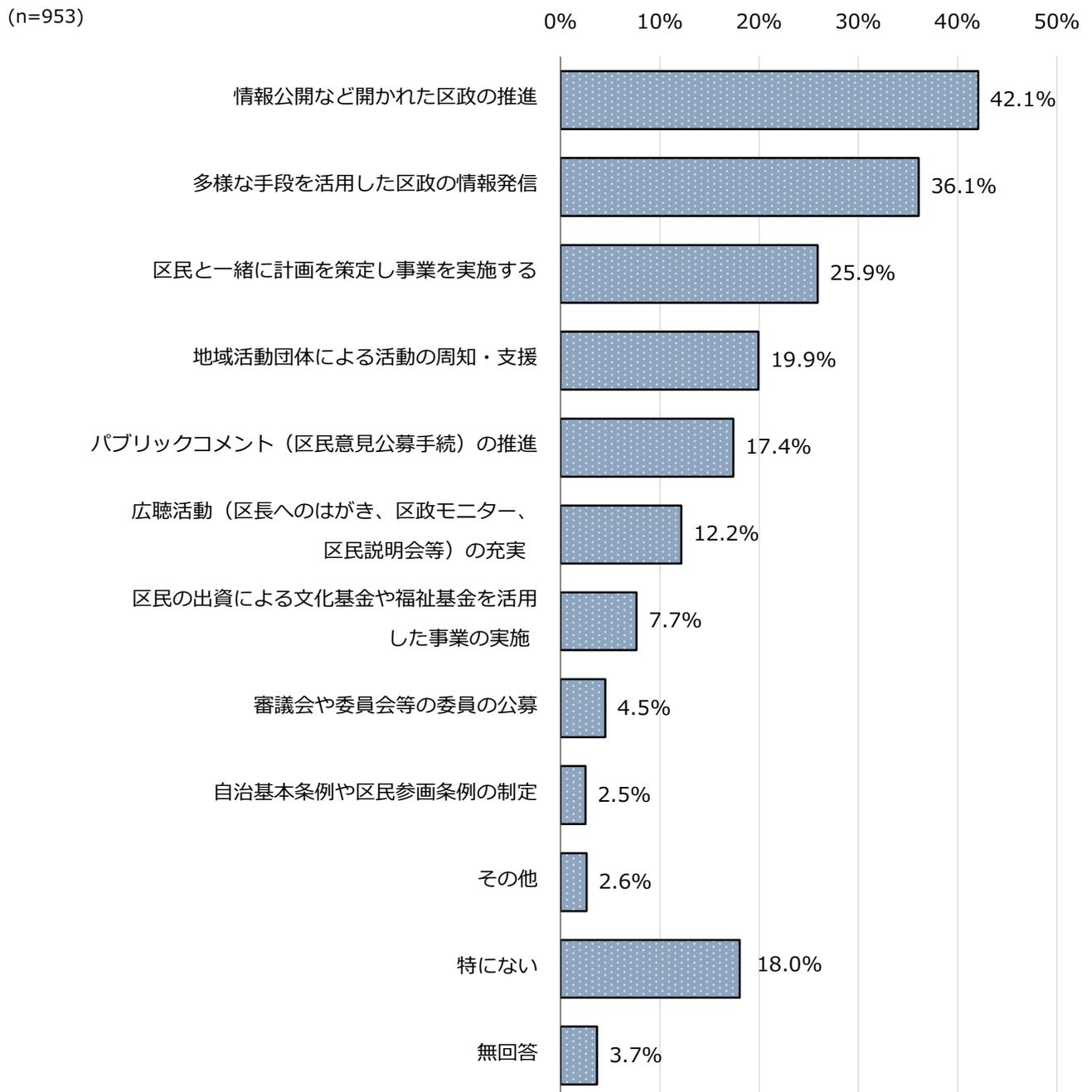
#### ④区政参画・地域活動への参加促進のための取組み

問22 今後、区民の区政への参画または地域活動への参加を促進するために、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。(MA(3))

##### 1) 全体

「情報公開など開かれた区政の推進」の割合が最も高く42.1%である。次いで、「多様な手段を活用した区政の情報発信(36.1%)」、「区民と一緒に計画を策定し事業を実施する(25.9%)」となった。

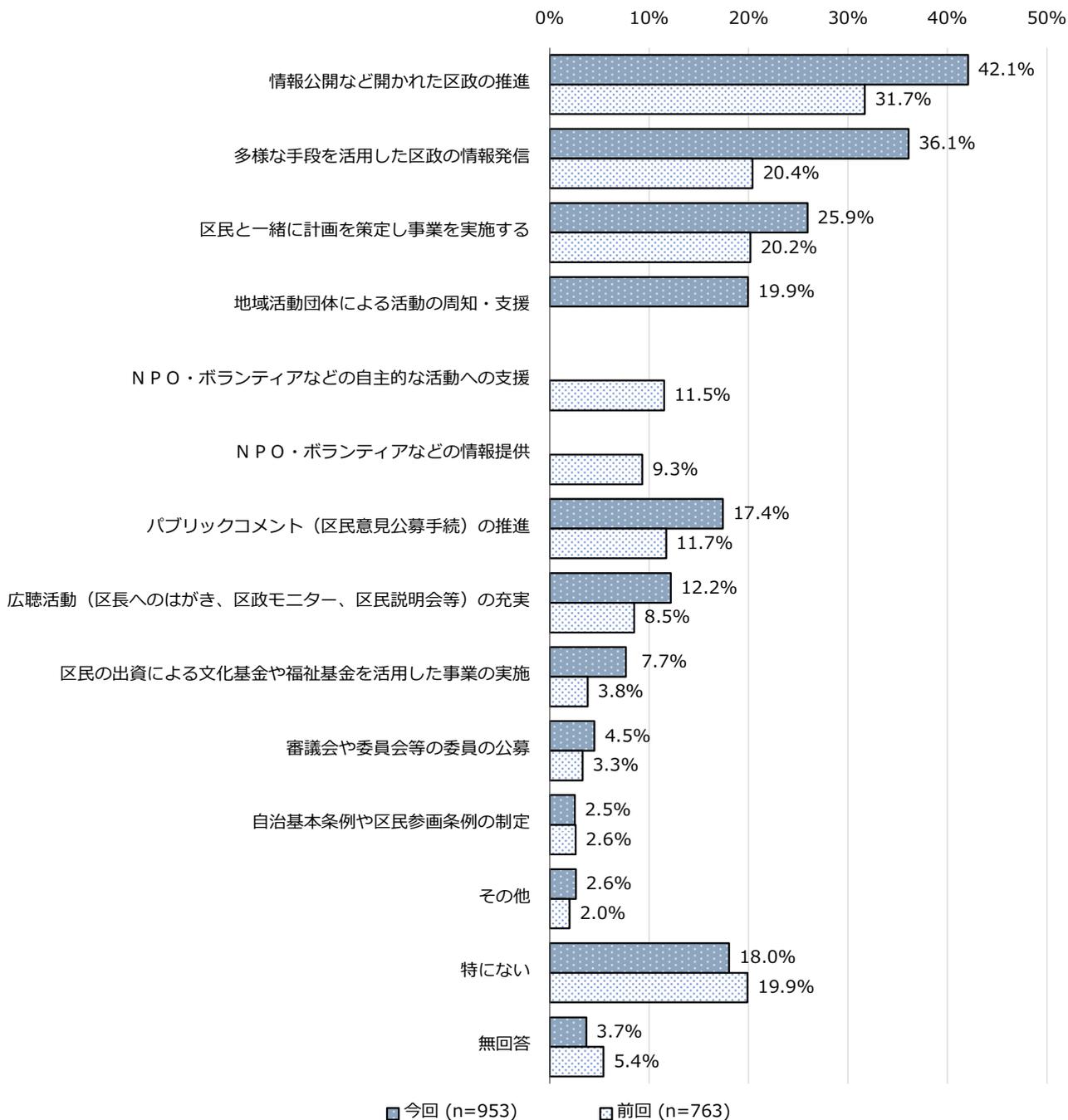
図表 3-78 区政参画・地域活動への参加促進のための取組み



## 2) 経年比較

前回調査結果と比較すると、「情報公開など開かれた区政の推進」の割合が31.7%から42.1%に上昇している。また、「多様な手段を活用した区政の情報発信」や「区民と一緒に計画を策定し事業を実施する」についても上昇している。

図表 3-79 区政参画・地域活動への参加促進のための取組み（経年比較）

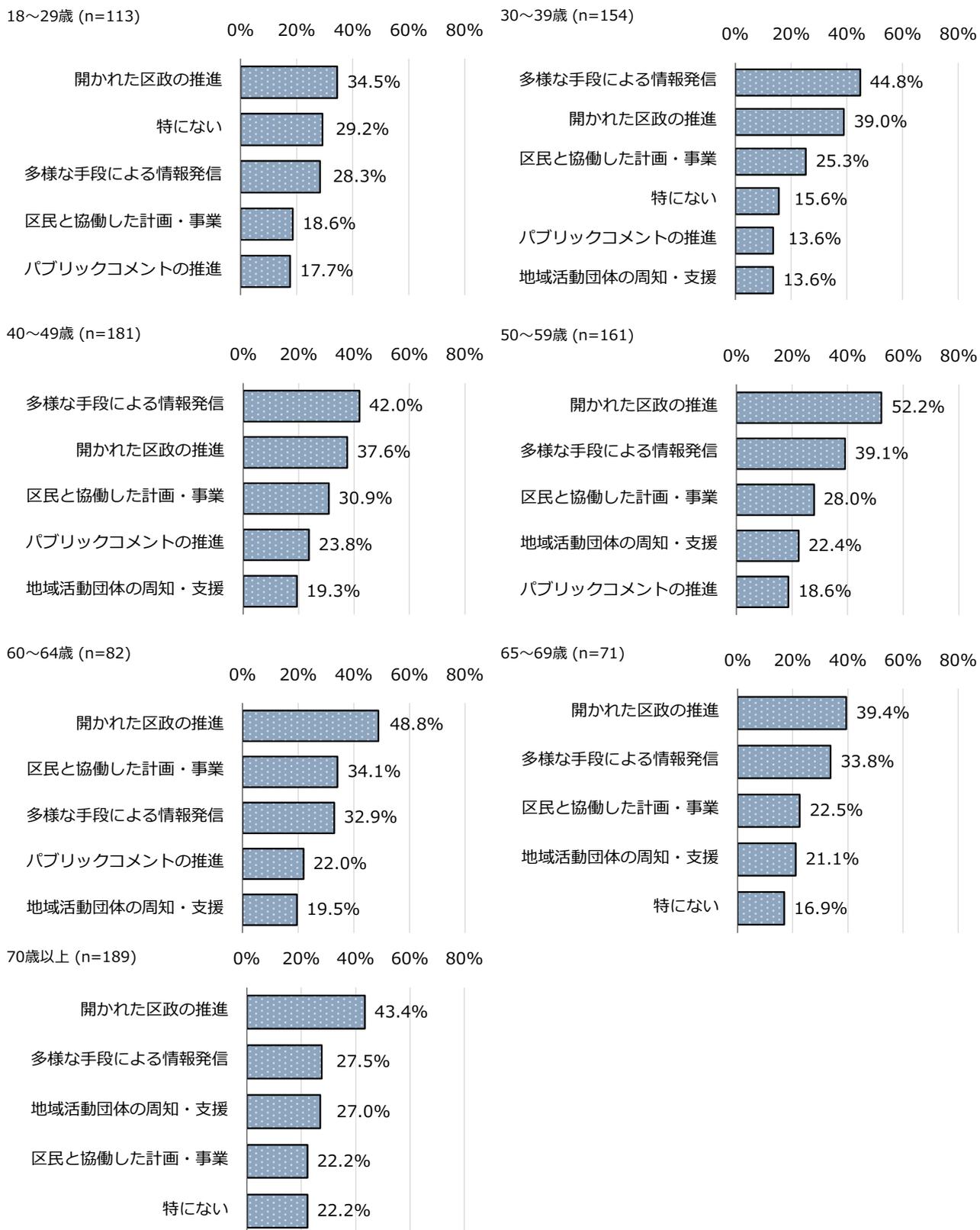


注) 前回調査は、あてはまるものを2つまで選択する形式。選択肢「地域活動団体による活動の周知・支援」は今回調査のみ、選択肢「NPO・ボランティアなどの自主的な活動への支援」「NPO・ボランティアなどの情報提供」は前回調査のみ。今回調査の「地域活動団体」には、町会・自治会のほかNPO・ボランティアなどの市民活動団体を含む。

### 3) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」「50～59歳」「60～64歳」「65～69歳」「70歳以上」で「開かれた区政の推進」の割合が最も高く、「30～39歳」「40～49歳」では「多様な手段による情報発信」の割合が最も高い。

図表 3-80 区政参画・地域活動への参加促進のための取組み（年齢別：上位5位）

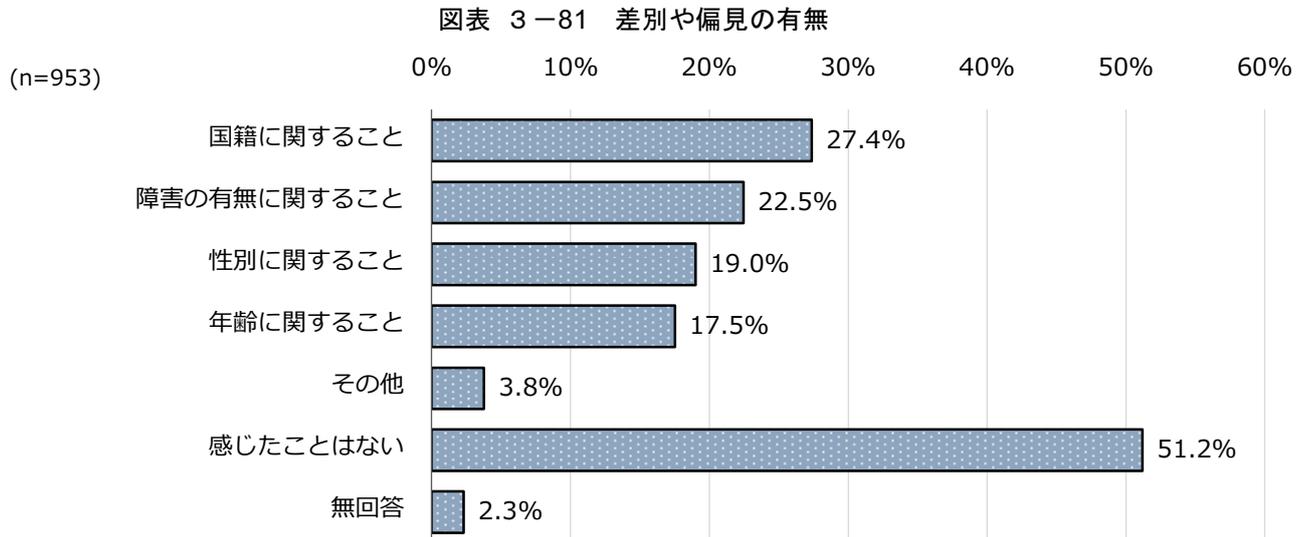


## ⑤差別や偏見

問23 あなたは、差別や偏見が身近にあると感じますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(MA)

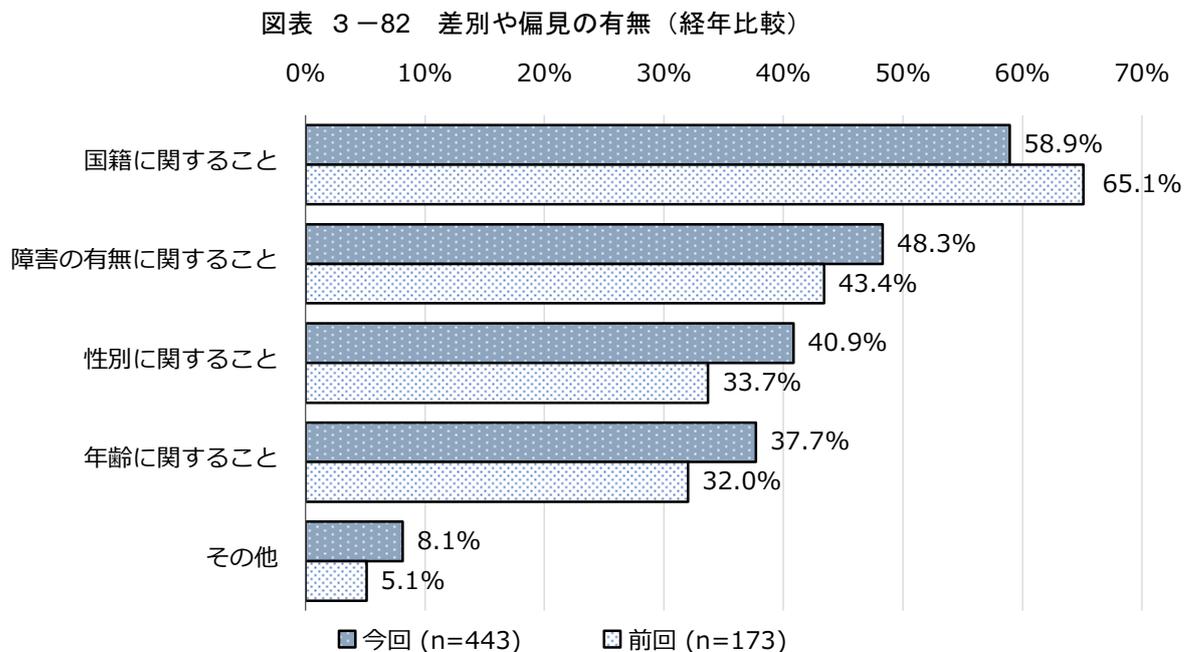
### 1) 全体

「感じたことはない」の割合が最も高く 51.2%である。次いで、「国籍に関すること (27.4%)」、「障害の有無に関すること (22.5%)」となった。



### 2) 経年比較

前回調査結果と比較すると、「国籍に関すること」の割合が 65.1%から 58.9%に低下しているが、「障害の有無に関すること」「性別に関すること」「年齢に関すること」はいずれもやや上昇している。



注) 今回調査は、「感じたことはない」と「無回答」を除外した値を母集団とし、各選択肢の回答率を算出した値であるため、図表 3-81 の値とは異なる。

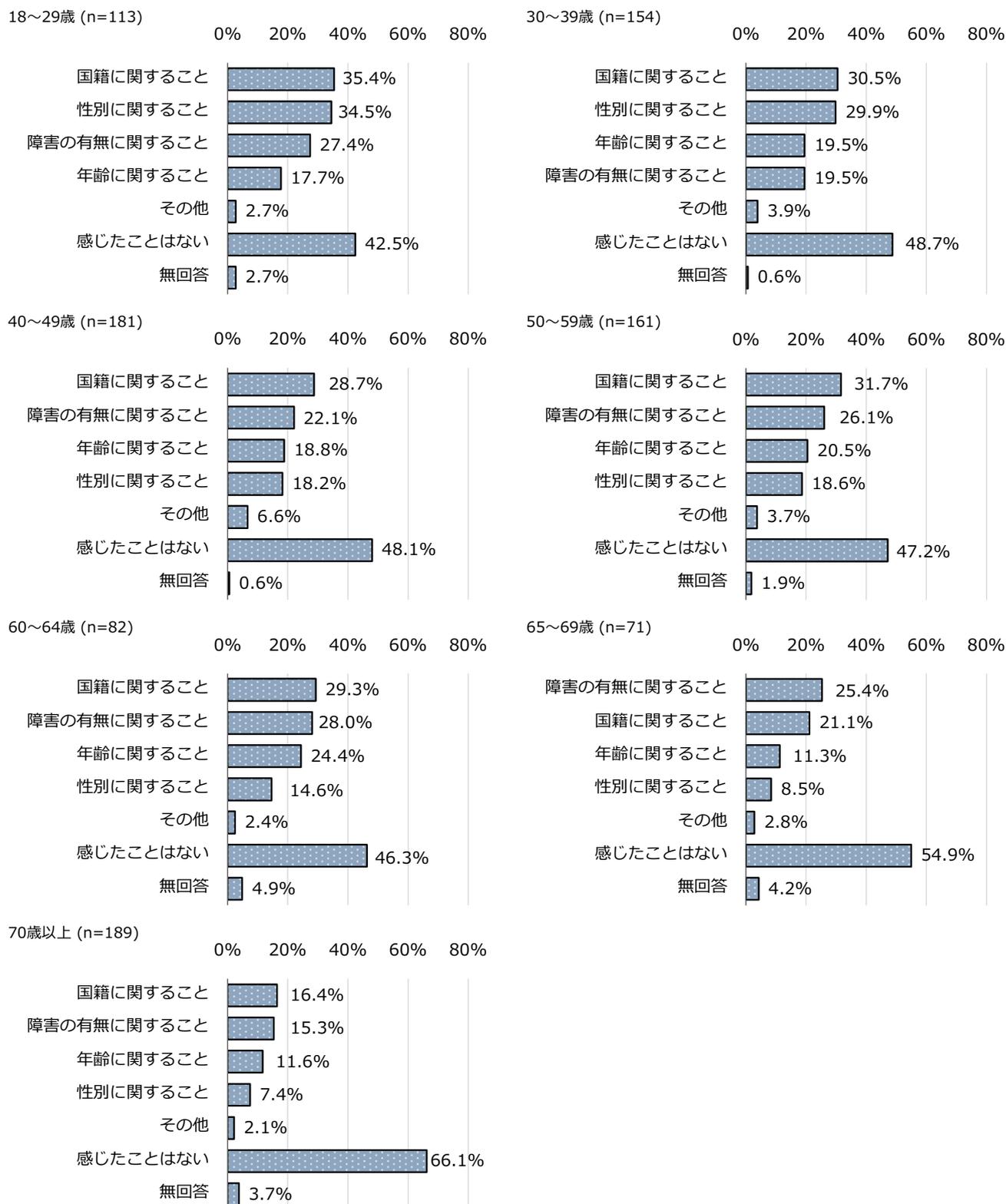
前回調査は、「国籍や性別、年齢、障害による差別や偏見が身近にあると感じた」人が具体的な差別・偏見の内容を回答する形式。前回調査の選択肢は、「国籍に関して」「障害の有無に関して」「性別に関して」「年齢に関して」「その他」となっている。前回調査無回答者の割合は除外した。

### 3) 年齢別

年齢別にみると、いずれの年齢でも「感じたことはない」の割合が最も高い。

一方で、差別や偏見を感じた内容としては、「18～29歳」「30～39歳」では「国籍に関すること」の割合が最も高く、次いで「性別に関すること」となった。「40～49歳」「50～59歳」「60～64歳」「70歳以上」では「国籍に関すること」の割合が最も高く、次いで「障害の有無に関すること」となった。「65～69歳」では、「障害の有無に関すること」の割合が最も高く、次いで「国籍に関すること」となった。

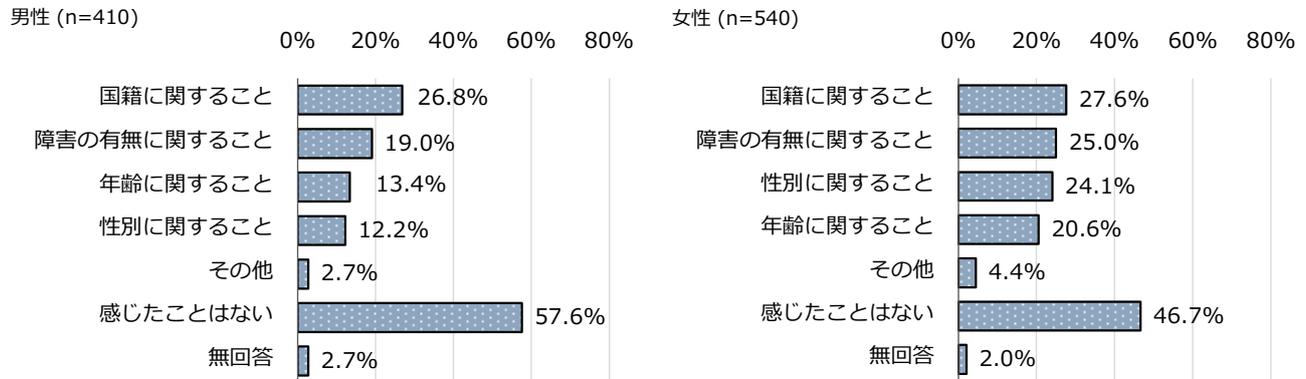
図表 3-83 差別や偏見の有無（年齢別）



#### 4) 性別

性別にみると、いずれも「国籍に関すること」の割合が最も高く、次いで「障害の有無に関すること」となった。

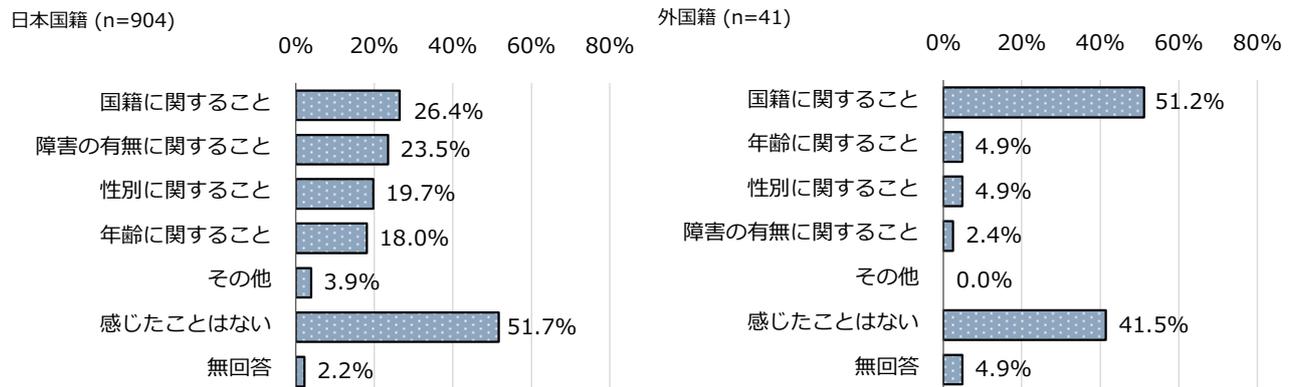
図表 3-84 差別や偏見の有無（性別）



#### 5) 国籍別

国籍別にみると、いずれも「国籍に関すること」の割合が高い。第2位は「日本国籍」で「障害の有無に関すること」、「外国籍」で「年齢に関すること」「性別に関すること」となった。

図表 3-85 差別や偏見の有無（国籍別）



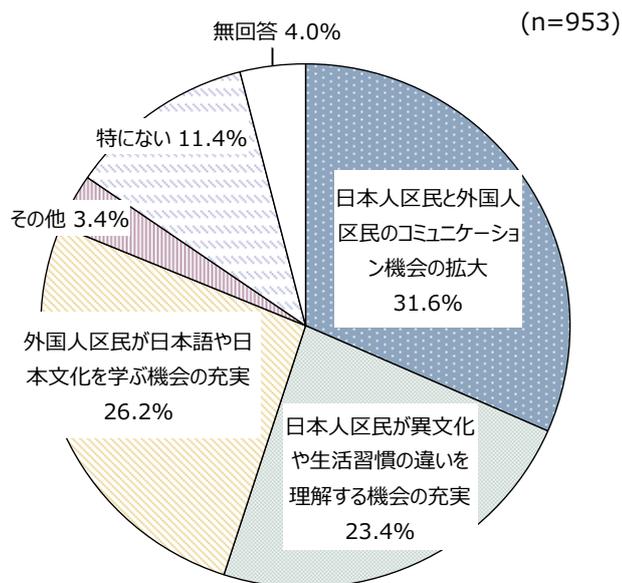
## ⑥外国人区民と日本人区民との共存

問24 外国人区民と日本人区民がお互いを尊重しながら共存していくため、重要な取組みは何だと思えますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。(SA)

### 1) 全体

「日本人区民と外国人区民のコミュニケーション機会の拡大」の割合が最も高く31.6%であった。次いで、「外国人区民が日本語や日本文化を学ぶ機会の充実(26.2%)」、「日本人区民が異文化や生活習慣の違いを理解する機会の充実(23.4%)」となった。

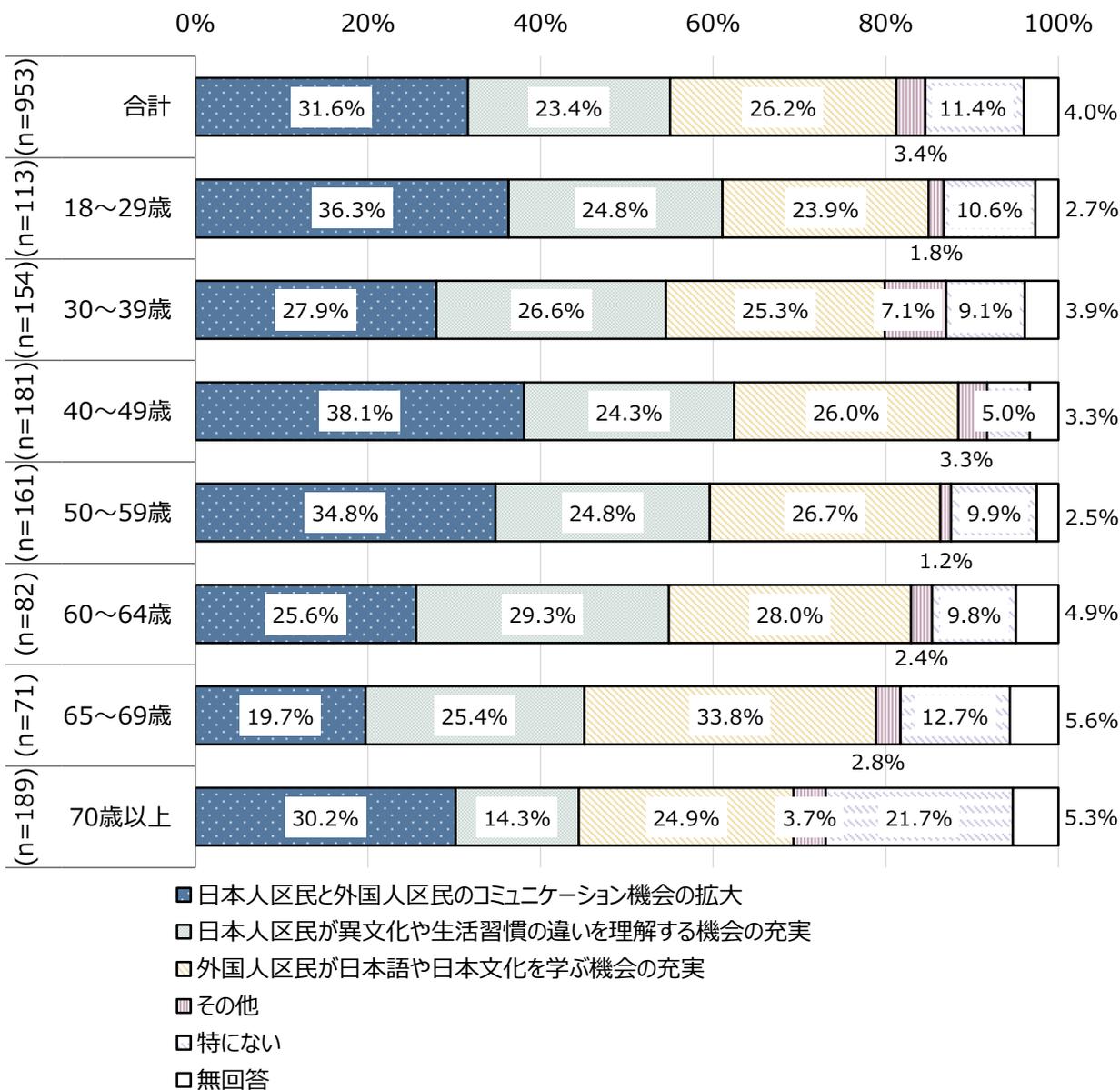
図表 3-86 外国人区民と日本人区民との共存



## 2) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「70歳以上」で「日本人区民と外国人区民のコミュニケーション機会の拡大」の割合が最も高い。「60～64歳」では、「日本人区民が異文化や生活習慣の違いを理解する機会の充実」の割合が最も高く、「65～69歳」では、「外国人区民が日本語や日本文化を学ぶ機会の充実」の割合が最も高い。

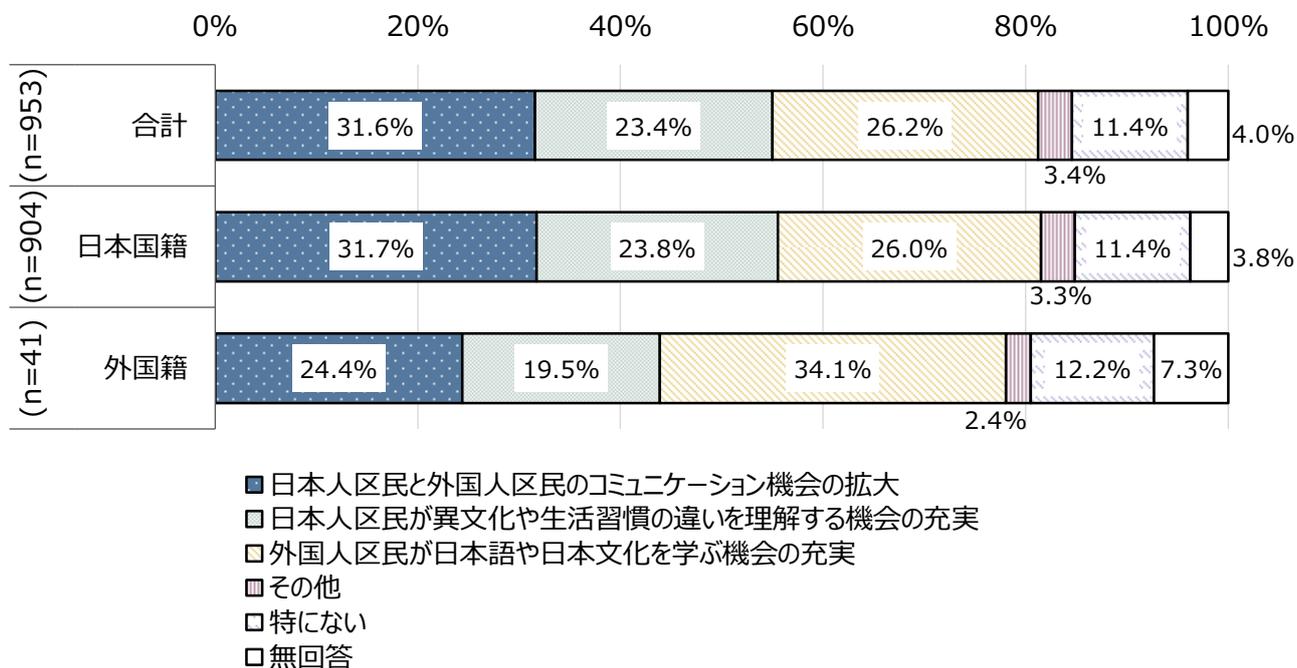
図表 3-87 外国人区民と日本人区民との共存（年齢別）



### 3) 国籍別

国籍別にみると、「日本国籍」で「日本人区民と外国人区民のコミュニケーション機会の拡大」の割合が、「外国籍」で「外国人区民が日本語や日本文化を学ぶ機会の充実」の割合が最も高い。

図表 3-88 外国人区民との共存（国籍別）



## (7) 子育て・教育への取組みについて

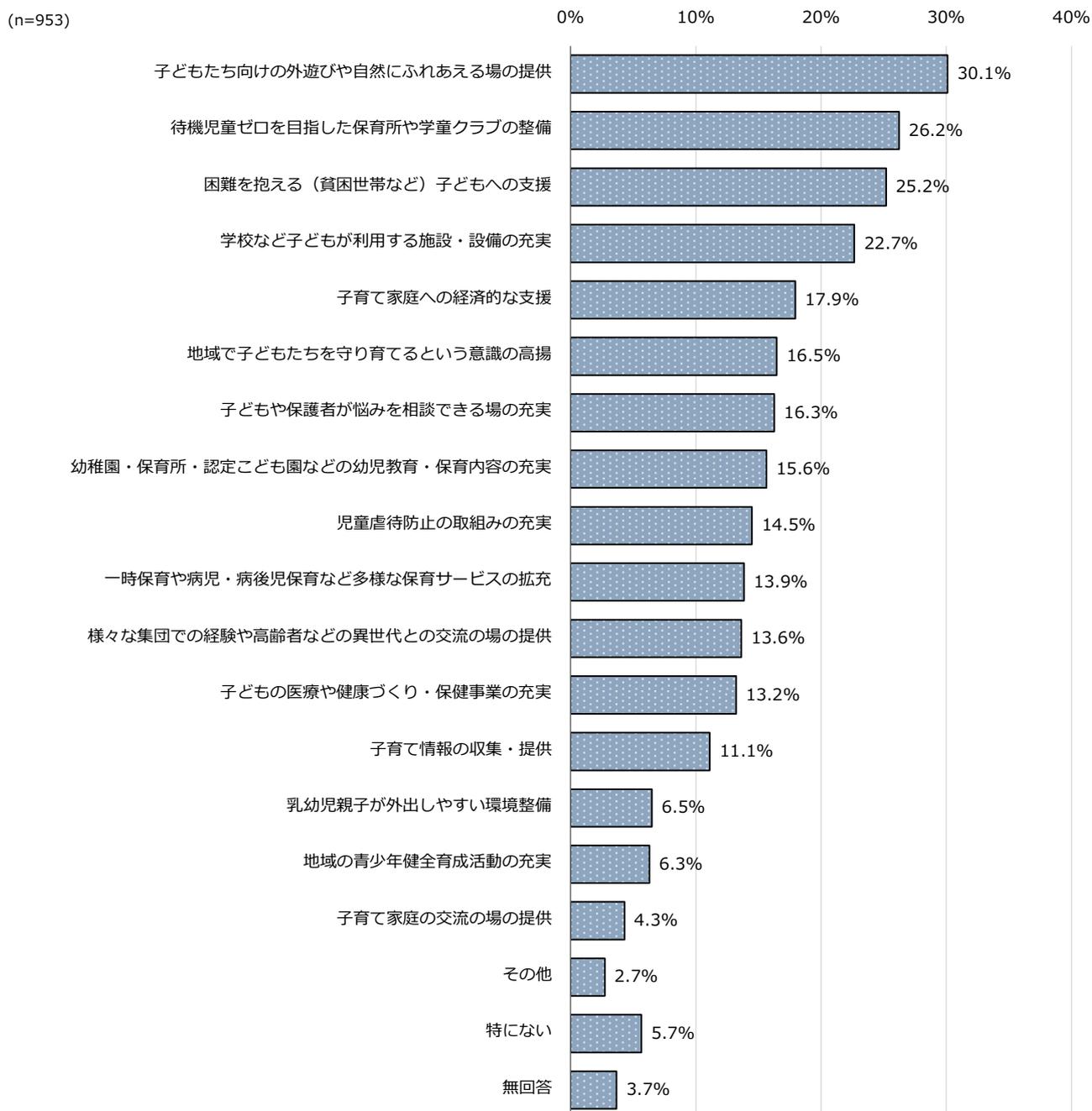
### ①子育て支援

問25 今後、子どもの健やかな成長を支援するために区が力をいれるべき子育て支援策は何だと思えますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。(MA(3))

#### 1) 全体

「子どもたち向けの外遊びや自然にふれあえる場の提供」の割合が最も高く 30.1%である。次いで、「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備 (26.2%)」、「困難を抱える(貧困世帯など)子どもへの支援 (25.2%)」となった。

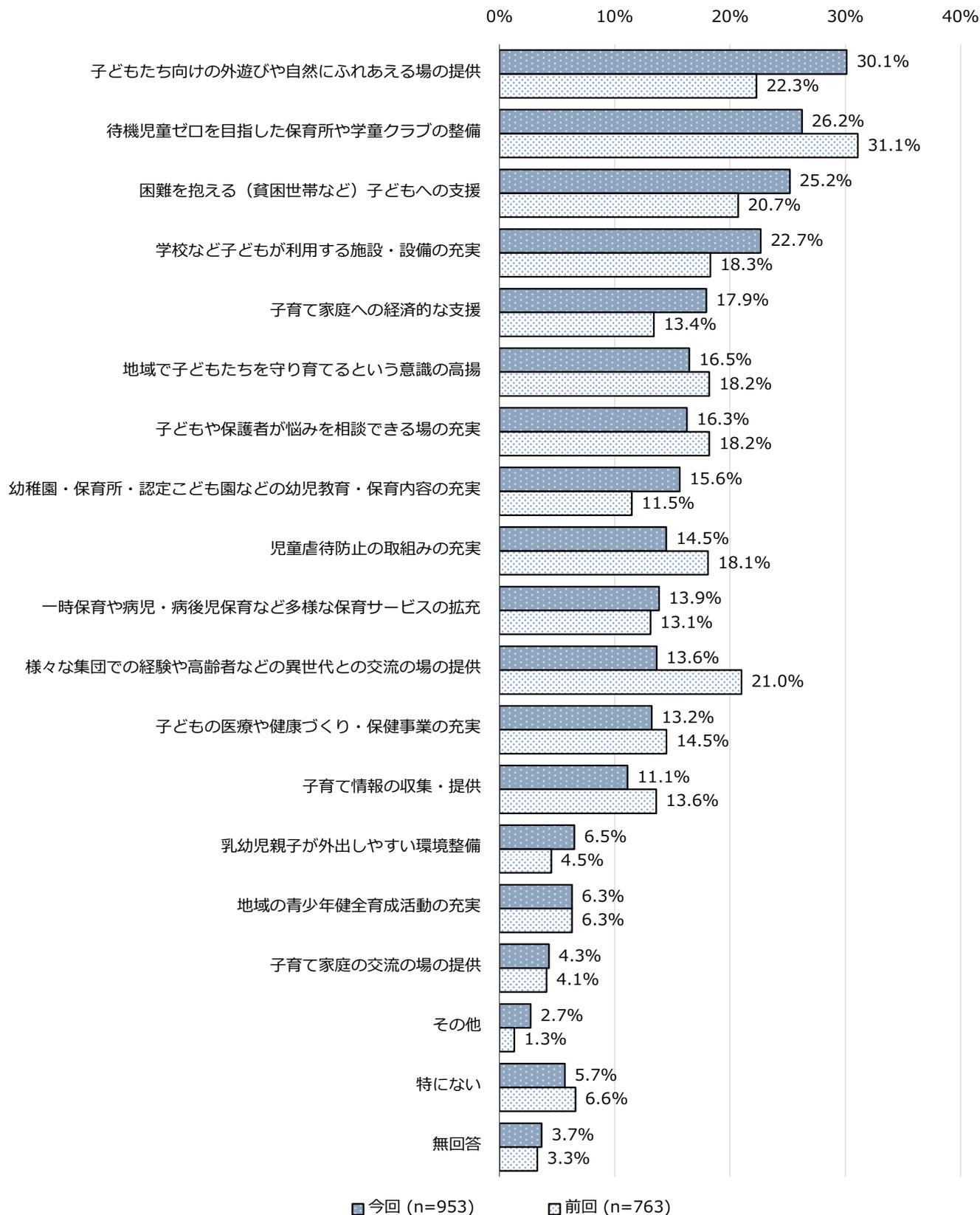
図表 3-89 子育て支援



## 2) 経年比較

前回調査結果と比較すると、「子どもたち向けの外遊びや自然にふれあえる場の提供」の割合が 22.3% から 30.1% に上昇している。一方で、「待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備」の割合は 31.1% から 26.2% と、割合は下がっている。

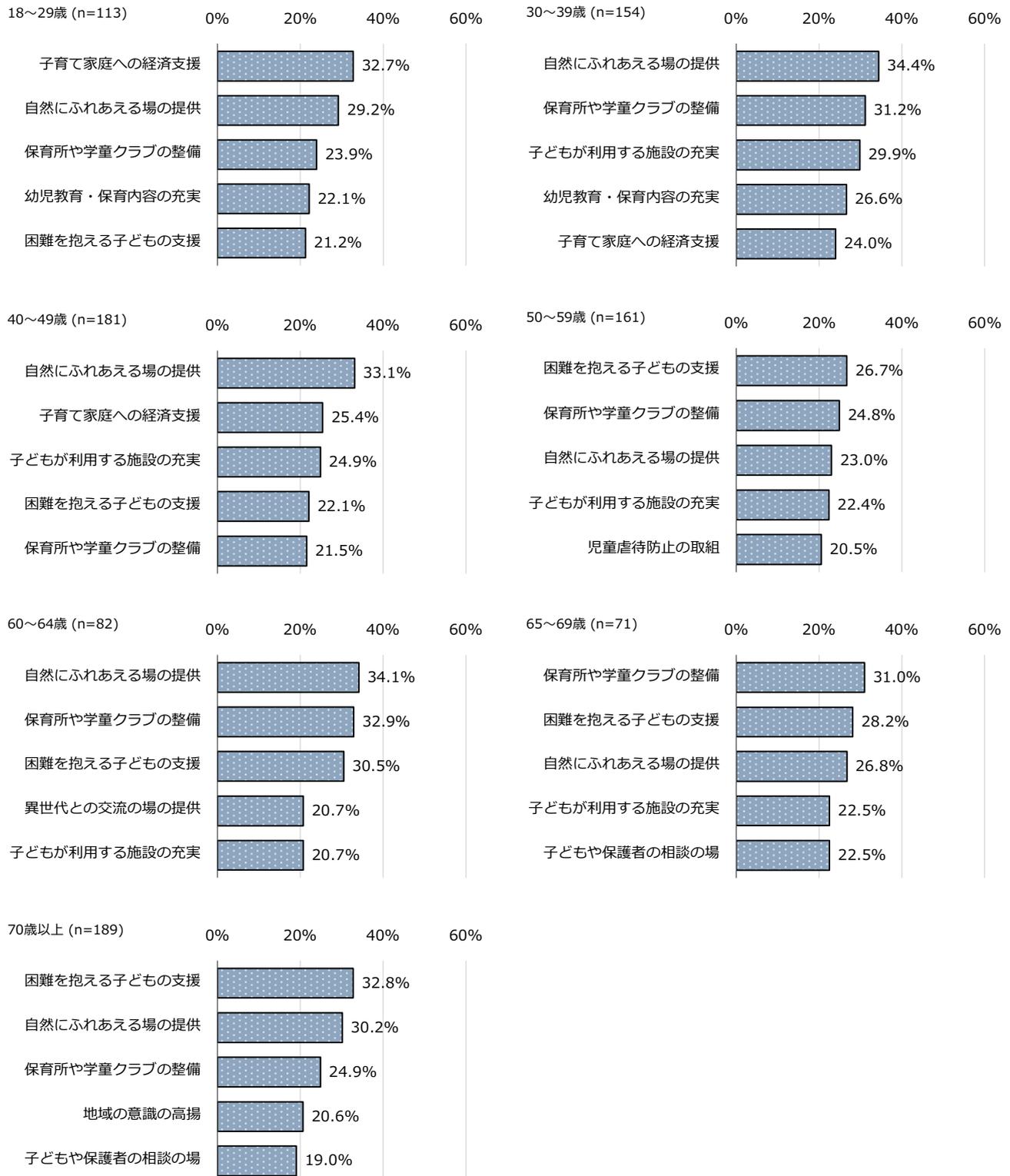
図表 3-90 子育て支援（経年比較）



### 3) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」では「子育て家庭への経済支援」の割合が最も高い。「30～39歳」「40～49歳」「60～64歳」では「自然にふれあえる場の提供」の割合が最も高く、「50～59歳」「70歳以上」で「困難を抱える子どもの支援」の割合が最も高い。「65～69歳」では、「保育所や学童クラブの整備」の割合が最も高い。

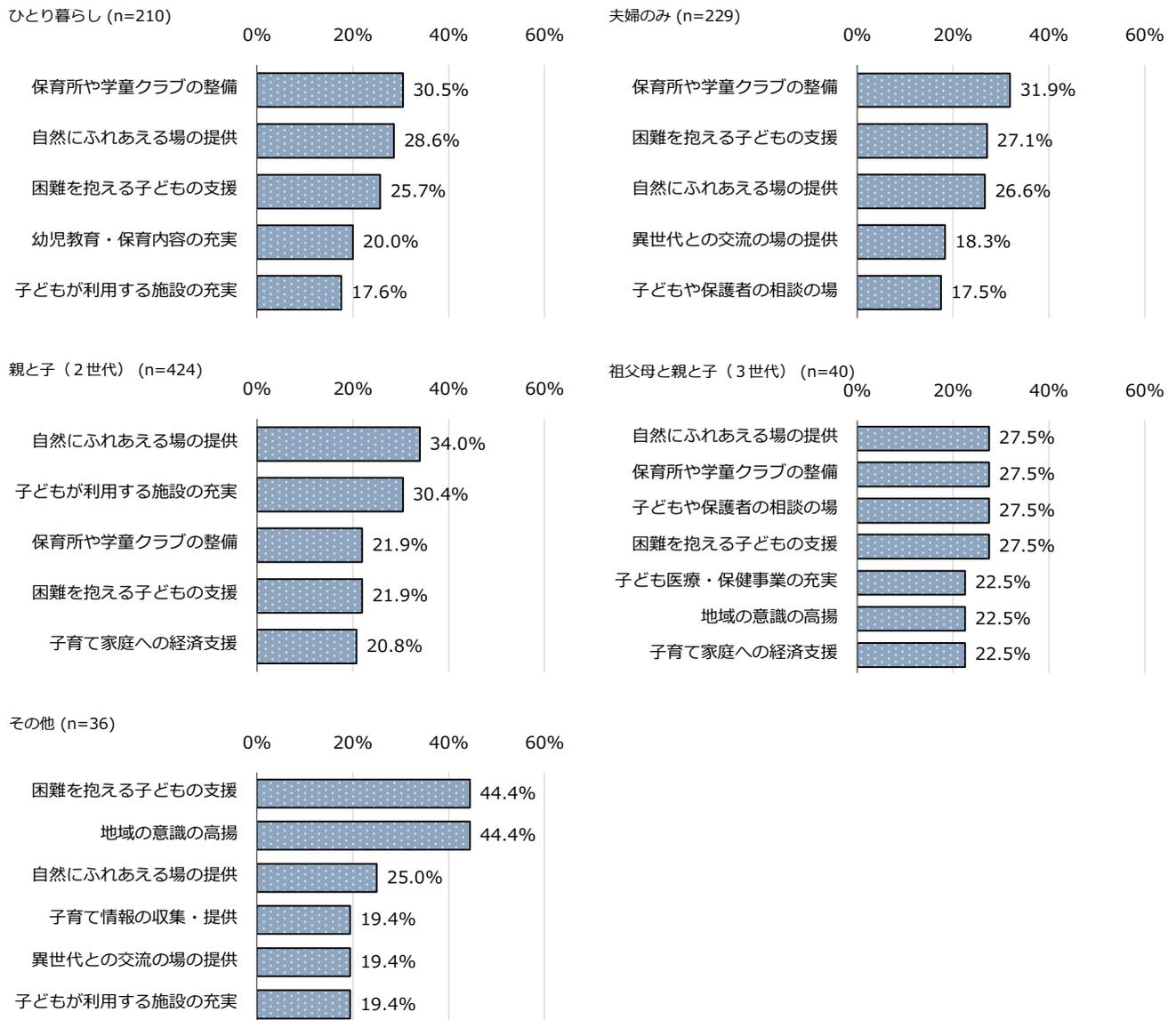
図表 3-91 子育て支援（年齢別：上位5位）



#### 4) 世帯構成別

世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」「夫婦のみ」で「保育所や学童クラブの整備」の割合が最も高く、「親と子（2世代）」では「自然にふれあえる場の提供」の割合が最も高い。

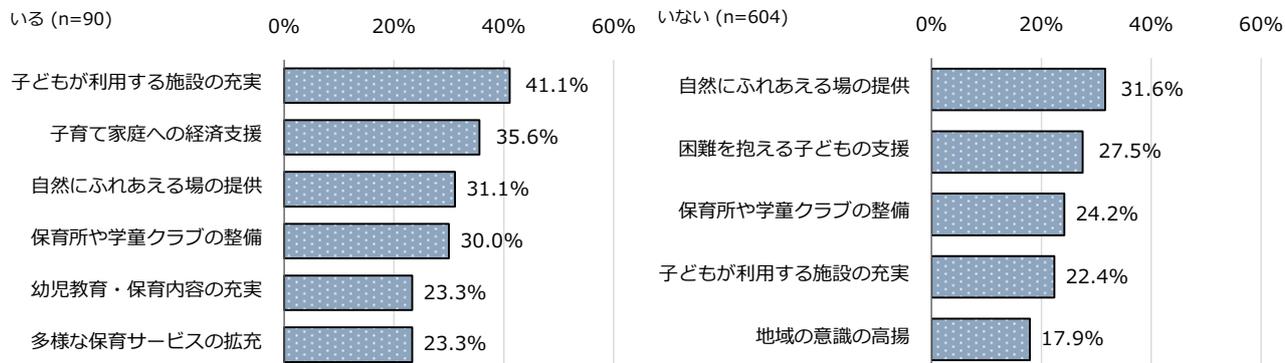
図表 3-92 子育て支援（世帯構成別：上位5位）



## 5) 家族構成別

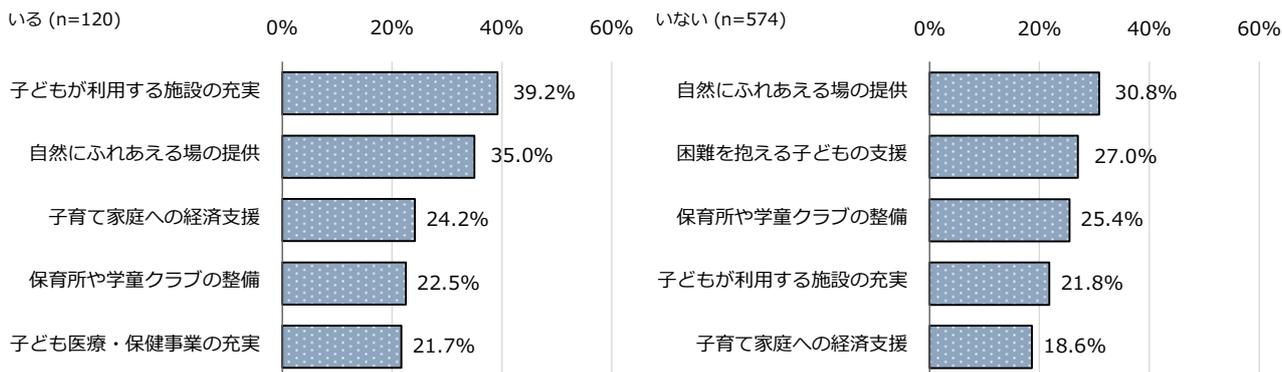
家族構成別にみると、未就学児が「いる」場合には「子どもが利用する施設の充実」、「いない」場合には「自然にふれあえる場の提供」の割合が最も高い。

図表 3-93 子育て支援（家族構成別：未就学児の子どもの有無：上位5位）



小・中学生の子どもが「いる」場合には「子どもが利用する施設の充実」、「いない」場合には「自然にふれあえる場の提供」の割合が最も高い。

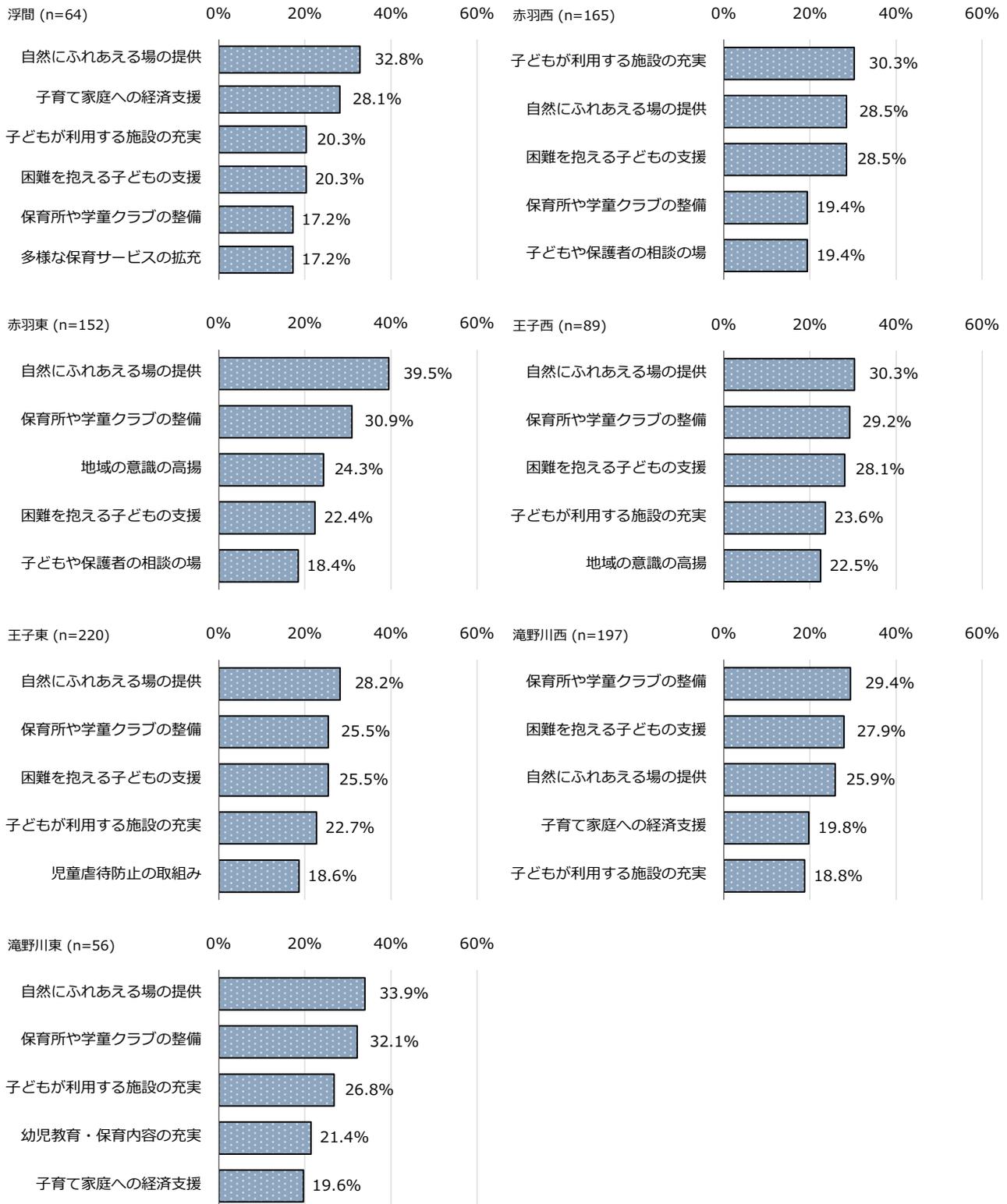
図表 3-94 子育て支援（家族構成別：小・中学生の子どもの有無：上位5位）



## 6) 居住地区別

居住地区別にみると、「赤羽西」では「子どもが利用する施設の充実」の割合が最も高く、「滝野川西」では「保育所や学童クラブの整備」の割合が最も高い。その他の地区では「自然にふれあえる場の提供」の割合が最も高い。

図表 3-95 子育て支援（居住地区別：上位5位）



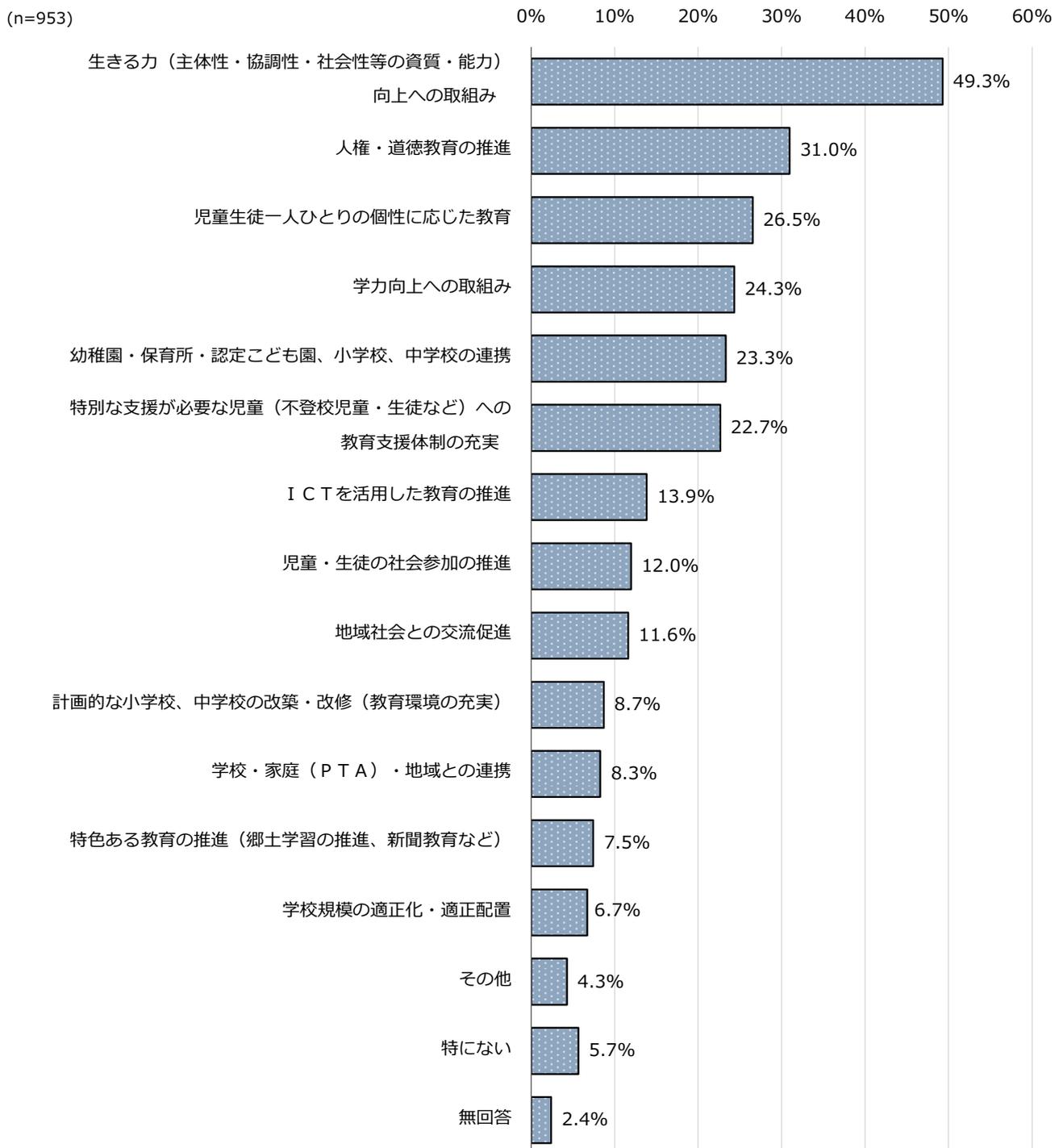
## ②学校教育

問26 今後、子どもの健やかな成長を支援するための学校教育について、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。(MA(3))

### 1) 全体

「生きる力（主体性・協調性・社会性等の資質・能力）向上への取組み」の割合が最も高く49.3%である。次いで、「人権・道徳教育の推進（31.0%）」、「児童生徒一人ひとりの個性に応じた教育（26.5%）」となった。

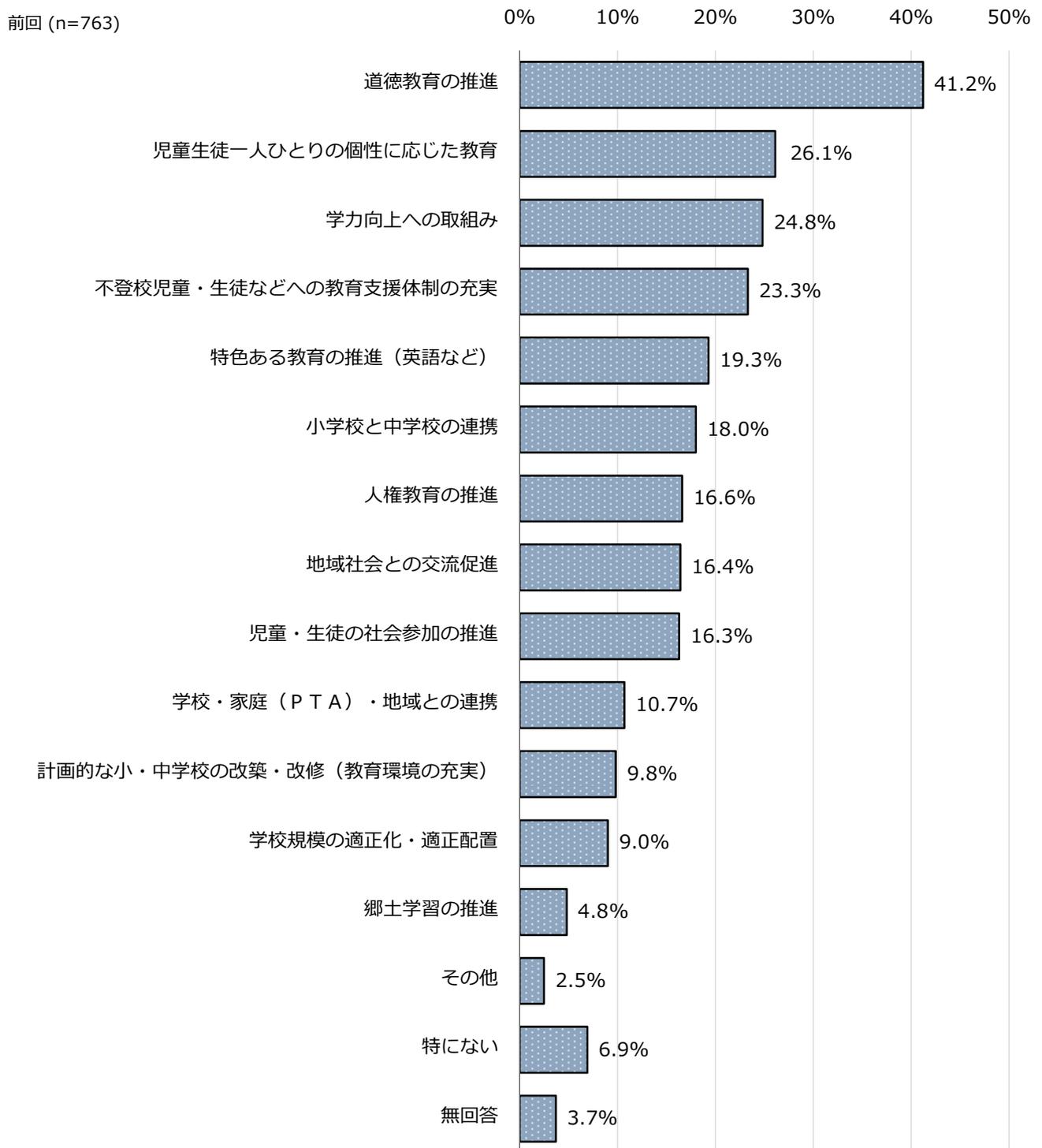
図表 3-96 学校教育



## 2) 経年比較 (参考)

前回調査においては「道德教育の推進」の割合が41.2%と最も高くなっている。

図表 3-97 学校教育 (参考: 前回調査)

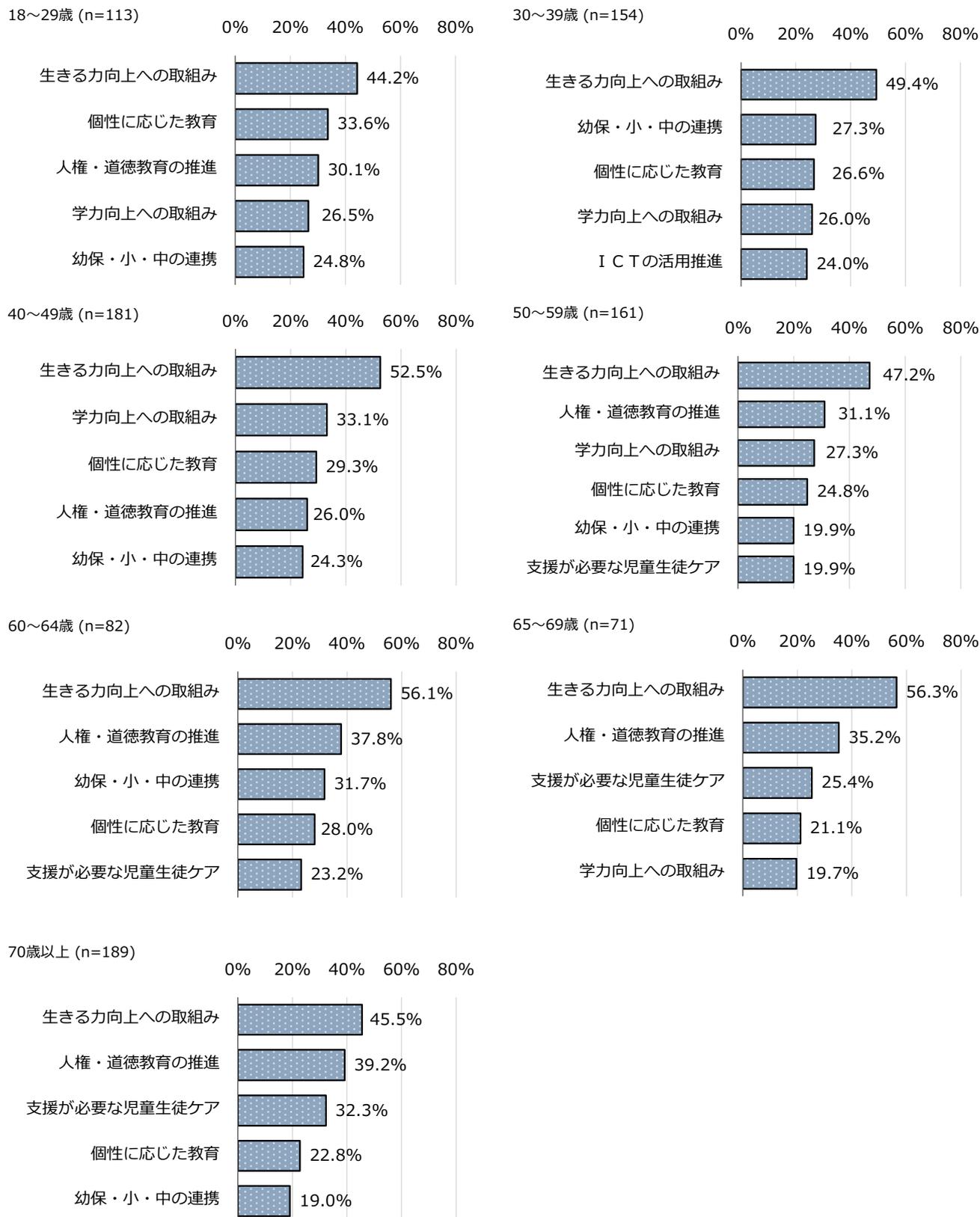


注) 今回調査と前回調査の選択肢は完全には一致していないことから、単純に比較はできないため、あくまで参考であることに留意。

### 3) 年齢別

年齢別にみると、いずれの年齢も「生きる力向上への取組み」の割合が最も高い。第2位は「18～29歳」では「個性に応じた教育」、「30～39歳」では「幼保・小・中の連携」、「40～49歳」では「学力向上への取組み」、その他の年齢では「人権・道徳教育の推進」となった。

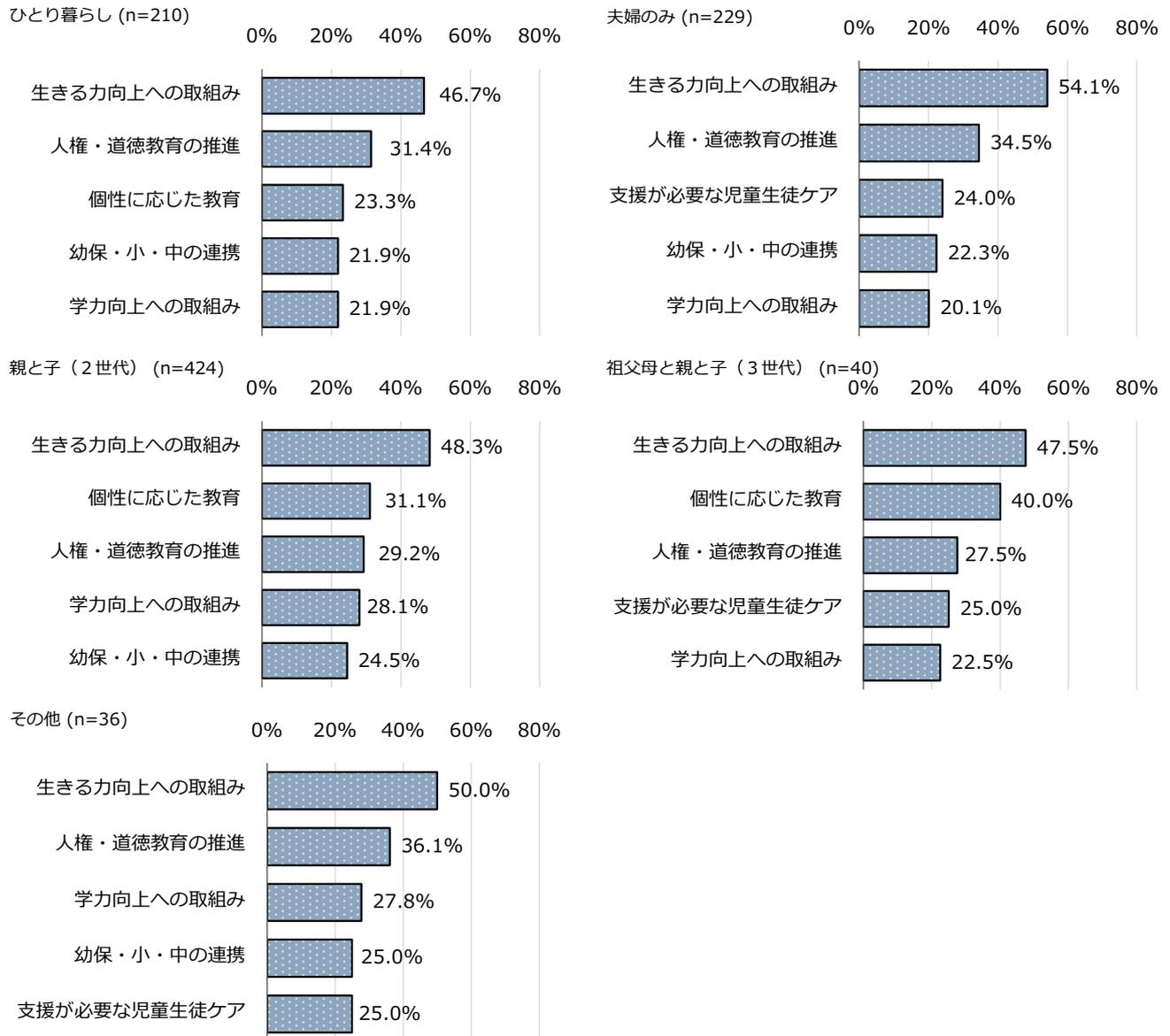
図表 3-98 学校教育（年齢別：上位5位）



#### 4) 世帯構成別

世帯構成別にみると、すべての世帯で「生きる力向上への取組み」の割合が最も高い。第2位は、「ひとり暮らし」「夫婦のみ」「その他」では「人権・道徳教育の推進」、「親と子（2世代）」「祖父母と親と子（3世代）」では「個性に応じた教育」となった。

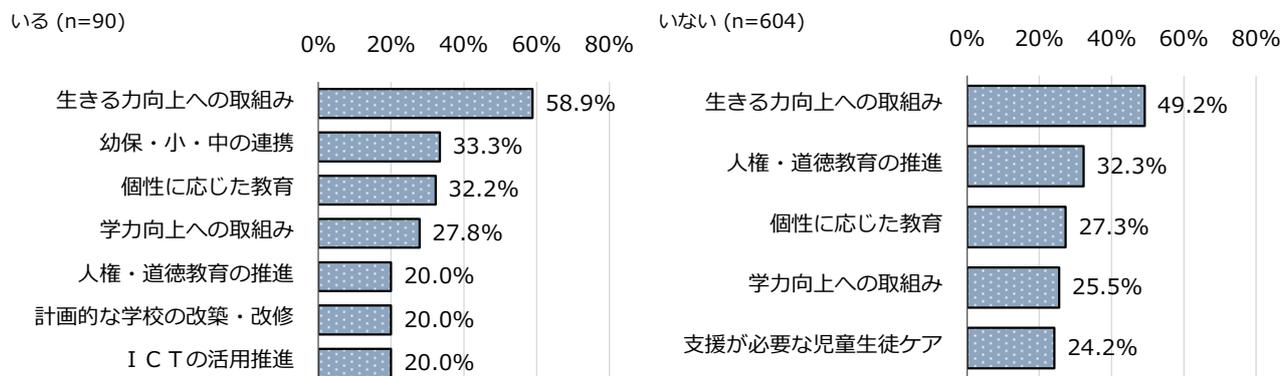
図表 3-99 学校教育（世帯構成別：上位5位）



## 5) 家族構成別

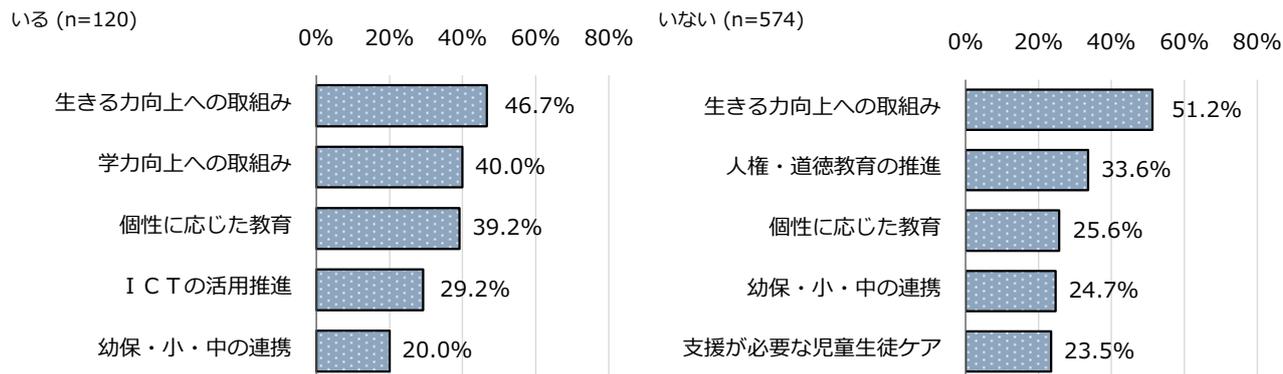
家族構成別にみると、未就学児の有無にかかわらず「生きる力向上への取組み」の割合が最も高い。第2位は未就学児が「いる」は「幼保・小・中の連携」、「いない」は「人権・道徳教育の推進」となった。

図表 3-100 学校教育（家族構成別：未就学児の子どもの有無：上位5位）



小・中学生の子どもの有無にかかわらず「生きる力向上への取組み」の割合が最も高い。第2位は小学生の子どもが「いる」では「学力向上への取組み」、「いない」では「人権・道徳教育の推進」となった。

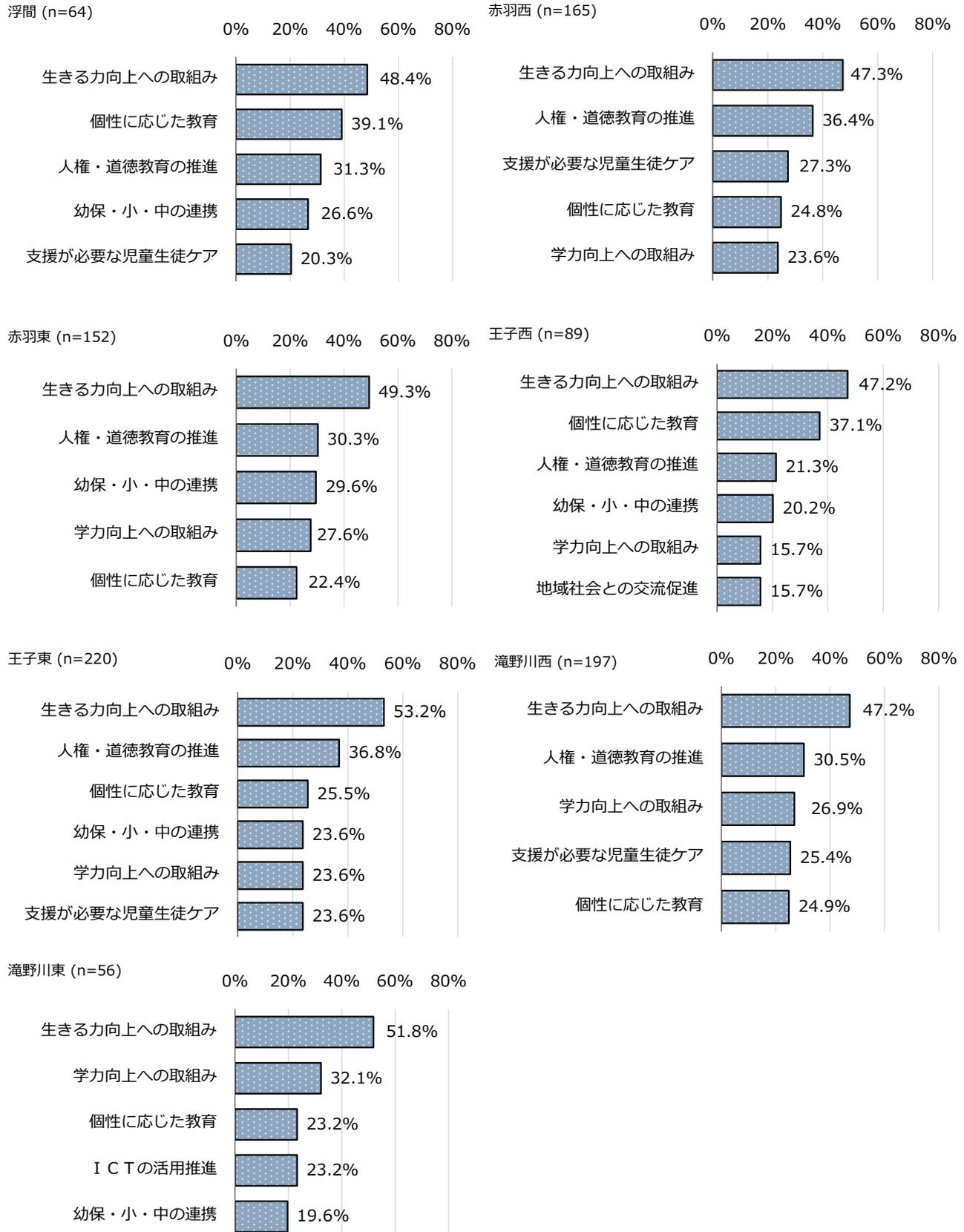
図表 3-101 学校教育（家族構成別：小・中学生の子どもの有無：上位5位）



## 6) 居住地区別

居住地区別にみると、いずれも「生きる力向上への取組み」の割合が最も高い。第2位は、「浮間」「王子西」は「個性に応じた教育」、「滝野川東」で「学力向上への取組み」、その他は「人権・道徳教育の推進」となった。

図表 3-102 学校教育（居住地区別：上位5位）



## (8) 健康・福祉について

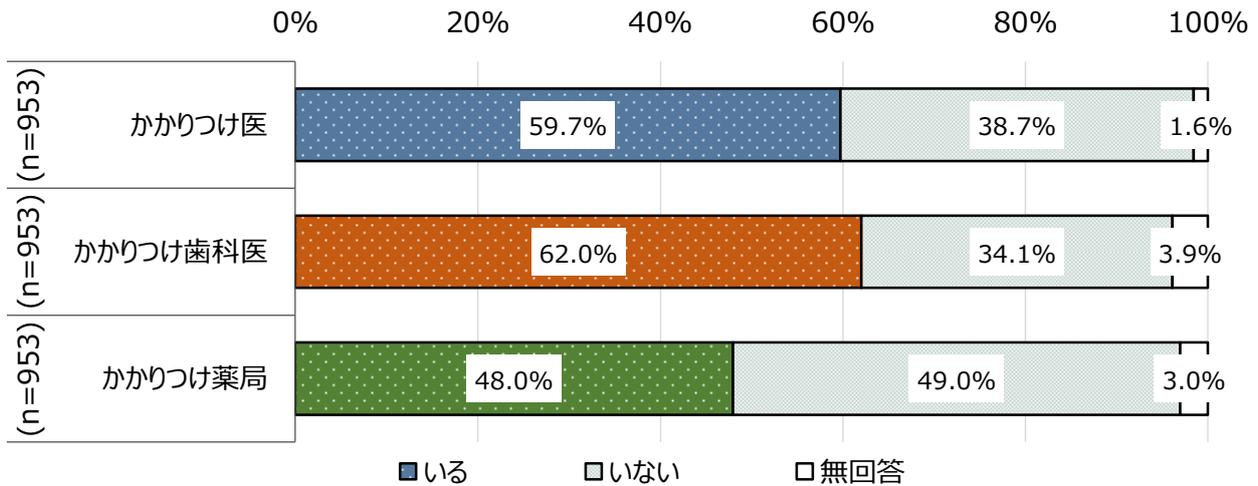
### ① かかりつけ医等の有無

問27 あなたにはかかりつけ医などはいますか。次の中からそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。(SA)

#### 1) 全体

「かかりつけ医」が「いる」割合は59.7%、「かかりつけ歯科医」が「いる」割合は62.0%、「かかりつけ薬局」が「いる(ある)」割合は48.0%となった。

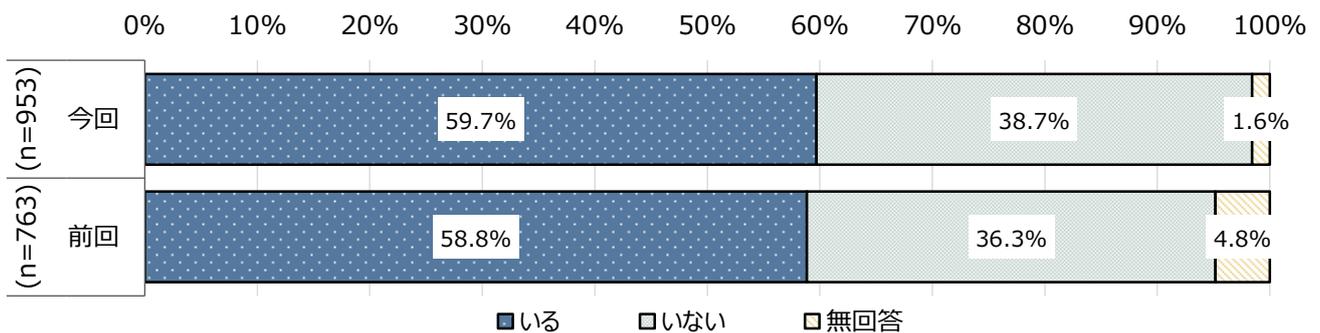
図表 3-103 かかりつけ医等の有無



#### 2) 経年比較

前回調査と比較して、かかりつけ医師が「いる」割合にほとんど変化がない。

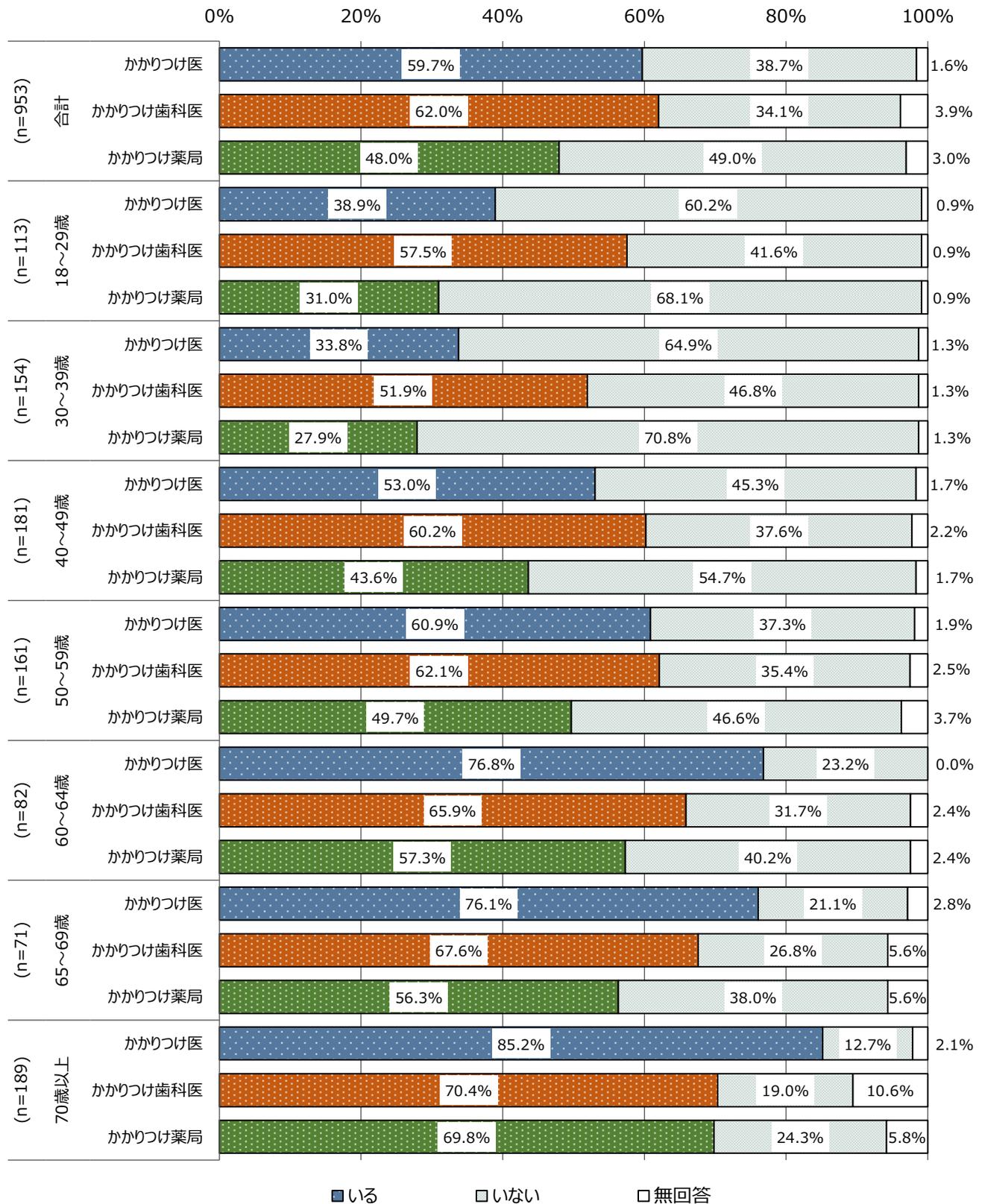
図表 3-104 かかりつけ医の有無(経年比較)



### 3) 年齢別

年齢別にみると、かかりつけ医が「いる」割合は年齢が高くなるほど高い傾向にある。

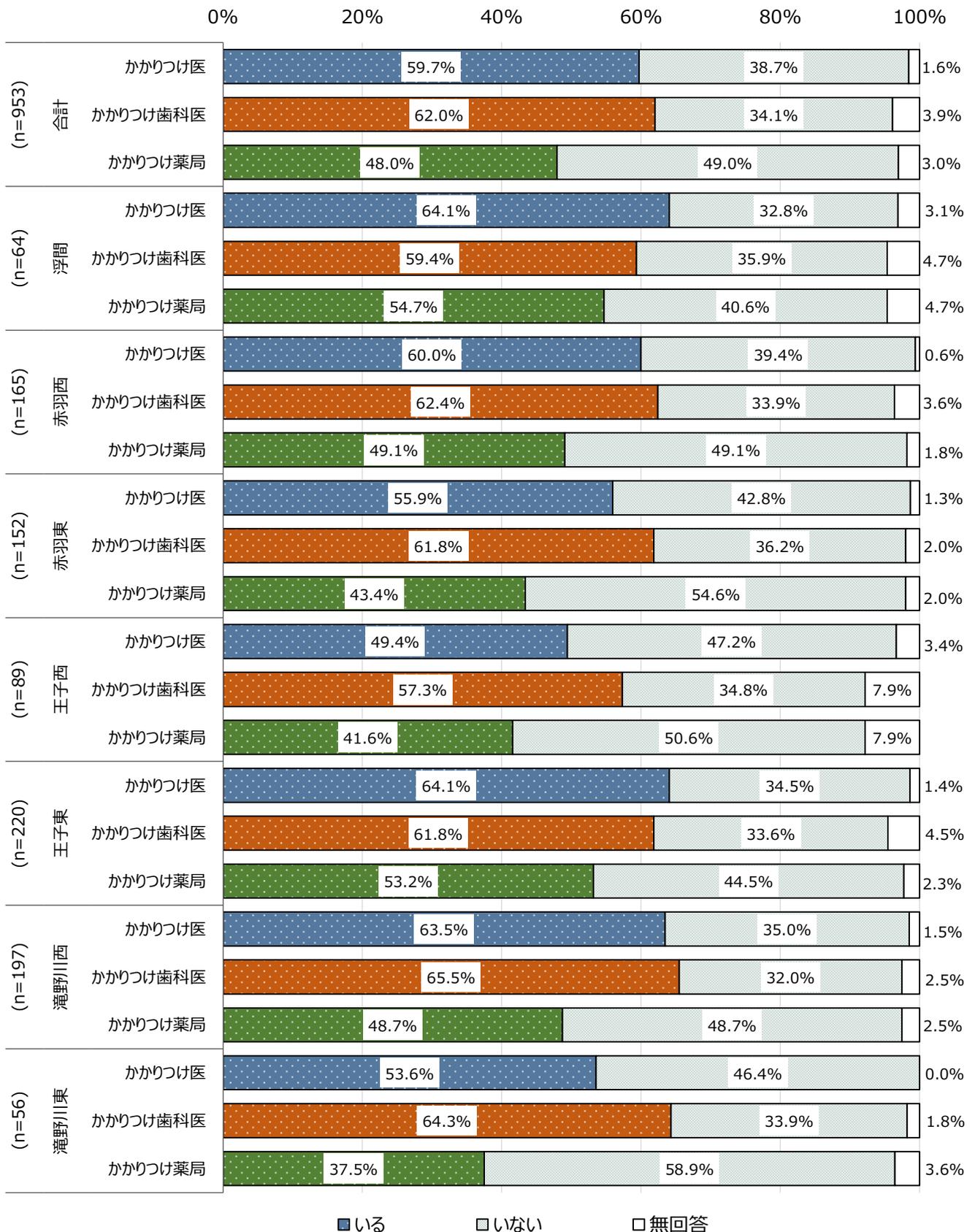
図表 3-105 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無（年齢別）



#### 4) 居住地区別

居住地区別にみると、かかりつけ医が「いる」割合は「浮間」「王子東」で、かかりつけ歯科医が「いる」割合は「滝野川西」で、かかりつけ薬局が「いる（ある）」割合は「浮間」で最も高い。

図表 3-106 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無（居住地区別）



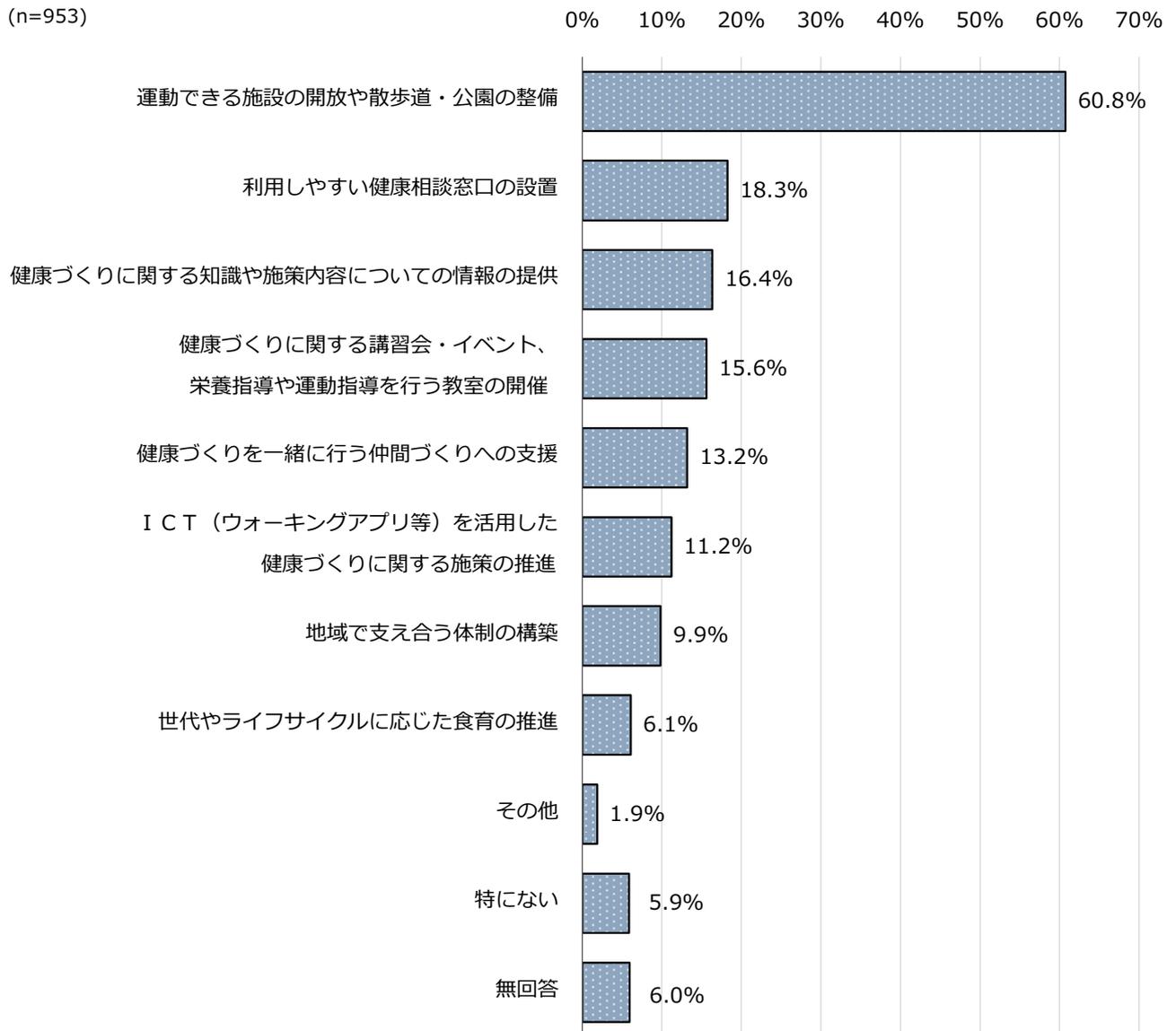
## ②健康づくりの推進

問28 今後、健康づくりを推進するため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。(MA (2))

### 1) 全体

「運動できる施設の開放や散歩道・公園の整備」の割合が最も高く 60.8%である。次いで、「利用しやすい健康相談窓口の設置 (18.3%)」、「健康づくりに関する知識や施策内容についての情報の提供 (16.4%)」となった。

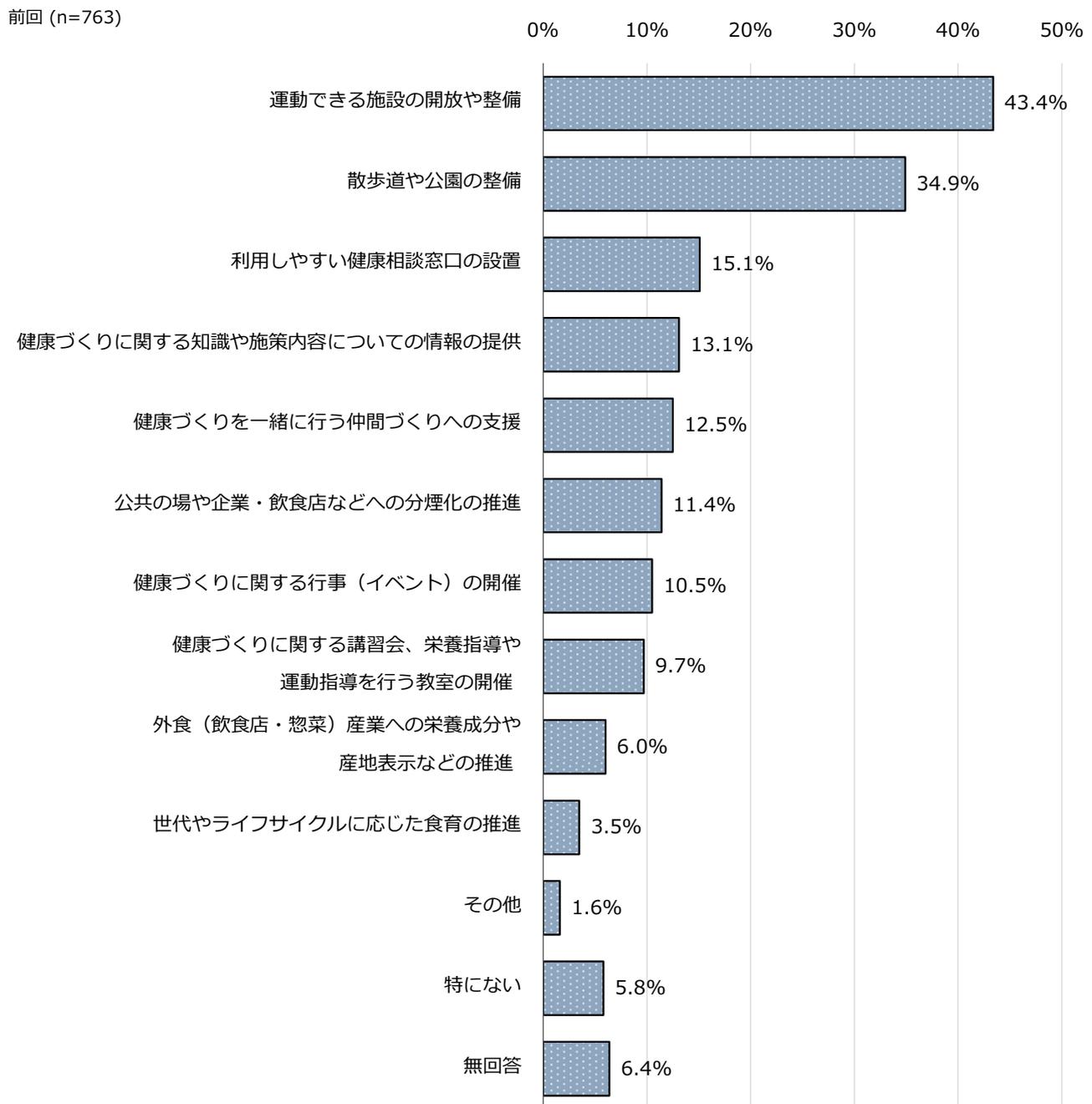
図表 3-107 健康づくりの推進



## 2) 経年比較 (参考)

前回調査においては「運動できる施設の開放や整備」の割合が最も高く、次いで「散歩道や公園の整備」、「利用しやすい健康相談窓口の設置」となっており、今回の調査結果と概ね変わらない。

図表 3-108 健康づくりの推進 (参考: 前回調査)

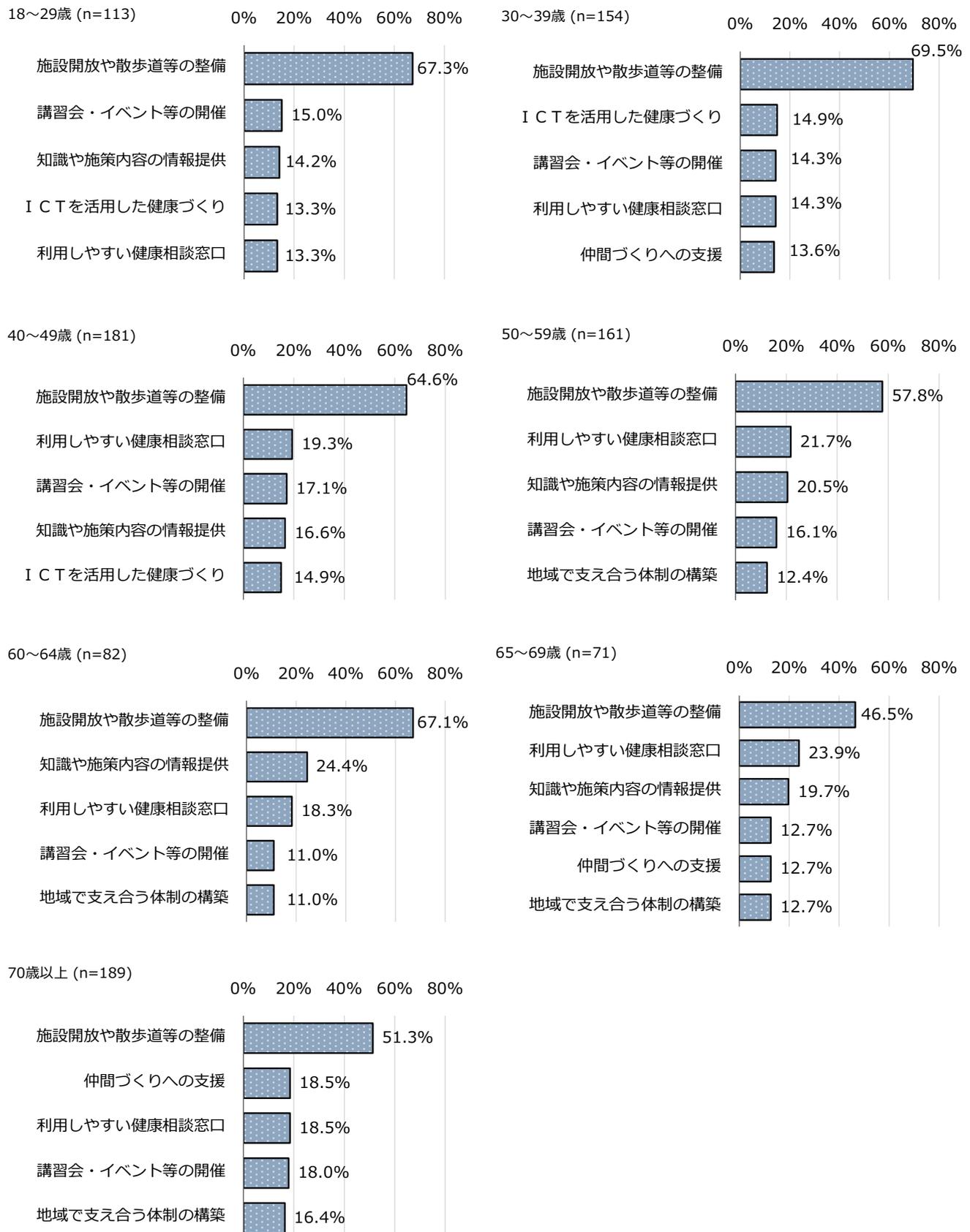


注) 今回調査と前回調査の選択肢は完全には一致しないことから、単純に比較はできないため、あくまで参考であることに留意。

### 3) 年齢別

年齢別にみると、いずれの年齢も「施設開放や散歩道等の整備」の割合が最も高く、第2位以降と大きく差をつけている。

図表 3-109 健康づくりの推進（年齢別：上位5位）



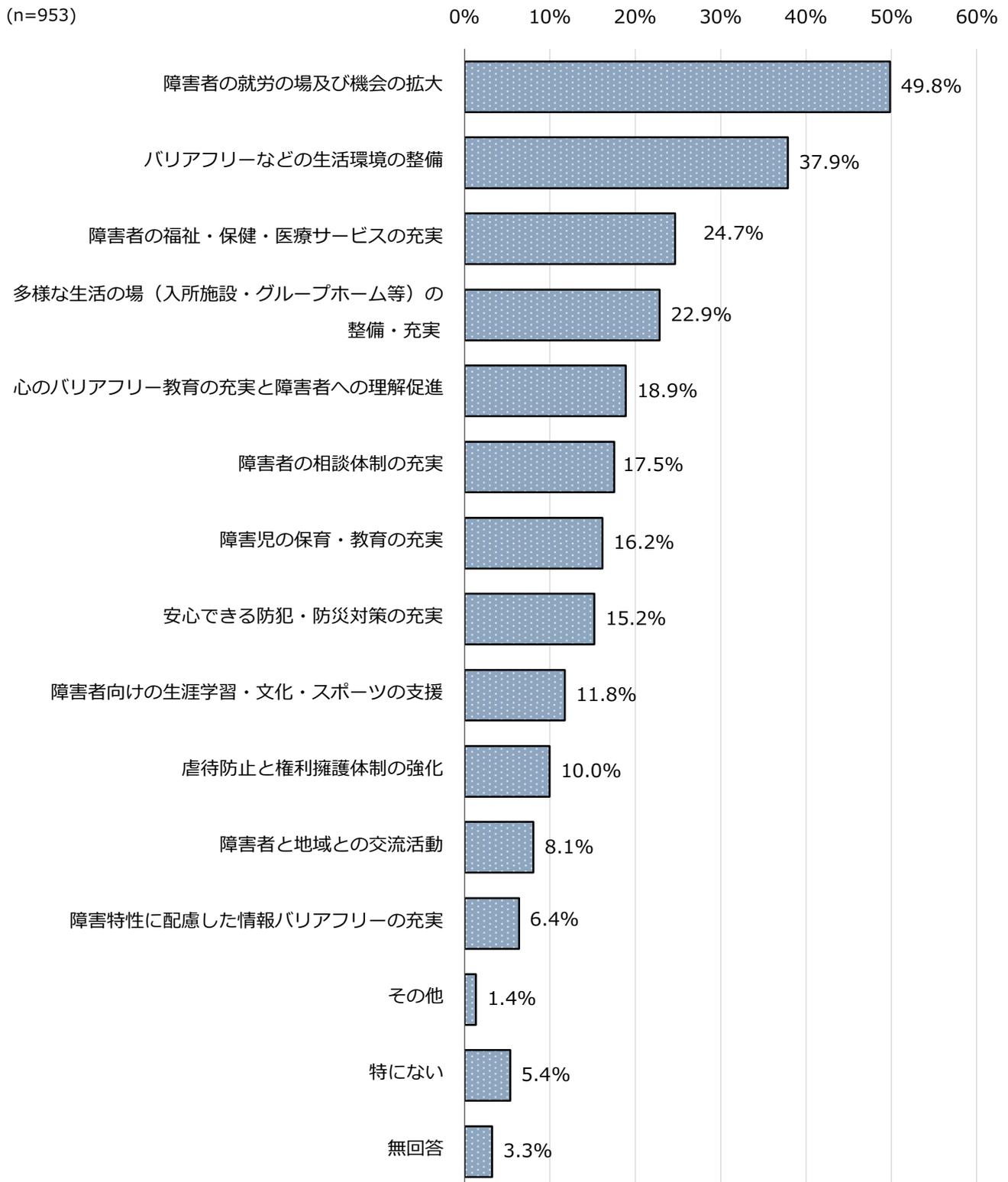
### ③障害者支援

問29 今後、障害者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。(MA(3))

#### 1) 全体

「障害者の就労の場及び機会の拡大」の割合が最も高く 49.8%である。次いで、「バリアフリーなどの生活環境の整備 (37.9%)」、「障害者の福祉・保健・医療サービスの充実 (24.7%)」となった。

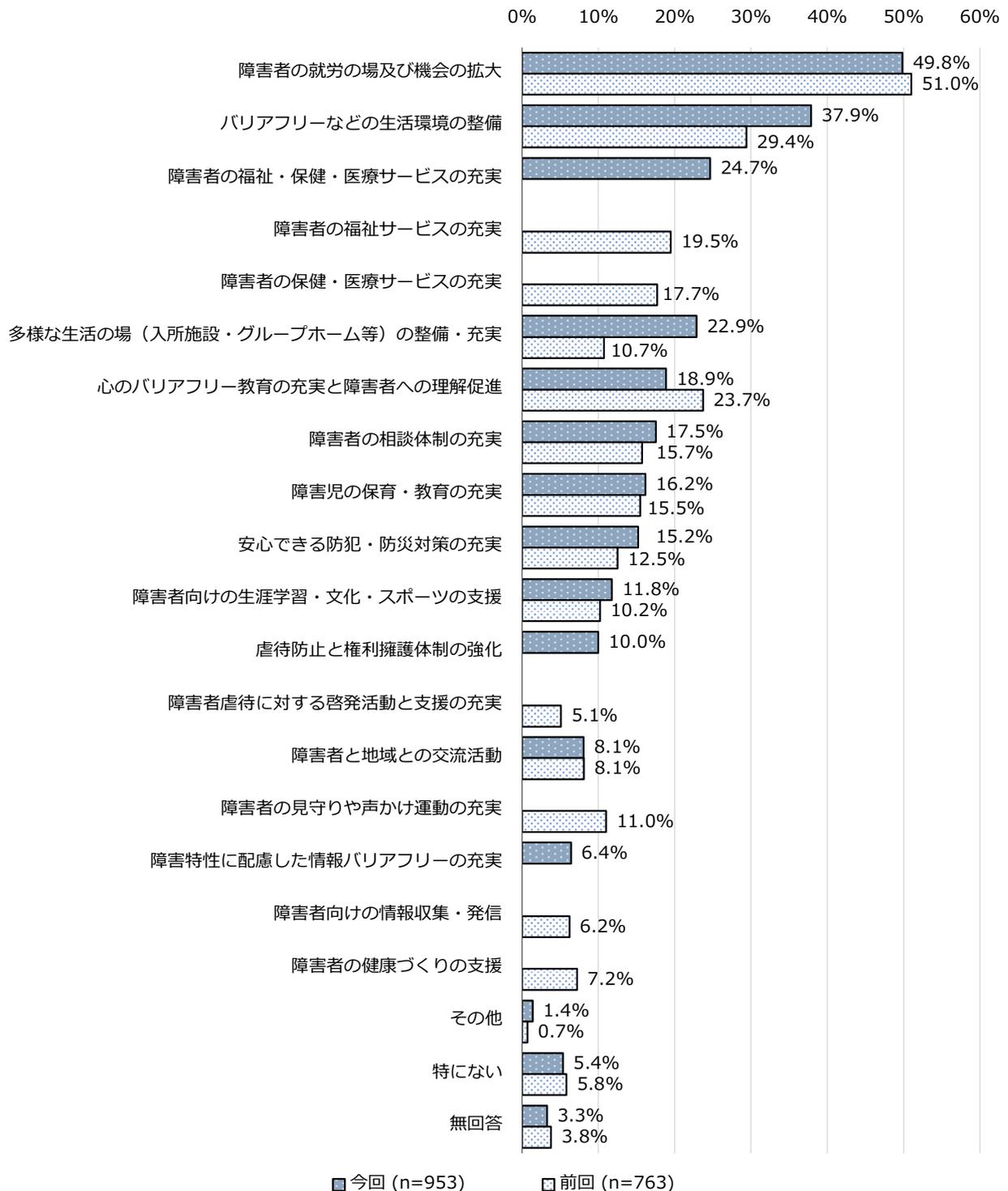
図表 3-110 障害者への取組み



## 2) 経年比較

前回調査と比較すると、「バリアフリーなどの生活環境の整備」の割合が29.4%から37.9%に上昇しているほか、「多様な生活の場（入所施設・グループホーム等）の整備・充実」の割合も10.7%から22.9%に上昇している。

図表 3-111 障害者への取組み（経年比較）

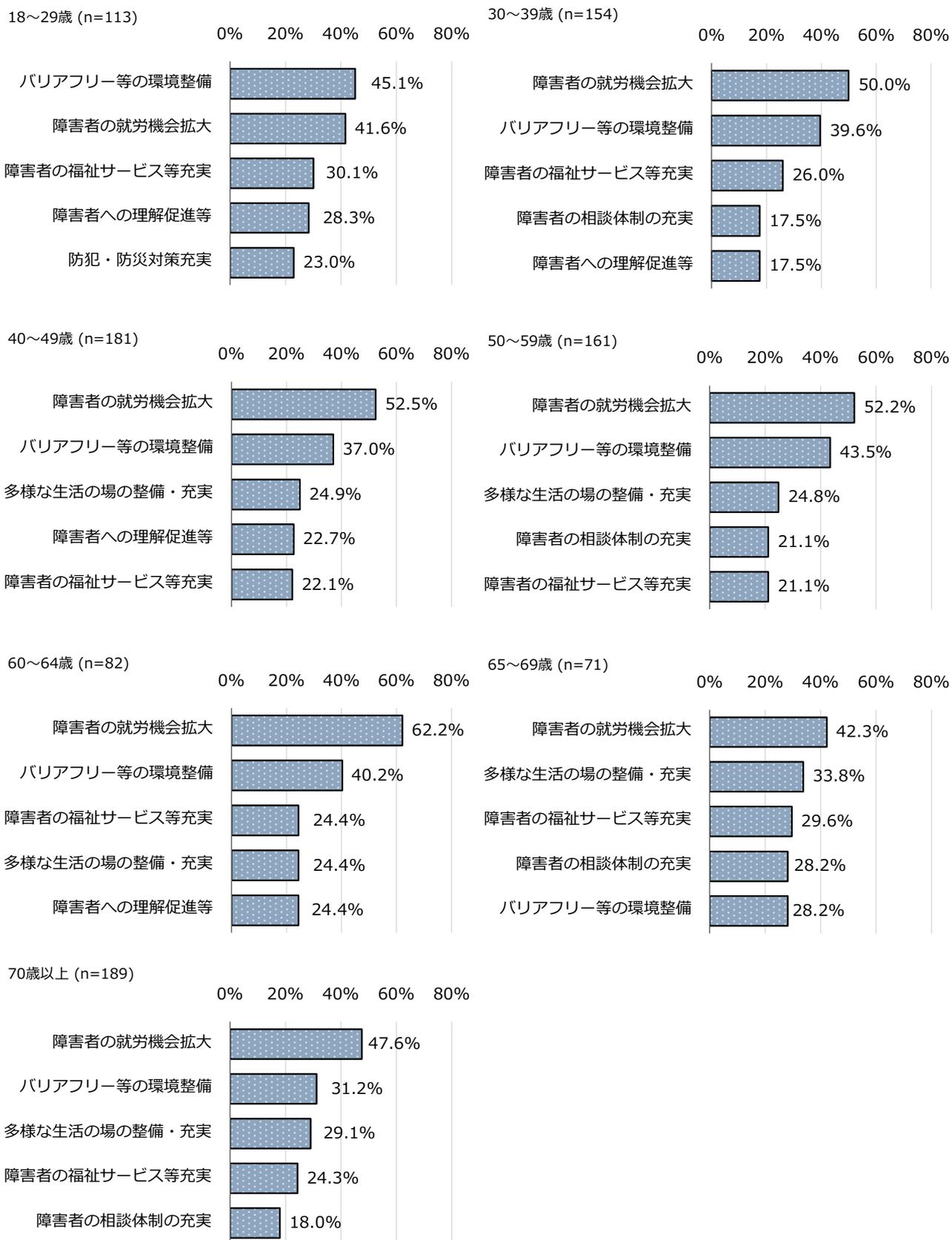


注) 前回調査では、今回調査の選択肢「障害者の福祉・保健・医療サービスの充実」が「障害者の福祉サービスの充実」「障害者の保健・医療サービスの充実」に分かれている。また、前回調査では、今回調査の選択肢「多様な生活の場（入所施設・グループホーム等）の整備・充実」は「多様な生活の場の整備・充実」、「心のバリアフリー教育の充実と障害者への理解促進」は「障害及び障害者に対する理解の促進」となっている。選択肢「虐待防止と権利擁護体制の強化」「障害特性に配慮した情報バリアフリーの充実」は今回調査のみ、選択肢「障害者虐待に対する啓発活動と支援の充実」「障害者の見守りや声かけ運動の充実」「障害者向けの情報収集・発信」「障害者の健康づくりの支援」は前回調査のみ。

### 3) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」では「バリアフリー等の環境整備」の割合が最も高く、その他の年齢では「障害者の就労機会拡大」の割合が最も高い。

図表 3-112 障害者への取組み（年齢別：上位5位）



## (9) 産業・文化・地域振興について

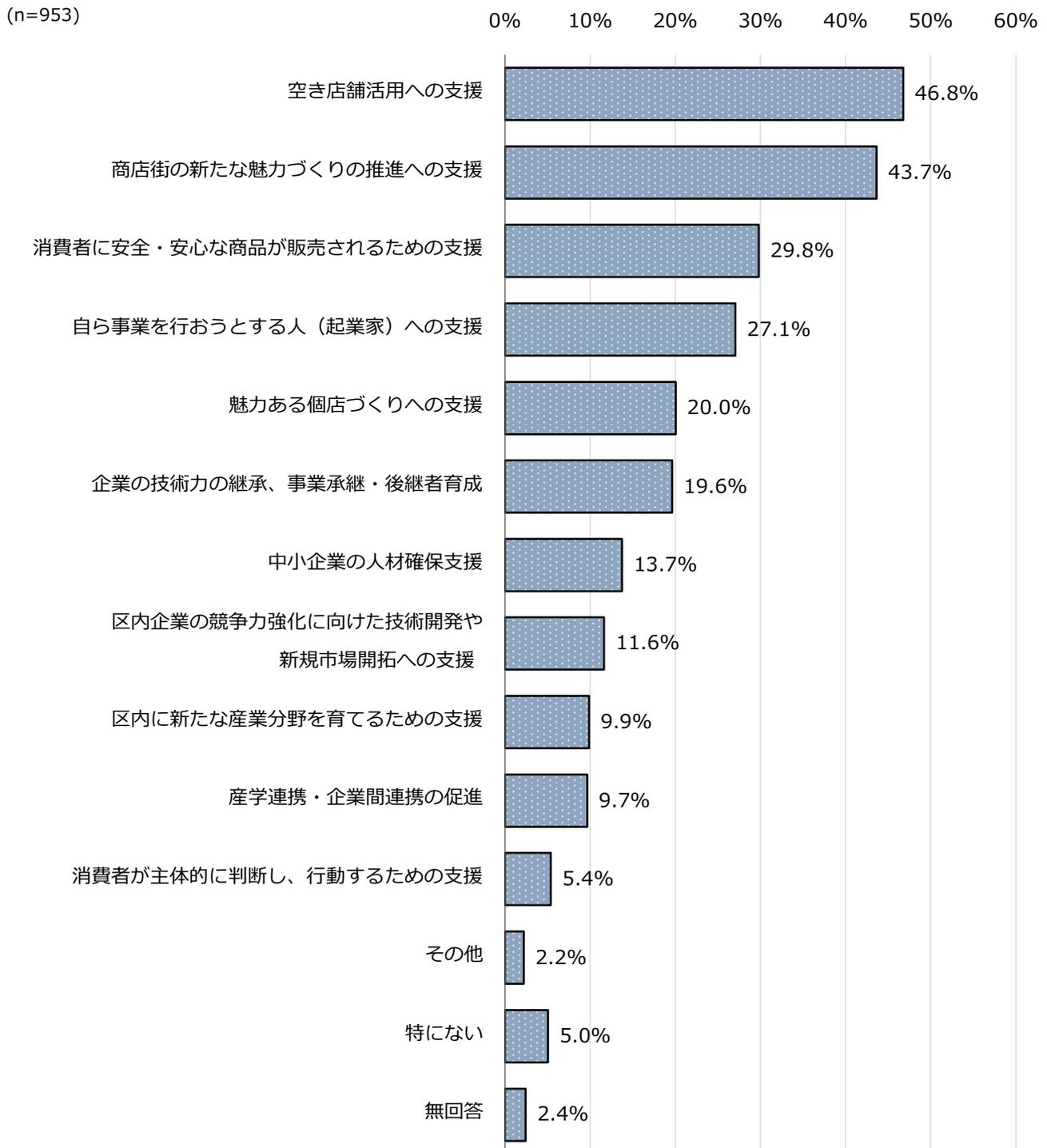
### ①産業の活性化

問30 今後、区の産業の活性化を推進するため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。(MA(3))

#### 1) 全体

「空き店舗活用への支援」の割合が最も高く 46.8%である。次いで、「商店街の新たな魅力づくりの推進への支援(43.7%)」、「消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援(29.8%)」となった。

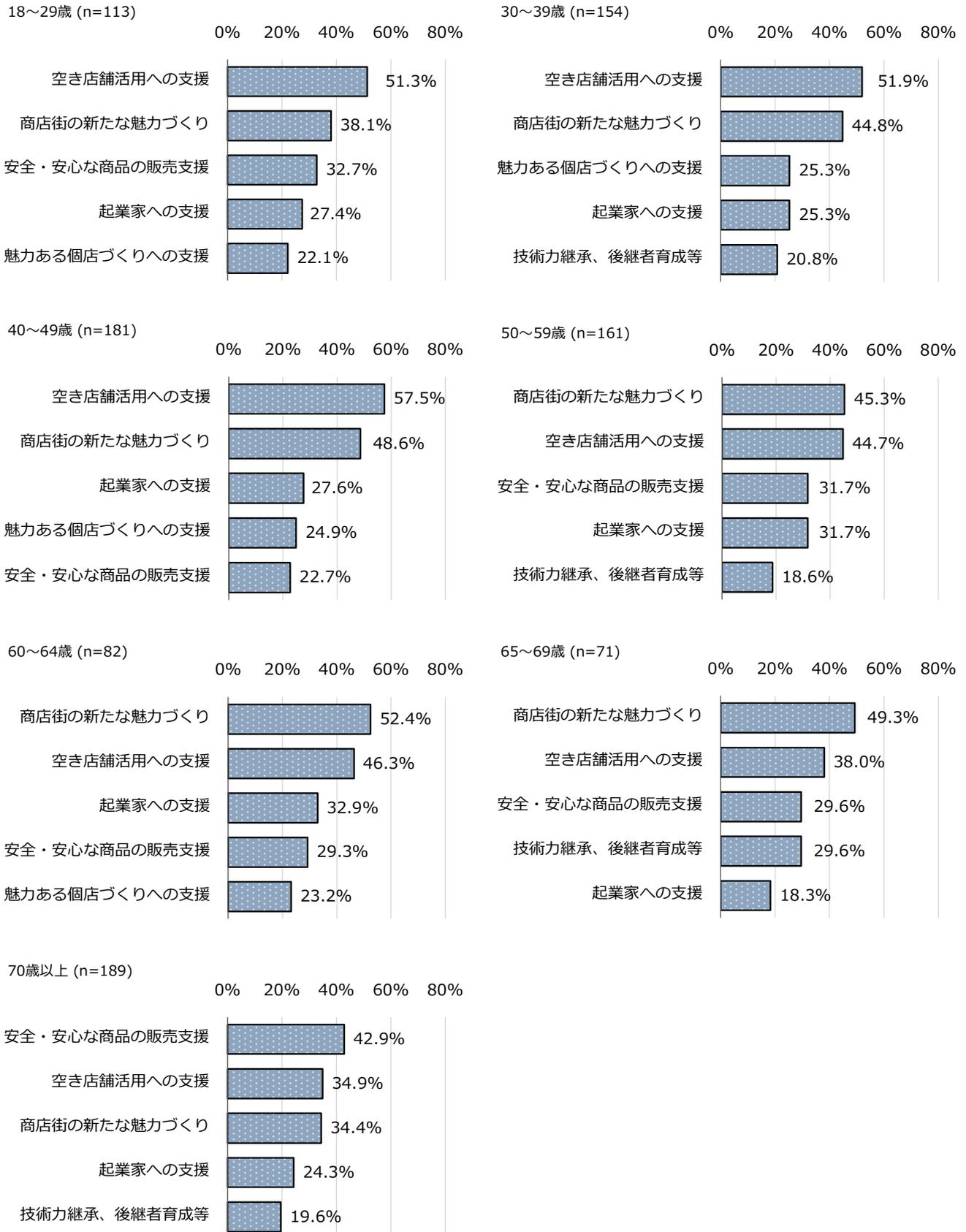
図表 3-113 産業の活性化



## 2) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」「30～39歳」「40～49歳」では「空き店舗活用への支援」の割合が最も高い。「50～59歳」「60～64歳」「65～69歳」では「商店街の新たな魅力づくり」の割合が最も高く、「70歳以上」では「安全・安心な商品の販売支援」の割合が最も高い。

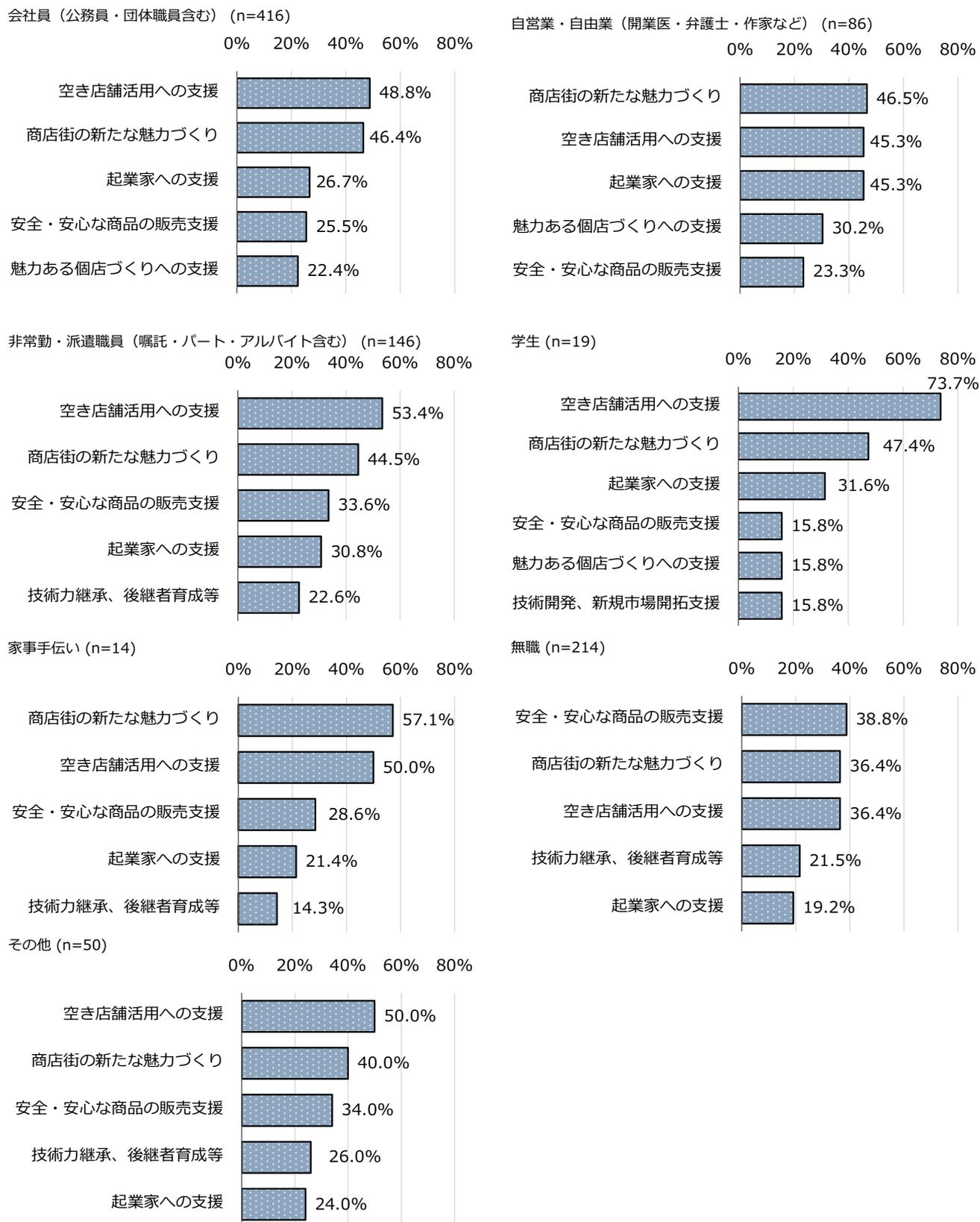
図表 3-114 産業の活性化（年齢別：上位5位）



### 3) 職業別

職業別にみると、「会社員（公務員・団体職員含む）」「非常勤・派遣職員（嘱託・パート・アルバイト含む）」「学生」「その他」では「空き店舗活用への支援」の割合が最も高い。「自営業・自由業（開業医・弁護士・作家など）」「家事手伝い」では「商店街の新たな魅力づくり」の割合が最も高く、「無職」では「安全・安心な商品の販売支援」の割合が最も高い。

図表 3-115 産業の活性化（職業別：上位5位）



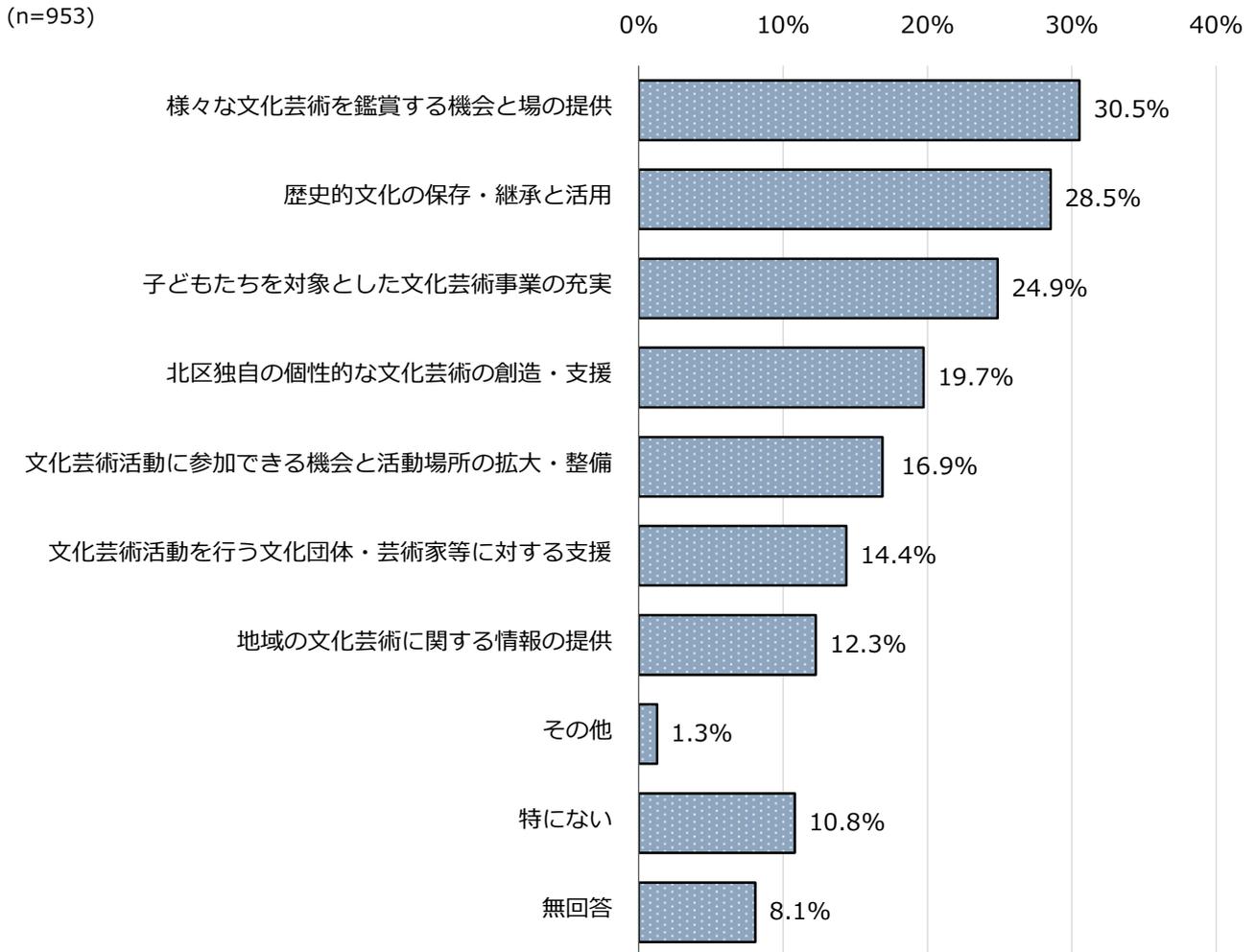
## ②文化振興

問31 今後、地域の文化振興のため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。(MA(2))

### 1) 全体

「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」の割合が最も高く 30.5%である。次いで、「歴史的文化の保存・継承と活用 (28.5%)」、「子どもたちを対象とした文化芸術事業の充実 (24.9%)」となった。

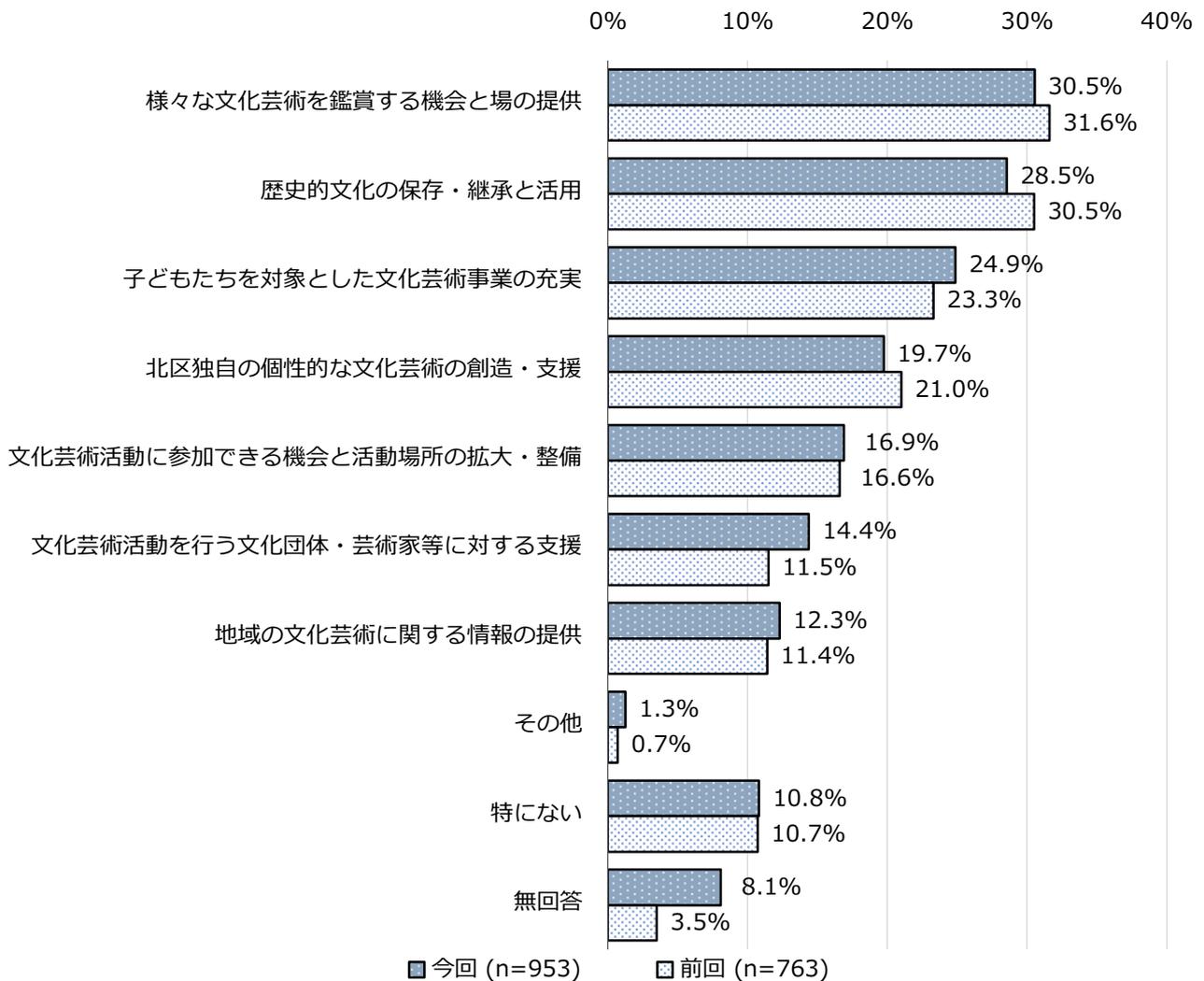
図表 3-116 文化振興



## 2) 経年比較

前回調査結果と比較すると、「様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供」の割合が31.6%から30.5%に低下しているなど、上位の項目で割合が低下している。一方で、各項目の順位は変化がない。

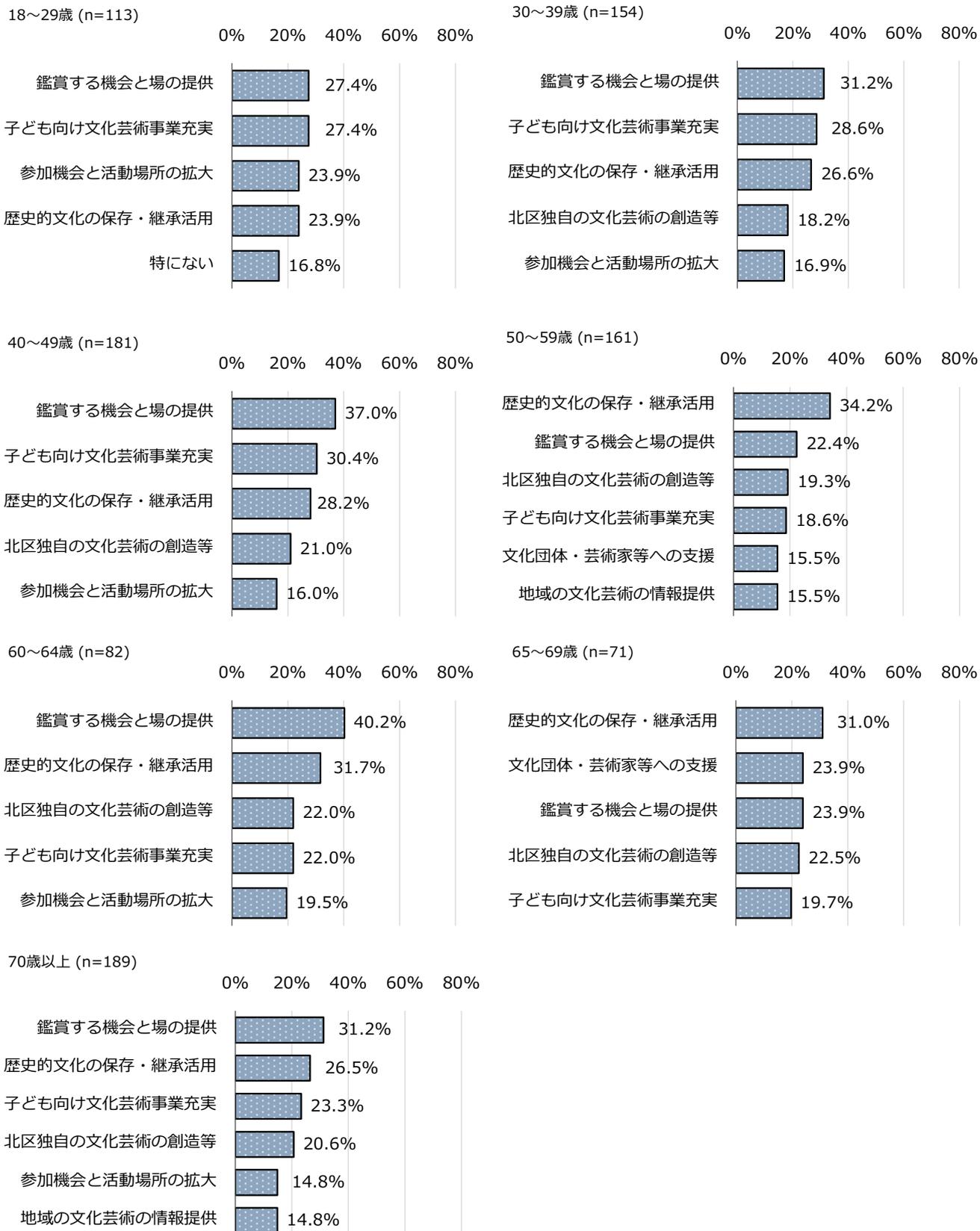
図表 3-117 文化振興（経年比較）



### 3) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「60～64歳」「70歳以上」で「鑑賞する機会と場の提供」の割合が最も高い。「50～59歳」「65～69歳」では「歴史的文化の保存・継承活用」の割合が最も高い。

図表 3-118 文化振興（年齢別：上位5位）



## (10) 生涯学習・スポーツについて

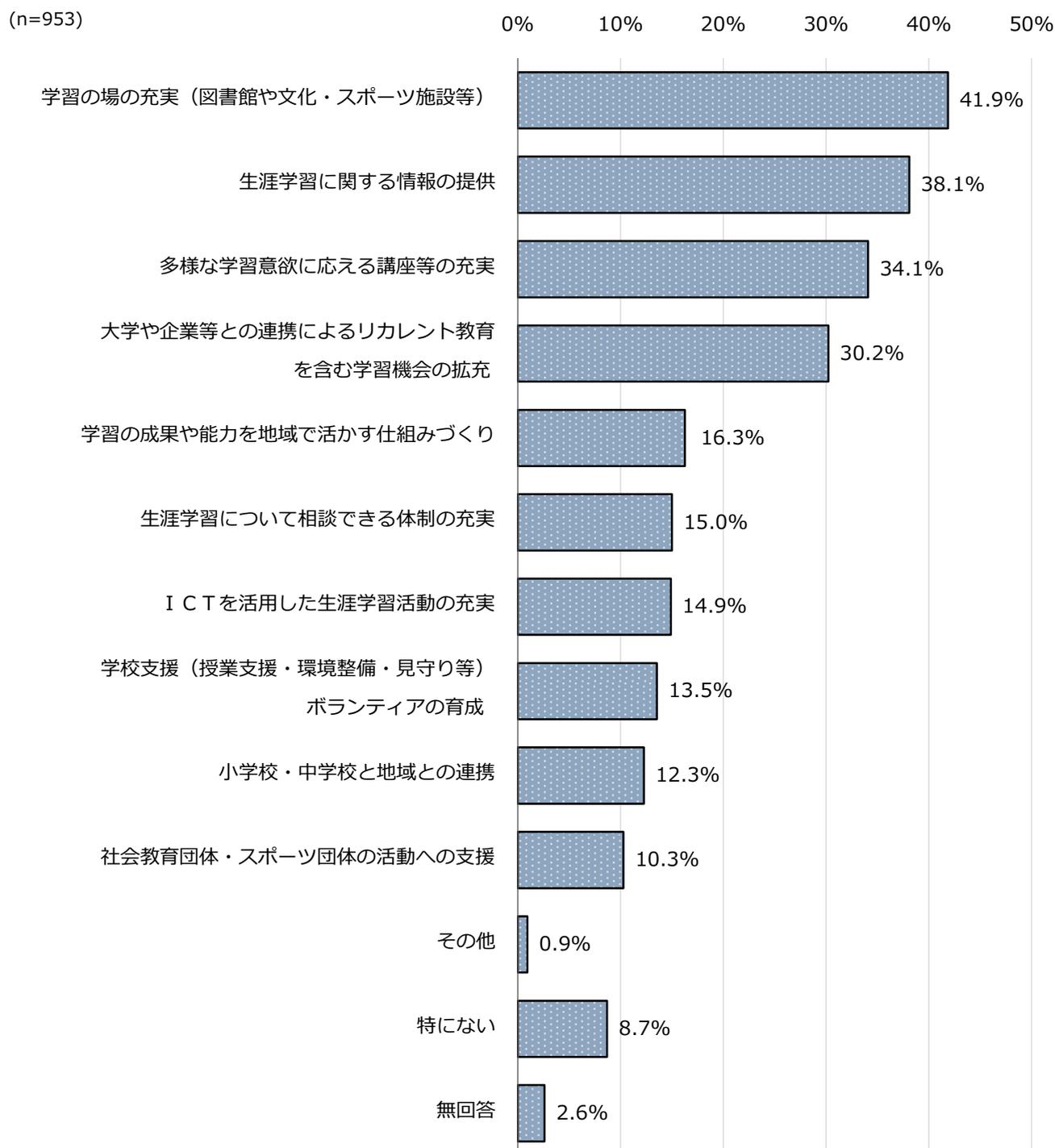
### ①生涯学習

問32 今後、生涯学習を推進するため、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。(MA(3))

#### 1) 全体

「学習の場の充実（図書館や文化・スポーツ施設等）」の割合が最も高く41.9%である。次いで、「生涯学習に関する情報の提供（38.1%）」、「多様な学習意欲に応える講座等の充実（34.1%）」となった。

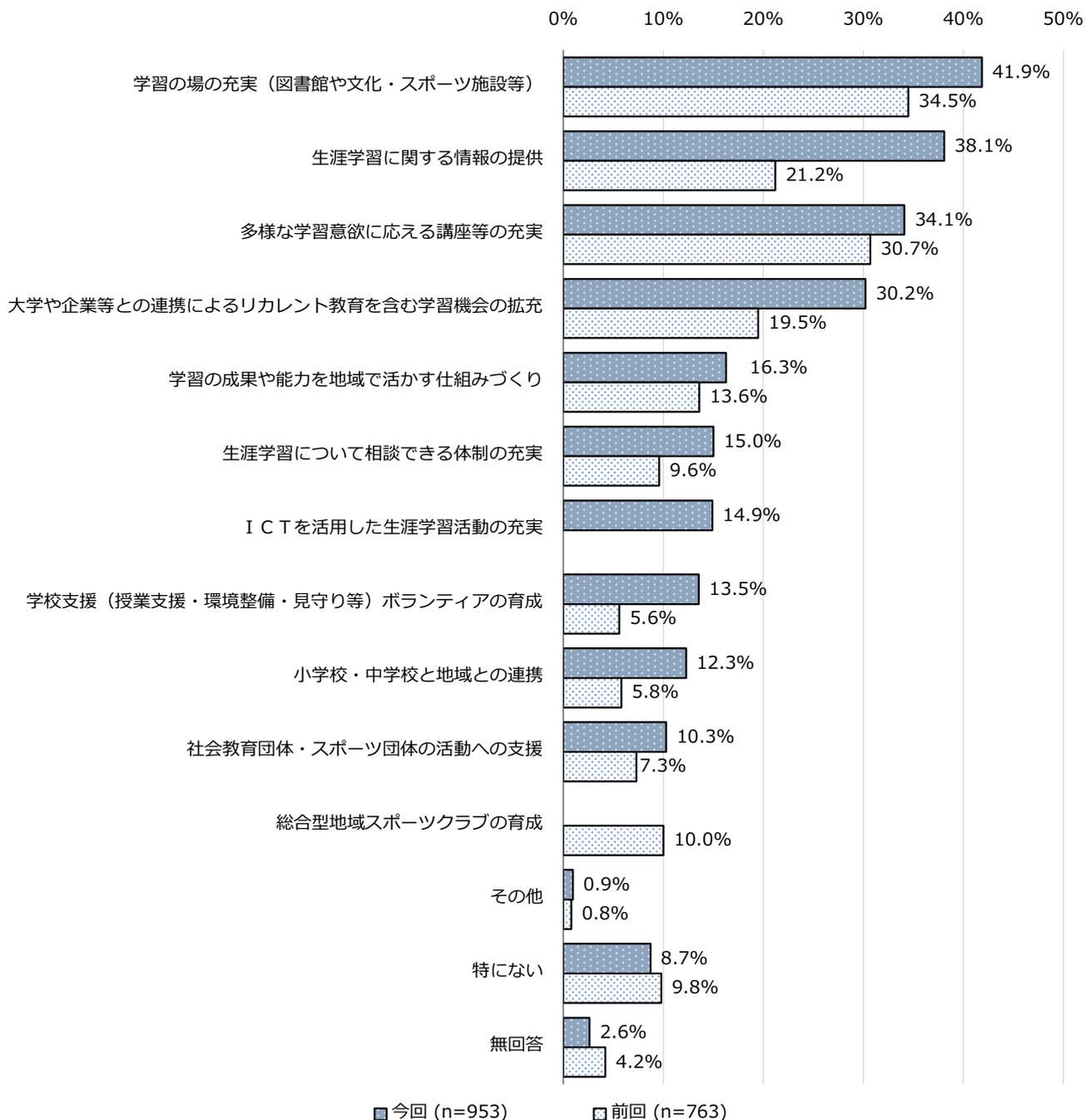
図表 3-119 生涯学習



## 2) 経年比較

前回調査結果と比較すると、「学習の場の充実（図書館や文化・スポーツ施設等）」の割合が34.5%から41.9%に上昇したほか、すべての項目で前回調査に比べ上昇している。また、「特にない」の割合は前回調査から低下している。

図表 3-120 生涯学習（経年比較）

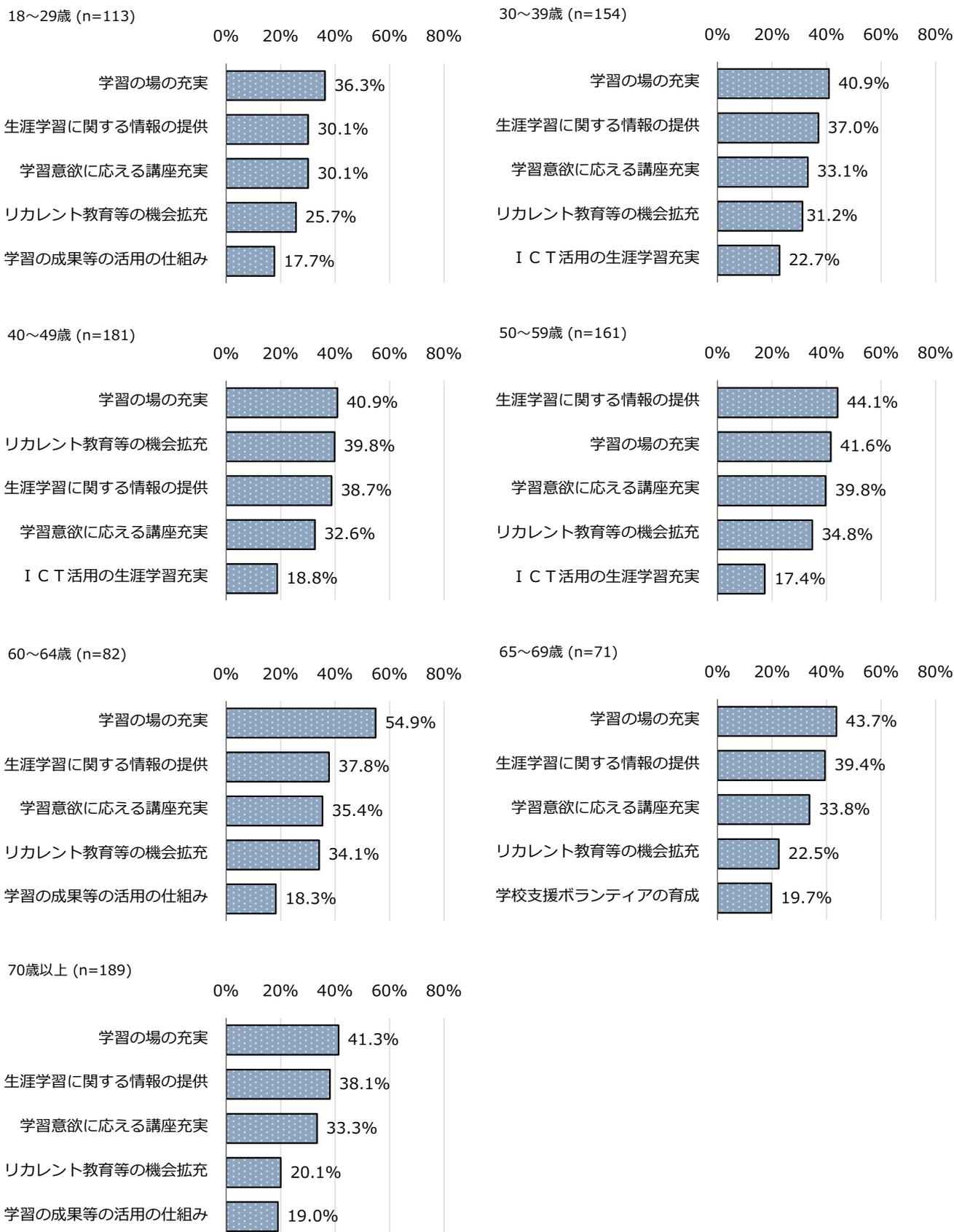


注) 前回調査は、あてはまるものを2つまで選択する形式。前回調査では、今回調査選択肢「生涯学習に関する情報の提供」は「学習に関する情報の提供」、「大学や企業等との連携によるリカレント教育を含む学習機会の拡充」は「大学や企業等との連携による学習機会の拡充」、「学校支援（授業支援・環境整備・見守り等）ボランティアの育成」は「教育ボランティアの育成」、「小学校・中学校と地域との連携」は「小・中学校との連携」となっている。また、選択肢「I C Tを活用した生涯学習活動の充実」は今回調査のみ、選択肢「総合型地域スポーツクラブの育成」は前回調査のみ（今回調査では（10）②「スポーツ振興」にて聴取）。

### 3) 年齢別

年齢別にみると、「50～59 歳」で「生涯学習に関する情報の提供」の割合が最も高く、その他の年齢では「学習の場の充実」の割合が最も高い。

図表 3-121 生涯学習（年齢別：上位5位）



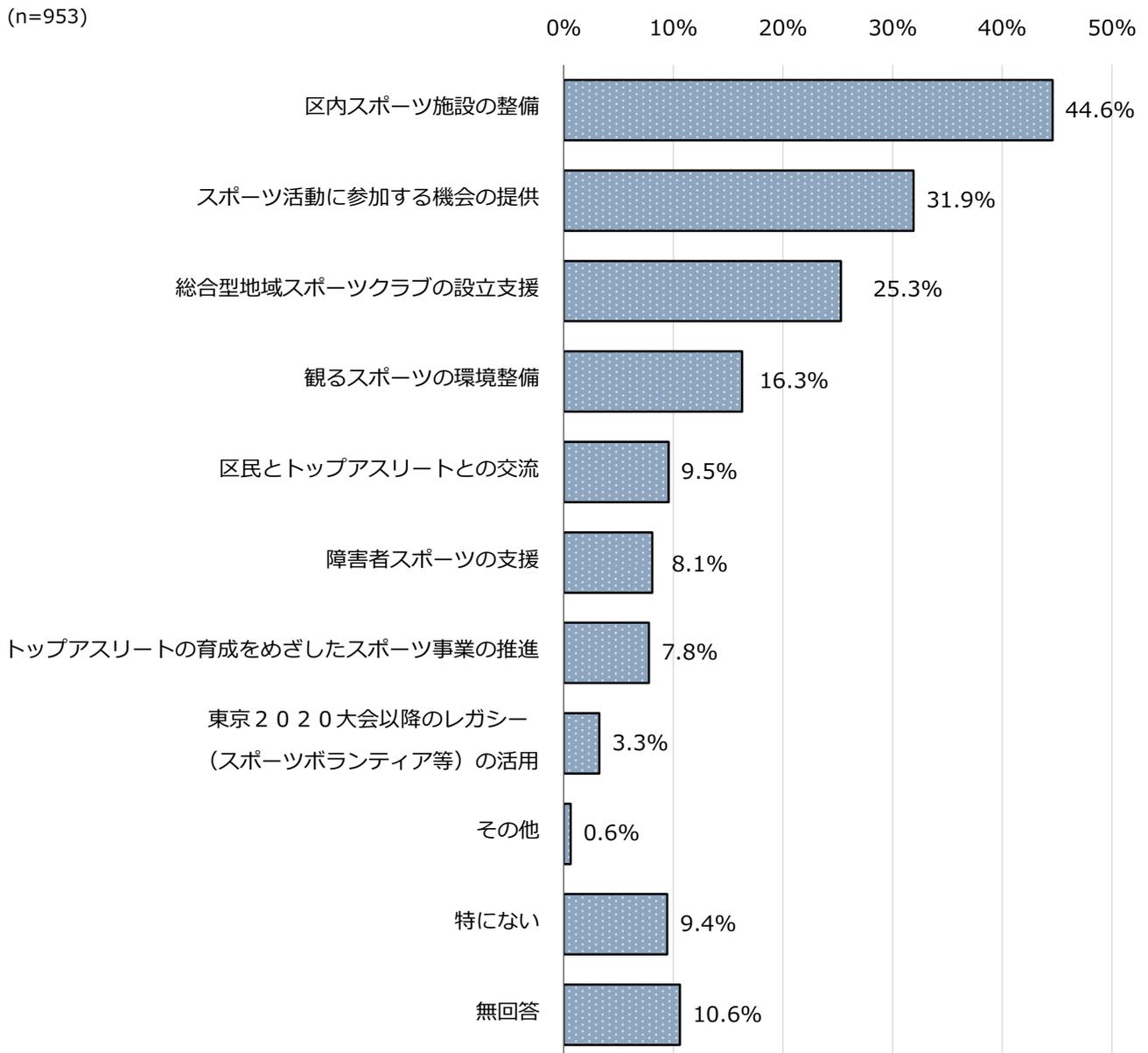
## ②スポーツ振興

問33 今後、地域のスポーツ振興のため、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。  
次の中から2つまで選んで○をつけてください。(MA(2))

### 1) 全体

「区内スポーツ施設の整備」の割合が最も高く 44.6%である。次いで、「スポーツ活動に参加する機会の提供 (31.9%)」、「総合型地域スポーツクラブの設立支援 (25.3%)」となった。

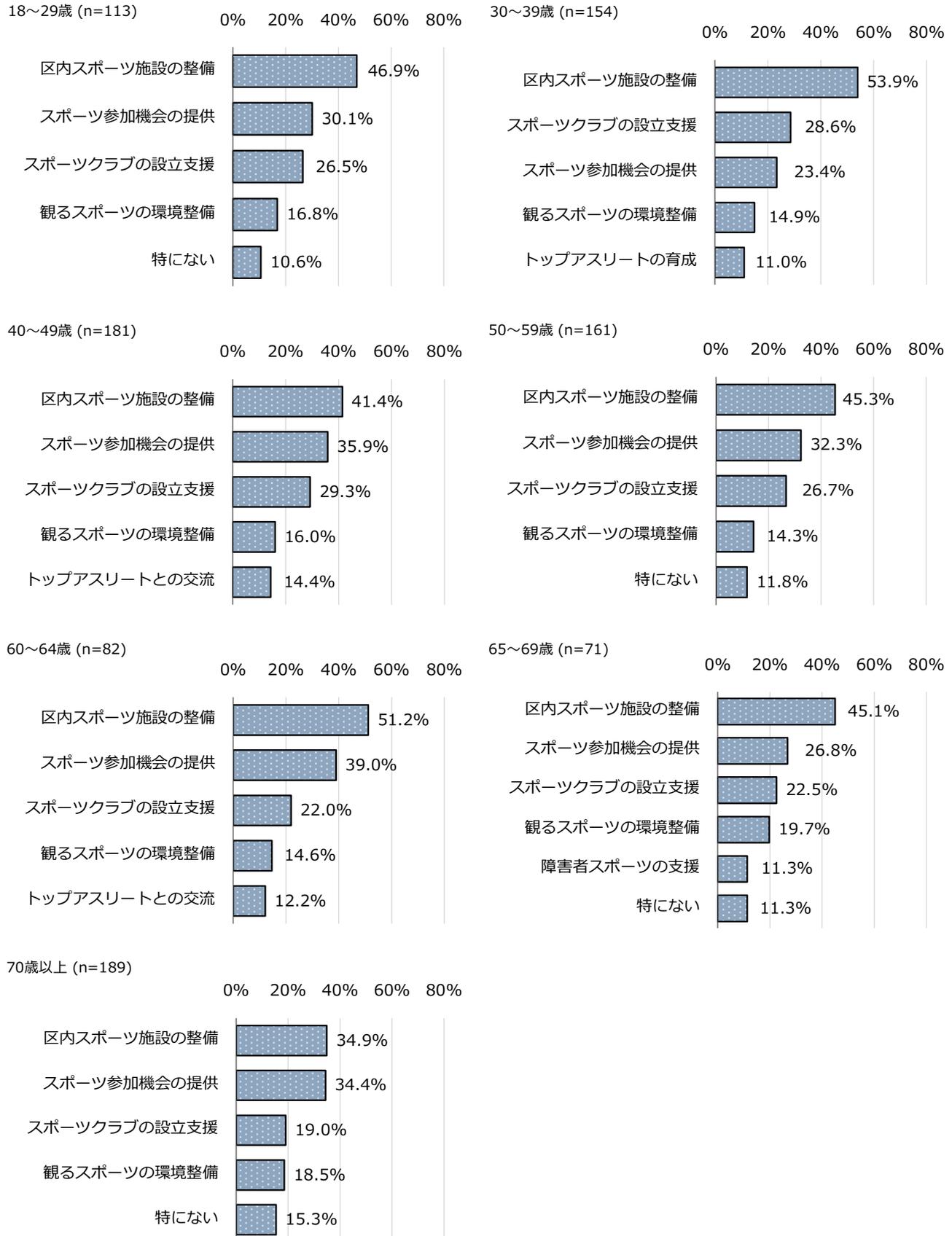
図表 3-122 スポーツ振興



## 2) 年齢別

年齢別にみると、いずれの年齢も「区内スポーツ施設の整備」の割合が最も高く、第2位としては「30～39歳」を除き、「スポーツ参加機会の提供」となった。なお、「30～39歳」では「スポーツクラブの設立支援」となった。

図表 3-123 スポーツ振興（年齢別：上位5位）



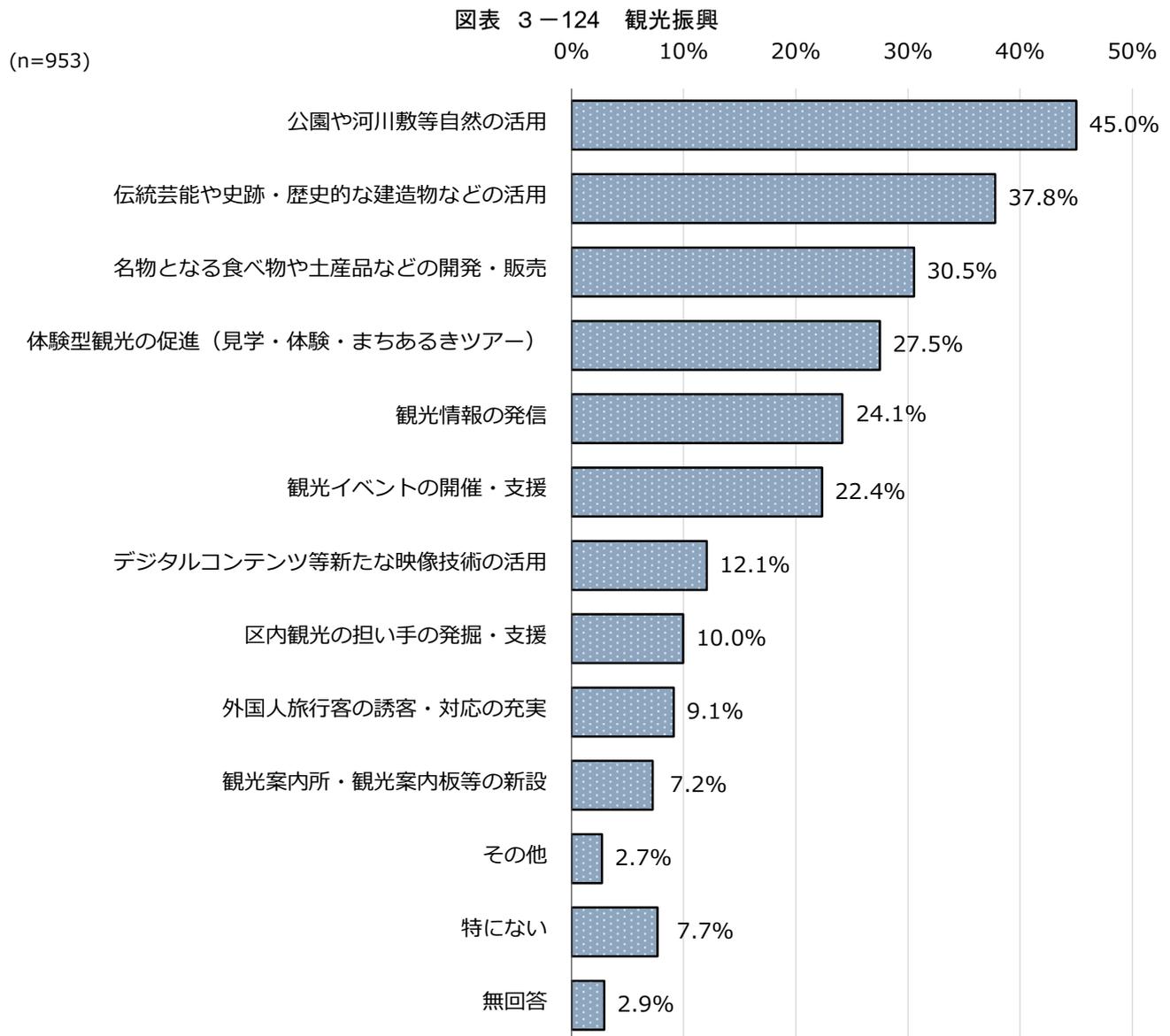
## (11) 観光振興について

### ① 観光振興

問34 北区の観光振興に関する取組みの中で、どのような取組みが重要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。(MA (3))

#### 1) 全体

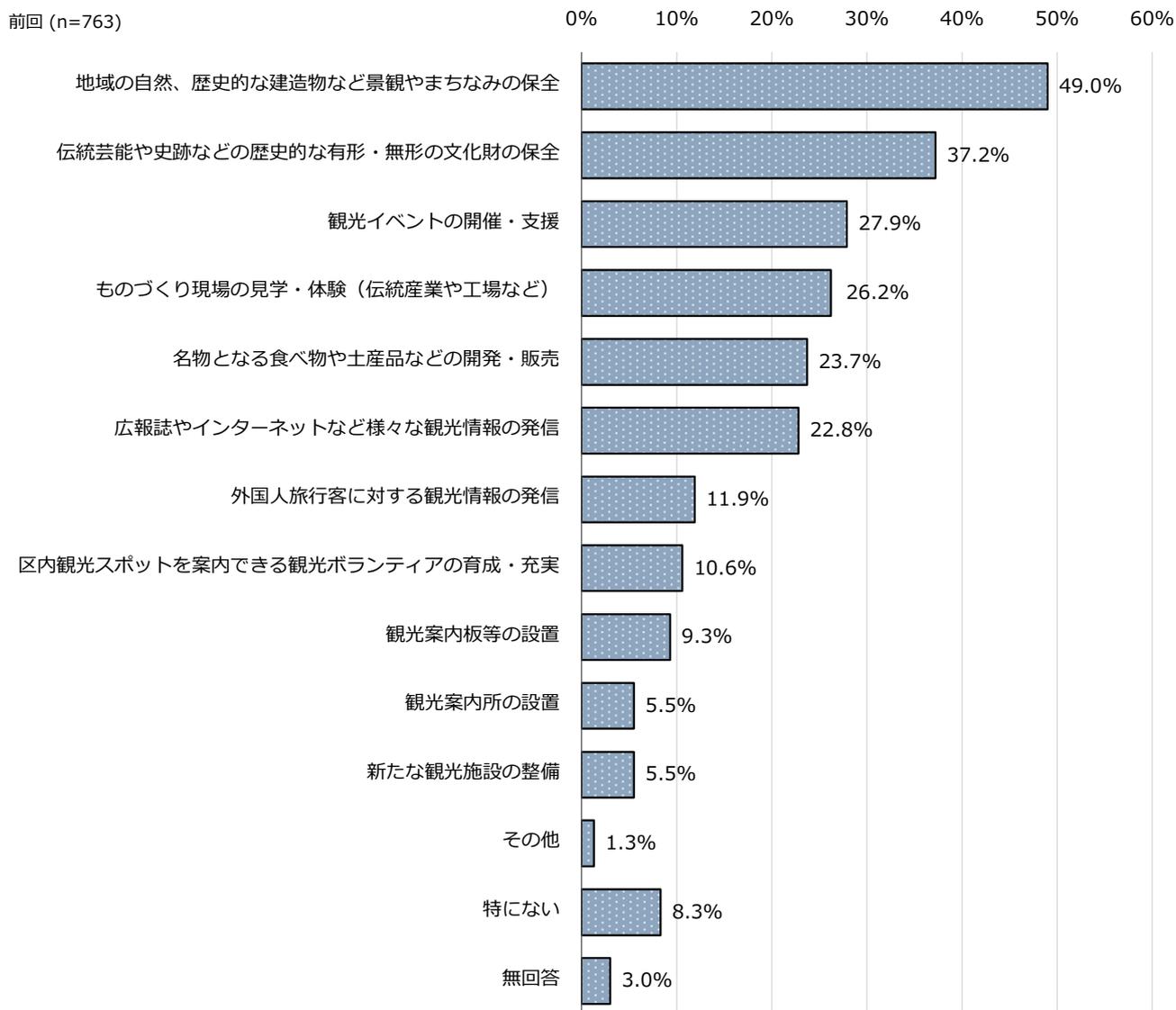
「公園や河川敷等自然の活用」の割合が最も高く 45.0%である。次いで、「伝統芸能や史跡・歴史的な建造物などの活用 (37.8%)」、「名物となる食べ物や土産品などの開発・販売 (30.5%)」となった。



## 2) 経年比較 (参考)

前回調査においては「地域の自然、歴史的な建造物など景観やまちなみの保全」の割合が49.0%と最も高くなっている。

図表 3-125 観光振興 (参考: 前回調査)

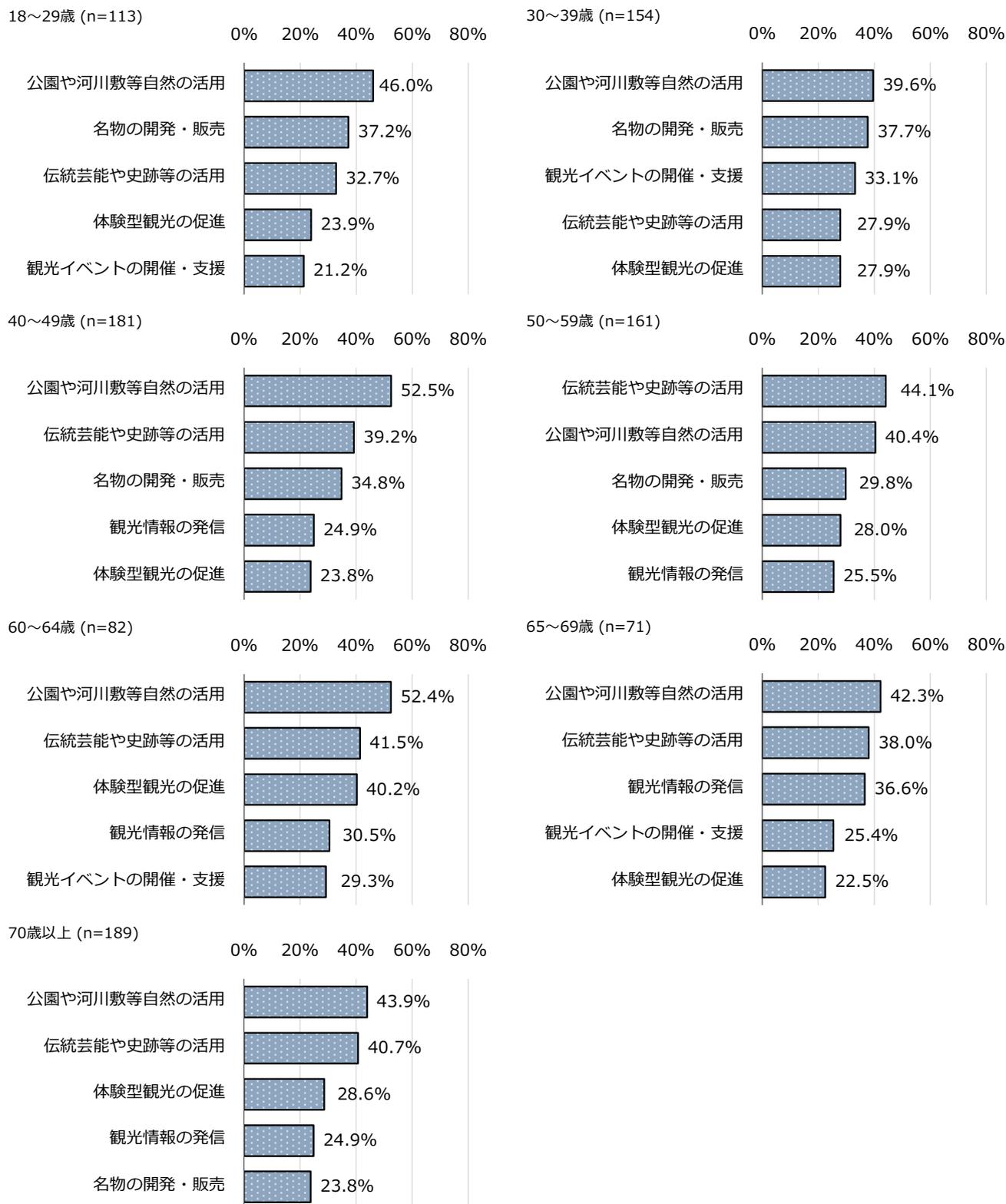


注) 今回調査と前回調査の選択肢は完全には一致していないことから、単純に比較はできないため、あくまで参考であることに留意。

### 3) 年齢別

年齢別にみると、「50～59歳」で「伝統芸能や史跡等の活用」の割合が最も高く、その他の年齢では「公園や河川敷等自然の活用」の割合が最も高い。

図表 3-126 観光振興（年齢別：上位5位）



## (12) 女性の活躍促進について

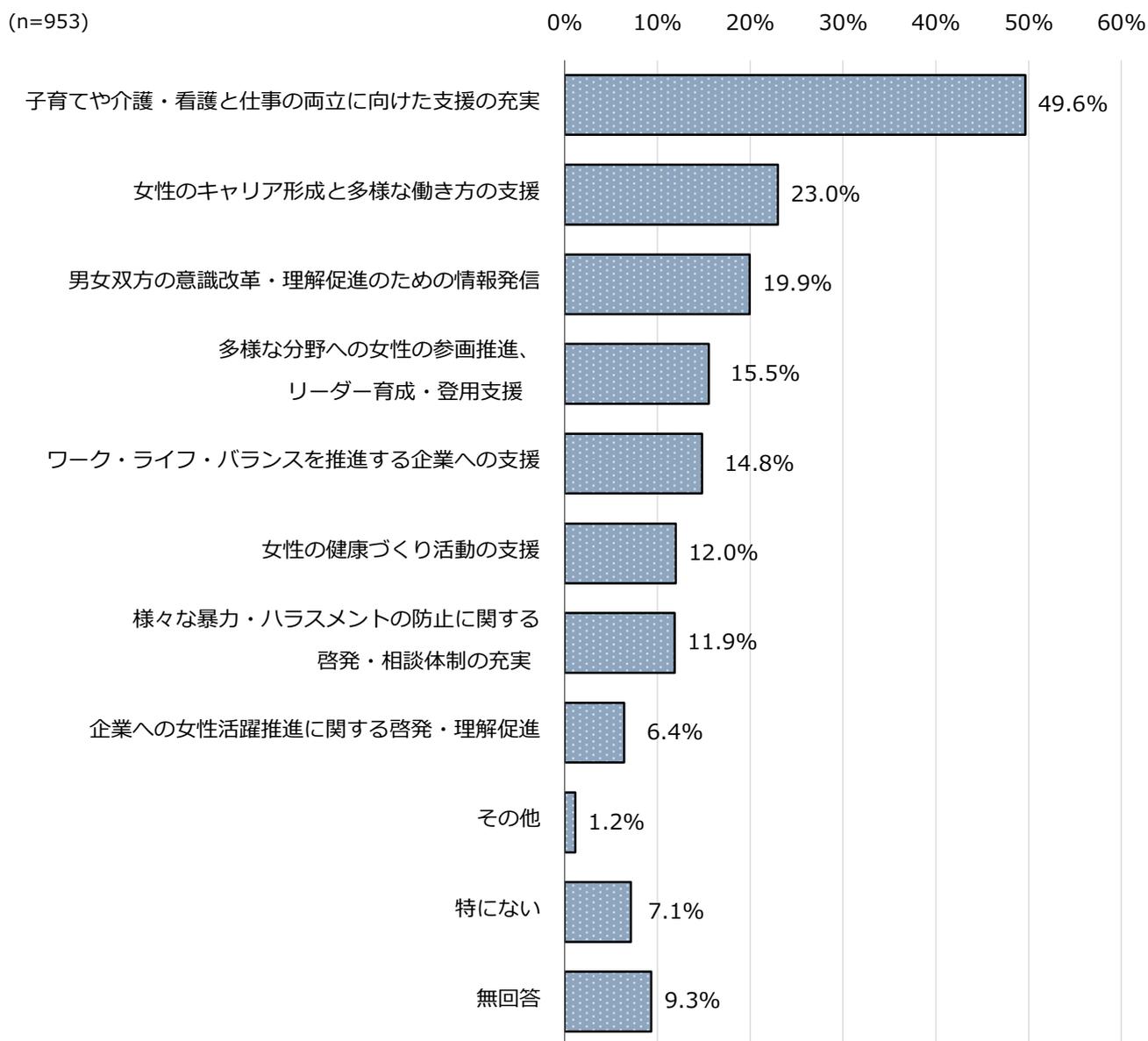
### ①女性の活躍促進

問35 今後、女性がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。(MA(2))

#### 1) 全体

「子育てや介護・看護と仕事の両立に向けた支援の充実」の割合が最も高く49.6%である。次いで、「女性のキャリア形成と多様な働き方の支援(23.0%)」、「男女双方の意識改革・理解促進のための情報発信(19.9%)」となった。

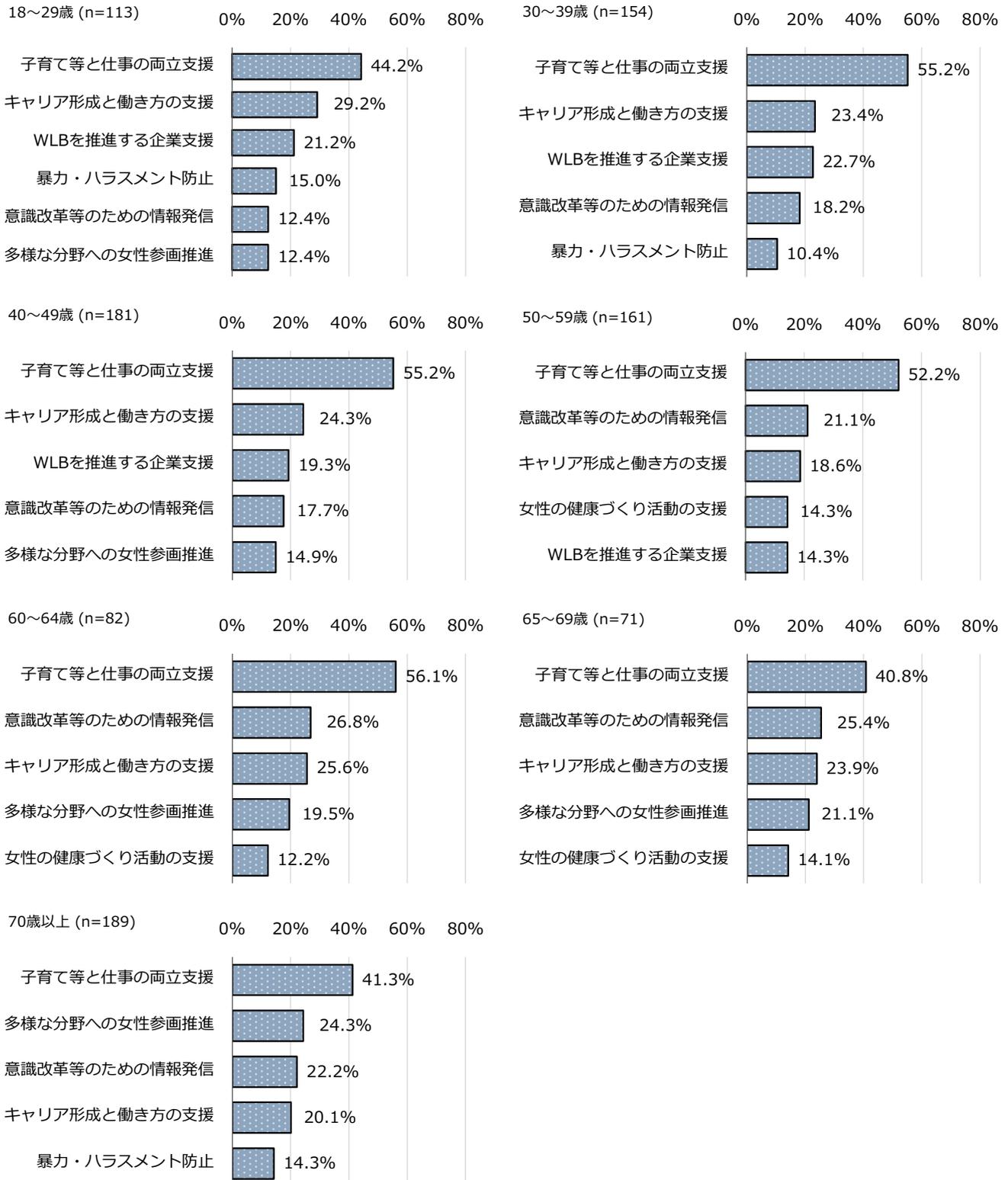
図表 3-127 女性の活躍促進



## 2) 年齢別

年齢別にみると、いずれの年齢でも「子育て等と仕事の両立支援」の割合が最も高い。第2位は「18～29歳」「30～39歳」「40～49歳」では「キャリア形成と働き方の支援」、「50～59歳」「60～64歳」「65～69歳」では「意識改革等のための情報発信」、「70歳以上」では「多様な分野への女性参画推進」となった。

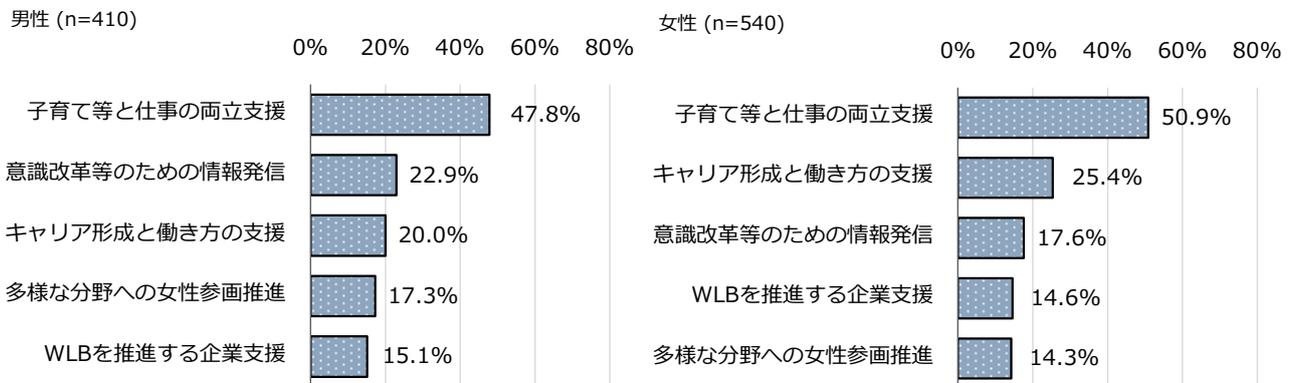
図表 3-128 女性の活躍促進（年齢別：上位5位）



### 3) 性別

性別にみると、いずれも「子育て等と仕事の両立支援」の割合が最も高い。第2位は、「男性」で「意識改革等のための情報発信」が、「女性」で「キャリア形成と働き方の支援」となった。

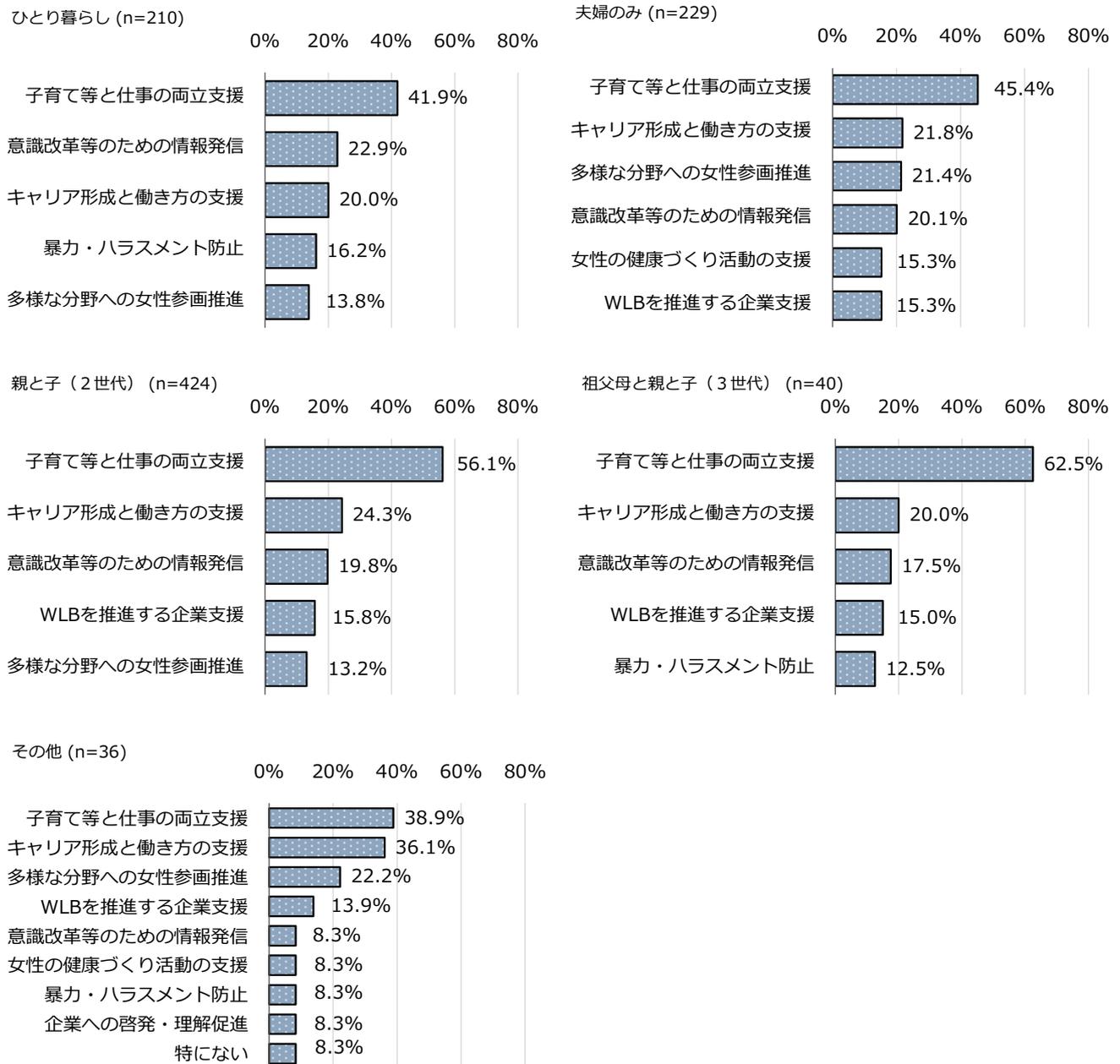
図表 3-129 女性の活躍促進（性別：上位5位）



#### 4) 世帯構成別

世帯構成別にみると、すべての世帯で「子育て等と仕事の両立支援」の割合が最も高くなった。なお、第2位としては「ひとり暮らし」の世帯では「意識改革等のための情報発信」、それ以外の世帯では「キャリア形成と働き方の支援」となった。

図表 3-130 女性の活躍促進（世帯構成別：上位5位）



## (13) 安全・安心への取組みについて

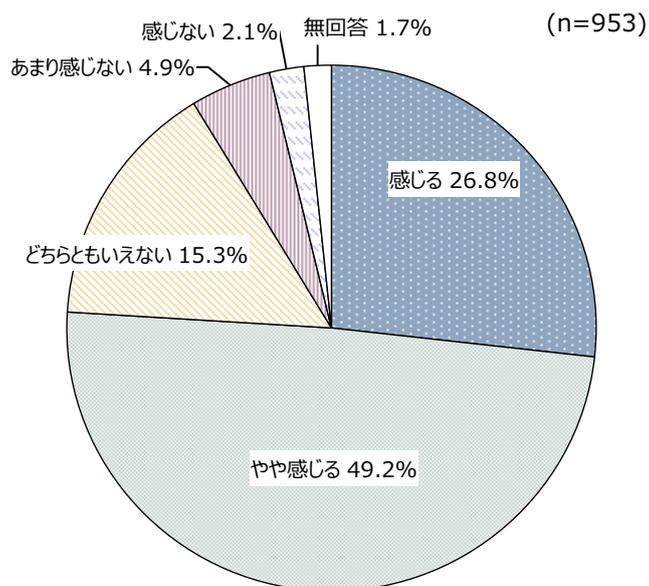
### ①地域の安全・安心

問36 あなたのお住まいの地域は安全・安心なまちだと感じますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。(SA)

#### 1) 全体

「やや感じる」の割合が最も高く 49.2%である。次いで、「感じる (26.8%)」、「どちらともいえない (15.3%)」となった。

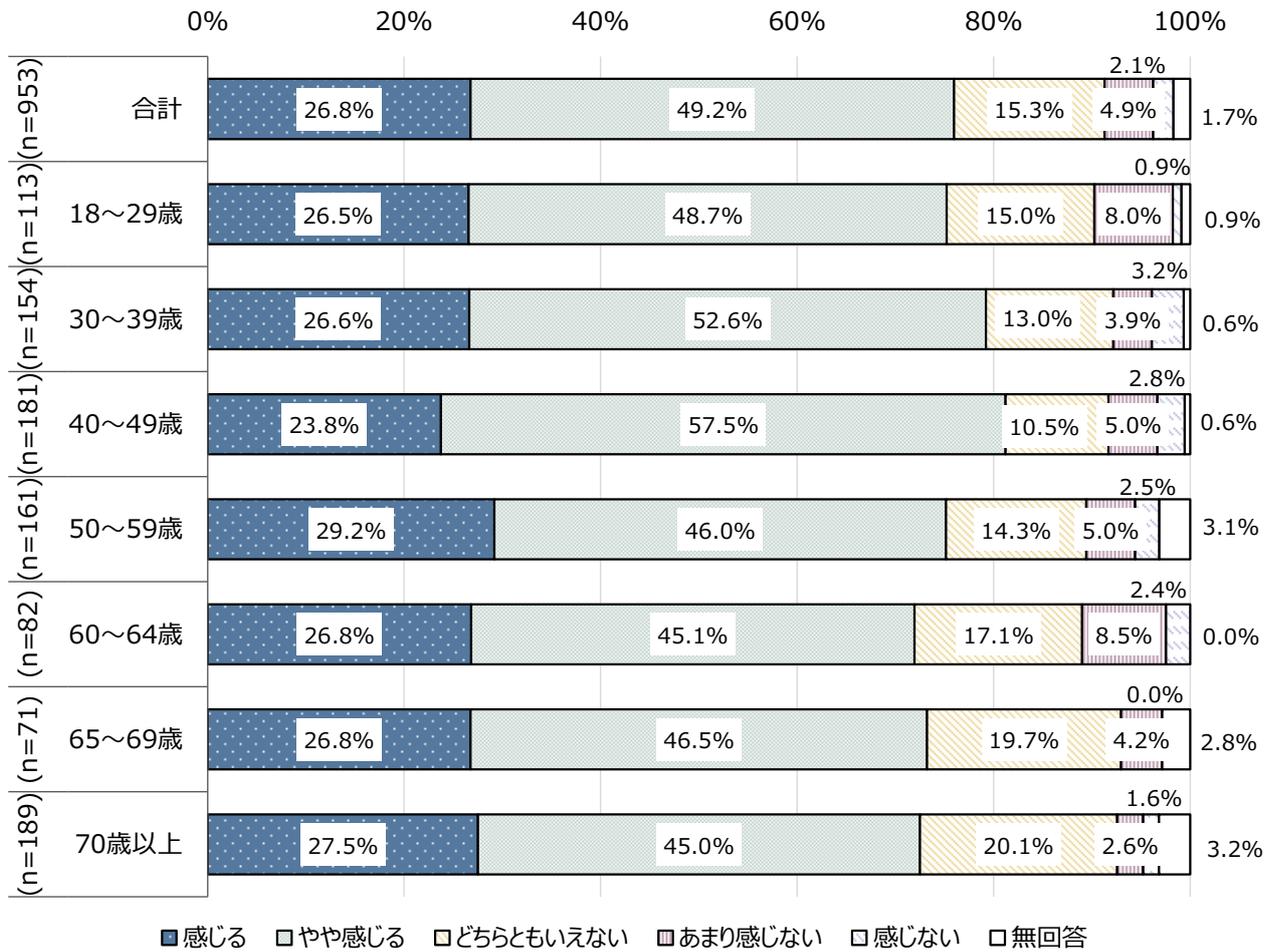
図表 3-131 地域の安全・安心



## 2) 年齢別

年齢別にみると、地域が安全・安心だと「感じる」割合や「感じない」割合に顕著な差はみられなかった。

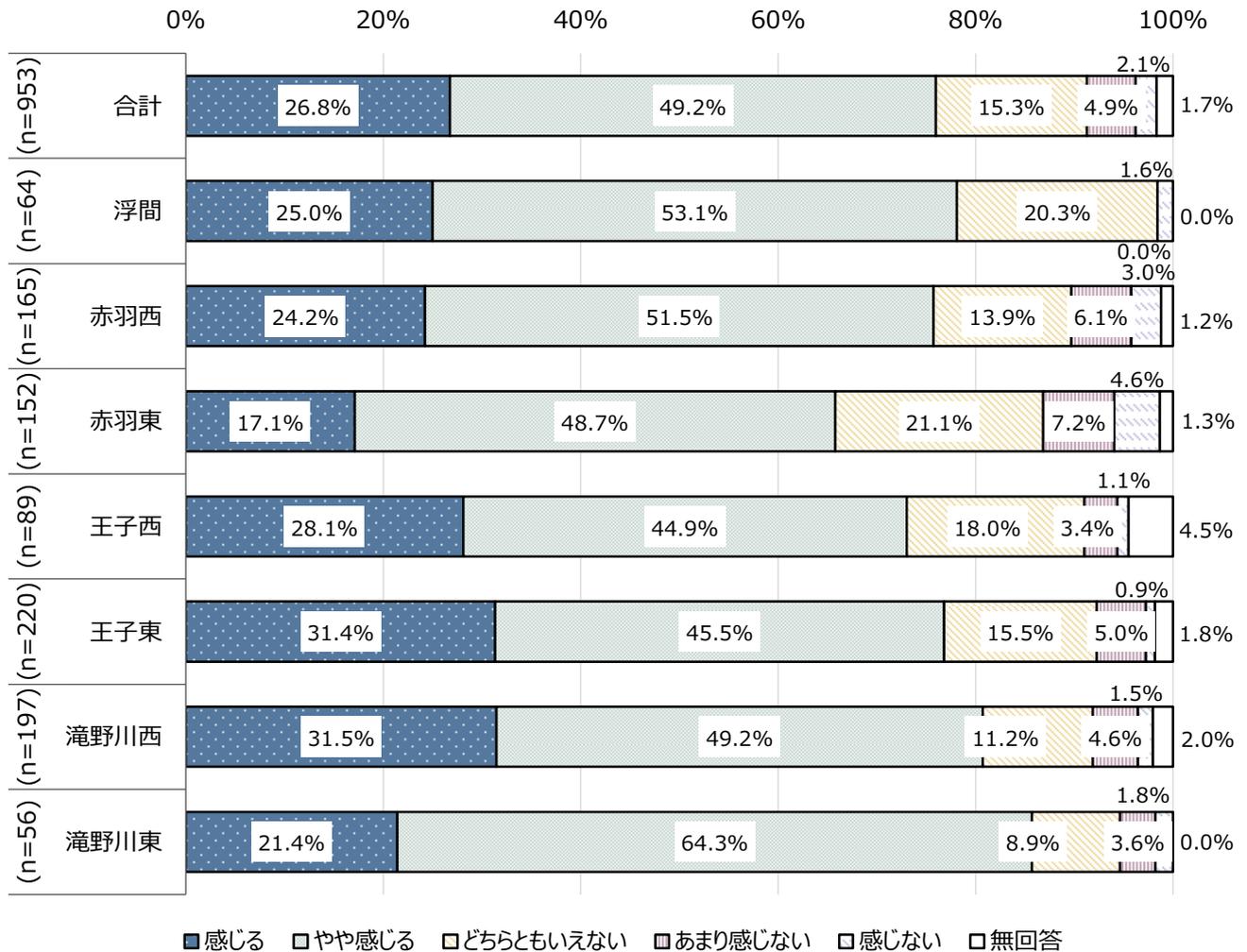
図表 3-132 地域の安全・安心（年齢別）



### 3) 居住地区別

居住地区別にみると、地域が安全・安心だと「感じる」割合は「滝野川西」が最も高く、次いで「王子東」、「王子西」となった。一方で、安全・安心だと「感じない」割合は「赤羽東」が最も高く、次いで「赤羽西」となった。

図表 3-133 地域の安全・安心（居住地区別）



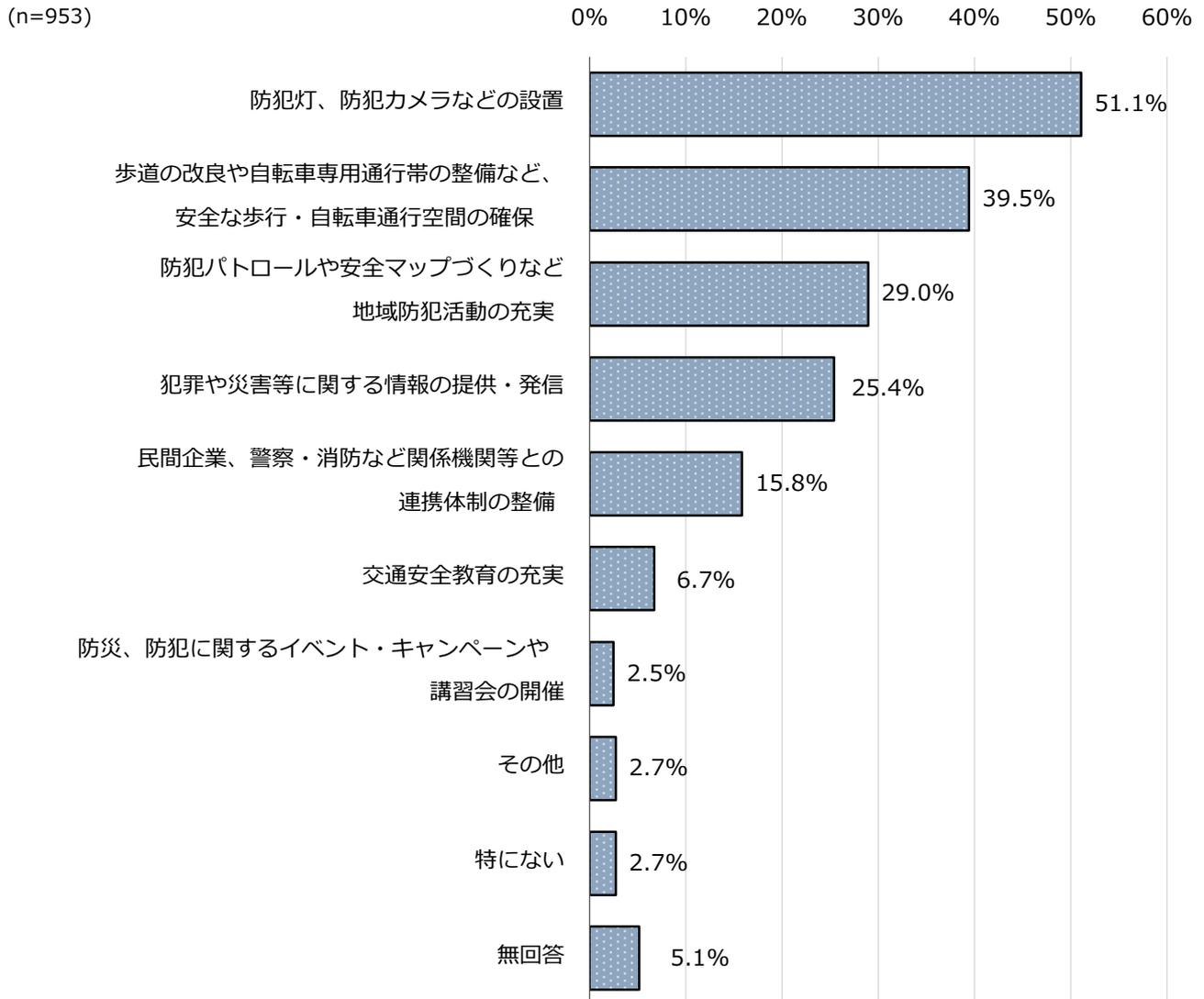
## ②安全・安心への取組み

問37 あなたのお住まいの地域を安全・安心なまちにするためには、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。(MA(2))

### 1) 全体

「防犯灯、防犯カメラなどの設置」の割合が最も高く 51.1%である。次いで、「歩道の改良や自転車専用通行帯の整備など、安全な歩行・自転車通行空間の確保 (39.5%)」、「防犯パトロールや安全マップづくりなど地域防犯活動の充実 (29.0%)」となった。

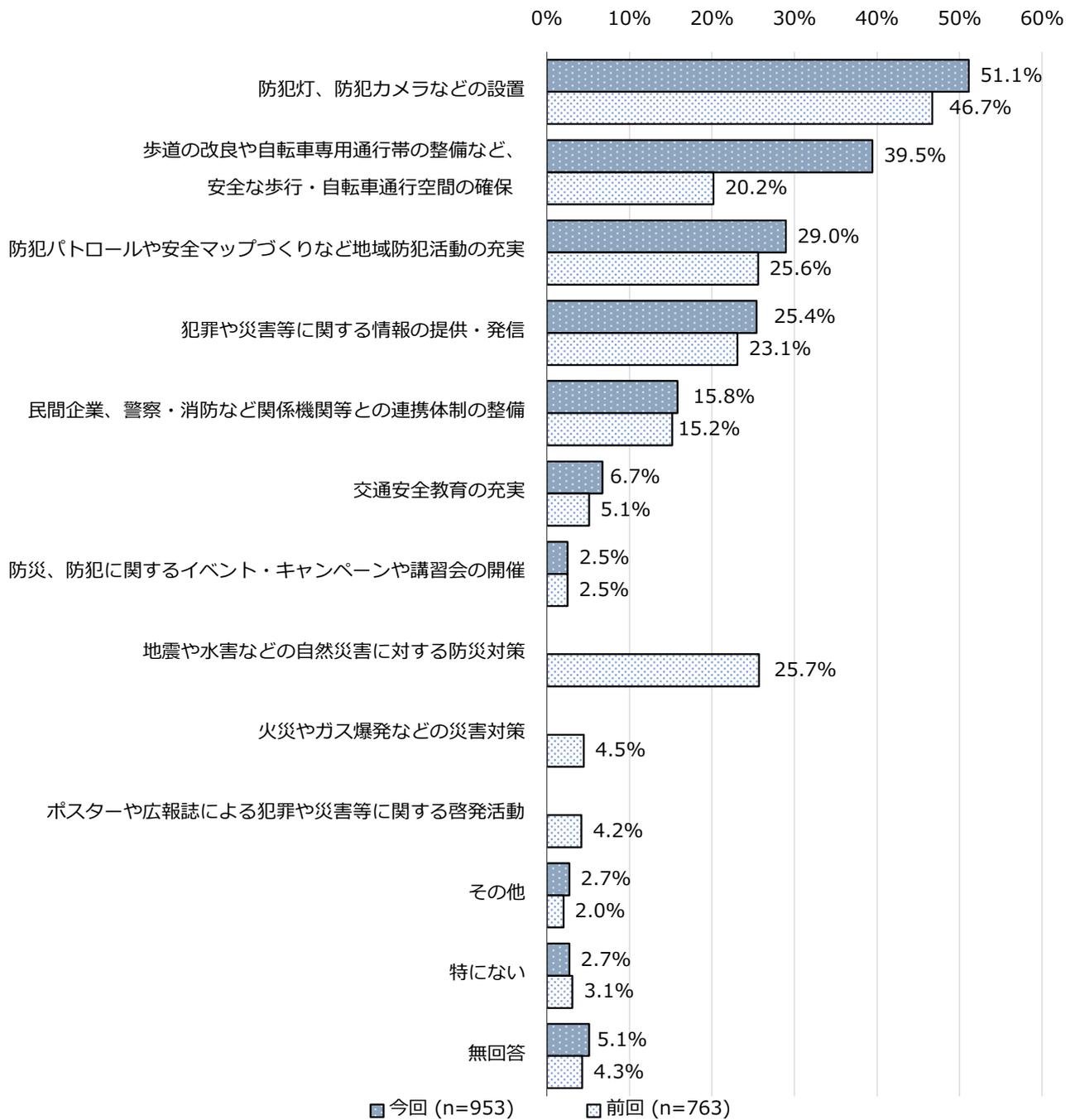
図表 3-134 安全・安心への取組み



## 2) 経年比較

前回調査結果と比較すると、「防犯灯、防犯カメラなどの設置」、「歩道の改良や自転車専用通行帯の整備など、安全な歩行・自転車空間の確保」など、ほぼすべての項目で割合が上昇している。

図表 3-135 安全・安心への取組み（経年比較）

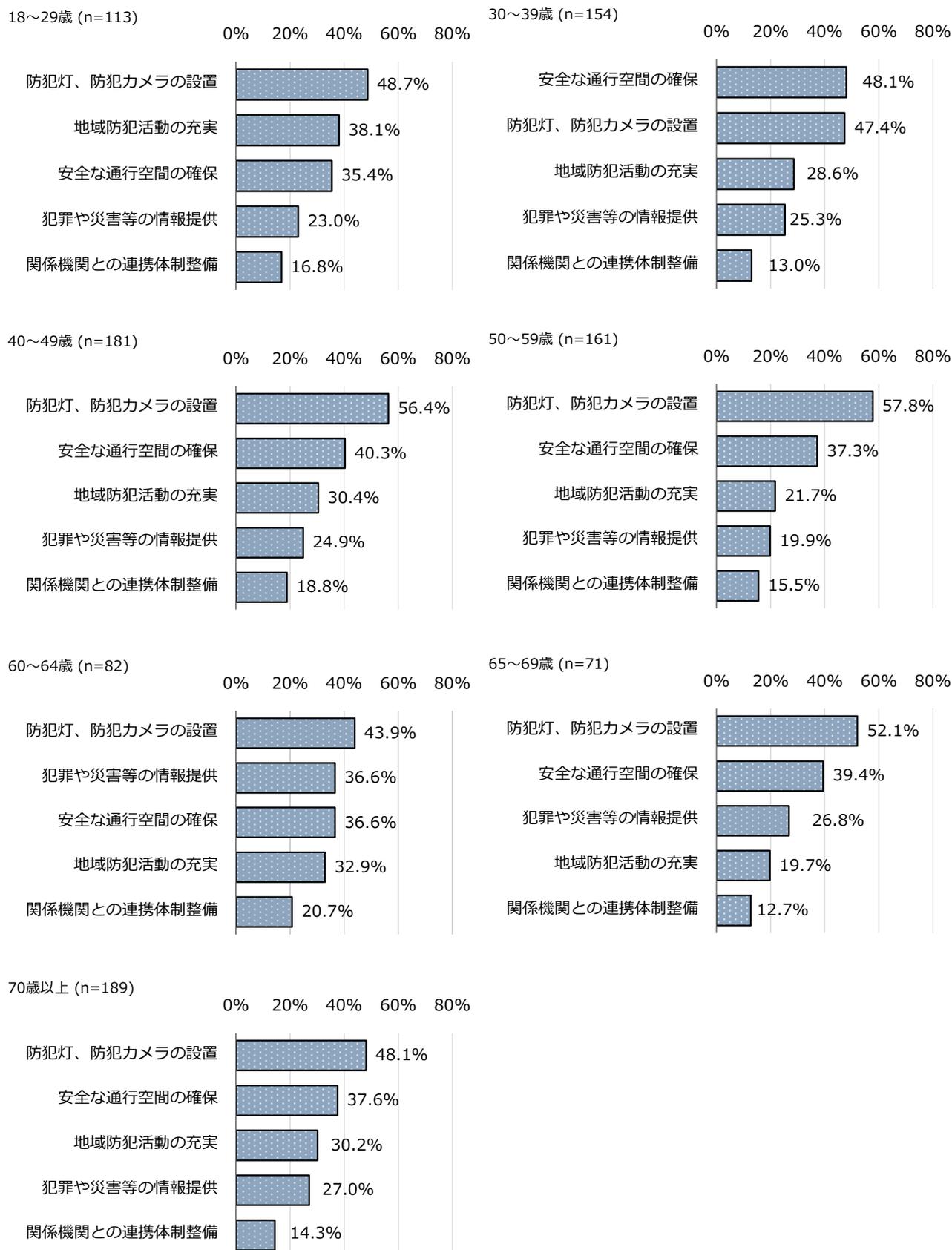


注) 前回調査では、今回調査の選択肢「歩道の改良や自転車専用通行帯の整備など、安全な歩行・自転車通行空間の確保」は「歩道などの改良等、安全な歩行空間の確保」、「防犯パトロールや安全マップづくりなど地域防犯活動の充実」は「防犯パトロールや安全マップづくりなど地域と連携した活動」となっている。また、選択肢「地震や水害などの自然災害に対する防災対策」「火災やガス爆発などの災害対策」「ポスターや広報誌による犯罪や災害等に関する啓発活動」は前回調査のみ。

### 3) 年齢別

年齢別にみると、「30～39歳」では「安全な通行空間の確保」の割合が最も高く、その他の年齢では「防犯灯、防犯カメラの設置」の割合が最も高い。

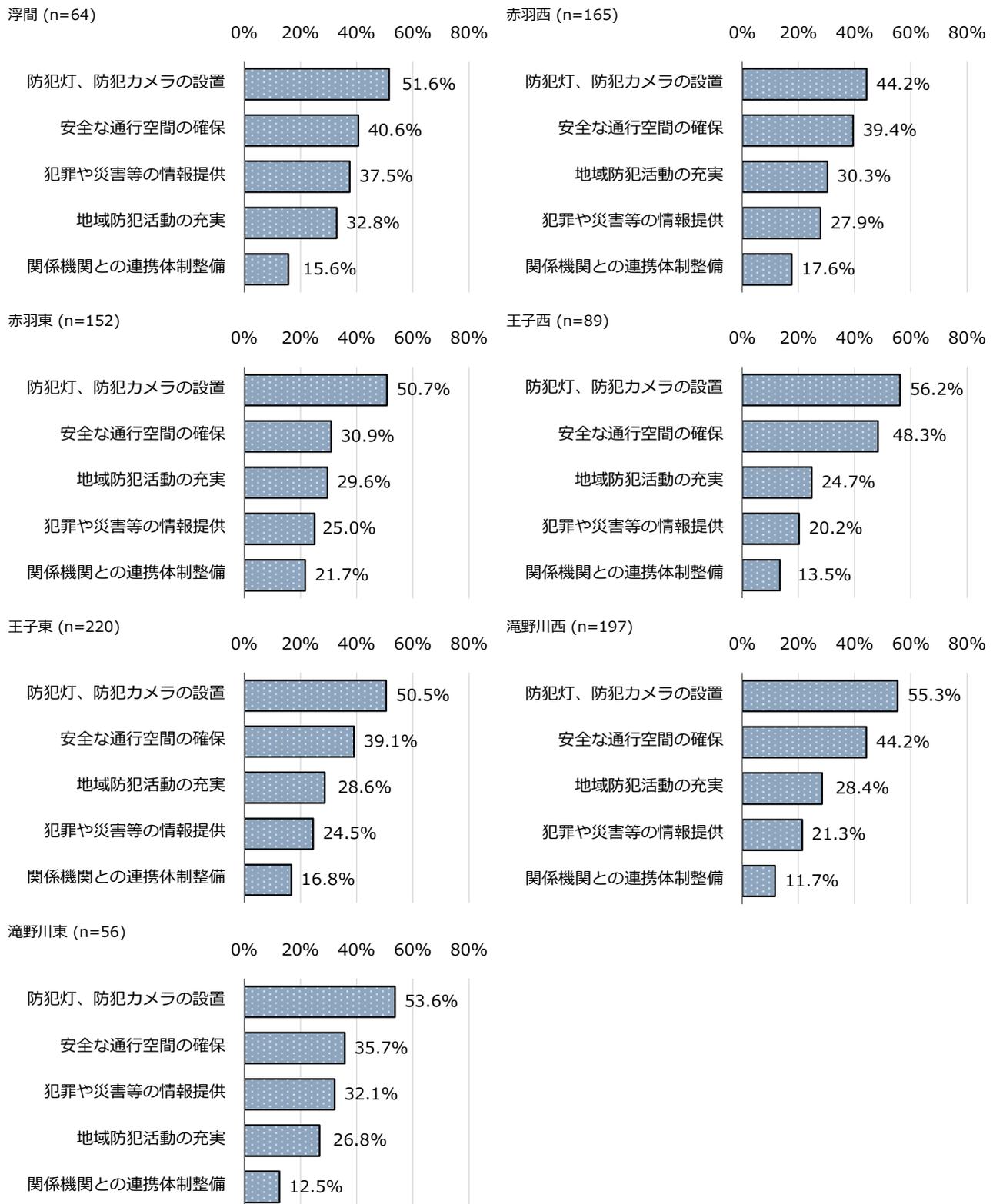
図表 3-136 安全・安心への取組み（年齢別：上位5位）



#### 4) 居住地区別

居住地区別にみると、いずれも「防犯灯、防犯カメラの設置」の割合が最も高く、次いで「安全な通行空間の確保」となった。

図表 3-137 安全・安心への取組み（居住地区別：上位5位）



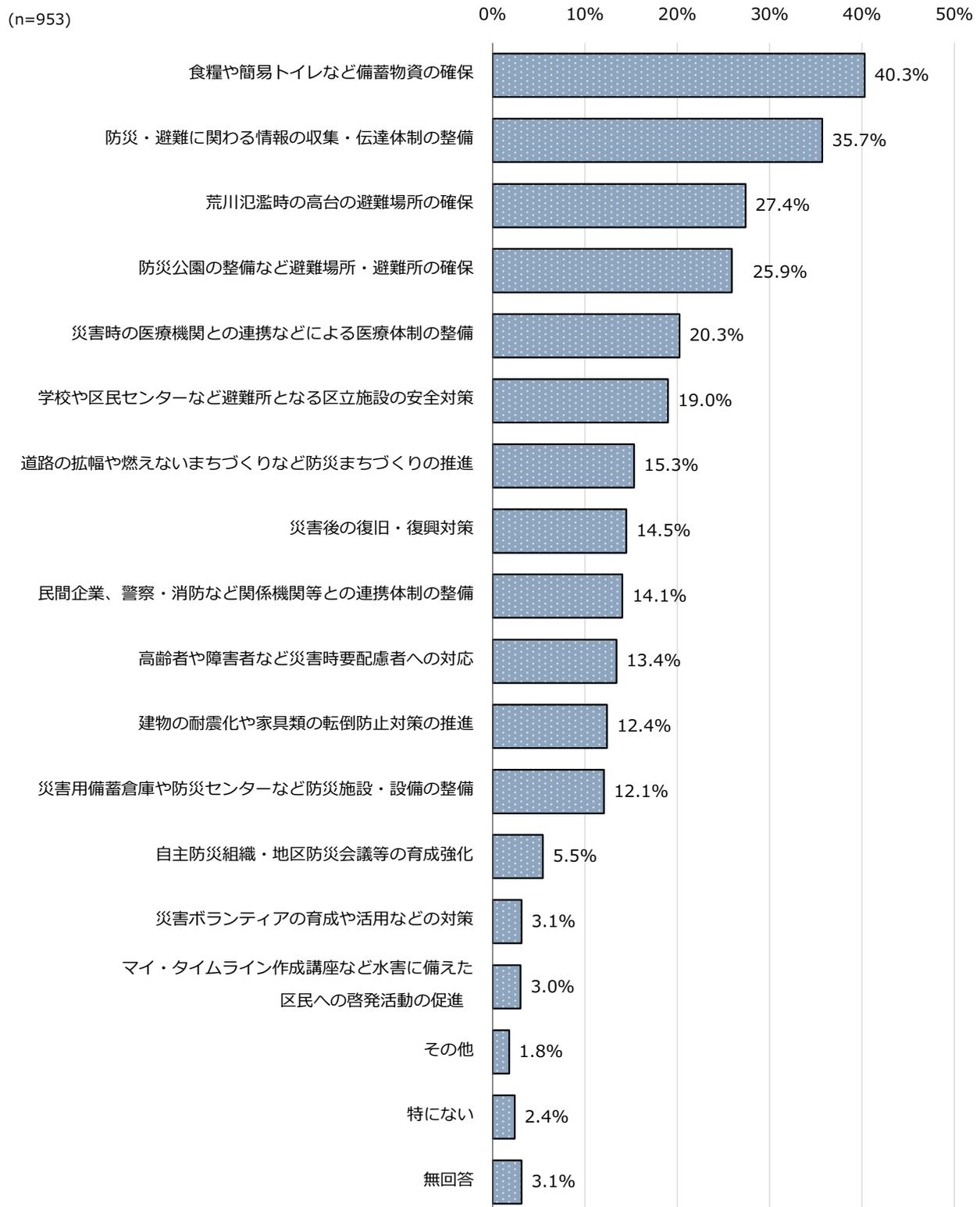
### ③自然災害に対する取組み

問38 地震や水害などの自然災害に対して安全・安心なまちにするために、どのような取組みが重要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。(MA(3))

#### 1) 全体

「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」の割合が最も高く40.3%である。次いで、「防災・避難に関わる情報の収集・伝達体制の整備(35.7%)」、「荒川氾濫時の高台の避難場所の確保(27.4%)」となった。

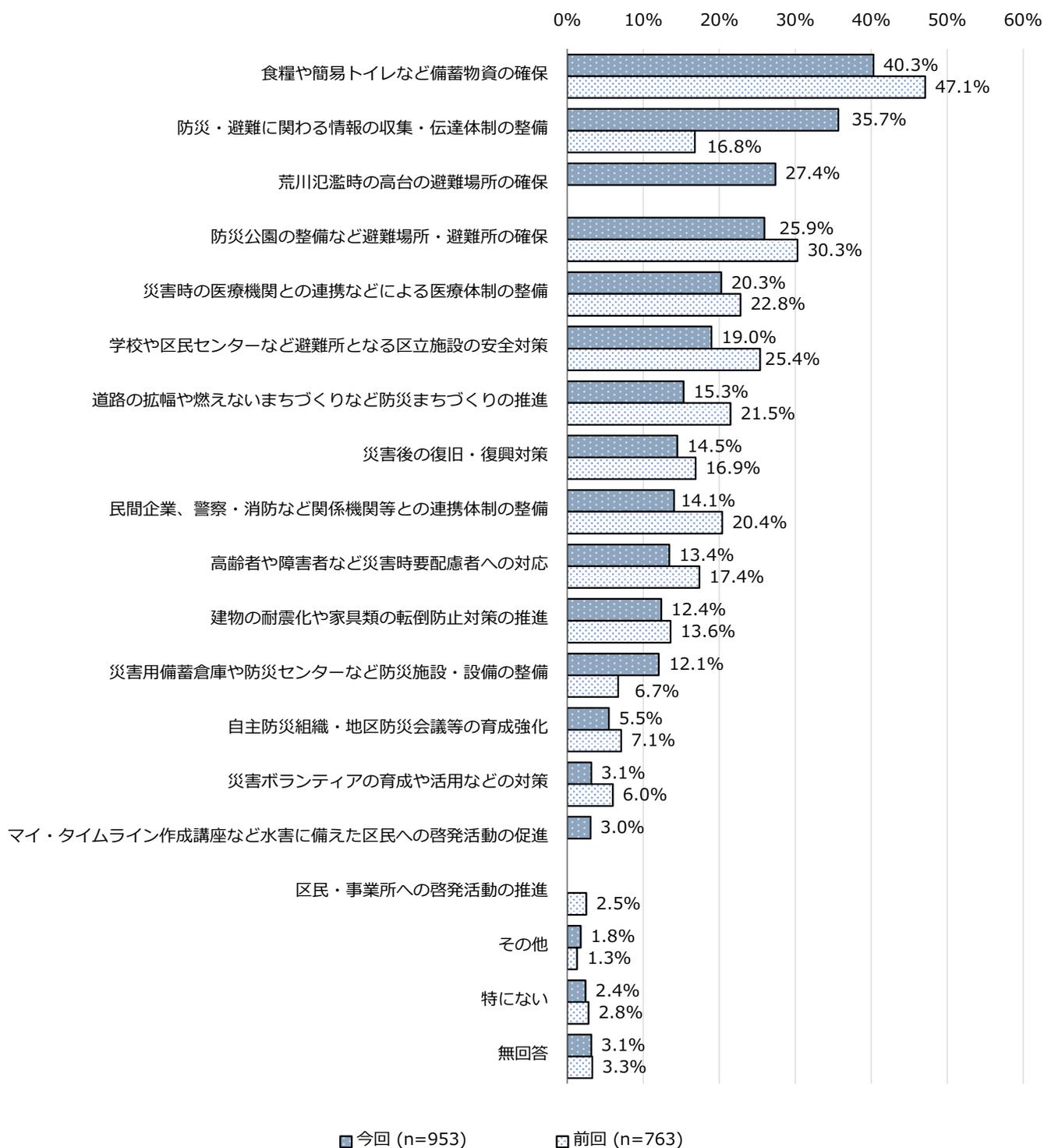
図表 3-138 自然災害に対する取組み



## 2) 経年比較

前回調査結果と比較すると、「食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保」の割合が47.1%から40.3%に減少している。一方で、「防災・避難に関わる情報の収集・伝達体制の整備」の割合は16.8%から35.7%に増加した。

図表 3-139 自然災害に対する取組み（経年比較）

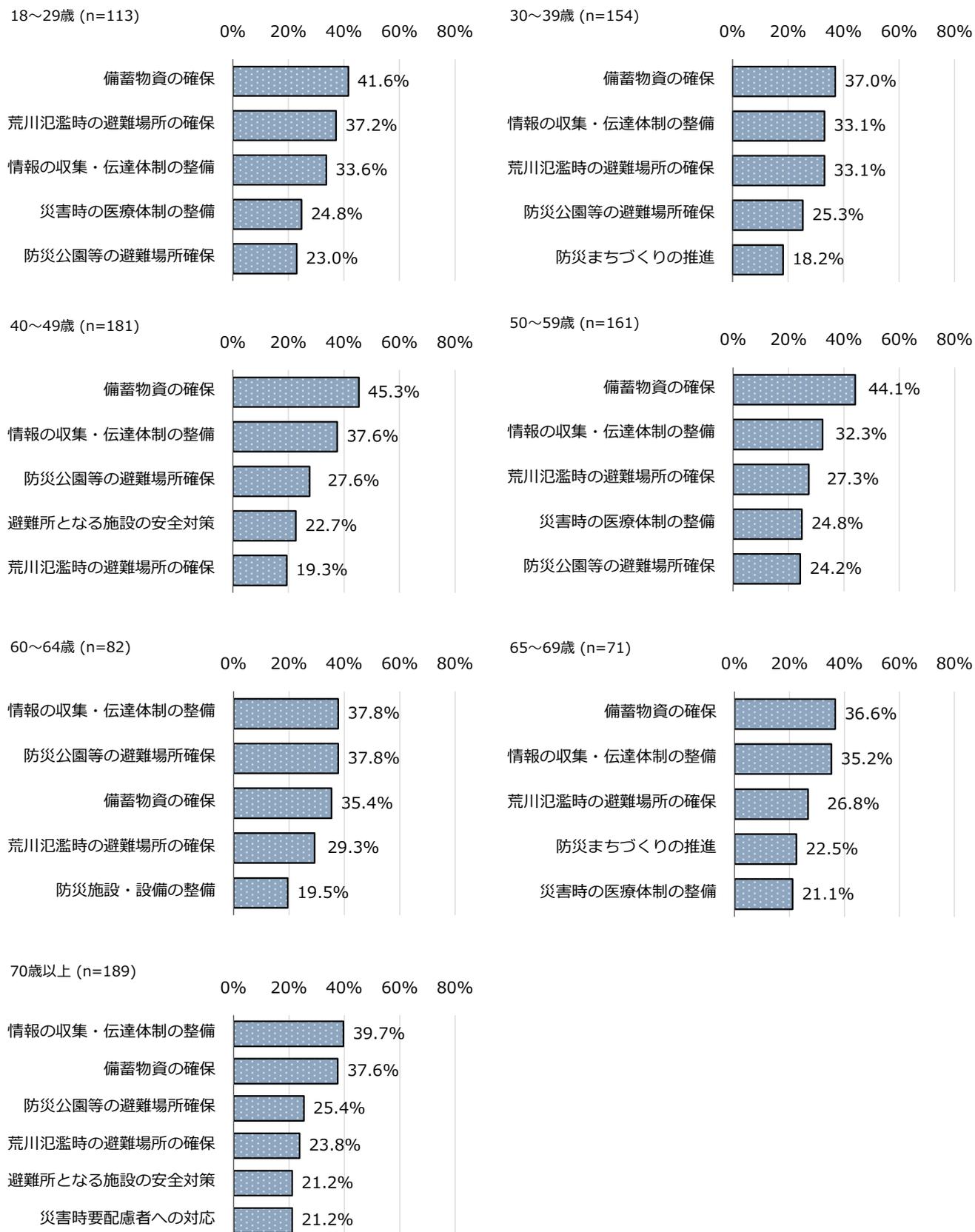


注) 前回調査では、今回調査選択肢「防災・避難に関わる情報の収集・伝達体制の整備」は「無線機器の充実など情報の収集・伝達体制の整備」、「災害後の復旧・復興対策」は「震災後の復旧・復興対策」、「高齢者や障害者など災害時要配慮者への対応」は「高齢者や障害者など避難行動要支援者の安全対策」、「災害用備蓄倉庫や防災センターなど防災施設・設備の整備」は「災害用深井戸や防災センターなど防災施設・設備の整備」となっている。また、選択肢「荒川氾濫時の高台の避難場所の確保」「マイ・タイムライン作成講座など水害に備えた区民への啓発活動の促進」は今回調査のみ、選択肢「区民・事業所への啓発活動の推進」は前回調査のみ。

### 3) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「65～69歳」で「備蓄物資の確保」の割合が最も高い。「60～64歳」「70歳以上」では、「情報の収集・伝達体制の整備」の割合が最も高い。

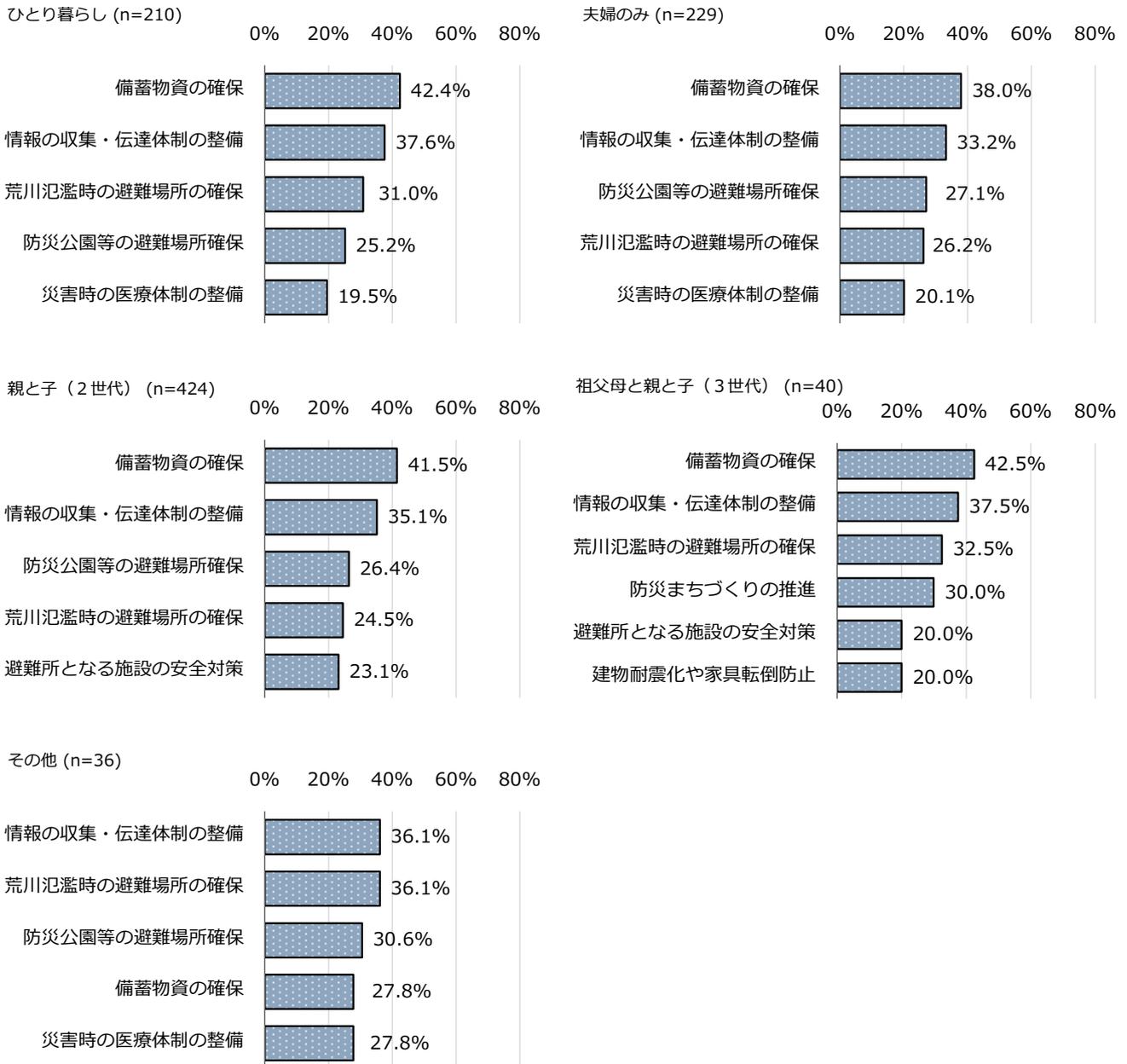
図表 3-140 自然災害に対する取組み（年齢別：上位5位）



#### 4) 世帯構成別

世帯構成別にみると、「その他」の世帯を除くすべての世帯で「備蓄物資の確保」の割合が最も高く、次いで「情報の収集・伝達体制の整備」となった。

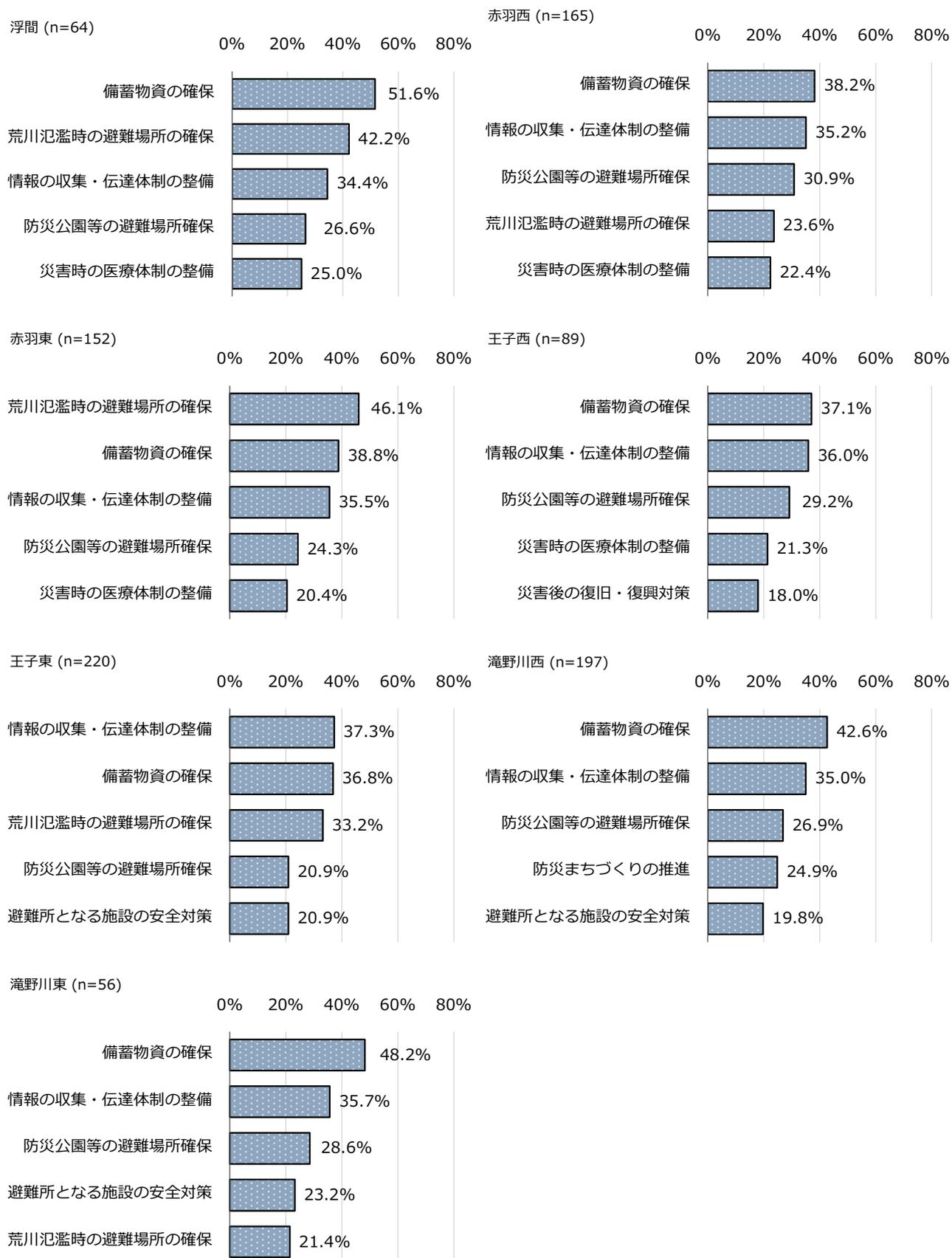
図表 3-141 自然災害に対する取組み（世帯構成別：上位5位）



## 5) 居住地区別

居住地区別にみると、「赤羽東」では「荒川氾濫時の避難場所の確保」の割合が最も高く、「王子東」では「情報の収集・伝達体制の整備」の割合が最も高い。その他の地区では「備蓄物資の確保」の割合が最も高い。

図表 3-142 自然災害に対する取組み（居住地区別：上位5位）



#### ④自然災害に対する備え

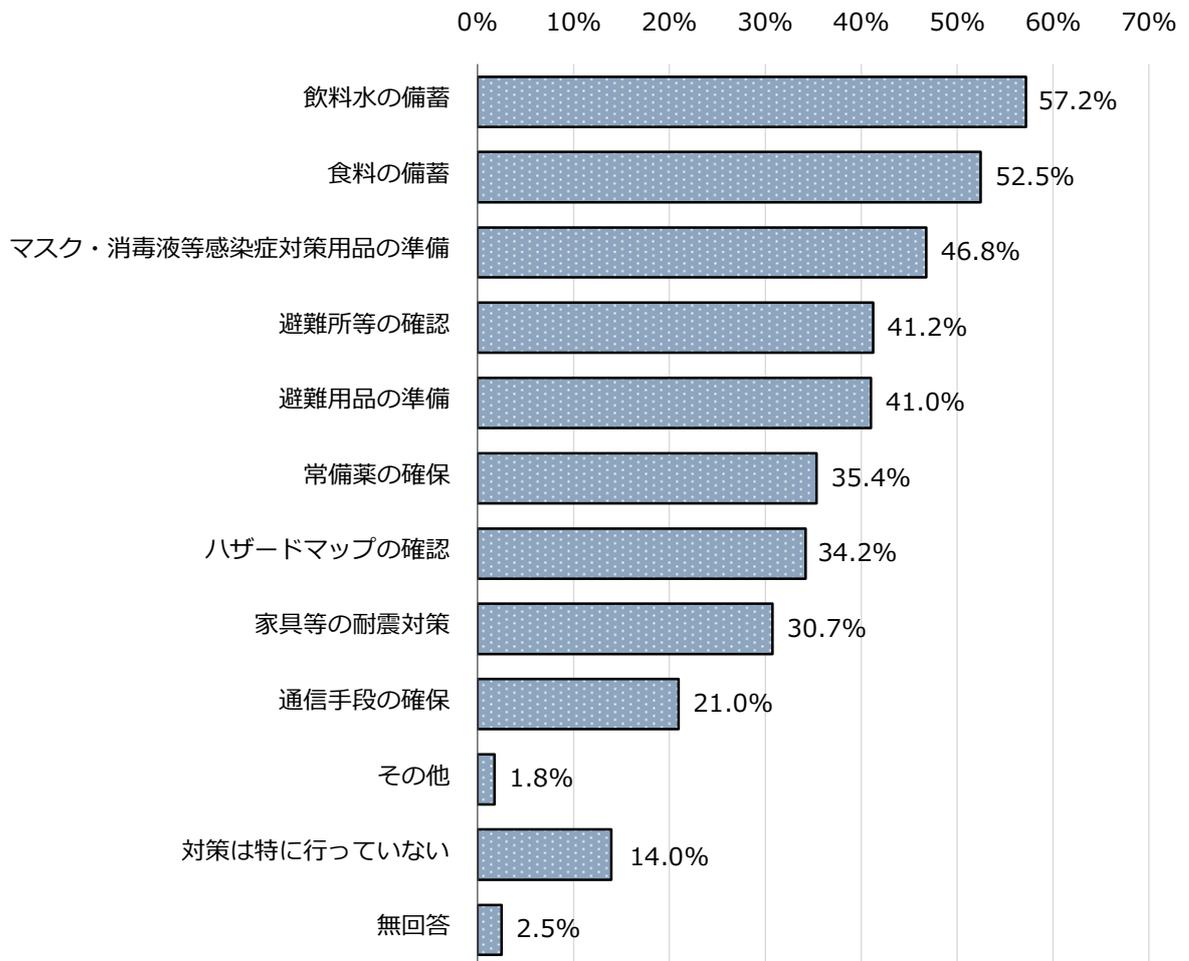
問39 あなたは家庭の中で災害の発生に対してどのような備えをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(MA)

##### 1) 全体

「飲料水の備蓄」の割合が最も高く 57.2%である。次いで、「食料の備蓄 (52.5%)」、「マスク・消毒液等感染症対策用品の準備 (46.8%)」となった。

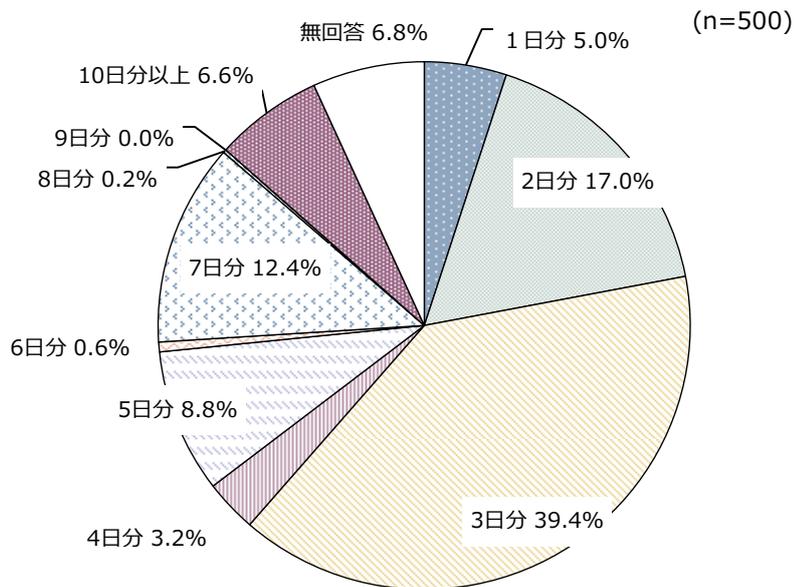
図表 3-143 自然災害に対する備え

(n=953)



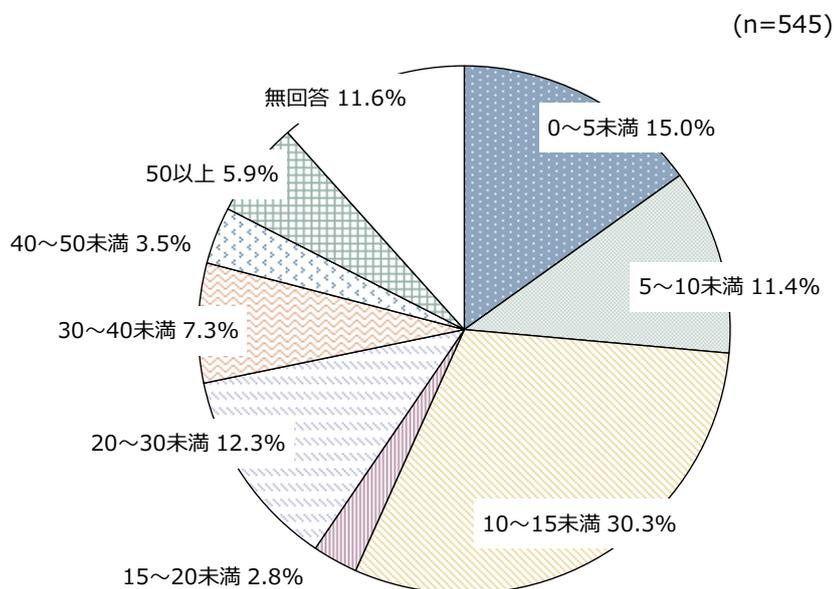
食料を備蓄していると回答した人のうち、備蓄は「3日分」と回答した割合が39.4%と最も高い。なお、7日以上備蓄していると回答した割合は19.2%であった。

図表 3-144 食料の備蓄（単位：日分）



飲料水を備蓄していると回答した人のうち、備蓄は「10～15 未満」（単位：リットル）と回答した割合が30.3%と最も高い。

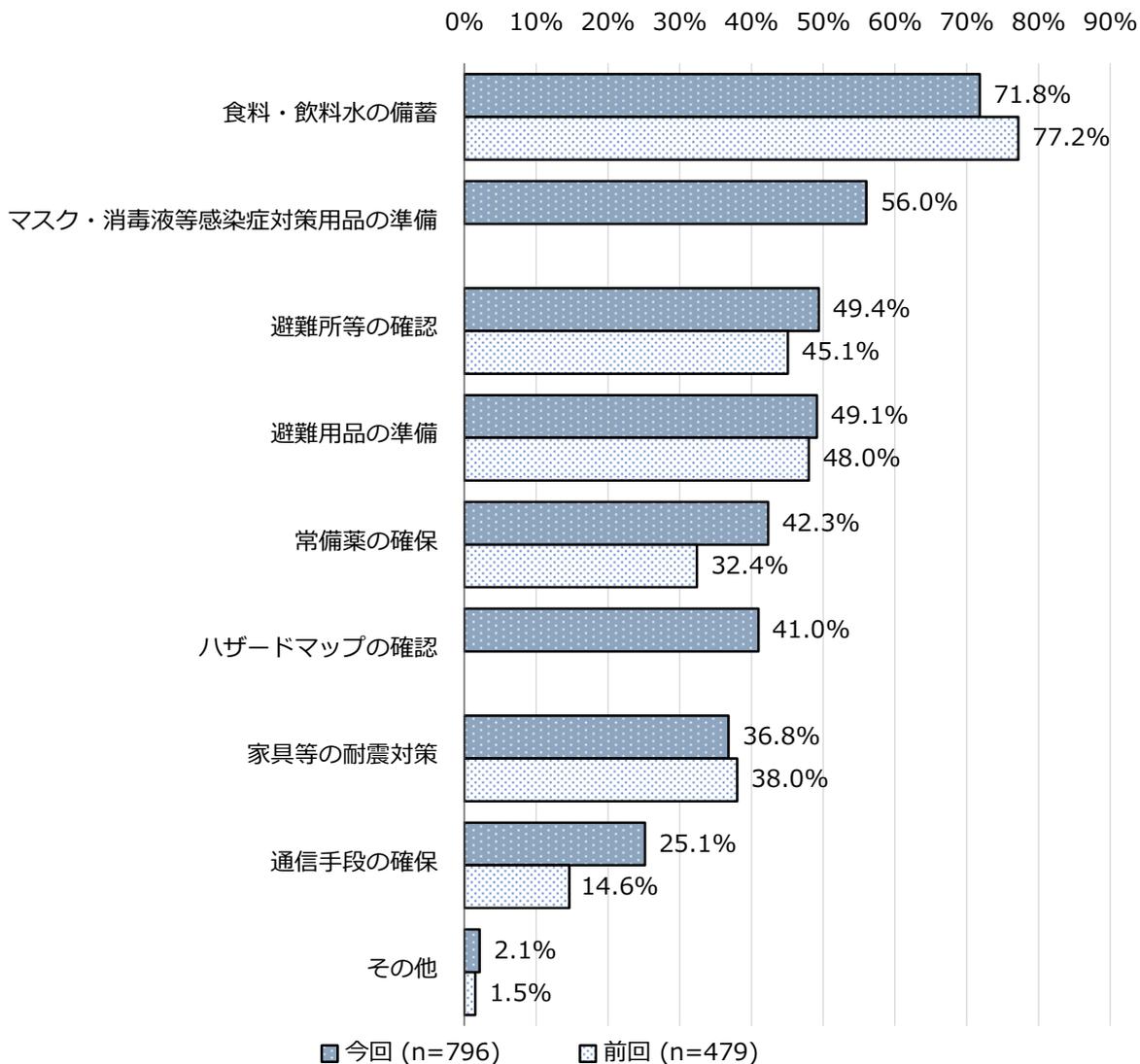
図表 3-145 飲料水の備蓄（単位：リットル）



## 2) 経年比較

前回調査結果と比較すると、「食料・飲料水の備蓄」の割合が77.2%から71.8%にやや低下した。「避難所等の確認」「常備薬の確保」「通信手段の確保」の割合は上昇している。

図表 3-146 自然災害に対する備え（経年比較）



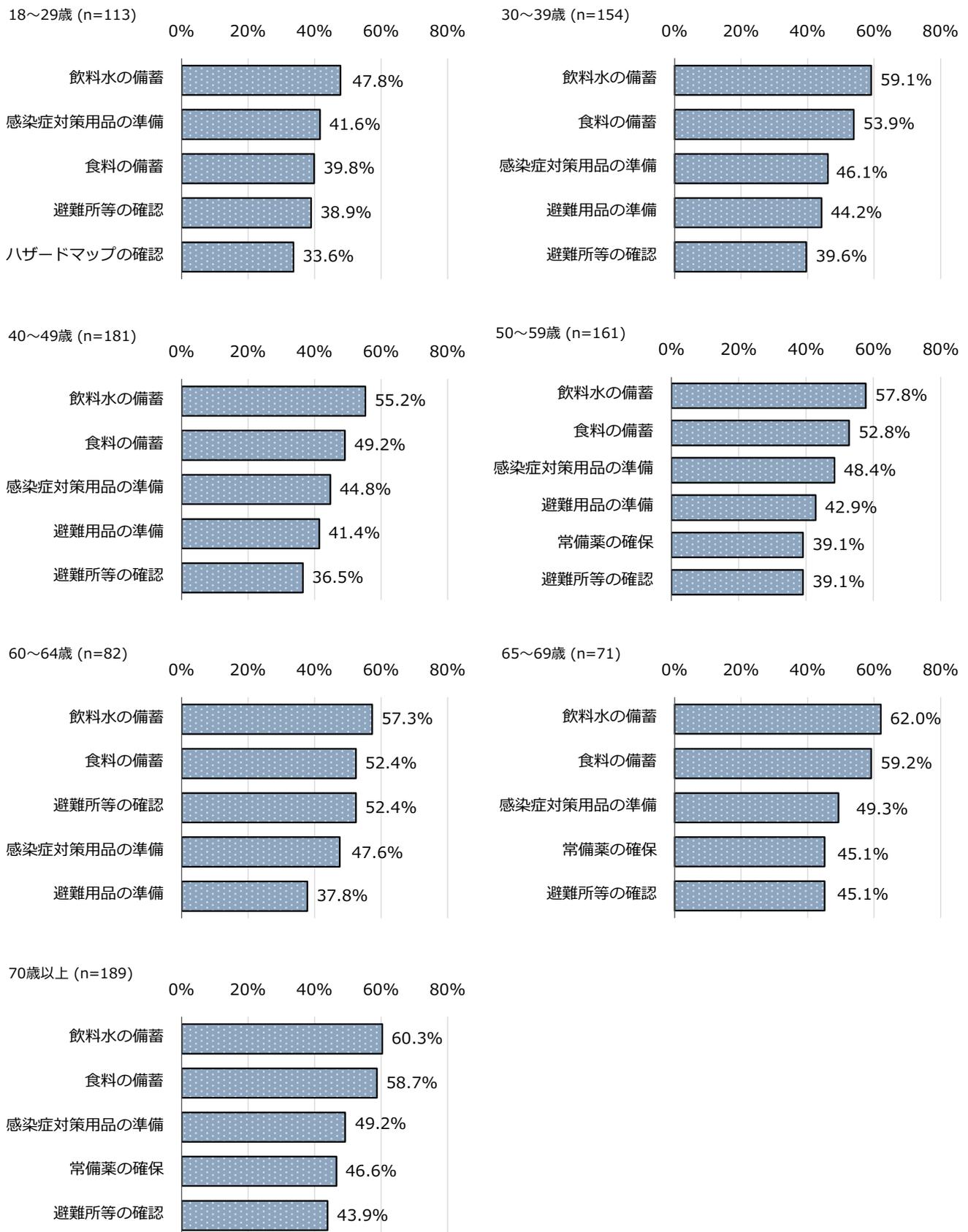
注) 今回調査は、「対策は特に行っていない」「無回答」を除外した値を母集団とし、各選択肢の回答率を算出した値であるため、図表 3-143 の値とは異なる。

比較のため、今回調査選択肢「飲料水の備蓄」「食料の備蓄」のいずれかを選択した回答者の割合を「食料・飲料水の備蓄」とした（前回調査選択肢が「食料・飲料水の備蓄」のため）。今回調査無回答者の割合は除外した。また、選択肢「マスク・消毒液等感染症対策用品の準備」「ハザードマップの確認」「対策は特に行っていない」は今回調査のみ。

### 3) 年齢別

年齢別にみると、すべての年齢で「飲料水の備蓄」の割合が最も高くなっている。

図表 3-147 自然災害に対する備え（年齢別：上位5位）



## (14) 生活環境について

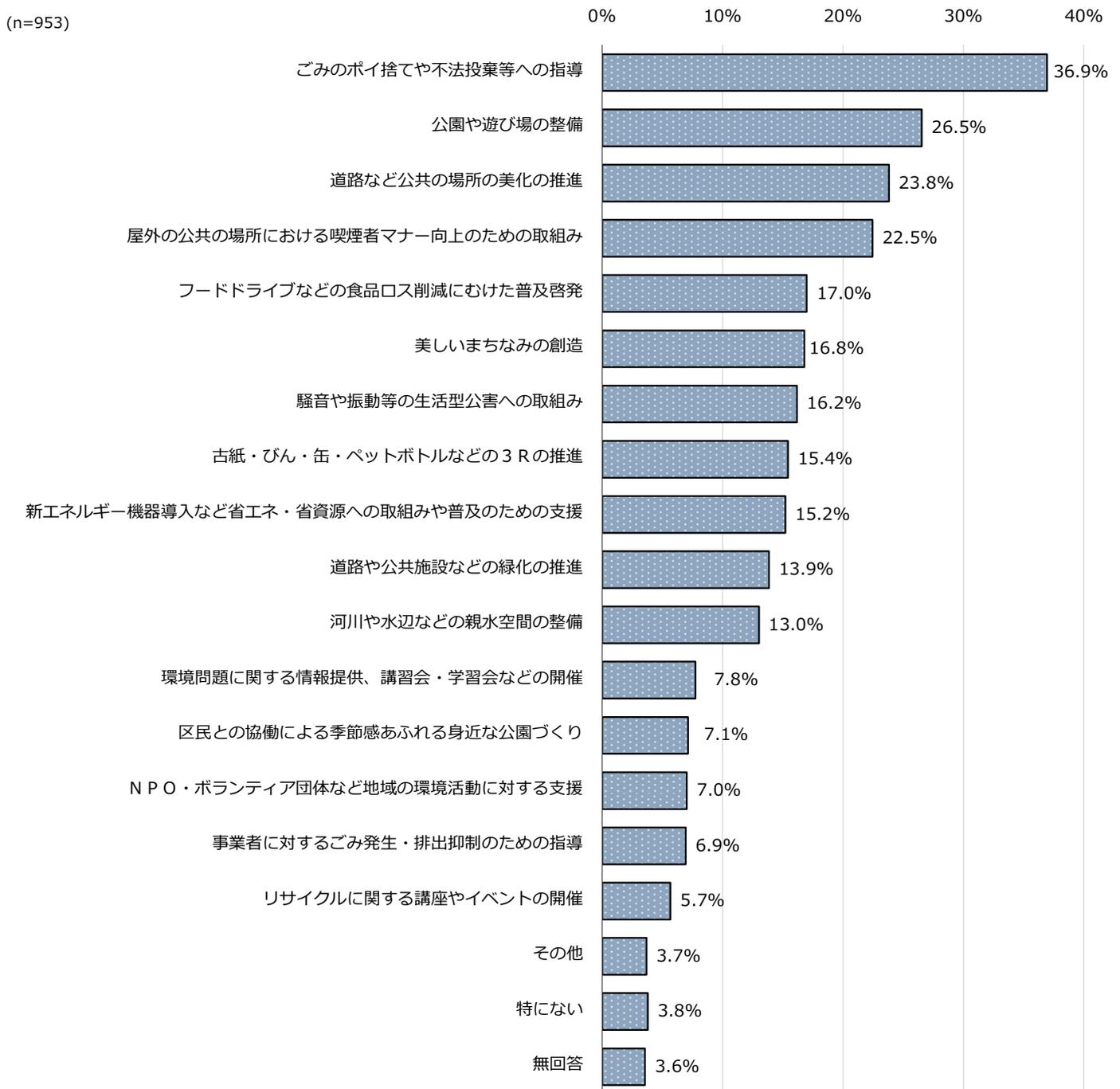
### ① 快適な生活環境への取組み

問40 今後、快適な生活環境に配慮したまちづくりとして、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。(MA(3))

#### 1) 全体

「ごみのポイ捨てや不法投棄等への指導」の割合が最も高く 36.9%である。次いで、「公園や遊び場の整備 (26.5%)」、「道路など公共の場所の美化の推進 (23.8%)」となった。

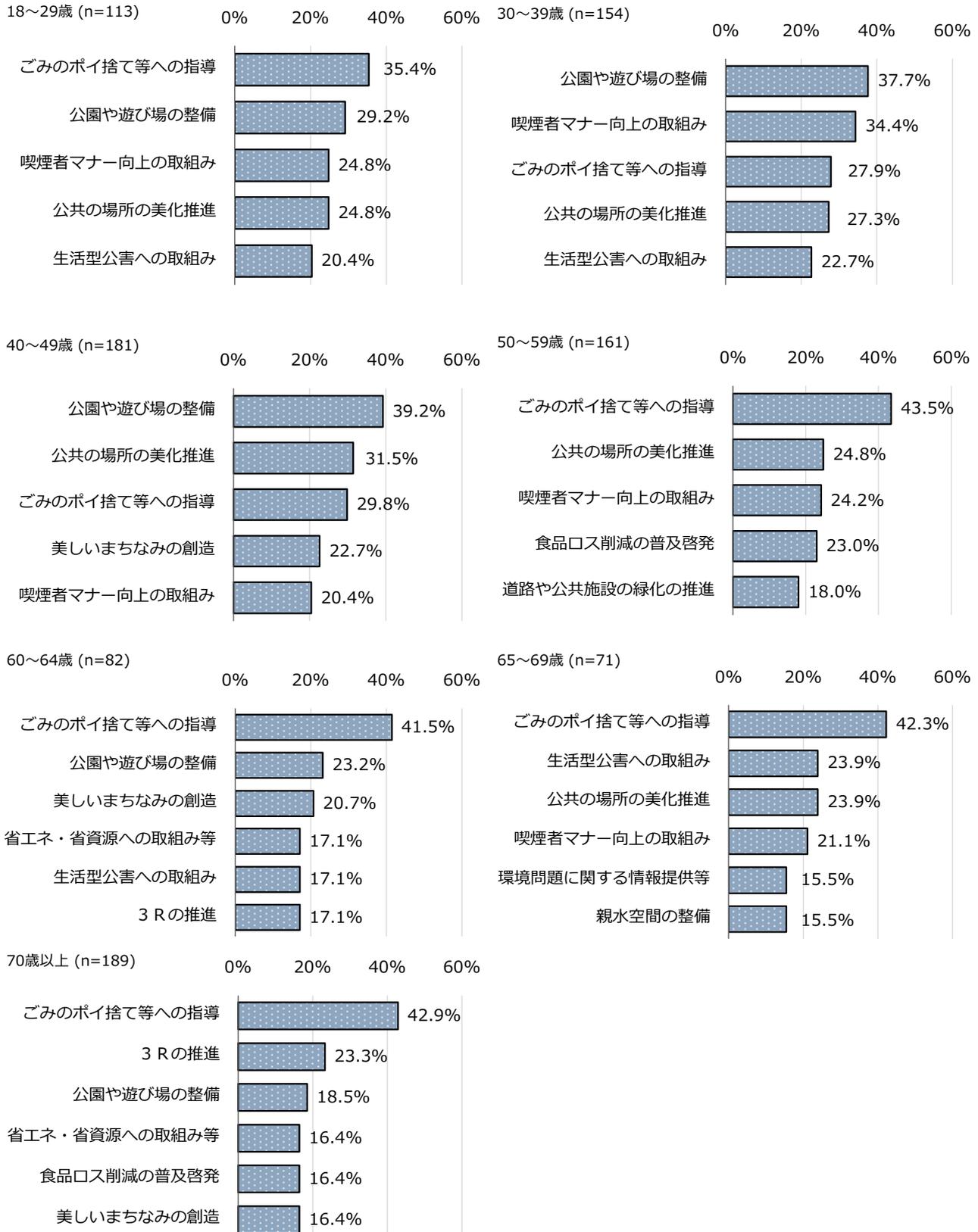
図表 3-148 快適な生活環境への取組み



## 2) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」「50～59歳」「60～64歳」「65～69歳」「70歳以上」では「ごみのポイ捨て等への指導」の割合が最も高く、「30～39歳」「40～49歳」では「公園や遊び場の整備」の割合が最も高い。

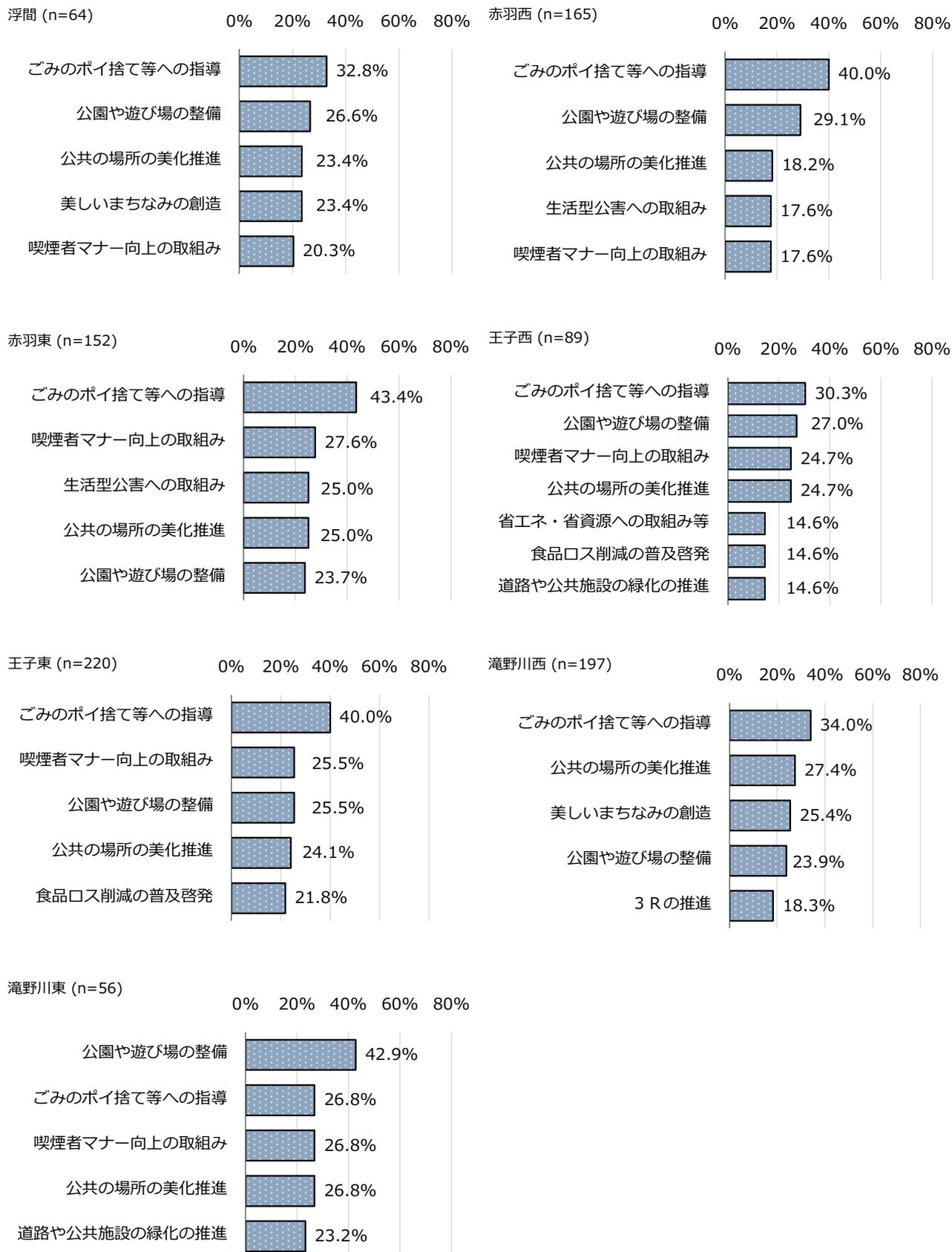
図表 3-149 快適な生活環境への取組み（年齢別：上位5位）



### 3) 居住地区別

居住地区別にみると、「浮間」「赤羽西」「赤羽東」「王子西」「王子東」「滝野川西」で「ごみのポイ捨て等への指導」の割合が最も高く、「滝野川東」では「公園や遊び場の整備」の割合が最も高い。

図表 3-150 快適な生活環境への取組み（居住地区別：上位5位）



## (15) 区の経営改革について

### ①デジタル化への取組み

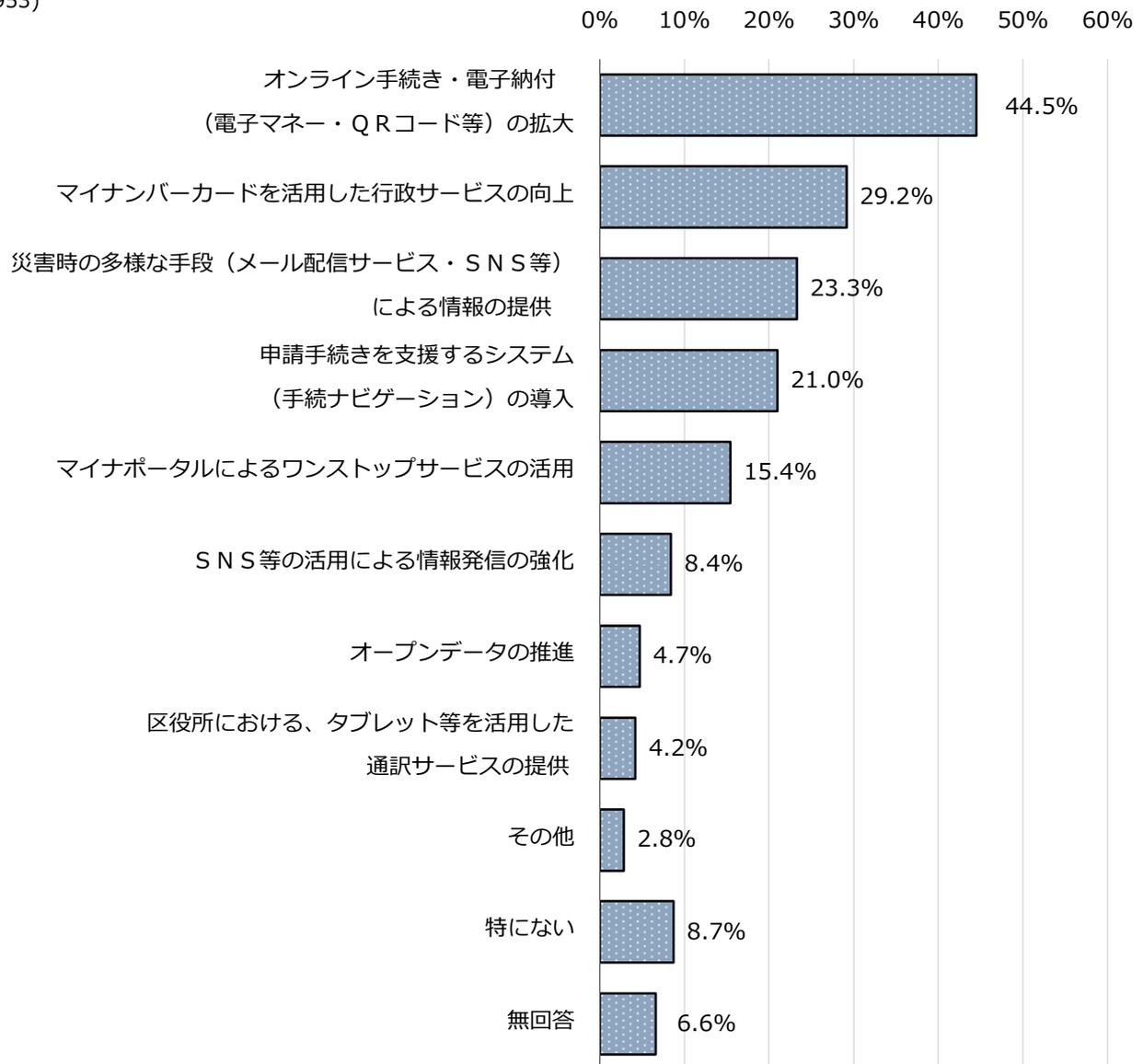
問41 デジタル化を進め区役所の利便性をあげるために、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。(MA(2))

#### 1) 全体

「オンライン手続き・電子納付(電子マネー・QRコード等)の拡大」の割合が最も高く44.5%である。次いで、「マイナンバーカードを活用した行政サービスの向上(29.2%)」、「災害時の多様な手段(メール配信サービス・SNS等)による情報の提供(23.3%)」となった。

図表 3-151 デジタル化への取組み

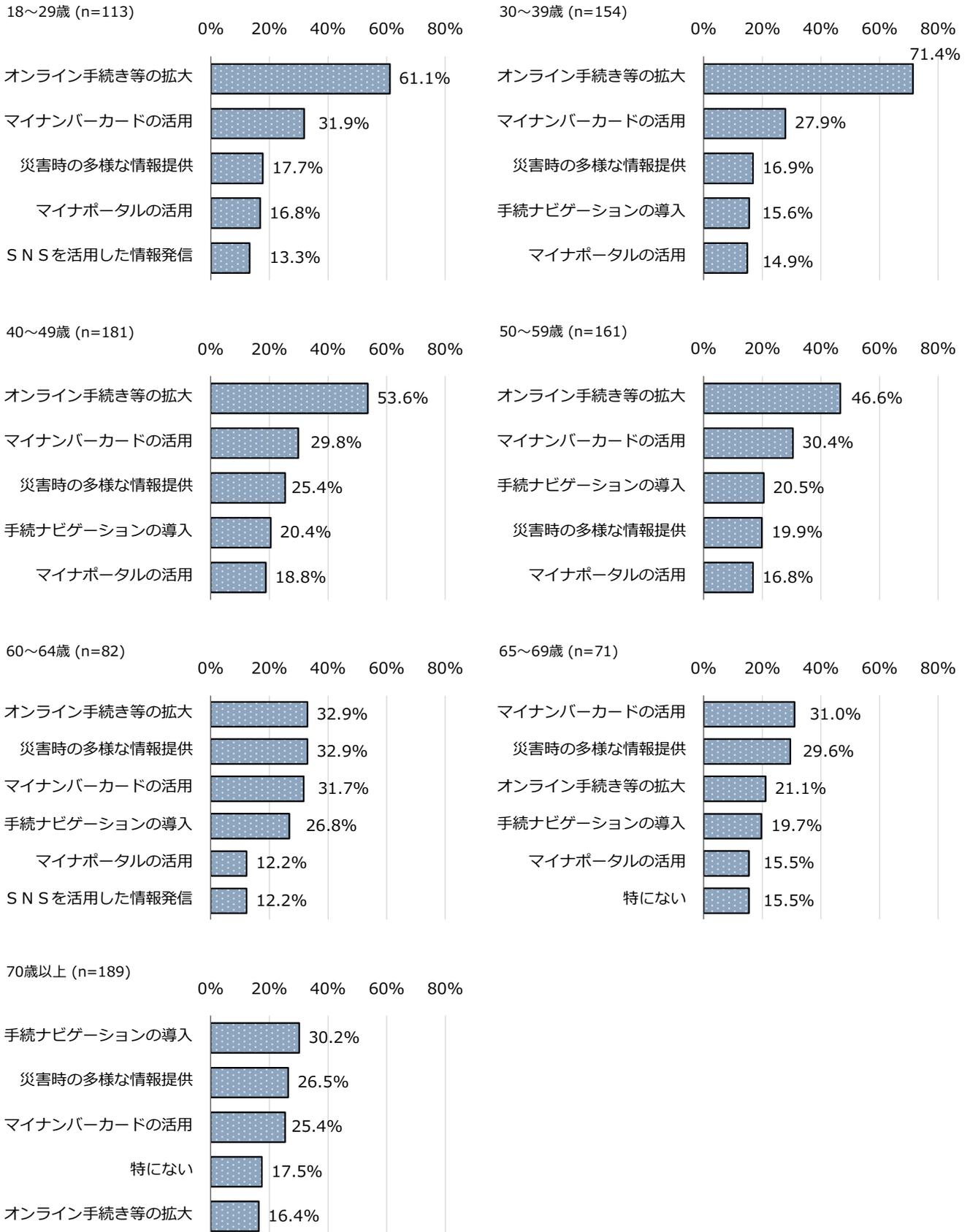
(n=953)



## 2) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～64歳」で「オンライン手続き等の拡大」の割合が最も高い。なお、「65～69歳」では「マイナンバーカードの活用」、「70歳以上」では「手続ナビゲーションの導入」の割合が最も高い。

図表 3-152 デジタル化への取組み（年齢別：上位5位）

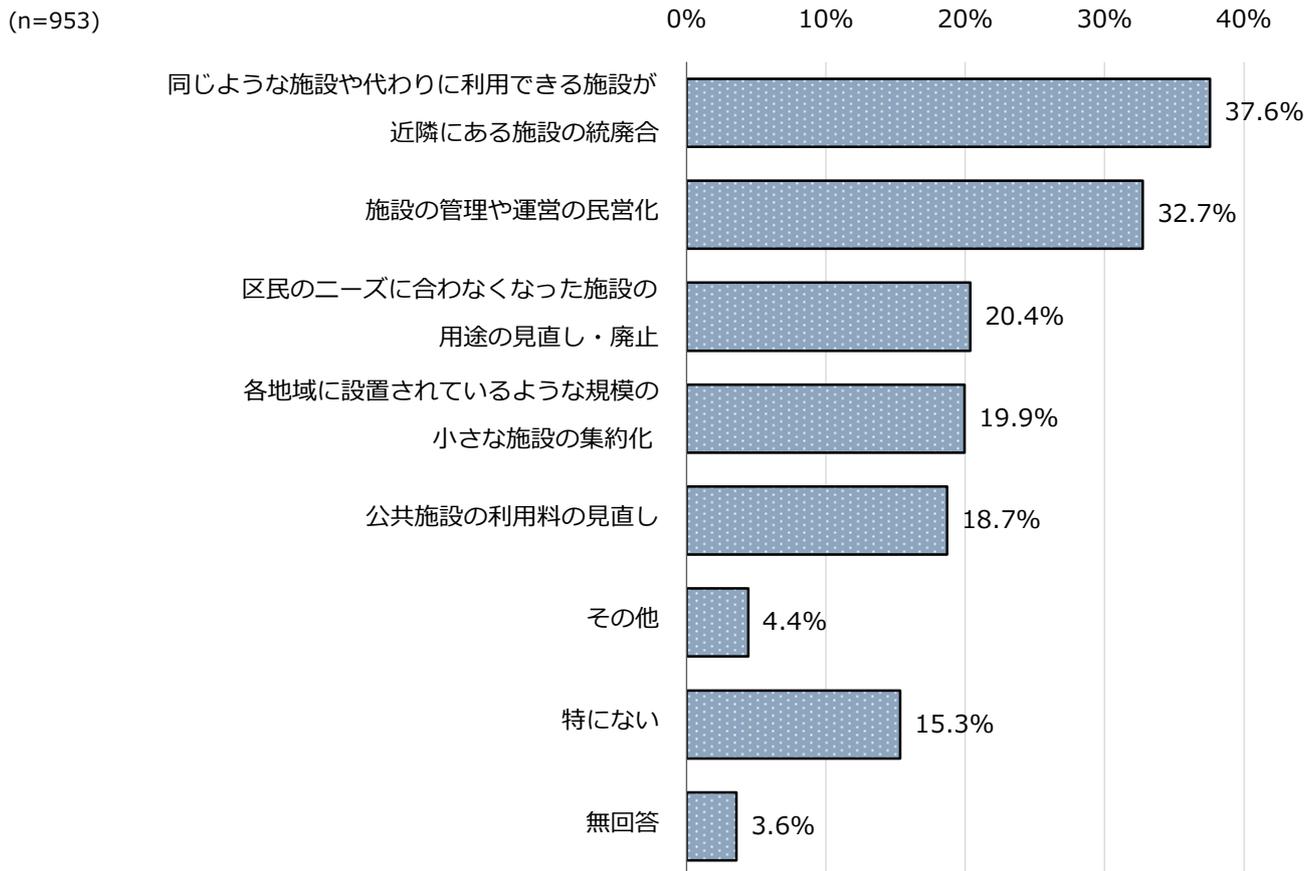


## ②経費削減への取組み

問42 公共施設にかかる経費を削減するため、どのような取組みが効果的だと思いますか。  
次の中から2つまで選んで○をつけてください。(MA(2))

「同じような施設や代わりに利用できる施設が近隣にある施設の統廃合」の割合が最も高く37.6%である。次いで、「施設の管理や運営の民営化(32.7%)」、「区民のニーズに合わなくなった施設の用途の見直し・廃止(20.4%)」となった。

図表 3-153 経費削減への取組み



## (16) シティプロモーションについて

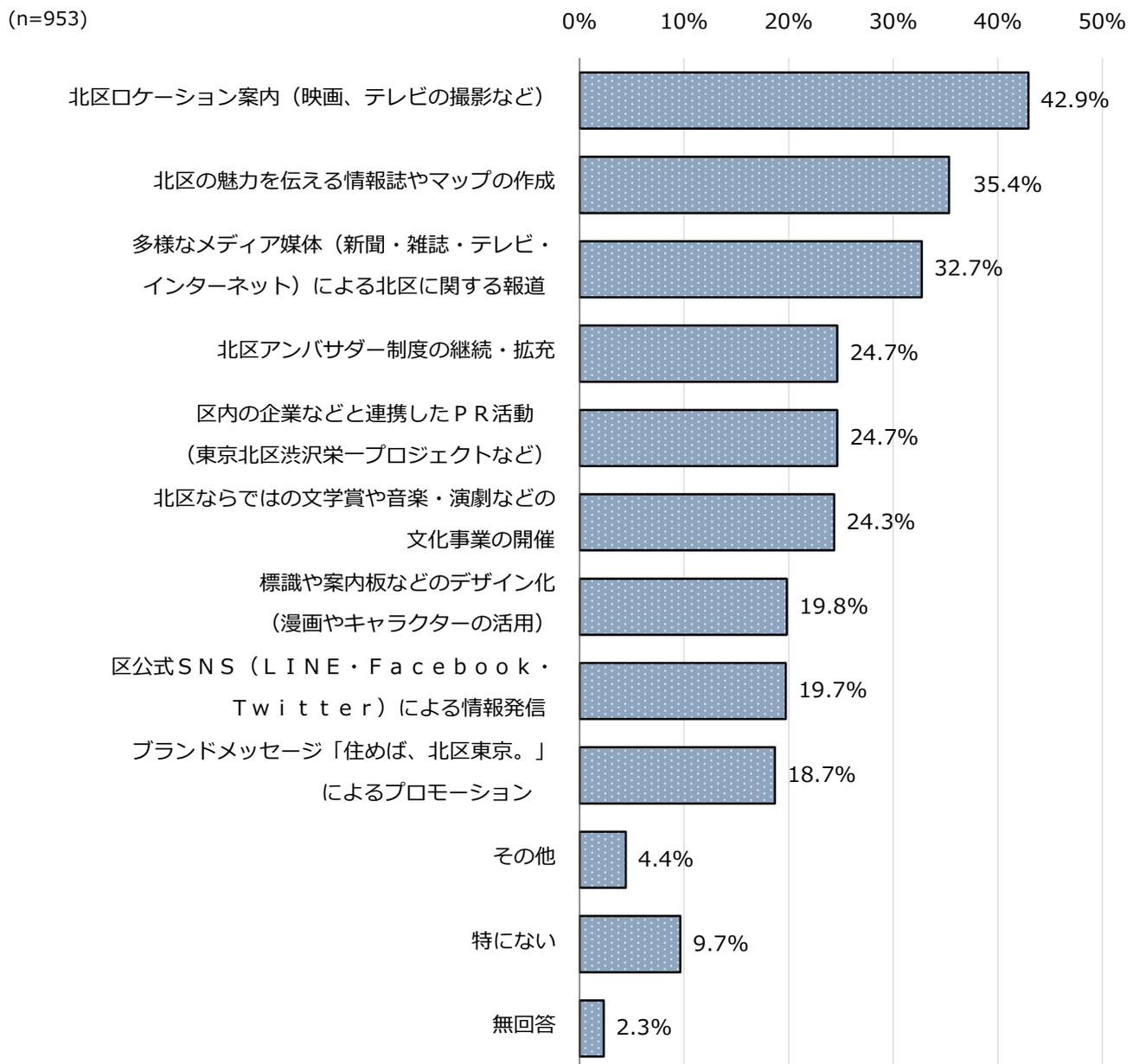
### ①シティプロモーションへの取組み

問43 北区の知名度や地域イメージを向上させるために、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(MA)

#### 1) 全体

「北区ロケーション案内（映画、テレビの撮影など）」の割合が最も高く 42.9%である。次いで、「北区の魅力を伝える情報誌やマップの作成（35.4%）」、「多様なメディア媒体（新聞・雑誌・テレビ・インターネット）による北区に関する報道（32.7%）」となった。

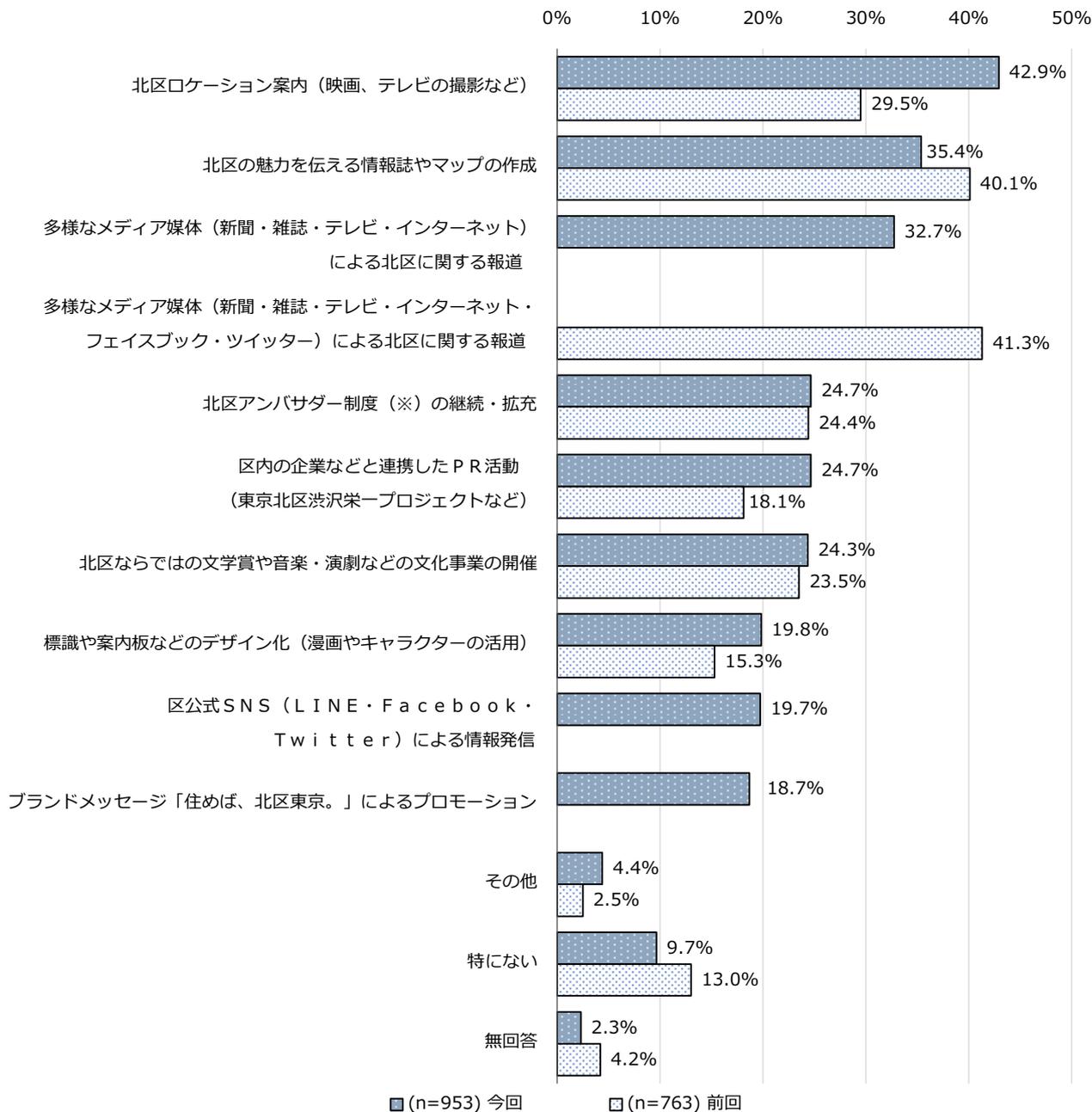
図表 3-154 シティプロモーションへの取組み



## 2) 経年比較

前回調査結果と比較すると、「北区ロケーション案内(映画、テレビの撮影など)」の割合が 29.5%から 42.9%に上昇している。一方で、「北区の魅力伝える情報誌やマップの作成」の割合は 40.1%から 35.4%に低下した。

図表 3-155 シティプロモーションへの取組み（経年比較）

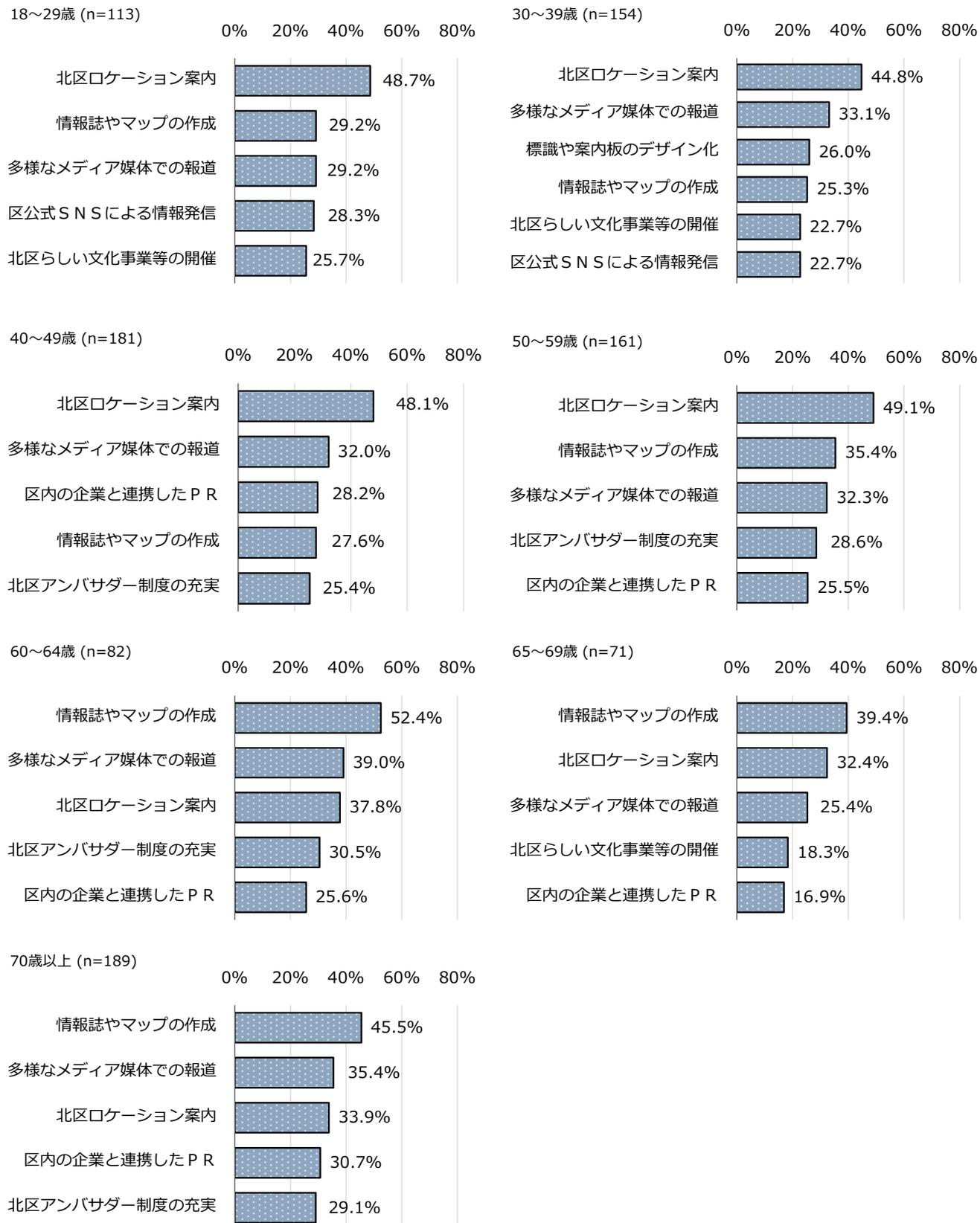


注) 今回調査では、前回調査選択肢「多様なメディア媒体 (新聞・雑誌・テレビ・インターネット・フェイスブック・ツイッター) による北区に関する報道」を、選択肢「多様なメディア媒体 (新聞・雑誌・テレビ・インターネット) による北区に関する報道」及び「区公式SNS (LINE・Facebook・Twitter) による情報発信」に分けて聞いている。また、選択肢「ブランドメッセージ「住めば、北区東京。」によるプロモーション」は、今回調査では取組みとして聞いている。(前回調査は認知度について聴取)

### 3) 年齢別

年齢別にみると、「18～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」で「北区ロケーション案内」の割合が最も高く、「60～64歳」「65～69歳」「70歳以上」では「情報誌やマップの作成」の割合が最も高い。

図表 3-156 シティプロモーションへの取組み（年齢別：上位5位）



## (17) 区政に対する自由意見

区政に対するご意見・ご要望を自由に記述していただいたところ、279人（全体の29.3%）から回答が寄せられた。本項では、同様の意見が複数寄せられたものは、意見の主旨をまとめたうえで、主な意見を掲載している。

### ①地域との共生について（18件）

#### 1) 区民参画

- ・ 区政に対する陳情等にあたり、区民がもう少し気軽に参加できる工夫がほしいものです。
- ・ 区長へのハガキ等嬉しい取り組みに感謝ですが、もう少し、詳しく具体的な説明でお答えいただきたいものです。
- ・ あらゆる意思決定の場に多様な人を選んで下さい。
- ・ 今の区政には意見をしても相談しても届きません。残念に思います。

#### 2) 地域コミュニティ

- ・ 子どものころは地域とのコミュニケーションがたくさんありました。地域の連携を強められる様なものを求めます。【2件】
- ・ 町会・自治会活動の見直し。高齢化の為、運営が困難になっている地区がある。活動を縮小し、区で受け持つよう検討して欲しい。
- ・ 赤羽駅周辺を毎朝掃除して下さっているシルバーさんには、大変感謝を申し上げたい。地元の小学生とかクリーンアップ運動的に、地区のまわりのゴミひろいを行った方が良い。昔に比べて、その様な活動が減ってしまった様に感じる。PTAの活動のひとつに入れるとか。
- ・ 北区の人たちは温かく、周りには掃除をしている人・時にはあいさつをしてくる人・落とし物を届けてくれる人…とても良い街だと感じている。神社や古き建物は残しつつ、今後もさらに活力あふれる区になるように期待しています。
- ・ 日本のゴミ出しや自転車等のルールを知らない外国人や若い人達が増えている様に思う。
- ・ 町会費がありますが、説明もないまま請求されます。1人住み・2～3人住み・4人家族と同じなのはおかしくありませんか。回覧板、本当に必要ですか？（生活スタイルがちがいます）掲示板があるのに！

#### 3) 多様性社会・多文化共生

- ・ 同性パートナーシップ制度導入。
- ・ 数年前から外国人の数が増えているように感じるが、これからも住み続けるのには、病院の外国語の対応が心配で、そのため外国語の対応ができる病院の近くに引っ越すべきではないかという感覚があった。就職で来日したため意外と病院のシステムがわからず、広報誌で紹介していただければ助かります。
- ・ 公園を利用するフェアについて、外国料理のフェアは、意外と人が集まります。公園内もしくはその付近（飛鳥山公園の駅前入り口とか）にカフェや茶室があれば利用者多いと思います。
- ・ 多人種が集まる区なので、文化交流の場を増やし、偏見をなくしたい。
- ・ 北区で外国の方を見かける機会が多く、そういった方への支援がどうなっているか興味があります。私も多文化共生に関わる仕事をしているので、自分が住んでいるまちが、多文化共生のまちとして発展したら嬉しいです。
- ・ 北区を日本人も、外国人も住み易く、老人や子育てもしやすい区となる事を願っています。
- ・ 女性が働きやすい街づくりをお願いします。

### ②子育て・教育への取組みについて（35件）

#### 1) 妊娠・出産・子育て

- ・ 子育て支援の拡充を望む。【3件】
- ・ 若い世代が、子育てを北区でやりたくなるような環境をつくってほしい。【2件】

- ・ 高齢者だけではなく、低所得者や子どもへの支援を充実させてほしい。【2件】
- ・ 子育てしやすい北区だと、10年以上すんでいて思います。3人の子育てをしています、北区は兄弟も多く、まわりはたくさん子育てしています。このよさが、育てやすさにつながっていると思います。感謝しています。
- ・ 少子化に対する政策を拡充する必要があると思います。
- ・ 子どもと使う施設が古い。
- ・ 一人親支援。特に小学校の学童保育の充実。
- ・ 子育てに関して、ボランティア育成ではなく民間（個人）も参入し、きちんとした対価をつけたサービスを推進して欲しい。
- ・ ここ数年で赤羽のイメージが向上したように、若者や子育て世代への情報発信が大切だと思います。
- ・ 雨の日に子どもが遊べる施設があれば、つまり「屋根のある大きな体育館」的なものがあれば、子育て支援にもなると思う。
- ・ 0歳児の予防接種の間診票のデジタル化を望みます。同じことを何度も書かされ手間でした。
- ・ 子ども達が自由にボール遊び（サッカー・キャッチボール）できる公園がなく、見ていてかわいそうです。放課後に子ども達がおもいっきり遊べる場の提供をお願い致します。（例えば、夕方だけ北運動場のような施設を無料開放するとか…。）
- ・ 夕方、道路上など町内でおにごっこをしている小学生を見かける。危険だと思う。小学生でも安全に遊べる公園以外の場があるといいと思う。
- ・ 児童手当や医療証など、同じ学年の子どもが全て3月31日までの期限であることは、おかしい。4月生まれの子と、3月生まれの子では受けられるサービス期間が違いすぎる為、16歳に達するまでなど、誰もが平等なサービスを受けられるようにするべき。
- ・ 育児中視点から見ると、子どもの遊技場や衣類を購入出来る店が少なすぎて、他区、他県に行っているのが実情です。制度だけととのえても、必需品の購入が近場で出来ないと、子育てには向かない街となります。
- ・ 区の不妊治療費の助成金を希望します。

## 2) 幼児教育・保育

- ・ 保育園をもっと増やして欲しい。【3件】
- ・ 保育園が空いてないので、北区に引越したくても出来ない人が多すぎる。
- ・ 保育園の4月入園の結果通知をもう少し早くしてほしい。
- ・ 気軽に使える子どもの一時預かりの場所がない。
- ・ 滝野川東地区は子育て中に使える徒歩圏内のものが非常に少ない。
- ・ 幼稚園の無償化になり助かっていますが、償還払いのため月々の支払いは大変です。
- ・ 保育士の処遇改善。

## 3) 教育

- ・ 小学校リニューアル。
- ・ 小学校の運営方法が古すぎる。子どもが休む時は近所の子どもに連絡帳を渡す運営がその代表例。電話連絡は学校の負担になるので、メールでいいのでは？又は、子どもに配付されたノートPCでの報告とか…。学校の教育も、先生は子どもの勉強をサポートする係にして、授業内容は良質なweb学習でいいのでは。
- ・ 中学校の部活をもっと充実させるため、顧問の完全外部コーチ化をお願いしたい。学校の先生は、授業と学校行事に専念してほしい。
- ・ 公立校の学力向上。
- ・ これ以上新たな大学の建設は必要ない。
- ・ 都電で小・中・高生等の社会見学を誘致等、他区への働きかけ。

### ③健康・福祉について（21件）

#### 1) 福祉

- ・色々あるとは思いますが、一言で言うならば年寄りと子どもにやさしい街。
- ・福祉の充実がブランドイメージを上げる。今でも北区の福祉は充実しているので、さらなる向上を望む。
- ・北区は高齢者が多いのに高齢者への介護・福祉サービスがかなり不足している気がする。亡くなるまで安心して暮らせる区にしていきたい！
- ・地域包括センターの活動のより一層の充実を求めます。
- ・特養の申し込みが年2回というのは、納得できない。困ったときにすぐ対応できるようにして欲しい。待っている間が長すぎて大変。
- ・貧窮家庭の子どもも私立学校のような高い品質な教育を受けられるようにしてください。
- ・学校の統廃合による空いた土地の有効利用を検討して欲しい。例えば親子で住める介護住宅などはどうだろうか。介護したくても普通の住宅では無理な住宅が多い。介護すべき親とともに住めて、その中に親を預かってくれる施設や病院が併設してあればもっとよい。北区は国有地が多いので、区の土地とあわせて活用できるとよい。国有地を民間が使って施設をつくっても、利用料が高額になるだけ。
- ・無職になり1年ほどハローワークに通い、お世話になりました。ハローワークの職員の方はやさしい方が多く、再就職ができました。
- ・福祉対策が貧弱すぎる。
- ・保育・教育・介護・福祉に力を入れるために、そこに勤める方々の処遇改善をお願いいたします。教育や支援に携わる方々あっての充実だと思っています。今のままでは、人々を支える仕事をする方が減る一方だと強く危機感を感じております。“やりがい”や支援内容の強化の前に、現場で頑張り続けている方々へのきちんとした手当てや休日を整備し、確固たるものへして下さい。働く人を大切にして下さい。

#### 2) 高齢者施策

- ・高齢者が安心して生活ができるまちづくりを目指して欲しい。【2件】
- ・今後の進んで行くであろう高齢化に対しての取組みを、具体的に情報伝達する方法を、もっと検討していったらいいなと思います。
- ・高齢者比率の高さを活かし、子どもたちの健全な育成にボランティア的に高齢者に参画してもらうことで、生きがいや地域とのつながりの強化につなげていくような具体的な取組みに期待している。
- ・老人施設をもっと増やして欲しい。
- ・65才以上の介護保険料、北区高いです。

#### 3) 障害者施策

- ・私が居るB型就労支援所では、公園や地下道清掃の仕事をいただいております。ありがたく感謝しております。民間の会社からいただいている仕事も、区役所のご指導があると、職域が広がると思います。

#### 4) 健康・医療

- ・高齢者が多いのに、設備が充実した大きな病院がない。【2件】
- ・味の素とのラブベジタイアップについて賛同します。いい取組みだと思います。
- ・区民の健康推進のためペット飼育の奨励と23区内、北区にだけないドッグランの開設をして下さい。

### ④産業・文化・地域振興について（23件）

#### 1) 産業・地域の活性化

- ・商業施設や飲食店が少なく、食事や買い物をするときには他区へ行っている。【4件】

- ・ 本屋や映画館などの文化的な商業施設を増やしてほしい。【3件】
- ・ 商店街の活性化、空き店舗の活用。【2件】
- ・ 行政主導の施設・イベントは基本的に楽しさに欠ける。民間委託で親しみ易く。
- ・ スーパー・医院は近くにあり日常の生活に不便はさほど感じません。地域商店の大切さも理解できませんが、大型スーパー（複合）出店での街の活性化は実感します。若い世代が住み易い高齢者にやさしい街づくりを整えて欲しいです。昔の赤羽駅周辺では考えられない程、人気の町に変わりましたね!!
- ・ 東十条、十条には大きな商店街があるが、昔から王子には無い。どうにか商店街を形成できないだろうか？北本通りの為左右にあった商店がなくなってしまった。ある地区を商店街形成地区として、時間をかけて育成できないだろうか？このままでは小さな小売店がどんどん消滅してしまうだろう！例えば王子駅の脇、柳小路を再開発！
- ・ 赤羽のテレビで取り上げられているような飲み屋等がなくなりつつあって、飲み屋以外の店も含め、チェーン店ばかりになってきて、赤羽や十条がつまらない町になりつつある。
- ・ 今、レトロな昭和な喫茶店ブームです。北区にはこのような店が多いので、アピールしてみてもいいでしょうか。
- ・ 早くきれいな庁舎が変わって、北区にしかない店を入店させたら、話題性も出てくるかもしれません。
- ・ 良い所はたくさんあると思うので、まずは赤羽を第2の吉祥寺や下北みみたいなザブカル感の強い町にできればいいなと思います。
- ・ 後継者のない事業や伝統などを新しく起業したい人と結びつけ、新しい形で最低限引き継ぎたいことと新しいことの融合を計る場合は支援を拡大するなど、関連がありそうなことはなるべく結びつけて、無駄を省き、効率を上げた行政を目指してほしい。
- ・ 北本通りに昔沢山あった企業等を誘致して北区にお金をおとさせるようにするべきだと思います。

## 2) 文化

- ・ 文化や歴史があるはずなのに、その魅力が伝わってきません。【2件】
- ・ 王子も江戸時代の行楽地としてのにぎわいが戻ることを希望しています。子どものころプールがわりだった名主の滝に入れなくなっているのも残念です。古き良き北区の文化と伝統を残しながらアップサイクルできる住人目線の区政を期待しております。
- ・ 注目される街になることで新たな文化、流行が生まれると共に、伝統や歴史にも目が向けられると思います。
- ・ 北区に来て自然豊か緑が多く、歴史的充実した区だと認識した。

## ⑤生涯学習・スポーツについて（12件）

### 1) 生涯学習

- ・ 北区子ども文化教室のような、無料で習える習い事を充実させて欲しい。ココキタは、少し不便なので。駅近がいいです。子ども1人でも通いやすい場所を提供して欲しいです。
- ・ 習いごと募集を見ると（北区ニュース）平日ばかりで参加できません。
- ・ （赤羽）図書館など汚い。ずっといつもいる大人がたくさんいて若者が使いづらい。本が少ない。
- ・ 北区ニュースを利用して、テニス教室、卓球、社交ダンスなどに参加しています。多くの人と知り合いになりたいので、サークル活動の情報など、北区ニュースにのせて下さい。
- ・ 旧浮間図書館を復活させてほしいです。新しく作った場所が板橋区寄りで、区民が利用するには不便すぎて、移転させる意味があったのか本当に疑問です。
- ・ 王子か赤羽の駅前の分かりやすい場所に図書館を作り、学生や社会人が利用しやすくする。東京都北区の中央図書館はきれいで公園やカフェ併設なのがいいですが、駅から遠いです。比較的駅に近い赤羽図書館や、滝野川西図書館も、まだ知らない人は多いのではないのでしょうか。

### 2) スポーツ

- ・ 小中学生が身近に運動できる野球場・サッカー場を作ってほしい。
- ・ 100円～300円くらいで、運動ができる施設が欲しいです。プール、テニス、スカッシュ、バドなど。

- ・ 近い将来、芸術やスポーツ・学習体験を通じて、子どもたちや高齢の方々と交流できる場ができればいいなと思います。
- ・ 球技トレーニング（サッカー・野球等）が出来る場所がなく、家の前でやっていると苦情が来る。設備を作って欲しい。
- ・ 「赤羽体育館」をもっと一般開放して欲しい。団体以外ではほとんど使えない現状。近隣の住民が使えないまま。
- ・ 荒川流域の再開発（総合型スポーツセンターなどの開発）。

## ⑥安全・安心への取組みについて（38件）

### 1) 防犯（治安）

- ・ 赤羽の治安が悪いというイメージは改善していきたい。パトロールや呼びかけなど強化してほしい。  
【2件】
- ・ 通学路や公園、街中に防犯カメラを設置してほしい。【2件】
- ・ 夜の暗い道が怖いため街灯・防犯灯を増やしてほしい。【2件】
- ・ 地域によっては治安が悪い。【2件】
- ・ 品川区の児童見守りシステム、まもるっちが導入されるとうれしい。
- ・ 暗い・怖い→明るいオープンへ。
- ・ 北区は地域により防犯や生活安全の格差が大きいと思う。田端と赤羽では別世界のようです。
- ・ 防災無線の活用。小学生下校時の注意喚起など。
- ・ どんな施策をするにしても、防犯には力を入れて欲しい。

### 2) 防災

- ・ 荒川の洪水対策を強化してほしい。【3件】
- ・ 自然災害に関しては、あらゆる視点から特に優先して力を入れて対策してほしい。【3件】
- ・ 災害時に指定されている避難場所は安全かなど、避難経路も含め、査定が必要と感じる。【2件】
- ・ 防災放送が（遠くて）何を言っているのか聞こえない。【2件】
- ・ 幅の狭い道路・歩道がない道路の整備→救急車が通れない。通学路として危険。
- ・ 電柱の地下移設化→3.11の地震の際、狭い道路の電柱がゆれており、避難時に危ないと感じた。
- ・ 防災公園などの整備。
- ・ 下町なので、裏道に入ると公共部分に自転車やバイクが平気でとめられています。もし火災が起きたらと思うと、とても怖いです。公共道路に置かないよう、指導・取り締まりをお願いします。
- ・ 昨年台風の際、区のホームページに何度こころみても、アクセスできなかった。
- ・ 近年の気候変化によって、洪水や内水氾濫の危険性が高まっています。区民の安全確保に備えた対策を、あらゆる視点から実践していただくようお願いします。
- ・ 災害時、大雨の中でどうやって武蔵野台地の方まで逃げれば良いのか、6年住んでいても良い方法が思いつきません。
- ・ 狭あい路に面している、比較的高さのあるブロック塀に関する対応を、積極的に行って欲しい。危険なブロック塀の所有者にはきちんと対応させるようにするべきだと思う。

### 3) 交通マナー

- ・ 車の歩行者妨害などの違反が多い。【2件】
- ・ 自転車は常に歩道を走り、あいかわらず危ない。
- ・ 夜間自転車灯をつけていない人が多い。
- ・ 高齢者の免許の自主返納がすすむ取組をしてほしい。
- ・ 子育て世帯の電動自転車による暴走であぶないことが目につきます。道路を分けるか、歩道を通行しないよう徹底してほしい。
- ・ ヘッドホンをしてながら歩き、大きな声で夜中に電話で通話したりしている。歩行者天国ではないのに道の真ん中を数名列になり歩き、自動車・自転車が来てもよけるそぶりもない。

## ⑦生活環境について（125件）

### 1) 市街地整備

- ・ 街並が汚く、古びた印象で、あまり魅力を感じない。長く居住したくなるような街作りを目指してほしい。【2件】
- ・ バリアフリー面はもう少し改善が必要。【2件】
- ・ 子どもを大切にす北区にしたい。(都市計画で)例えば、保育園や小学校、中学校の東側、南側に高層の建物を建設するのは止めて欲しい。岩淵保育園の東南方向に20階以上のマンションが建ち、保育園の園庭は午前中日陰になる。冬など、寒い。また、赤羽小の南側に高層建物の計画があるが反対。まして、赤羽小を赤羽公園に移す計画などもっての外。赤羽地区で公園らしい公園は赤羽公園しかない。他は皆、ミニ公園。
- ・ 少なくとも近隣は静かな町であり続けることを期待します。赤羽など商業地区については発展・開発があっても良いかもしれませんが、古い住宅地については現状で十分に思っています。
- ・ もっとやれることはあると思います。無駄にあるスペースがもったいない。ぶっとんだ発想力をもって下さい。
- ・ 電線を地下に！電柱撤去。
- ・ 公園なども幼児でいっぱい、小学生は家でゲーム、という感じになっています。オープンスペースの不足、自転車の練習場、スポーツにもなったスケートボードやBMXなど出来る場所など、企業の助けも借りて、つくったらどうでしょうか？
- ・ 地元の話になってしまいますが、飲み屋街と小学校が近過ぎるのが気になります。
- ・ 車や自転車が多いのに対して道路が狭すぎて子連れや老人、歩行者が危険。
- ・ 老朽化した建物が多く、且つ目立つところにあるのが問題かと思う。改修の痕跡はあるものの、統一感がなく、折角の美しい建物も無理のある増築で、勿体なく見える。せめてある程度色彩を指定して、街の雰囲気づくりを図るようにできればと思う。
- ・ ハコモノ、道路などの追加整備はもう沢山です。

### 2) 駅周辺の整備・再開発

- ・ 赤羽駅周辺の再開発・整備をすすめてほしい。【6件】
- ・ 王子駅周辺の再開発・まちづくりに力をいれてほしい。【5件】
- ・ 十条駅前に40階建てのビルを建てるのは周囲の景観ともあっていないし、混雑を招く。もう少し町の良さをいかした再開発を行ってほしい。【2件】
- ・ マンションを建てるのではなく、地域の特性を生かした再開発・まちづくりを行ってほしい。【2件】
- ・ 自転車置き場を駅周辺に増やして欲しい。【2件】
- ・ 王子・東十条駅前などに未だにある喫煙所やパチンコ風俗店・駐輪所不足を解消してほしい。
- ・ 赤羽西地区の坂道を上がるバス路線の新設と歩道の整備、歩道の確保のための電柱の地中化も進めてほしいです。駅までいつもビクビクしながら後ろを振り返り通勤する毎日です。
- ・ 十条駅踏切の高架または地下化を早く進めてほしい。
- ・ 駅の床のタイルが雨ですべて危ない。特にアーチになっている絵とかを展示している場所がすべる。
- ・ 駅の利便性（出口周り）を高め、降りたくなるように。
- ・ 駅前整備についての情報発信。
- ・ 東十条南口の整備をして下さい。北口との差は、びっくりです。老人にとっては、大変な坂道です。
- ・ 近所で空地ができはじめています。古い物をこわす時、地震かと思うほど家がゆれました。これから5F・7F・10Fといったマンションが建つみたいですけど、地盤と治安が心配です。

### 3) 住宅

- ・ 老人が安心して暮らせる住宅を増やして欲しい。【3件】
- ・ 岸町の崖沿いの家は、今後区で何かしら対応するべきでないか。崩れている所もあり、危ない。
- ・ 人が住んでいない、管理されていない空き家を取り上げて再整備してほしい。犯罪の温床となったり、古くて危険。利用されず放置されている土地があることを認めてはならない。

- ・ 桐ヶ丘団地のオープン化と団地を集約して公共空間の整備→都との連携。
- ・ 都営アパートの建て替えが進み、若い人も増えてくると思います。若い人や子どもの住みやすい町にしてもらえたらと思います。
- ・ 単身者が保証人なしで入居できる区営住宅の整備。
- ・ 北区の住環境は十分すぎる位良いのでこれ以上は望まず。
- ・ 家賃補助の継続。

#### 4) 道路整備

- ・ 道が狭く、危険である。【2件】
- ・ 豊島団地へのバス通りの道路整備の早期対応。
- ・ 私共が35年住んでいる地が環八周辺のためか、年々車両がふえてきました。道幅が狭い為(巾5.6m)危険です。抜け道として使用する車両が年々増えている為、自転車専用道にして(両側)一方通行にするとかの安全対策が必要かと思えます。他にも国道17号や国道122号も有ります。若い命を事故でなくす前に、そのような改善を早急に考えてほしいと思えます。
- ・ 都道460号の環七通りから消防署十条出張所までの道を早く拡幅工事を終了して欲しい。都に要望して欲しい。
- ・ 親水公園の上にかかっている音無橋、滝野川方面から信号を渡る時、道はぼが狭くなっているの、いつも混雑して、たまに怒鳴っている男の人も見受けられます。デザイン上難しいのかもしれませんが、スムーズに通行できるよう対処していただけたらと思います。
- ・ 志茂町の補助67号拡幅計画よりも4m道路を優先させて下さい。
- ・ 家の前が私道なのですが、自動車が入ってきて無理に曲がり、かべなどこわしてしまい困っています。
- ・ 予算の都合もあるだろうが、十条西口開発より先に旧岩槻街道の整備をした方がよいと思う。(他にも進んでない道路整備もあれば、まずそちらを)

#### 5) 移動・交通

- ・ 年寄りが使える100円バスがあると良い(病院やスーパーをつなぐような)。
- ・ ベビーカーのタイヤがはさまってホームで危ない。改札せまくてとおれない。
- ・ コミュニティバス、田端駅まででなくて荒川付近までもつってほしい。不便。区役所までいくのにコミュニティバスのりかえが大変。文京区や豊島、荒川区と連携してのりつぎしやすいバス路線つってほしい。
- ・ 開かずの踏切をなんとか安全に通りたい。待ち時間も長く、すぐ反対の電車が来ます。自転車・車も通り、危ないし不安です。
- ・ 北赤羽周辺は、マンションが増え人口も増えてきているので、埼京線の快速を停めて欲しい。
- ・ 保育園が桐ヶ丘方面なのですが、自転車で15分の距離でも雨の日は電車+バス移動で40分以上かかります。バスの充実などを希望します。
- ・ 浮間からバスが消えて数年、一日も早くコミュニティバスを走らせて下さい。老人や障害者にとって足をもがれてます。
- ・ 田端駅周辺は、スポーツ施設や救急病院がなく、不便を感じる。施設や病院などに行きやすくするために直通バスや送迎バスなどで、赤羽や十条地区への利用をやすくして欲しいです。

#### 6) 公園・みどり

- ・ 公園の衛生面を改善してほしい。【2件】
- ・ 児童公園には大木を一本、ひかげが出来るような場所を一つ作ってほしいと思えます。
- ・ 中途半端な小公園は、拡充して利用し易く。
- ・ 遊具が多くて充実した公園が少ない。広場メインばかり。緑化目的にしすぎて、おざなりな公園の植物や木々はただ汚い。歩行者が危険。
- ・ 伝統ある親水公園で、猫を放し飼いにしている。未来ばかりではなく、今ある問題の解決にも目を向けて欲しい。
- ・ ペットと利用できる公園や緑道がない。糞を回収するボックスを設置するなどしてほしい。

- ・ 公園に花を植えるなど充実したものに。
- ・ 北区は、公園の整備が他の 23 区に比べて乏しいと感じます。特に、子連れの家族は、わざわざ北区の公園に行こうと思わないと思います（カップル・その他も）是非、子育て世代にも魅力的な公園整備をお願いします。ピクニックできそうな明るい公園が欲しいです。北区の公園は全体的に暗いです。
- ・ 子どもが遊ぶ公園の遊具が昔と比べると少なくなっています。あぶないからという理由で、なくなっているようですが、あまり神経質になっても・・・という気がします。砂場も猫のフンでなくなっているようですが、お掃除の人を頼んでいるのですから。
- ・ 使用されていない公園が目立つので、幅広い年齢層も使用可能な健康器具の充実させてほしい。海外によくあるタイプ。
- ・ 他の自治体と比べ、児童館、公園の設備が劣るような気がします。もっと設備の充実した屋内施設、楽しい公園作りを目指してほしいです。
- ・ 北本通りの街路樹が枯れたまま放置されていたり、いちょうも弱々しく植えかえて緑が多くしていただきたいです。
- ・ 北区の河にホタルや雨ガエルなどいるといいかな。

## 7) 環境・美化

- ・ 歩きタバコや路上喫煙、タバコのポイ捨てが気になる。対策を強化してほしい。【12 件】
- ・ 喫煙所を撤去あるいは密閉化してほしい。他の用途に使用してほしい。【5 件】
- ・ ゴミの収集日や捨て場所を守らない人がいる。【5 件】
- ・ 赤羽駅前で夜の呼び込みをしている人が多く、イメージが悪い。【4 件】
- ・ 道から悪臭がする。【2 件】
- ・ 赤羽駅周辺のタバコのマナーが悪い。【2 件】
- ・ いつでもゴミを捨てられるようにしてほしい。
- ・ もえるゴミを週 3 回の回収にしてほしい。
- ・ 犬のフンを片づけない人に、罰金を課す等してほしい。
- ・ きれいで安全な北区でいてほしい。
- ・ 店の事業ゴミを家庭ゴミとして捨てている。
- ・ 王子駅の歩道橋の下に喫煙所を作っていただけただけの事、大変感謝します!!
- ・ 住宅環境が構築上不利な場合、騒音対策が充実出来ればより良い。
- ・ 羽田低空飛行ルートを中止し、以前の海上ルートにもどしてほしい。騒音に日々悩まされている。
- ・ ゴミの分別廃止、リサイクルはかえってコストがかかるので資源の無駄なのでやめてほしい。
- ・ カラスによってゴミ置場が荒らされているのをよく見かけるので、荒らされないようなゴミ置場の改善をしてほしいです。（例えばあみでできた箱型のゴミ入れを置くなど）
- ・ のら猫が多すぎます。のら猫を野放し状態ではなく、関連する活動団体へ支援をしたり、紹介をしたりしていただきたい。
- ・ ゴミや犬のフンが多く見えるので、区民のモラルを上げるための呼びかけや、取り締りを強化してほしい。未来への構想はたくさんあると思うが、まずゴミのない北区にすることにより、魅力は上がると思います。
- ・ 赤羽公園の近くに住んでいます。コロナのせいもあり、夜何人かで集まってお酒を飲んだり話したりしている人がいます。うるさいし、ゴミをそのままにして行くので汚いです。ワクチン接種が広まるまでのガマンだとは思いますが…せめてゴミだけでもなんとかしてほしいです。水をまいたりはやめられないのでしょうか。地面に座っているので。
- ・ パチンコ屋など、タバコの煙をタレ流しにしている事業者に対する監督をお願いしたい。
- ・ 区主催の川ごみ拾いは、セレモニーメインでなく、ごみ拾いに時間をさくべき。
- ・ 区営のリサイクルショップの充実、拡張。

## ⑧区政運営について（47件）

### 1) 行政サービス全般

- ・ 休日や夜間の行政窓口対応を拡充してほしい。【4件】
- ・ 区職員の対応向上。
- ・ 他の課でもサービスがある場合があるので、確認をしてとうながしてほしい。
- ・ 区政のことがよくわからない。もっとオープンに区民にわかりやすい活動してほしい。
- ・ レスポンスの良い区政、大人もワクワクできる様な区政、大人も子どもにかえられる様なイベント。日常的に浮かぶアイデアを気軽にひろってもらえる様な、フレンドリーな区政を心から希望しています。
- ・ 北区は高齢者が多いので、スマホの普及・推進の為のプログラムがあれば良いと思います。相談出来る相手がいないので、欲しいけど諦める方もいらっしゃいます。ショッパは説明してもらえず、高いプランを勧められ行きたくない。これらを行政主導で推進していただけたらと思います。
- ・ 税務署や区役所がバラけていて集約化をすすめてほしい。
- ・ 浮間地域は、北区の端に位置していることもあり、公共施設や様々な区の取り組みにおいて、外されているとか置いてきぼりにされているように感じます。
- ・ 北区には大規模温泉施設がないので北ノ台小学校跡地につくってほしい。
- ・ 国、都に意見できる北区であって欲しい。
- ・ 箱根の区の保養所は、何回も利用させていただきました。利用できなくなった今は、寂しくなってしまう。区民が優先的に利用できる施設ができたなら良いかなと思います。
- ・ 高齢者でも手続きに困らない区政、又未来ある子どもたちや環境に配慮した区政を望みます。
- ・ 前例主義よりも、先取の姿勢で切りひらく区政を望みます。
- ・ 行政のスリム化！
- ・ 近隣の自治体に比べ、先進的であるとは思えない。「北区って進んでるね、チャレンジしてるね」と言われる区政を目指してほしい。そのための職員のマネジメント、評価、能力開発、採用への変革が必要では。古い区政を捨てられる人にリーダーシップをとってもらいたい。
- ・ 小さな事ではあるが、粗大ゴミ等のお願いの電話等に、すぐ対応してほしい。1人暮らしの対応もお願いしたい。インターネット等、出来ない高齢者もいる事を忘れないでほしい。
- ・ 皆の意見を聞かなくても良いと思った事はどんどんやっていただければ、そのために選挙で人を選んでいるのですから。
- ・ もっと中高年者（40、50才代）に対する制度の充実を図って欲しい。
- ・ 区境に住んでいるため、恩恵が受けにくい印象があります。隣の区との連携もしていただけるならば、情報発信をお願いします。
- ・ 区長の放送は必要ない。
- ・ 30代の独身女性です。日々たくさん働き、たくさん稼ぎ、かなりの金額の税金を支払っていますが、働く世代（納税者が多い世代）にとってうれしい・魅力的な政策が少なく、どうしても政治に対して無関心になってしまいます。高齢者や子育て世代だけでなく、私たちにも北区に住むメリットがある区政を行ってほしいです。
- ・ マイナンバーカードをつくりたいけど、いつもたらいまわしにされてます。
- ・ 郵便局内にある住民票→その他の書類あつかい窓口など、わかりにくい。手続きしやすいように!!
- ・ 再開発事業等で、区民からの反対意見があった際に、「都の管轄です」といった対応が散見されるが、区民の訴えに対応しないのであれば区議会は不要。

### 2) デジタル化への対応

- ・ 各種申請がネットで出来る環境の整備をしてほしい。【3件】
- ・ IT化、ビッグデータの波に時代の変化に合わせたアップデートをお願いします!!
- ・ デジタル庁が出来る中で、北区もシステム化を考えていらっしゃると思いますが、対面で行う事業とPC等の画面で行う事業を良く考えて頂ければと思います。Zoomなど使いますが、やはり集団での対面議論とは異なります。北区などコンパクトな地域では、オンライン医療は有効ですが、高齢者の集いは対面にするなど、ケースバイケースでご検討下さい。

- ・ 手続きのオンライン化が進むと利便性が上がりとても助かりますが、ネットが苦手な高齢者が取り残されないようバランスを取ることが大切だと思います。

### 3) 財政

- ・ 私共のように年金の収入だけで暮らしている老人が多くて、区の財政も大変とは思いますが、残りの人生も安心して過ごせますように、どうかよろしくお願い致します。
- ・ 北区は、他区対比で住民税が高いというイメージが有る。更にそれが税負担を強いている我々現役世代が嬉しい施策ではなく高齢者のため等に使われている印象が有る。
- ・ 過剰サービスの削減あるいは民間へ任すことにより、経費の削減に向かってほしい。経済成長を目指すのは止め、メンテナンスに特化すべき時期に来ていると思う。

### 4) 区政情報の発信

- ・ 区政に関して、もっと分かりやすく知らせてほしい。【2件】
- ・ 北区ニュースの内容をもっと読みたくする内容にして欲しい。【2件】
- ・ 北区ニュースはいつも読んでいますが、電子版があると嬉しいです。
- ・ 北区では今何に重点をおいた政策をやっているのか。その結果報告など北区ニュースで知らせて下さい。
- ・ 北区広報誌は他区に比べて見劣りするものでしたが、最近の北区ニュースは、よくなったと思います。これからも編集がんばって下さい。
- ・ SNSでPRするなら、行った先での会話や、周りの空気の印象など、人となりを感じれるものにしてほしい。
- ・ こちらから情報を得ようとしないと、何をしているのかまるで分からない。だから全く興味がない。
- ・ 北区ニュースも目を通してはいますが、正直働いている世代には参加できなかつたり、不要と感じる情報も多いです。
- ・ ホームページをもう少しわかりやすくしてほしい。欲しい情報にたどり着くのが大変。この手続きに必要なのはこの窓口、という事が一目でわかるようにしてほしい。

## ⑨シティプロモーションについて (32件)

- ・ 区外から北区の知名度が低い(あるいは悪い)ため、もっと魅力を発信できるよう広報活動やPR活動に力を入れてほしい。【8件】
- ・ 赤羽の飲み屋街の印象が強いため、もっと他の魅力をアピールすべき。【4件】
- ・ アンバサダー制度を知らない。不要な制度と感じる。【4件】
- ・ 渋谷栄一プロジェクトの取組をもっと活用あるいはPRすべき。【3件】
- ・ アンバサダー制度は、広い層をターゲットにするべき。【2件】
- ・ 北区アンバサダーの人選の見直し(若者に人気な人物、文化人、子育て世代の母親など)。【2件】
- ・ カタカナことばでよくわからないものの多用を避けて下さい。シティプロモーションもよくわからない。
- ・ 北区に住んでると自慢できる街になるとうれしい。
- ・ プロモーションをする際には、どういう状況のどんな場所なのか、意識して頂けると幸いです。
- ・ 北区大河ドラマ館の開館や渋谷栄一プロジェクトは、今までの北区のイメージを変えるものとして評価します。キャラクターのしぶさわくんも可愛くて良いです。Kバスもキャラクターが描かれて、魅力的になりました。
- ・ 田端在住です。とても住みやすい場所ではありますが、なんせ「北」区の「北」のイメージが非常に良くないので、今後ご当地ナンバーなど作らないでほしい。北区在住だと言うのが嫌で、上野と池袋の間と他県の友人には説明しています。
- ・ 北区をマンガ化することで北区が浮き上がる(イメージ化)。
- ・ ブランドメッセージの「住めば北区東京」や「長生きするには北区が一番」など、何をPRしているのかわからない。イメージが悪化しそうなのでやめてほしい。

- ・ 知名度＝良い町ではない。
- ・ 「住めば、北区東京」を推進して下さい。

#### ⑩新型コロナウイルス感染症対策について（12件）

- ・ ワクチン接種を他の区のように、もっと早く行えるようにしてほしい。【4件】
- ・ 朝と夕方に流れるコロナウイルスに関する放送がうるさい。【2件】
- ・ ワクチン接種がはやくできてよかった。【2件】
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種の予約が高齢者にとっては難しかった。もっと分かりやすくスムーズに予約がとれるようにしてほしい。役所の人には、もっと考えて親切な対応してほしい。たとえば高齢者には郵送で日時を指定したハガキを送付し、都合が悪い人は返信ハガキで答えるなど工夫してほしい。
- ・ 目に見えないウイルスに恐怖を感じながらも、毎日仕事を頑張っています。年寄りも大事ですが、バリバリと仕事をしている企業戦士を助けるべく、早く若手にワクチン接種をしてほしいです。北区は北区で独自にどの辺でコロナ発生したとか公表してほしいです。
- ・ コロナ情報の発信をリアルタイムとする、迅速化。
- ・ 臨時給付金を今年産まれた子に対しても支給していただき、ありがとうございました。

#### ⑪アンケートについて（25件）

- ・ アンケートの回答を電子化してほしい。【9件】
- ・ 区の施策の内容や、自分と関わりのない分野のことが分からず、回答が難しかった。【4件】
- ・ アンケートで区民の声を取り入れようとしていることが分かってよかった。【3件】
- ・ 質問数が多すぎて、負担が大きい。【2件】
- ・ アンケートを行わなくても、ホームページでの意見募集やSNSの活用、北区投函ポストの設置をすればよいのではないかと。【2件】
- ・ アンケート回答者への粗品等を検討してほしい。【2件】
- ・ 北区全体について聞かれても答えづらい。居住地域について問うべきではないか。
- ・ 「人権・道徳教育の推進」一緒にされても困る。反対の内容になる恐れもある。「学校規模の適正化・適正配置」もタイトルに反対はできないが、内容は「適正」かどうかは分からない。
- ・ 住んでいる所を考えた事がなかったので、良い機会でした。

#### ⑫その他（26件）

- ・ よりよい北区になってほしい。【3件】
- ・ 北区にしかない特徴・魅力が分からない。【2件】
- ・ 若い世代にとっても暮らしやすい環境づくりを期待している。【2件】
- ・ 動物愛護・動物の殺処分ゼロを目指してほしい。【2件】
- ・ 「北区に住んでいて良かった」と思えるよう、区民に優しい制度を整備してほしい。
- ・ 弱者に優しい区政をお願いしたい。
- ・ 妻も保護者と認めてほしい。給食費を妻が払っているのに代理人扱いは、親と認めてもらえないのに等しい。
- ・ 先端技術を積極的、大量に導入してほしい。
- ・ 人情味豊かで生活しやすい町（街）だと思っておりますので、それを何とかして活かして頂ければと思うのです。
- ・ 北区が活気があふれて、明るく・安心安全な場所になりますように。
- ・ 若い人達の考え方や行動力をもっと利用して、住みやすい町をつくる。
- ・ 子どもたちと年を重ねていった先輩にやさしい・過ごしやすい所であれば、その他の人みんなが幸せな区になると思います。
- ・ 真に1人1人が生きがいを感じられる環境に重点を置いた、型だけでない対策を望みます。
- ・ コロナ禍で大変だと思いますが、区のために今後もよろしく願います。

- 色々質問されても答えられない内容もあり、あまり区政を分かっていないことに気付かされましたが、どうしても今の自分に関わりのない事は知る機会もないし関心事になり得ない。新しいことを始めるのではなく、今あるものを存分に活用し、それを知ってもらえば自ずと北区の魅力は伝わるし、区内外から愛されると思う。
- 今ある物を活かすばかりではなく新しいものを造る。近代化してほしい。古く、きたなく、ダサイイメージがあまりにも強すぎる。
- 選挙カーがうるさい。
- 大変な現場（職場）もたくさんあると思うので、何が大変でどう改革したらいいのか、現場の人の声をよく聞いて、改善してほしい。学校や保育園、忙しい部署など。
- 日々の生活において、私の北区民としての意識は低いと思うので、いろいろな事に目を向けて興味を持っていきたいと思った。（今住んでいるけど、正直あんまり北区に興味がない事が今回のアンケートで分かった。）
- 『「協働」（現行）の「善き」（+付け加える）北区』を基本姿勢として、次期基本構想にしてもらいたい。期待しています。
- 北区ならではの施策に注力してほしい。逆に競争力や差別化ができないところ（観光や女性参画など）やらないことを決める、というのも重要だと思います。

**付表（調査票）**



## 北区民意識・意向調査 調査票

### あなたご自身のことについてうかがいます

問1. あなたの年齢を教えてください。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満  | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～64歳 |
| 7. 65～69歳 | 8. 70～74歳 | 9. 75歳以上  |

問2. あなたの性別を教えてください。

- |       |       |                |
|-------|-------|----------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 1・2にあてはまらない |
|-------|-------|----------------|

問3. あなたの職業を教えてください。

- |                             |                          |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. 会社員（公務員・団体職員含む）          | 2. 自営業・自由業（開業医・弁護士・作家など） |
| 3. 非常勤・派遣職員（嘱託・パート・アルバイト含む） |                          |
| 4. 学生                       | 5. 家事手伝い                 |
| 6. 無職                       | 7. その他（具体的に： _____）      |

### [問3で1～4または7を選んだ方にうかがいます]

問4. 通勤先・通学先までの所要時間を教えてください。

- |              |              |               |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. 0分（自宅）    | 2. 15分以内     | 3. 16分～30分以内  |
| 4. 31分～45分以内 | 5. 46分～1時間未満 | 6. 1時間～1時間半未満 |
| 7. 1時間半以上    |              |               |

問5. あなたと一緒に住んでいるご家族の構成（世帯構成）を教えてください。

- |                     |         |             |
|---------------------|---------|-------------|
| 1. ひとり暮らし           | 2. 夫婦のみ | 3. 親と子（2世代） |
| 4. 祖父母と親と子（3世代）     |         |             |
| 5. その他（具体的に： _____） |         |             |

### [問5で1以外を選んだ方にうかがいます]

問6. 一緒にお住まいのご家族について、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- |           |            |           |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 未就学児   | 2. 小学生・中学生 | 3. 16～18歳 |
| 4. 19～64歳 | 5. 65～74歳  | 6. 75歳以上  |

問7. あなたの現在のお住まいについて、次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1. 一戸建持ち家	2. 一戸建借家
3. 分譲マンション	4. 賃貸アパート・賃貸マンション
5. 都営・区営の賃貸住宅	6. 都市再生機構（UR）・公社の賃貸住宅
7. 社宅・公務員住宅	8. 間借り・下宿・寮・住み込み
9. その他（具体的に：	）

問8. あなたの現在のお住まいの地区を、次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

地区名（1つに○）	該当する町名（丁目）
1. 浮間	浮間1～5丁目
2. 赤羽西	赤羽北1～3丁目、桐ヶ丘1・2丁目、赤羽西1～6丁目、赤羽台1～4丁目、西が丘1～3丁目、上十条5丁目、十条仲原3・4丁目、中十条4丁目
3. 赤羽東	赤羽1～3丁目、岩淵町、赤羽南1・2丁目、志茂1～5丁目、神谷2・3丁目、東十条5・6丁目
4. 王子西	十条仲原1・2丁目、上十条1～4丁目、中十条1～3丁目、十条台1・2丁目、王子本町1～3丁目、岸町1・2丁目、滝野川4丁目
5. 王子東	神谷1丁目、東十条1～4丁目、王子1～6丁目、豊島1～8丁目、堀船1～4丁目
6. 滝野川西	滝野川1～3丁目、滝野川5～7丁目、西ヶ原1～4丁目、中里1～3丁目、上中里1丁目、田端1～6丁目
7. 滝野川東	栄町、上中里2・3丁目、昭和町1～3丁目、東田端1・2丁目、田端新町1～3丁目

問9. あなたは、町会・自治会に加入していますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問10. あなたの国籍はどちらですか。

1. 日本国籍	2. 外国籍
---------	--------

**定住意志についてうかがいます**

問 11. 北区に住んでいる年数を次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- |           |           |          |           |
|-----------|-----------|----------|-----------|
| 1. 1年未満   | 2. 1～5年   | 3. 6～10年 | 4. 11～15年 |
| 5. 16～20年 | 6. 21～30年 | 7. 31年以上 |           |

問 12. あなたは、北区にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. ずっと住み続けたい    | 2. 当分は住み続けたい     |
| 3. いずれは区外へ転居したい | 4. すぐにでも区外へ転居したい |

問 13. あなたが北区に住んでいる理由は何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- |  |                         |
|--|-------------------------|
| 1. 生活・交通の利便性がよい                          | 2. 生活環境（住宅条件等）・治安がよい    |
| 3. 物価・家賃が安い                              | 4. 公園・みどりなどの自然環境に恵まれている |
| 5. 医療・福祉が充実している                          | 6. 子育て・教育環境が充実している      |
| 7. 公共施設・公共サービスが充実している                    |                         |
| 8. 防災体制が充実している                           |                         |
| 9. 地域とのつながり（長年住み慣れている、親族・知人が近くに住んでいる）がある |                         |
| 10. 仕事・家庭の都合（結婚、親の介護、借家の借り換え、学校上の都合等）    |                         |
| 11. その他（具体的に：                            | ）                       |

**シビックプライド（北区への愛着や北区の魅力として誇れること）についてうかがいます**

問 14. あなたは、北区に愛着を感じますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- |            |          |              |
|------------|----------|--------------|
| 1. 感じる     | 2. やや感じる | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり感じない | 5. 感じない  |              |

問 15. あなたが北区の魅力として誇りに感じることは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 歴史や伝統が感じられる  | 2. 商店街がある               |
| 3. 便利で住みやすい     | 4. スポーツ施設や文化施設などがある     |
| 5. 高齢者や障害者にやさしい | 6. 公園・みどりなどの自然環境に恵まれている |
| 7. 人情味がある       | 8. 子育て・教育環境が充実している      |
| 9. まちなみ・景観がよい   | 10. 災害に強い               |
| 11. 治安がよい       |                         |
| 12. その他（具体的に：   | ）                       |
| 13. 特にない        |                         |

**北区の現在のイメージや将来像についてうかがいます**

問 16. あなたは、現在の北区にどのようなイメージを持っていますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 歴史や伝統が感じられる    | 2. にぎわい・活力がある         |
| 3. 便利で住みやすい       | 4. スポーツ・文化・芸術活動が盛んである |
| 5. 高齢者や障害者にやさしい   | 6. 自然環境に恵まれている        |
| 7. 地域とのつながりが感じられる | 8. 子育て・教育環境が充実している    |
| 9. まちなみ・景観がよい     | 10. 災害に強い             |
| 11. 治安がよい         |                       |
| 12. その他（具体的に：     | ）                     |
| 13. 特にない          |                       |

問 17. あなたは、2040年頃の将来の北区はどのようなまちになればよいと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| 1. 地域文化・歴史を大切にしている           |   |
| 2. 地域産業や商店などの活力にあふれている       |   |
| 3. 便利で住みやすい                  |   |
| 4. スポーツ・文化・芸術活動が盛んである        |   |
| 5. 高齢者や障害者にやさしい              |   |
| 6. 水辺やみどりなどの自然環境に恵まれている      |   |
| 7. 地域・近隣住民とのふれあいや世代間交流が活発である |   |
| 8. 子育て・教育環境が充実している           |   |
| 9. まちなみ・景観がよい                |   |
| 10. 災害に強い                    |   |
| 11. 治安がよい                    |   |
| 12. 学生や若者でにぎわっている            |   |
| 13. 先端技術を活用した近代的な都市である       |   |
| 14. 環境にやさしい                  |   |
| 15. いきいきと活動できる場がある           |   |
| 16. その他（具体的に：                | ） |
| 17. 特にない                     |   |

**区の施策についてうかがいます**

問 18. 区が取り組んでいる施策の①現在の満足度、②今後の重要度について、次の中からそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

区が取り組んでいる施策	① 現在の満足度					② 今後の重要度				
	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない
(例) 健康づくりの充実 (保健・医療体制)	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
1. 健康づくりの充実 (保健・医療体制)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 支え合い・助け合いのしくみ づくりの推進 (市民活動団体等による福祉サービスなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 高齢者施策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 障害者の自立支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 子育て支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. バリアフリーの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 区内産業・商店街の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 就労支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 観光の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. コミュニティ活動の支援・ 施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 芸術文化活動の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 生涯学習の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13. 生涯スポーツの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. 学校教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15. 青少年健全育成の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16. 多文化共生社会の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	① 現在の満足度					② 今後の重要度				
	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない
区が取り組んでいる施策										
17. 男女共同参画社会の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18. 多様性社会の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19. 消費者の権利の尊重・ 消費者の自立支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20. 駅周辺の計画的な まちづくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21. 防災・防犯対策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22. 電子自治体の推進 (電子申請・マイナンバーの活用)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23. 広報・広聴活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24. 幹線道路、狭あい道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25. 自転車駐車場の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26. 住宅対策（定住化促進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27. まちなみや景観の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28. 公園や遊び場の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29. 省資源・省エネルギー対策の 推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30. ごみ減量・リサイクルの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31. 自然環境の保全・創出の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
32. 行財政改革 (公共施設の更新、ICTを活用した 業務効率化・区民サービスの向上)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

**地域との共生についてうかがいます**

問 19. これまで参加したことがある活動について、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 審議会や委員会等の公募委員
2. パブリックコメント（区民意見公募手続）などの意見の提出
3. 町会・自治会活動
4. ボランティア活動
5. 高齢者や障害者に対する支援活動
6. 子育てに関する活動
7. 生涯学習、文化・芸術・スポーツに関する活動
8. 健康づくりに関する活動
9. まちづくりに関する活動
10. 環境保全や緑化推進に関する活動
11. 防災・防犯、交通安全に関する活動
12. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
13. 参加したことはない

**[問 19 で 13 を選んだ方にうかがいます]**

問 20. 活動に参加しない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1. きっかけがない
2. 忙しく時間が合わない
3. 情報がない
4. 参加したいと思う活動がない
5. 興味がない
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問 21. あなたは、北区の情報（区政運営、生活に必要な情報等）を主に何から入手していますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 北区ニュース（広報誌）
2. 暮らしのガイド
3. 区公式ホームページ
4. 区公式 SNS（LINE・Facebook・Twitter）
5. 区の情報を確認できるアプリ等情報配信サービス  
（マチイロ・マチマチ・「安全・安心」快適メール・ココシル）
6. 区役所への問合せ
7. 掲示板
8. 区の施設・窓口にあるポスターやパンフレット
9. J：COM東京北（J：COMチャンネル）
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
11. 区政情報は特に入手していない

問 22. 今後、区民の区政への参画または地域活動への参加を促進するために、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 区民と一緒に計画を策定し事業を実施する
2. 情報公開など開かれた区政の推進
3. パブリックコメント（区民意見公募手続）の推進
4. 審議会や委員会等の委員の公募
5. 地域活動団体（※）による活動の周知・支援
6. 自治基本条例や区民参画条例の制定
7. 区民の出資による文化基金や福祉基金を活用した事業の実施
8. 多様な手段を活用した区政の情報発信
9. 広聴活動（区長へのはがき、区政モニター、区民説明会等）の充実
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
11. 特にない

※地域活動団体：町会・自治会やNPO・ボランティアなどの市民活動団体。

問 23. あなたは、差別や偏見が身近にあると感じますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 年齢に関する事
2. 性別に関する事
3. 障害の有無に関する事
4. 国籍に関する事
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
6. 感じたことはない

問 24. 外国人区民と日本人区民がお互いを尊重しながら共存していくため、重要な取組みは何だと思えますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1. 日本人区民と外国人区民のコミュニケーション機会の拡大
2. 日本人区民が異文化や生活習慣の違いを理解する機会の充実
3. 外国人区民が日本語や日本文化を学ぶ機会の充実
4. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
5. 特にない

**子育て・教育への取組みについてうかがいます**

問 25. 今後、子どもの健やかな成長を支援するために区が力をいれるべき子育て支援策は何だ  
と思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 子育て情報の収集・提供
2. 子どもたち向けの外遊びや自然にふれあえる場の提供
3. 様々な集団での経験や高齢者などの異世代との交流の場の提供
4. 地域の青少年健全育成活動の充実
5. 学校など子どもが利用する施設・設備の充実
6. 待機児童ゼロを目指した保育所や学童クラブの整備
7. 子どもの医療や健康づくり・保健事業の充実
8. 子どもや保護者が悩みを相談できる場の充実
9. 幼稚園・保育所・認定こども園などの幼児教育・保育内容の充実
10. 一時保育や病児・病後児保育など多様な保育サービスの拡充
11. 困難を抱える（貧困世帯など）子どもへの支援
12. 子育て家庭の交流の場の提供
13. 児童虐待防止の取組みの充実
14. 地域で子どもたちを守り育てるという意識の高揚
15. 乳幼児親子が外出しやすい環境整備
16. 子育て家庭への経済的な支援
17. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
18. 特にない

問 26. 今後、子どもの健やかな成長を支援するための学校教育について、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、中学校の連携
2. 児童生徒一人ひとりの個性に応じた教育
3. 特色ある教育の推進（郷土学習の推進、新聞教育など）
4. 学力向上への取組み
5. 人権・道徳教育の推進
6. 学校規模の適正化・適正配置
7. 生きる力（主体性・協調性・社会性等の資質・能力）向上への取組み
8. 計画的な小学校、中学校の改築・改修（教育環境の充実）
9. 特別な支援が必要な児童（不登校児童・生徒など）への教育支援体制の充実
10. ICTを活用した教育の推進
11. 学校・家庭（PTA）・地域との連携
12. 地域社会との交流促進
13. 児童・生徒の社会参加の推進
14. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
15. 特にない

**健康・福祉についてうかがいます**

問 27. あなたにはかかりつけ医などはいますか。次の中からそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

① かかりつけ医	1. いる	2. いない
② かかりつけ歯科医	1. いる	2. いない
③ かかりつけ薬局	1. ある	2. ない

問 28. 今後、健康づくりを推進するため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1. 運動できる施設の開放や散歩道・公園の整備
2. ICT（ウォーキングアプリ等）を活用した健康づくりに関する施策の推進
3. 健康づくりに関する知識や施策内容についての情報の提供
4. 健康づくりに関する講習会・イベント、栄養指導や運動指導を行う教室の開催
5. 健康づくりを一緒に行う仲間づくりへの支援
6. 地域で支え合う体制の構築
7. 利用しやすい健康相談窓口の設置
8. 世代やライフサイクルに応じた食育の推進
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
10. 特にない

問 29. 今後、障害者がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取り組みが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 障害者の就労の場及び機会の拡大
2. 障害者の相談体制の充実
3. 障害者の福祉・保健・医療サービスの充実
4. バリアフリーなどの生活環境の整備
5. 障害者向けの生涯学習・文化・スポーツの支援
6. 障害児の保育・教育の充実
7. 安心できる防犯・防災対策の充実
8. 多様な生活の場（入所施設・グループホーム等）の整備・充実
9. 障害者と地域との交流活動
10. 心のバリアフリー教育の充実と障害者への理解促進
11. 障害特性に配慮した情報バリアフリーの充実
12. 虐待防止と権利擁護体制の強化
13. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
14. 特にない

**産業・文化・地域振興についてうかがいます**

問 30. 今後、区の産業の活性化を推進するため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 消費者に安全・安心な商品が販売されるための支援
2. 商店街の新たな魅力づくりの推進への支援
3. 空き店舗活用への支援
4. 魅力ある個店づくりへの支援
5. 区内企業の競争力強化に向けた技術開発や新規市場開拓への支援
6. 区内に新たな産業分野を育てるための支援
7. 産学連携（※）・企業間連携の促進
8. 企業の技術力の継承、事業承継・後継者育成
9. 自ら事業を行おうとする人（起業家）への支援
10. 中小企業の人材確保支援
11. 消費者が主体的に判断し、行動するための支援
12. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
13. 特にない

※産学連携：新技術の研究開発や、新事業の創出を図ることを目的として、民間企業等と大学等の教育機関・研究機関が互いに連携すること。

問 31. 今後、地域の文化振興のため、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1. 北区独自の個性的な文化芸術の創造・支援
2. 文化芸術活動を行う文化団体・芸術家等に対する支援
3. 様々な文化芸術を鑑賞する機会と場の提供
4. 文化芸術活動に参加できる機会と活動場所の拡大・整備
5. 子どもたちを対象とした文化芸術事業の充実
6. 地域の文化芸術に関する情報の提供
7. 歴史的文化の保存・継承と活用
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
9. 特にない

## 生涯学習・スポーツについてうかがいます

問 32. 今後、生涯学習を推進するため、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 生涯学習に関する情報の提供
2. 生涯学習について相談できる体制の充実
3. 多様な学習意欲に応える講座等の充実
4. 大学や企業等との連携によるリカレント教育（※）を含む学習機会の拡充
5. 小学校・中学校と地域との連携
6. 学校支援（授業支援・環境整備・見守り等）ボランティアの育成
7. 学習の成果や能力を地域で活かす仕組みづくり
8. 社会教育団体・スポーツ団体の活動への支援
9. ICTを活用した生涯学習活動の充実
10. 学習の場の充実（図書館や文化・スポーツ施設等）
11. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
12. 特にない

※リカレント教育：義務教育や基礎教育を終えて労働に従事する職業人になってからも、個人が必要とすれば教育機関に戻って学ぶことができるシステムのこと。

問 33. 今後、地域のスポーツ振興のため、区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1. 区内スポーツ施設の整備
2. 総合型地域スポーツクラブ（※）の設立支援
3. 区民とトップアスリートとの交流
4. 東京2020大会以降のレガシー（スポーツボランティア等）の活用
5. トップアスリートの育成をめざしたスポーツ事業の推進
6. スポーツ活動に参加する機会の提供
7. 観るスポーツの環境整備
8. 障害者スポーツの支援
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
10. 特にない

※総合型地域スポーツクラブ：地域住民が主体的に運営するスポーツクラブ。多様な世代が多様な目的で参加でき、定期的・継続的なスポーツ活動ができる活動拠点のこと。

### 観光振興についてうかがいます

問 34. 北区の観光振興に関する取組みの中で、どのような取組みが重要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 公園や河川敷等自然の活用
2. 伝統芸能や史跡・歴史的な建造物などの活用
3. 観光イベントの開催・支援
4. 名物となる食べ物や土産品などの開発・販売
5. 観光情報の発信
6. 外国人旅行客の誘客・対応の充実
7. 区内観光の担い手の発掘・支援
8. 観光案内所・観光案内板等の新設
9. デジタルコンテンツ（※）等新たな映像技術の活用
10. 体験型観光の促進（見学・体験・まちあるきツアー）
11. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
12. 特にない

※デジタルコンテンツ：AR・VR・プロジェクションマッピング等の映像技術。

### 女性の活躍促進についてうかがいます

問 35. 今後、女性がいきいきと活動している活力ある地域社会をつくるため、どのような取組みが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1. 女性のキャリア形成と多様な働き方の支援
2. 男女双方の意識改革・理解促進のための情報発信
3. 女性の健康づくり活動の支援
4. 多様な分野への女性の参画推進、リーダー育成・登用支援
5. 様々な暴力・ハラスメントの防止に関する啓発・相談体制の充実
6. ワーク・ライフ・バランスを推進する企業への支援
7. 企業への女性活躍推進に関する啓発・理解促進
8. 子育てや介護・看護と仕事の両立に向けた支援の充実
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
10. 特にない

**安全・安心への取組みについてうかがいます**

問 36. あなたのお住まいの地域は安全・安心なまちだと感じますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- |            |          |              |
|------------|----------|--------------|
| 1. 感じる     | 2. やや感じる | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり感じない | 5. 感じない  |              |

問 37. あなたのお住まいの地域を安全・安心なまちにするためには、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 犯罪や災害等に関する情報の提供・発信                   |
| 2. 防犯パトロールや安全マップづくりなど地域防犯活動の充実          |
| 3. 民間企業、警察・消防など関係機関等との連携体制の整備           |
| 4. 防災、防犯に関するイベント・キャンペーンや講習会の開催          |
| 5. 防犯灯、防犯カメラなどの設置                       |
| 6. 交通安全教育の充実                            |
| 7. 歩道の改良や自転車専用通行帯の整備など、安全な歩行・自転車通行空間の確保 |
| 8. その他（具体的に： _____ )                    |
| 9. 特にない                                 |

問 38. 地震や水害などの自然災害に対して安全・安心なまちにするために、どのような取組みが重要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 防災・避難に関わる情報の収集・伝達体制の整備
2. 民間企業、警察・消防など関係機関等との連携体制の整備
3. 自主防災組織・地区防災会議等の育成強化
4. 食糧や簡易トイレなど備蓄物資の確保
5. 防災公園の整備など避難場所・避難所の確保
6. 荒川氾濫時の高台の避難場所の確保
7. 災害用備蓄倉庫や防災センターなど防災施設・設備の整備
8. 学校や区民センターなど避難所となる区立施設の安全対策
9. 災害時の医療機関との連携などによる医療体制の整備
10. 高齢者や障害者など災害時要配慮者（※）への対応
11. 災害ボランティアの育成や活用などの対策
12. マイ・タイムライン（※）作成講座など水害に備えた区民への啓発活動の促進
13. 道路の拡幅や燃えないまちづくりなど防災まちづくりの推進
14. 災害後の復旧・復興対策
15. 建物の耐震化や家具類の転倒防止対策の推進
16. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
17. 特にない

※要配慮者：防災上、高齢者、障害者、乳幼児等のその他特に配慮を必要とする者。

※マイ・タイムライン：水害の発生に備えて、家族等で事前に作成しておく避難行動計画。

問 39. あなたは家庭の中で災害の発生に対してどのような備えをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 食料の備蓄（ \_\_\_\_\_ 日分）
2. 飲料水の備蓄（ \_\_\_\_\_ リットル）
3. 避難用品の準備
4. 常備薬の確保
5. マスク・消毒液等感染症対策用品の準備
6. ハザードマップの確認
7. 家具等の耐震対策
8. 通信手段の確保
9. 避難所等の確認
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
11. 対策は特に行っていない

## 生活環境についてうかがいます

問 40. 今後、快適な生活環境に配慮したまちづくりとして、区が力をいれるべきだと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

1. 環境問題に関する情報提供、講習会・学習会などの開催
2. ごみのポイ捨てや不法投棄等への指導
3. NPO・ボランティア団体など地域の環境活動に対する支援
4. 新エネルギー機器導入など省エネ・省資源への取組みや普及のための支援
5. 騒音や振動等の生活型公害への取組み
6. フードドライブ（※）などの食品ロス削減にむけた普及啓発
7. リサイクルに関する講座やイベントの開催
8. 古紙・びん・缶・ペットボトルなどの3R（※）の推進
9. 事業者に対するごみ発生・排出抑制のための指導
10. 屋外の公共の場所における喫煙者マナー向上のための取組み
11. 道路など公共の場所の美化の推進
12. 河川や水辺などの親水空間の整備
13. 道路や公共施設などの緑化の推進
14. 公園や遊び場の整備
15. 区民との協働による季節感あふれる身近な公園づくり
16. 美しいまちなみの創造
17. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
18. 特にない

※フードドライブ：学校や職場、グループ等、様々な機関・団体が拠点となり、一般家庭にある未利用食品を集め、集まった食品をフードバンク団体や福祉施設等に寄付する活動のこと。

※3R：Reduce（リデュース・発生抑制）、Reuse（リユース・再使用）、Recycle（リサイクル・再生利用）の3つのRの総称。

**区の経営改革についてうかがいます**

問 41. デジタル化を進め区役所の利便性をあげるために、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1. オンライン手続き・電子納付（電子マネー・QRコード等）の拡大
2. マイナンバーカードを活用した行政サービスの向上
3. マイナポータルによるワンストップサービス（※）の活用
4. 申請手続きを支援するシステム（手続ナビゲーション）の導入
5. SNS等の活用による情報発信の強化
6. 災害時の多様な手段（メール配信サービス・SNS等）による情報の提供
7. 区役所における、タブレット等を活用した通訳サービスの提供
8. オープンデータ（※）の推進
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
10. 特にない

※ワンストップサービス：複数のサービスを一度の手続きによって受けすることができる仕組み。

※オープンデータ：行政機関が保有する情報・データのうち、区民や民間企業などが自由に利活用できる形で公開したもの。

問 42. 公共施設にかかる経費を削減するため、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

1. 施設の管理や運営の民営化
2. 同じような施設や代わりに利用できる施設が近隣にある施設の統廃合
3. 区民のニーズに合わなくなった施設の用途の見直し・廃止（具体的に： \_\_\_\_\_ )
4. 公共施設の利用料の見直し
5. 各地域に設置されているような規模の小さな施設の集約化
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
7. 特にない

## シティプロモーションについてうかがいます

問 43. 北区の知名度や地域イメージを向上させるために、どのような取組みが効果的だと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 北区アンバサダー制度（※）の継続・拡充
2. 北区ならではの文学賞や音楽・演劇などの文化事業の開催
3. 北区ロケーション案内（映画、テレビの撮影など）
4. 標識や案内板などのデザイン化（漫画やキャラクターの活用）
5. 北区の魅力を伝える情報誌やマップの作成
6. 区内の企業などと連携したPR活動（東京北区渋沢栄一プロジェクトなど）
7. 多様なメディア媒体（新聞・雑誌・テレビ・インターネット）による北区に関する報道
8. 区公式SNS（LINE・Facebook・Twitter）による情報発信
9. ブランドメッセージ「住めば、北区東京。」によるプロモーション
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
11. 特にない

※北区アンバサダー制度：北区にゆかりのある著名人・文化人を「北区アンバサダー（大使）」に委嘱し北区を宣伝してもらう制度。現在のアンバサダーは、弦哲也氏、倍賞千恵子氏、水森かおり氏の3名。

### 【自由意見】

区政に対するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

本調査結果は、「北区基本構想」の策定や今後の区政運営に活用してまいります。

# 北区民意識・意向調査報告書

令和3年10月

刊行物登録番号  
3-1-064

発行 北区政策経営部企画課  
北区王子本町1-15-22  
電話 03(3908)1104 (ダイヤルイン)

調査分析 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
港区虎ノ門5-11-2  
電話 03(6733)1022